

平成 29 年度

江戸川区民世論調査

< 第 32 回 >

江戸川区

～ 目 次 ～

I	調査の概要	3
II	結果のあらまし	15
III	結果と分析	25
1.	居住年数・永住意向について	25
(1)	居住年数	25
(2)	永住意向	28
(3)	区への親近感や愛着	34
2.	江戸川区の現況について	39
(1)	各項目の満足度	39
(2)	区の現況への満足度	59
3.	東京2020オリンピック・パラリンピックについて	64
(1)	東京2020オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度	64
(2)	江戸川区でのカヌー（スラローム）競技開催の認知度	66
(3)	カヌー（スラローム）競技はどのように観戦したいか	68
(4)	レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいと思うか	70
4.	スポーツの実践について	72
(1)	週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているか	72
(2)	1年間に行ったスポーツや運動	74
5.	健康について	82
(1)	健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うこと	82
6.	がん検診について	85
(1)	過去1年間のがん検診の受診状況	85
(1-1)	がん検診を受けた機会	87
(1-2)	がん検診を受診しなかった理由	89
7.	喫煙について	92
(1)	喫煙の状況	92
(2)	たばこを迷惑と感じるか	94
(2-1)	迷惑と感じる場所	97
8.	地域活動への参加について	100
(1)	地域活動への参加の意向	100
(1-1)	地域活動をするために必要なこと	103
(2)	参加したい活動	106

9. みどりについて	109
(1) みどりのまちづくりのために行うべき取り組み	109
(2) みどり豊かなまちづくりのために協力したいこと	112
10. 環境に配慮した行動について	115
(1) 省エネ・省資源を意識した行動	115
11. 大規模水害対策について	133
(1) 大規模水害時における江戸川区外の地盤の高い地域等への広域避難	133
(1-1) 江戸川区外へ避難	136
(1-2) 避難する手段	140
(1-3) 江戸川区内に避難	145
(1-4) 広域避難しない理由	149
12. 発達障害について	168
(1) 「発達障害」という言葉の認知度	168
(1-1) 「発達障害」について知っていること	170
13. 人権について	173
(1) 関心のある人権課題	173
14. 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘	176
(1) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験	176
(2) 江戸川区消費者センターを知ったきっかけ	179
15. 広報と情報化について	182
(1) 区の情報の入手手段	182
(2) インターネットの利用状況	186
16. 江戸川区職員の接遇について	190
(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度	190
17. 区政への要望について	192
(1) 今後推進してほしい施策	192
18. 自由記述	197
(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと	197
IV 調査票	217

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施

2. 対象

満 18 歳以上の区民 2,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期間

平成 29 年 5 月 26 日（金）～ 6 月 11 日（日）＜17 日間＞

4. 内容

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (10) 環境に配慮した行動について |
| (2) 江戸川区の現況について | (11) 大規模水害対策について |
| (3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて | (12) 発達障害について |
| (4) スポーツの実践について | (13) 人権について |
| (5) 健康について | (14) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘 |
| (6) がん検診について | (15) 広報と情報化について |
| (7) 喫煙について | (16) 江戸川区職員の接遇について |
| (8) 地域活動への参加について | (17) 区政への要望について |
| (9) みどりについて | |

5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式

回収は、訪問回収と郵送回収の併用

【回収結果】

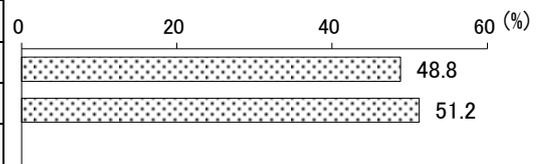
- ・ 標本数 2,000 件
- ・ 有効回収数 1,486 件 ○有効回収率 74.3%
- ・ 地区別回収数 (人口は、平成 29 年 5 月 1 日現在)

地区	人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
小松川	57,643	164	124	75.6
中央	139,168	385	313	81.3
葛西	253,014	740	542	73.2
小岩	97,404	295	218	73.9
東部	92,099	224	175	78.1
鹿骨	54,979	192	114	59.4
計	694,307	2,000	1,486	74.3

6. 回答者の属性

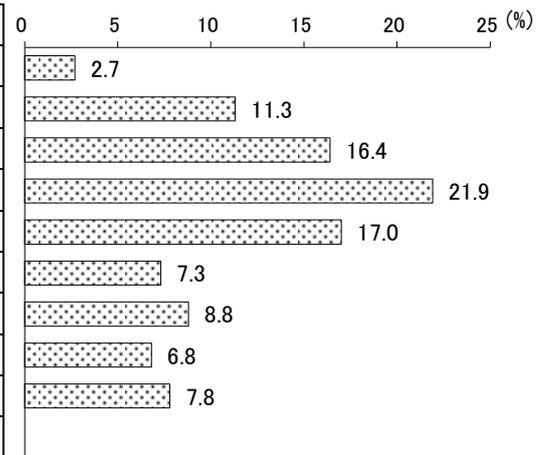
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	725	48.8%
2 女性	761	51.2
全体	1,486	100.0



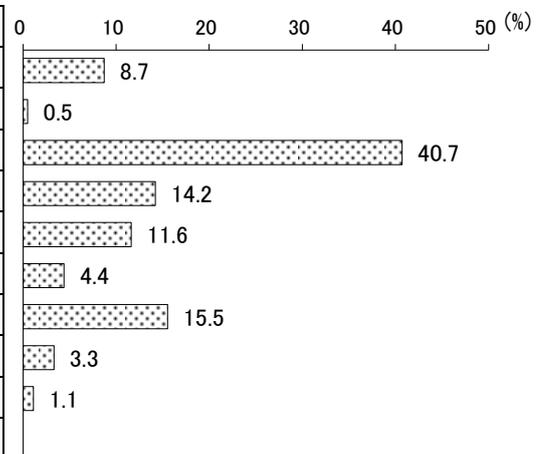
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18・19歳	40	2.7%
2 20～29歳	168	11.3
3 30～39歳	243	16.4
4 40～49歳	326	21.9
5 50～59歳	252	17.0
6 60～64歳	109	7.3
7 65～69歳	131	8.8
8 70～74歳	101	6.8
9 75歳以上	116	7.8
全体	1,486	100.0



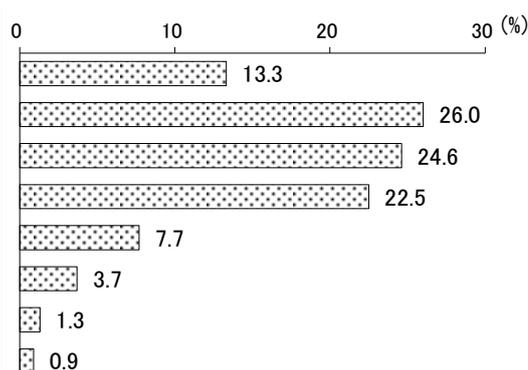
(3) F3 職業

	基数	構成比
1 自営業者	130	8.7%
2 家族従業(家事手伝い)	7	0.5
3 勤め(フルタイム)	605	40.7
4 勤め(パートタイム)	211	14.2
5 家事専業	172	11.6
6 学生	65	4.4
7 無職	230	15.5
8 その他	49	3.3
(無回答)	17	1.1
全体	1,486	100.0



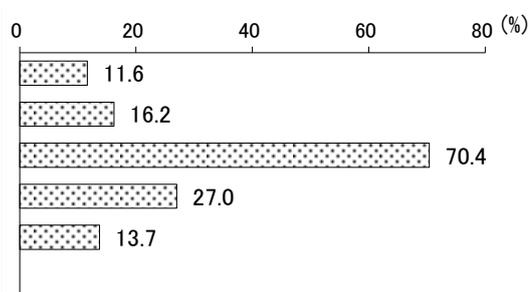
(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	198	13.3%
2 2人	386	26.0
3 3人	365	24.6
4 4人	335	22.5
5 5人	114	7.7
6 6人	55	3.7
7 7人以上	19	1.3
(無回答)	14	0.9
全体	1,486	100.0



(5) F5 同居者

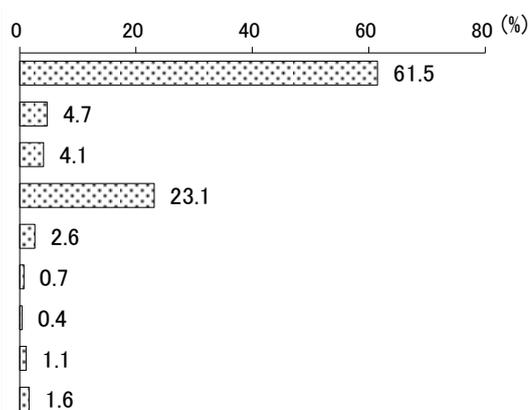
	基数	構成比
1 小学校入学前のお子さん	172	11.6%
2 小・中学生	241	16.2
3 16～64歳の方	1,046	70.4
4 65歳以上の方	401	27.0
(無回答)	203	13.7
全体	1,486	100.0



※複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

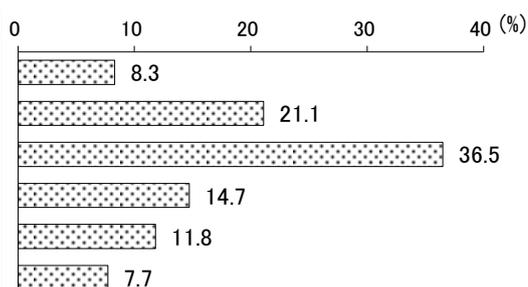
(6) F6 住居形態

	基数	構成比
1 持ち家	914	61.5%
2 都営・区営の賃貸住宅	70	4.7
3 都市再生機構・公社の賃貸住宅	61	4.1
4 民間の賃貸住宅	344	23.1
5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)	39	2.6
6 住宅に間借り	11	0.7
7 会社等の独身寮・寄宿舍	6	0.4
8 その他	17	1.1
(無回答)	24	1.6
全体	1,486	100.0



(7) F7 居住地区

	基数	構成比
1 小松川地区	124	8.3%
2 中央地区	313	21.1
3 葛西地区	542	36.5
4 小岩地区	218	14.7
5 東部地区	175	11.8
6 鹿骨地区	114	7.7
全体	1,486	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

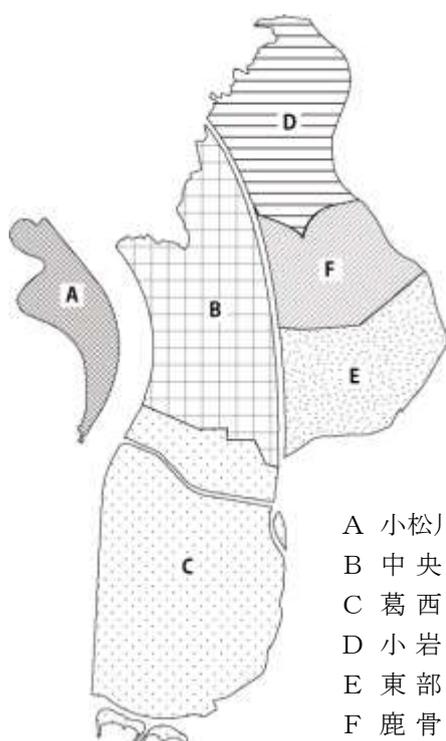
- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 図表中0は四捨五入の結果を示し、－は回答者が皆無であることを示す。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

[管轄別区域表]

管 轄 名	管 轄 内 町 丁 名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1～4丁目、平井1～7丁目
区 民 課 (中央地区)	中央1～4丁目、松島1～4丁目、松江1～7丁目、東小松川1～4丁目、西小松川町、大杉1～5丁目、西一之江1～4丁目、春江町4丁目、上一色1～3丁目、本一色1～3丁目、一之江1～8丁目、西瑞江4丁目1～2・10～27、江戸川4丁目15～25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～9丁目、西葛西1～8丁目、中葛西1～8丁目、南葛西1～7丁目、北葛西1～5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1～6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1～6丁目、西小岩1～5丁目、南小岩1～8丁目、北小岩1～8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1～3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5～9、江戸川1～3丁目・4丁目1～14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3～6丁目、南篠崎町1～5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1～4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1～6丁目、上篠崎1～4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

〔地区別区分図〕



- A 小松川地区 (小松川事務所管内)
 B 中央地区 (区民課管内)
 C 葛西地区 (葛西事務所管内)
 D 小岩地区 (小岩事務所管内)
 E 東部地区 (東部事務所管内)
 F 鹿骨地区 (鹿骨事務所管内)



- ◎ 区役所
 ○ 事務所

○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{P(1-P) / n}$$

P = 回答比率 (%)

n = 回答者数

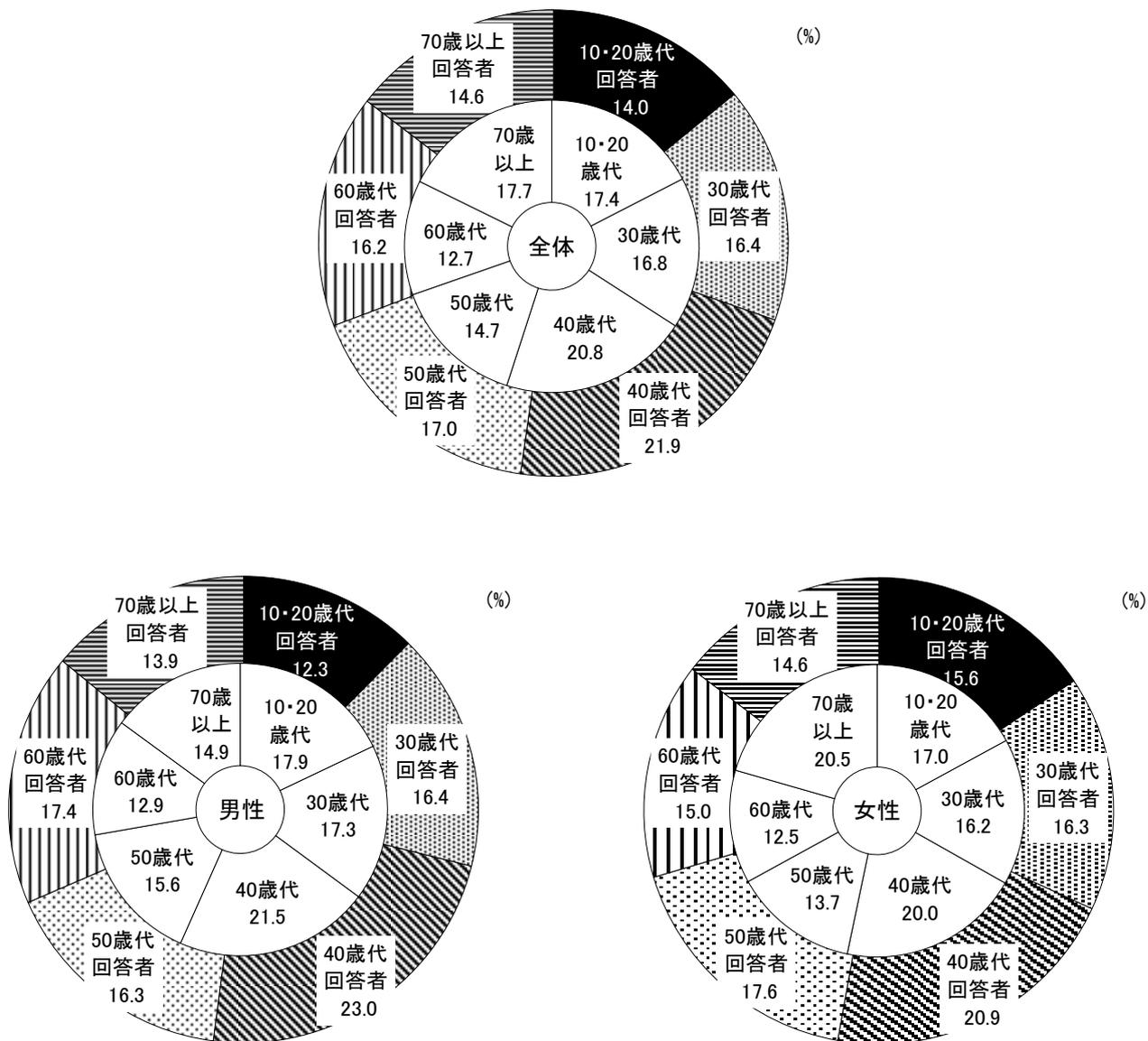
今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答率 (p) 回答者数 (n)	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
1,486	±1.56	±2.08	±2.38	±2.54	±2.59
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

<注/この表の見方>

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,486であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.54%以内 (57.46~62.54%) である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団 18 歳以上の人口（N=582, 852）の構成比、外円は調査回答者（n=1, 486）の構成比を示している。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の健康状態	ボランティア活動 の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内のバス交通	地域情報の媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63. 2)	第14回 (H元. 1)	第15回 (H2. 1)	第16回 (H3. 1)	第17回 (H4. 1)	第18回 (H5. 1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の健康状態	区民のいきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア活動 の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの評価	地元商店街の 印象	広報紙閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6. 1)	第20回 (H7. 1)	第21回 (H8. 1)	第22回 (H8. 10)	第23回 (H10. 10)	第24回 (H12. 7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の魅力	災害時への備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの満足度	生活環境満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※) 第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14. 4)	第26回 (H16. 6)	第27回 (H18. 6)	第28回 (H20. 5)	第29回 (H22. 5)	第30回 (H24. 5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
	その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
		区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・健(検)診	喫煙について

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26. 5)	第32回 (H29. 5)	
標本数	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	1,486 74.3%	
主な調査内容	永住意向	74.4%	73.3%
	転出意向	4.6%	6.2%
	施設への 要望 (上位3つ)	—	—
		—	—
		—	—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災	震災
		防犯	防犯
		水害	水害
	区政への 信頼度	—	—
	区政への 関心度	—	—
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタサ イクルについて	スポーツの実践 について	

II 結果のあらし

II 結果のあらまし

【居住年数・永住意向について】(25～38ページ)

- 江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(16.6%)と「31年以上」(39.7%)を合わせた<長期の居住者>(56.3%)が5割台半ばと最も高くなっている。続いて「6年～10年」(10.0%)と「11年～20年」(19.0%)を合わせた<中期の居住者>(29.0%)が約3割、「1年未満」(3.9%)と「1年～5年」(10.4%)を合わせた<短期の居住者>(14.3%)が1割半ばとなっている。(25ページ/問1)
- 今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」(48.5%)が5割弱と最も高く、これに「できれば住み続けたい」(24.8%)を合わせた<永住意向>(73.3%)が7割強となっている。

平成28年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域永住意向の調査結果と比較すると、「永住意向」で“江戸川区”(73.3%)は“東京都全体”(79.5%)よりも6.2ポイント、“区部”(80.1%)よりも6.8ポイント低くなっている。一方、「転出意向」については、“江戸川区”(6.2%)は“東京都全体”(10.0%)よりも3.8ポイント、“区部”(9.5%)よりも3.3ポイント低くなっている。(28ページ/問2)

- 江戸川区に親近感や愛着を感じるか尋ねたところ、「感じている」(52.2%)が5割強と最も高く、これに「やや感じている」(34.3%)を合わせた<親近感や愛着を感じる>(86.5%)は8割台半ばとなっている。(34ページ/問3)

【江戸川区の現況について】(39～63ページ)

- 江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足(計)>は、【公園・水辺の整備】(62.9%)で6割を超えて最も高く、続いて【緑化の推進】(58.2%)と【買い物の便】(58.1%)が約6割となっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満(計)>は、【地域の治安・安全性】(28.1%)が3割弱、【街のバリアフリー】(24.5%)が2割台半ばと高く、これらの項目は<不満(計)>が<満足(計)>よりも高くなっている。(39ページ/問4)

- 区の現況を総合的にみた場合の満足度は、「満足」(16.0%)と「やや満足」(36.7%)を合わせた<満足(計)>(52.7%)は5割強となっている。また、「ふつう」(35.9%)は3割台半ば、「不満」(1.2%)と「やや不満」(9.5%)を合わせた<不満(計)>(10.7%)は約1割である。(59ページ/問5)

【東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて】(64～71ページ)

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度について尋ねたところ、「参加したい」(15.5%)が1割台半ば、「参加したいができない」(23.9%)、「参加したくない」(32.1%)、「わからない」(28.1%)となっている。(64ページ/問6)
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、江戸川区でカヌー(スラローム)競技が開催されることを知っているか尋ねたところ、「知っている」(53.6%)が5割強、「知らなかった」(46.0%)が4割台半ばとなっている。(66ページ/問7)
- 葛西臨海公園の隣接地に整備される施設で開催されるカヌー(スラローム)競技はどのように観戦したいかを尋ねたところ、「テレビで観戦したい」(38.5%)が4割弱で最も高く、続いて「会場で観戦したい」(26.9%)が2割台半ばとなっている。一方、「観戦したいとは思わない」(18.7%)が2割弱となっている。また、「観戦方法がわからない」(10.3%)が約1割となっている。(68ページ/問8)
- レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいか尋ねたところ、「機会があればやってみたい」(37.3%)が4割弱となっている。一方、「やりたくない」(48.6%)が5割弱となっている。
(70ページ/問9)

【スポーツの実践について】(72～81ページ)

- 週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているかを尋ねたところ、「10年以上継続している」(12.5%)が1割強、「1年以上継続している」(7.8%)、「5年以上継続している」(6.3%)、「3年以上継続している」(3.0%)を合わせた<継続的に行っている>は29.6%となっている。
(72ページ/問10)
- この1年間に行ったスポーツや運動について尋ねたところ、「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩などを含む)」(54.4%)が5割台半ばで最も高く、続いて「体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、縄跳びを含む)」(33.0%)となっている。一方、「スポーツや運動は行っていない」(15.5%)は1割台半ばとなっている。
(74ページ/問11)

【健康について】(82～84ページ)

- 健康寿命(健康で活動的に暮らせる期間)を延ばすために重要だと思うことは何かについて尋ねたところ、「適度に運動する」(70.3%)が約7割で最も高く、続いて「バランスの良い食事をとる」(59.8%)が約6割、「休養や睡眠を十分にとる」(57.6%)が6割弱となっている。
(82ページ/問12)

【がん検診について】 (85～91ページ)

- 過去1年間にがん検診を受けたかを尋ねたところ、「受けた」(39.2%)は約4割、「受けていない」(58.7%)は6割弱となって(85ページ/問13)
- がん検診を受けた人に、その機会について尋ねたところ、「区で実施している無料のがん検診」(45.5%)が4割台半ば、続いて「勤務している会社や職場での検診」(36.5%)が3割台半ば、「人間ドックなどでの自費による検診」(17.8%)が2割弱となっている。(87ページ/問13-1)
- がん検診を受けていない人に、その理由を尋ねたところ、「忙しいから」(34.5%)が3割台半ばで最も高く、続いて「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」(17.1%)、「区で実施している無料の検診のことを知らなかったから」(17.0%)がそれぞれ2割弱となっている。
(89ページ/問13-2)

【喫煙について】 (92～99ページ)

- 20歳以上の方にたばこを吸うか尋ねたところ、「いままで吸ったことがない」(50.1%)が約5割と最も高くなっている。「やめた(1か月以上前)」(25.3%)と「やめた(1か月以内)」(0.5%)を合わせた<やめた(計)>(25.8%)は2割台半ばとなっている。一方、「吸っている」(23.6%)が2割強となっている。(92ページ/問14)
- 他人が吸うたばこを迷惑と感じるかを尋ねたところ、「はい」(71.3%)が7割強と高く、「いいえ」(26.2%)が2割台半ばとなっている。加熱式たばこ(アイコスやプルームテックなど)は、「いいえ」(52.6%)が5割強と高く、「はい」(29.9%)が約3割となっている。
(94ページ/問15)
- 他人が吸うたばこを迷惑と感じると答えた人にどのような場所で迷惑と感じるかを尋ねたところ、「路上喫煙」(75.7%)が7割台半ばで最も高く、続いて「レストランや飲食店などの中」(69.0%)が約7割、「公園」(40.1%)、「駅前広場やコンビニの店頭などにある屋外の喫煙スペース」(34.8%)、「職場内」(29.6%)となっている。(97ページ/問15-1)

【地域活動への参加について】(100~108ページ)

- 地域活動をしたいか尋ねたところ、「ぜひ参加したい」(1.1%)と「きっかけや条件を整えば参加してみたい」(9.7%)、「参加してみたいが、できない」を合わせた<参加したい>(37.6%)は4割弱、「現在、参加している」(3.1%)は1割未満となっている。一方、<参加しない>(22.1%)が2割強、「わからない(どちらともいえない)」(36.3%)は3割台半ばとなっている。(100ページ/問16)
- きっかけや条件を整えば参加してみたいと回答した人に活動をするために必要なことを尋ねたところ、「活動についての情報」(51.4%)が5割強、続いて「活動についての学習の場」(22.2%)が2割強、「活動についての体験の場」(20.8%)が約2割となっている。(103ページ/問16-1)
- どのような活動に参加したいかを尋ねたところ、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」(19.7%)が約2割、続いて「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」(16.6%)、「行事やイベント活動」(14.0%)が1割台半ばとなっている。一方、「特にない」(42.0%)が4割強となっている。(106ページ/問17)

【みどりについて】(109~114ページ)

- みどりのまちづくりのために行うべき取り組みについて尋ねたところ、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」(41.3%)が4割強と最も高く、続いて「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」(39.3%)が約4割となっている。(109ページ/問18)
- みどり豊かなまちづくりを進めていくために協力したいと思うことについて尋ねたところ、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」(37.5%)が4割弱で最も高く、続いて「道路沿いを生垣や花壇などで緑化する」(22.2%)が2割強、「公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う」(20.2%)が約2割となっている。一方、「特にない」(31.6%)は3割を超えている。(112ページ/問19)

【環境に配慮した行動について】（115～132ページ）

- 省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】（84.1%）で8割台半ばと最も高く、続いて【生ごみの水切りを行っている】（81.1%）が8割強、【修理できるものは修理して使うようにしている】（75.6%）で7割台半ばなどとなっている。（115ページ／問20）

【大規模水害対策について】（133～167ページ）

- 大規模水害時に江戸川区外の地盤の高い地域等に広域避難するか尋ねたところ、「広域避難する」（56.3%）は5割台半ば、「広域避難しない」（42.0%）は4割強となっている。

（133ページ／問21）

- 広域避難すると回答した方に江戸川区外のどこへ避難するか尋ねたところ、「避難先として行政から指定された施設」（45.5%）が4割台半ばで最も高く、続いて「別宅、親戚宅、友人・知人宅」（27.4%）となっている。（136ページ／問21-1）

- 広域避難すると回答した方に広域避難先への避難手段を尋ねたところ、「徒歩」（61.2%）が6割強で最も高く、続いて「自転車」（27.2%）、「鉄道」（23.7%）となっている。

（140ページ／問21-2）

- 広域避難しないと回答した方に江戸川区内のどこへ避難するか尋ねたところ、「公共施設（小・中学校、区民館など）」（40.1%）が約4割で最も高く、続いて「民間施設（マンションなど高層建物）」（18.1%）となっている。一方、「避難しない（自宅に留まる）」（31.4%）は3割強となっている。（145ページ／問21-3）

- 広域避難しない理由を尋ねたところ、「あてはまる」は【広域避難する先の当てがない】（54.5%）が5割台半ばで最も高く、続いて「家や家財から長く離れることが心配」（35.1%）が3割台半ばとなっている。「どちらともいえない」は【自宅が一番安全だと思う】（39.3%）が約4割、「あてはまらない」は【ペットなどを飼っている】（68.4%）、【遠くまでの避難が困難な家族がいる】（51.4%）となっている。（149ページ／問21-4）

【発達障害について】(168~172ページ)

- 「発達障害」という言葉を知っているか尋ねたところ、「名前だけは知っている」(48.4%)が5割弱と最も高くなっている。「ある程度の特徴も知っている」(33.0%)と「具体的な特徴も含めて、知っている」(13.1%)を合わせた<知っている(計)>(94.5%)となっている。一方、「聞いたことがない」(4.8%)は1割未満となっている。(168ページ/問22)
- 「具体的な特徴も含めて、知っている」または「ある程度の特徴も知っている」とお答えの方に「発達障害」について知っていることを尋ねたところ、「脳の機能障害が関連している」(83.9%)が8割強で最も高く、続いて「本人の忍耐や努力とは関係ない」(72.5%)、「幼少期の教育環境や親のしつけ、育て方により起こるものではない」(63.2%)などとなっている。
(170ページ/問22-1)

【人権について】(173~175ページ)

- 日本における人権課題について関心のあるものを尋ねたところ、「障害者」(37.9%)が4割弱で最も高く、続いて「高齢者」(34.9%)、「子ども」(34.1%)、「東日本大震災に伴う人権問題」(32.8%)などとなっている。一方、「特にない」(17.4%)となっている。(173ページ/問23)

【問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘】(176~181ページ)

- 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話・ダイレクトメールによる勧誘」(31.8%)が3割強と最も高くなっている。一方、「提示・勧誘を受けたことはない」(55.4%)は5割台半ばとなっている。(176ページ/問24)
- 江戸川区消費者センターを知ったきっかけを尋ねたところ、「広報えどがわ」(23.8%)が2割強で最も高く、続いて「テレビや新聞」(17.7%)、「消費者センター事業(講座・チラシ・ホームページなど)」(12.5%)などとなっている。一方、「知らない」(37.5%)は4割弱となっている。(179ページ/問25)

【広報と情報化について】(182~189ページ)

- 区の情報の入手手段を聞いたところ、「広報えどがわ」(51.9%)が5割強と最も高く、続いて「町内・自治会回覧などの資料」(26.5%)、「くらしの便利帳」(24.1%)などとなっている。
(182ページ/問26)

- インターネットの利用状況は、「利用している」(78.9%)が8割弱を占め、「現在は利用していないが、今後は利用したい」(4.0%)となっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」(15.9%)は1割台半ばとなっている。(186ページ/問27)

【江戸川区職員の接遇について】(190~191ページ)

- 江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」(10.0%)と「やや満足」(11.8%)を合わせた<満足(計)>(21.8%)は2割強となっている。一方、「不満」(3.0%)と「やや不満」(4.8%)を合わせた<不満(計)>(7.8%)は1割未満となっている。(190ページ/問28)

【区政への要望について】(192~196ページ)

- 今後推進してほしい施策については、「震災対策」(35.7%)が3割台半ばで最も高く、続いて「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(30.3%)、「水害対策」(29.5%)、「子育て支援」(20.3%)、「交通網整備」(15.7%)などとなっている。(192ページ/問29)

【自由記述】(197~215ページ)

- 江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じることを聞いたところ、江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「環境保全・リサイクル」(23.2%)が2割強と多く、続いて「子育て支援」(12.9%)が1割強となっている。

江戸川区の「良さ」では、「環境保全・リサイクル」(16.1%)が1割台半ばと多く、「子育て支援」(8.9%)が1割弱となっている。

「改善してほしいこと」では、「環境保全・リサイクル」(7.2%)が最も高く、「交通網整備」(6.0%)と「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(6.0%)、「都市基盤整備(道路など)」(5.8%)などと続いている。(197ページ/問30)

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

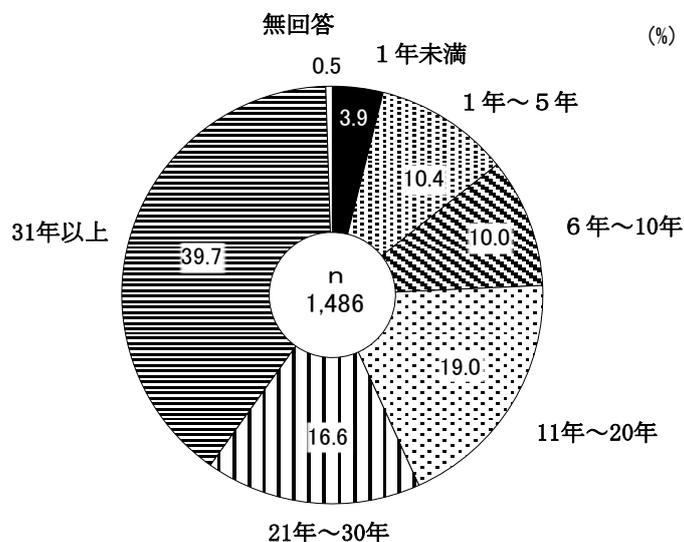
1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇ <長期の居住者>が5割台半ば

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

<図表1-1> 居住年数



(注) <短期の居住者> = 「1年未満」 + 「1年～5年」・・・14.3%

<中期の居住者> = 「6年～10年」 + 「11年～20年」・・・29.0%

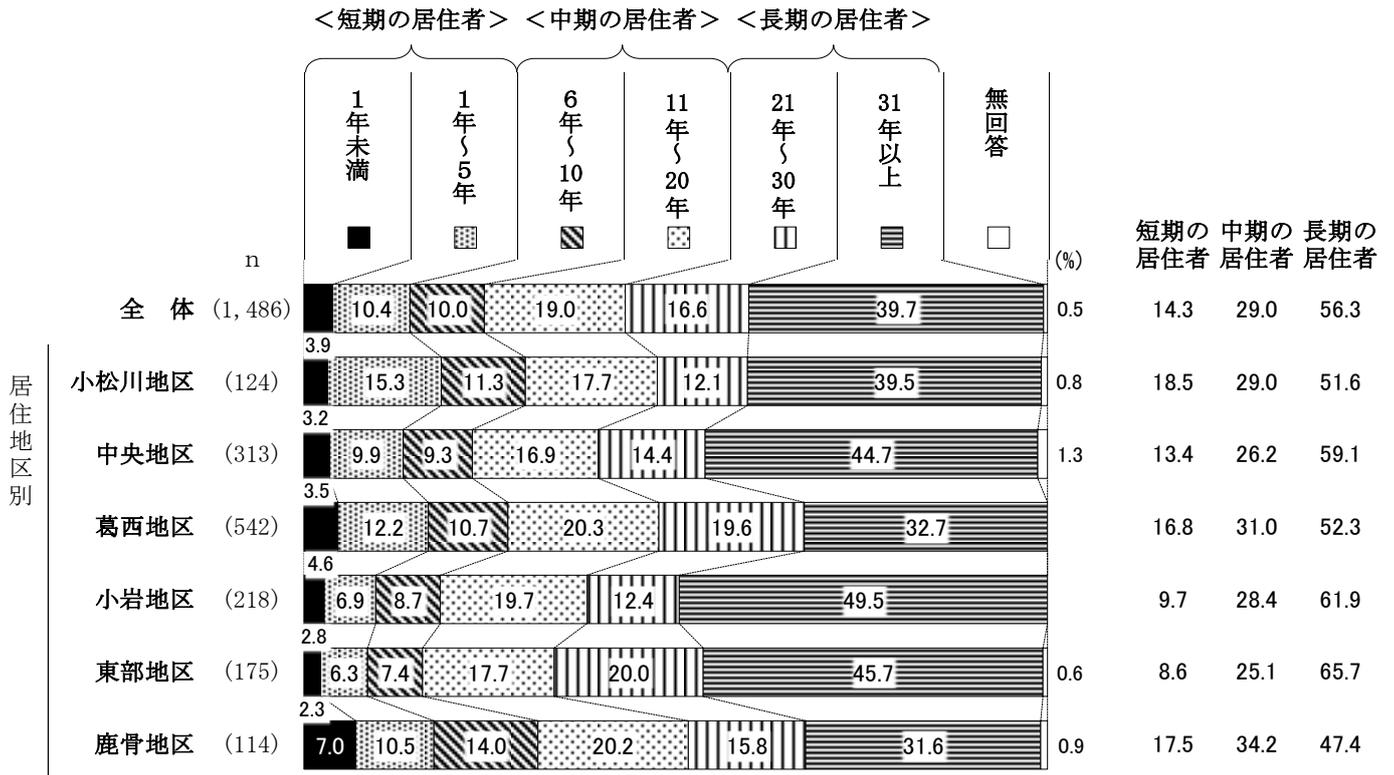
<長期の居住者> = 「21年～30年」 + 「31年以上」・・・56.3%

江戸川区での居住年数は、「21年～30年」(16.6%)と「31年以上」(39.7%)を合わせた<長期の居住者>(56.3%)が5割台半ばと最も高くなっている。続いて「6年～10年」(10.0%)と「11年～20年」(19.0%)を合わせた<中期の居住者>(29.0%)が約3割、「1年未満」(3.9%)と「1年～5年」(10.4%)を合わせた<短期の居住者>(14.3%)が1割半ばとなっている。(図表1-1)

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜長期の居住者＞は“東部地区”（65.7%）で6割台半ばと最も高くなっている。＜中期の居住者＞は“鹿骨地区”（34.2%）で3割台半ばと高く、＜短期の居住者＞は“小松川地区”（18.5%）と“鹿骨地区”（17.5%）で2割弱と高くなっている。（図表1－2）

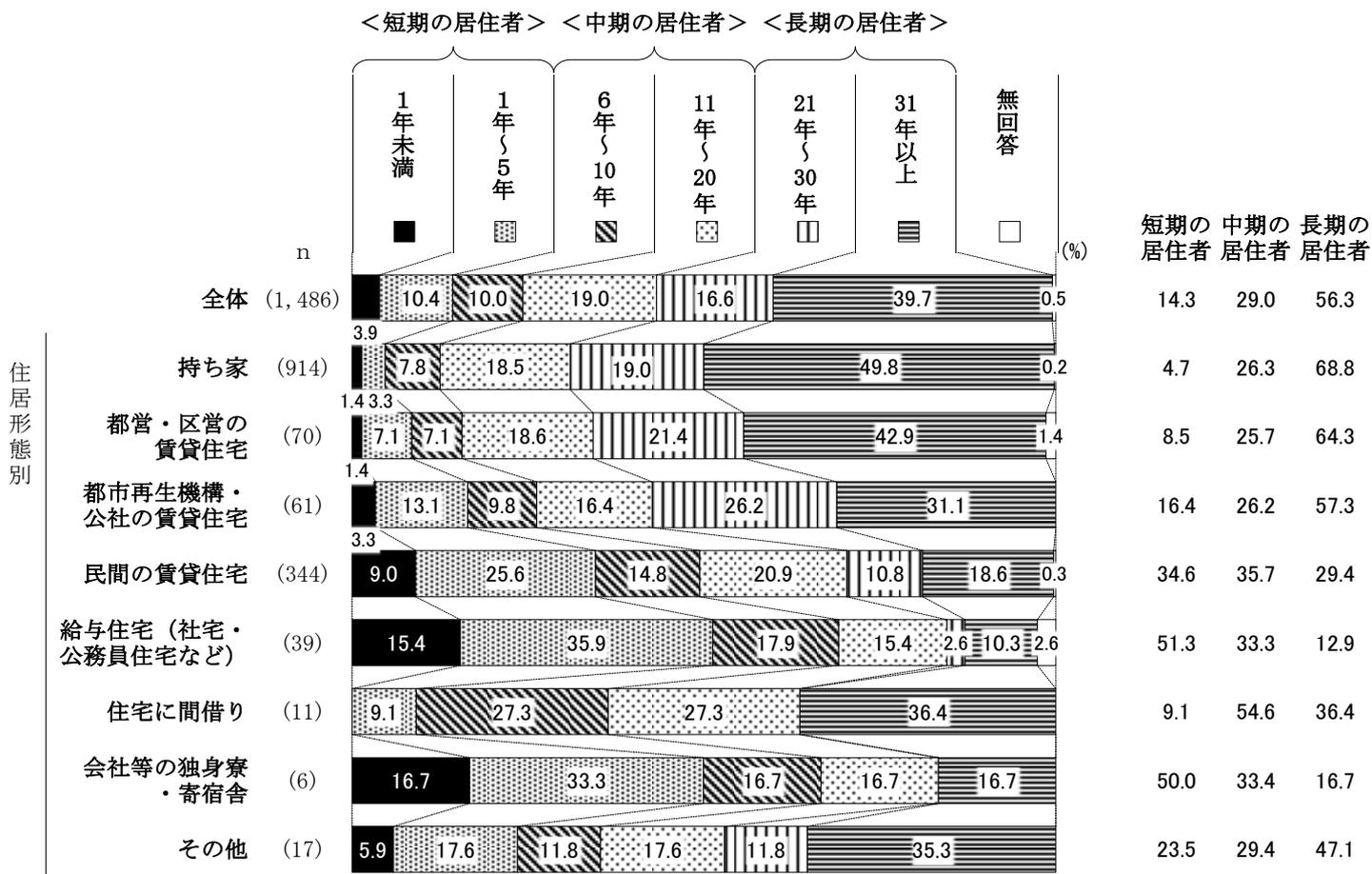
＜図表1－2＞ 居住年数／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、＜長期の居住者＞は“持ち家”（68.8%）で約7割、“都営・区営の賃貸住宅”（64.3%）で6割台半ばと高くなっている。一方、＜短期の居住者＞は“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”（51.3%）で5割強と高くなっている。（図表1－3）

＜図表1－3＞ 居住年数／住居形態別



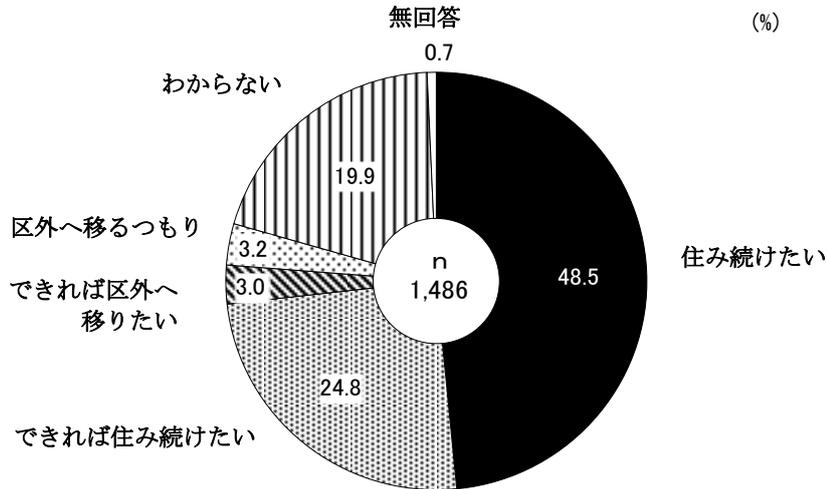
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 永住意向

◇ <永住意向>が7割強

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

<図表1-4> 永住意向



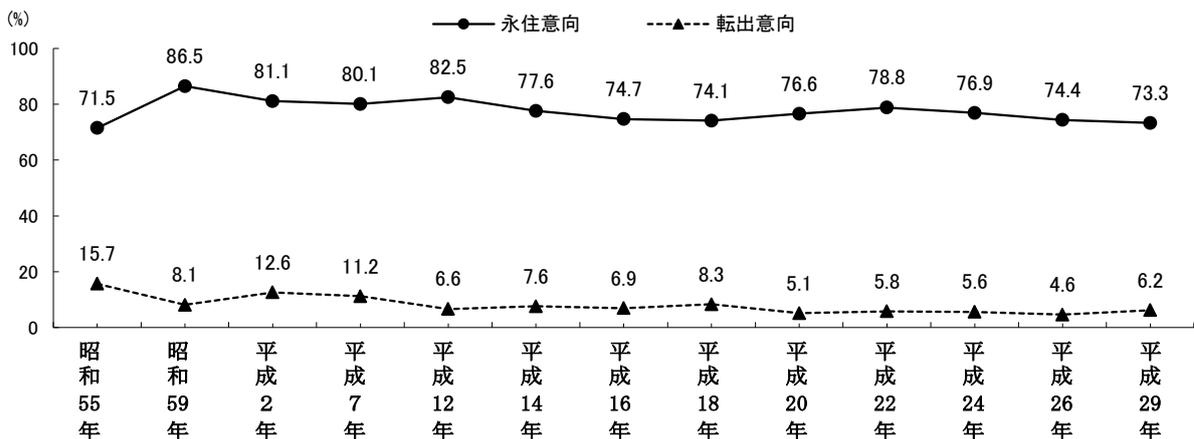
(注) <永住意向> = 「住み続けたい」 + 「できれば住み続けたい」・・・73.3%
 <転出意向> = 「区外へ移るつもり」 + 「できれば区外へ移りたい」・・・6.2%

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」(48.5%)が5割弱と最も高く、これに「できれば住み続けたい」(24.8%)を合わせた<永住意向>(73.3%)が7割強となっている。(図表1-4)

【時系列比較】

昭和55年からの調査結果を時系列で見ると、<永住意向>は前回の平成26年よりも1.1ポイント減少している。一方、<転出意向>は前回より1.6ポイント増加している。(図表1-5)

<図表1-5> 永住意向/時系列比較



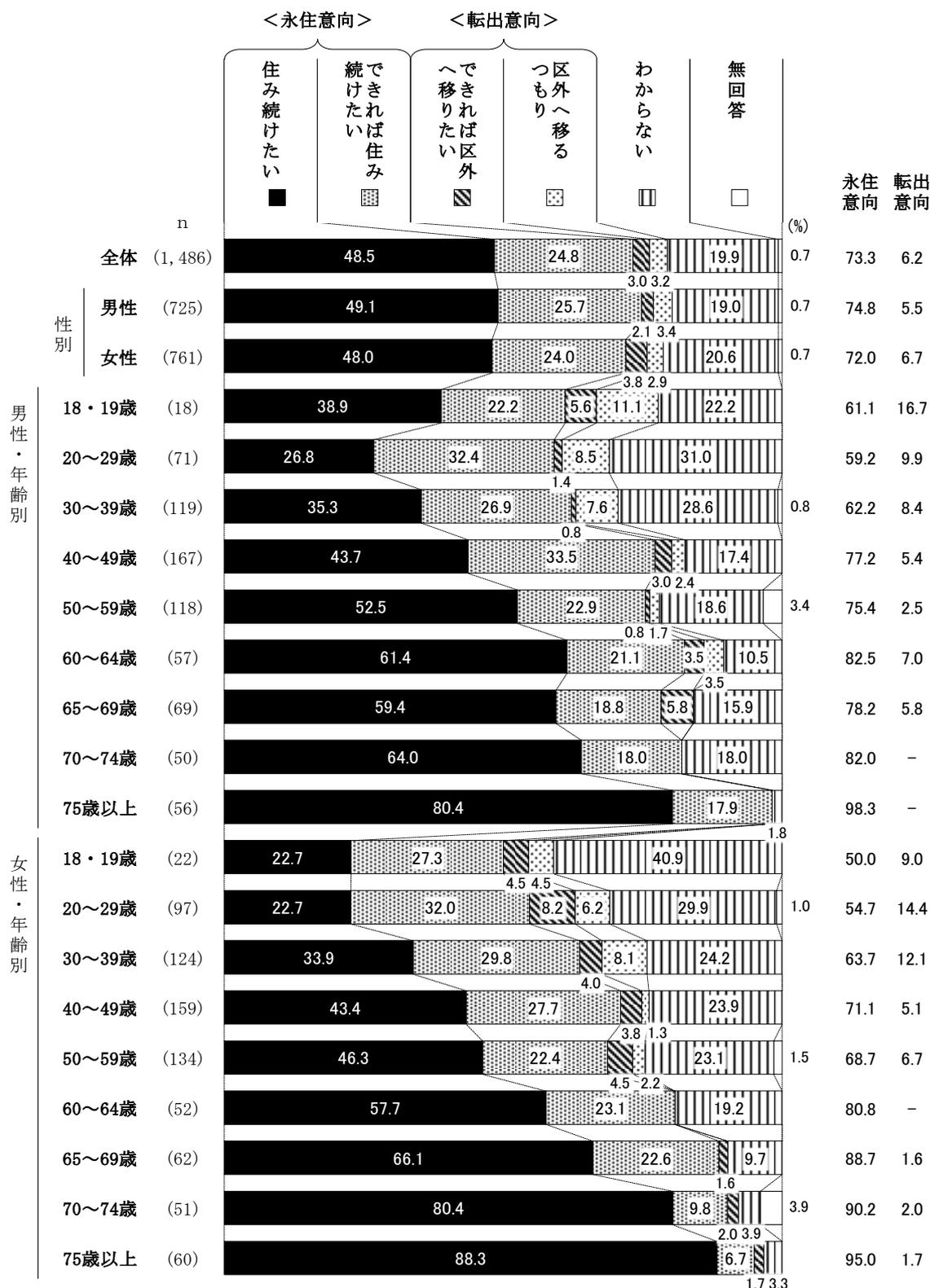
【性・年齢別】

性別では、＜永住意向＞は男性（74.8%）が女性（72.0%）よりも2.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、＜永住意向＞は男性75歳以上（98.3%）で最も高くなっている。

（図表1-6）

＜図表1-6＞ 永住意向／性・年齢別



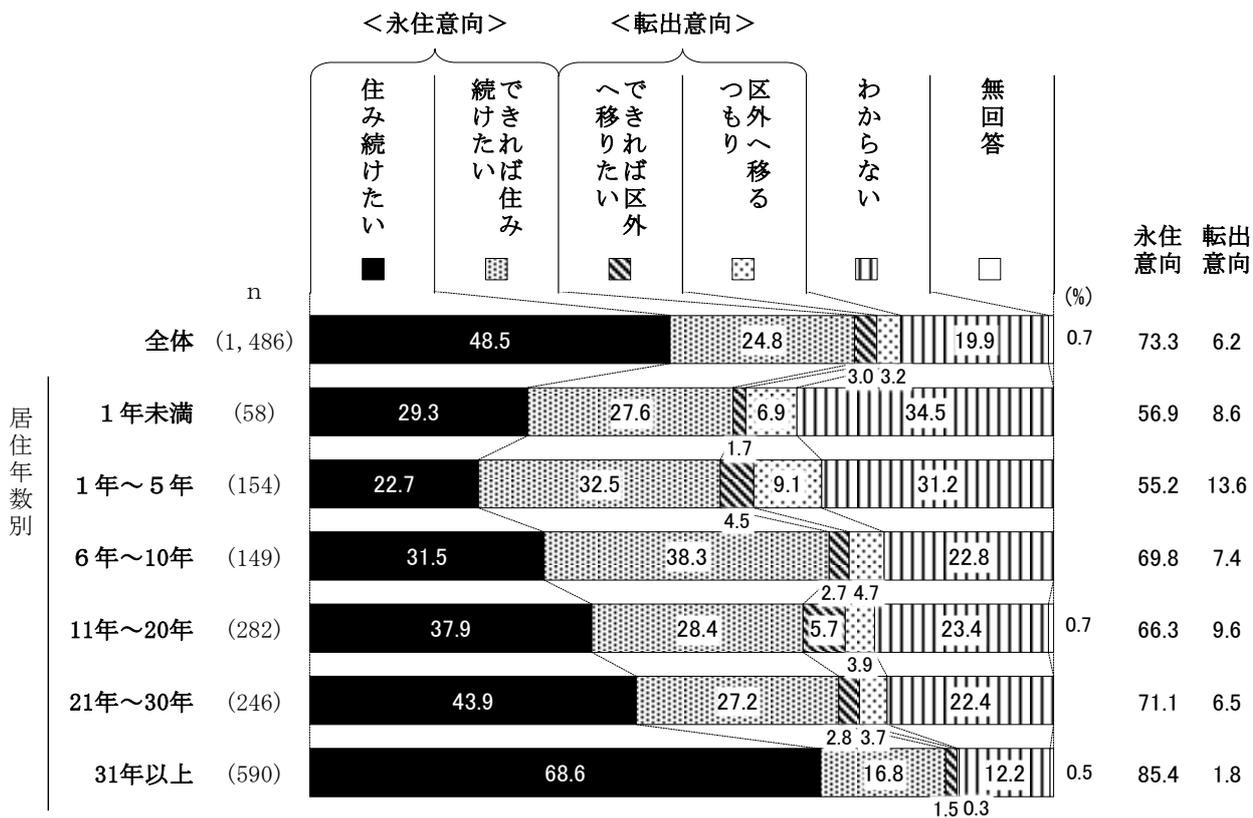
※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住年数別】

居住年数別でみると、<永住意向>は“31年以上”（85.4%）で約8割台半ばと特に高くなっている。

（図表1-7）

<図表1-7> 永住意向／居住年数別

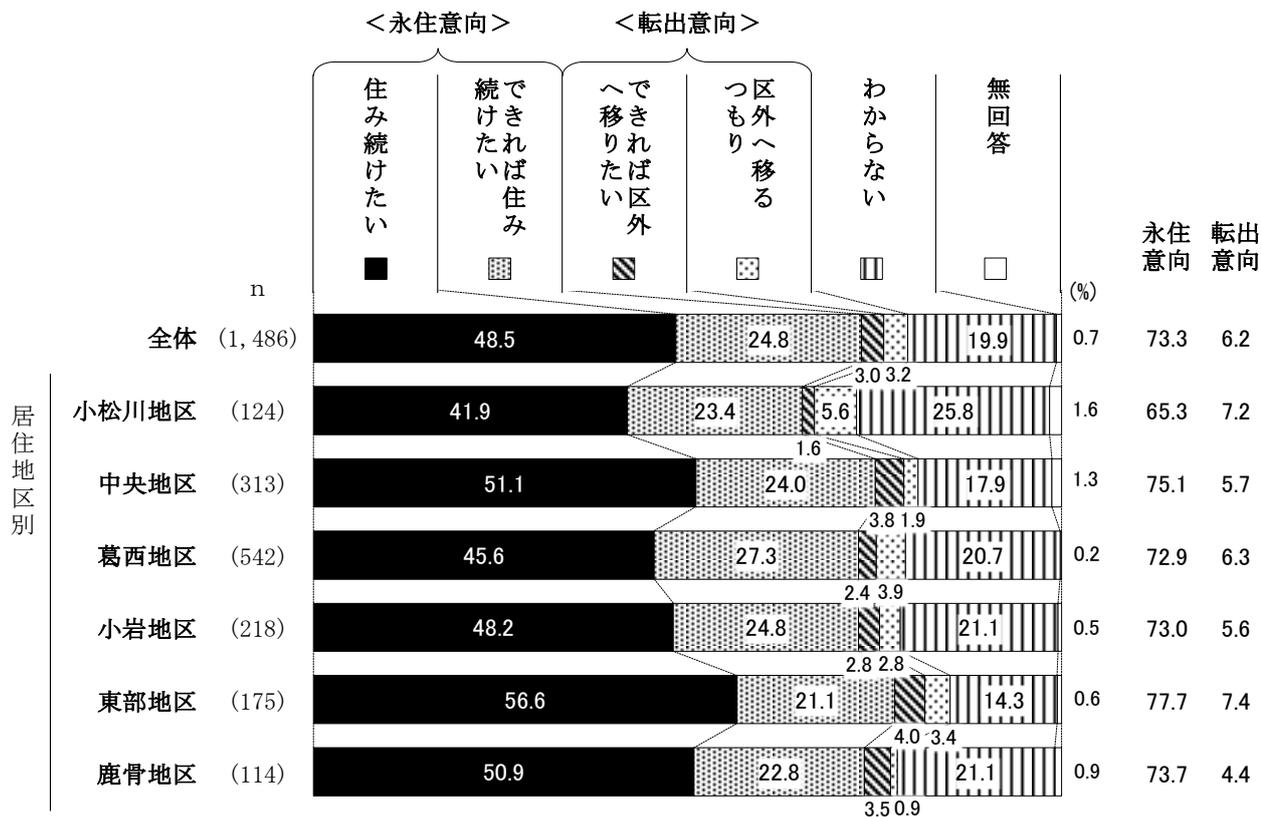


【居住地区別】

居住地区別でみると、＜永住意向＞は“東部地区”（77.7%）で8割弱と高くなっている。

（図表1－8）

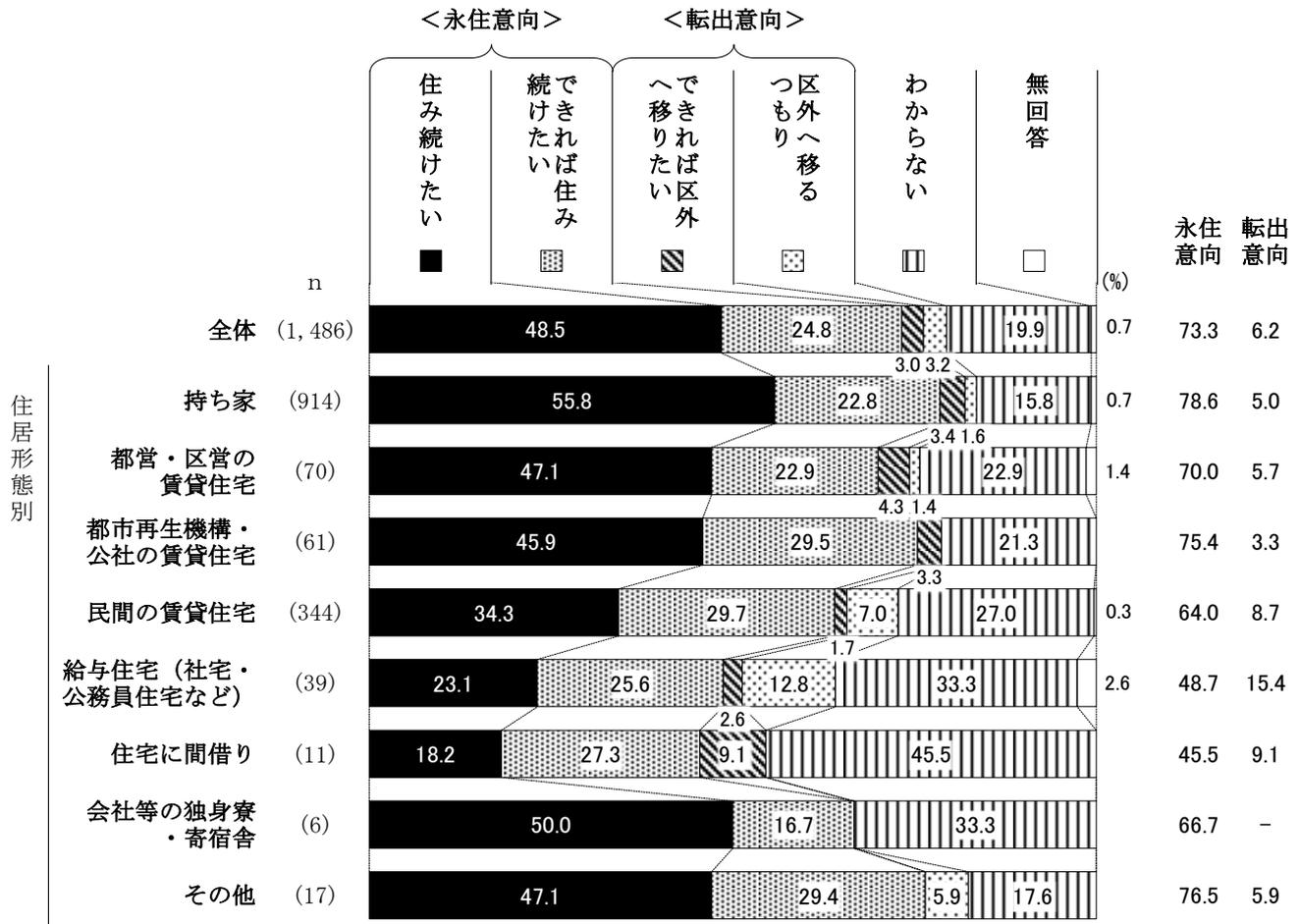
＜図表1－8＞ 永住意向／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、＜永住意向＞は、“持ち家”（78.6%）で8割弱、“都市再生機構・公社の賃貸住宅”（75.4%）で7割台半ばと高くなっている。（図表1－9）

＜図表1－9＞ 永住意向／住居形態別



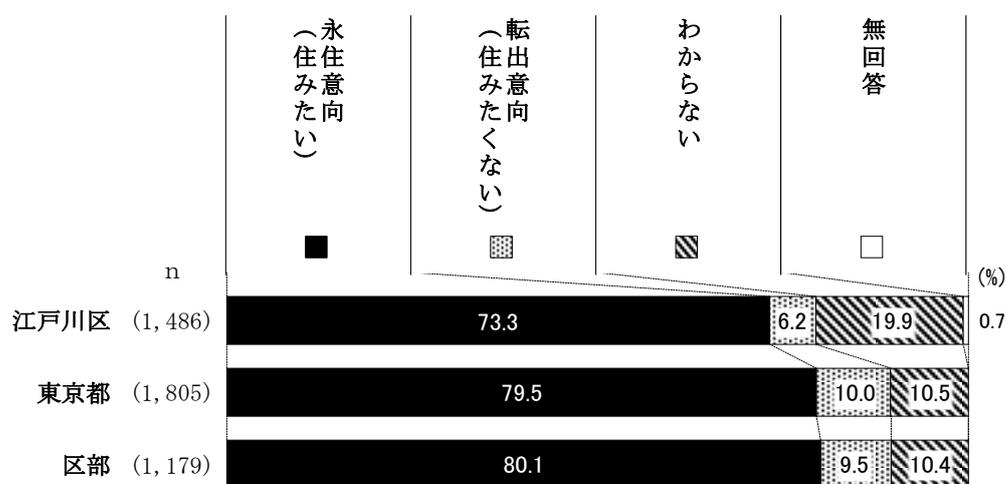
※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【東京都・区部との比較（平成 28 年調査）】

平成 28 年に実施された「都民生活に関する世論調査」の地域永住意向の調査結果と比較すると、「永住意向」で“江戸川区”（73.3%）は“東京都全体”（79.5%）よりも 6.2 ポイント、“区部”（80.1%）よりも 6.8 ポイント低くなっている。一方、「転出意向」については、“江戸川区”（6.2%）は“東京都全体”（10.0%）よりも 3.8 ポイント、“区部”（9.5%）よりも 3.3 ポイント低くなっている。

（図表 1－10）

＜図表 1－10＞ 永住意向／東京都・区部との比較（平成 28 年調査）



（注 1）東京都と区部は地域定住意向の調査結果

（注 2）表頭の（ ）内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

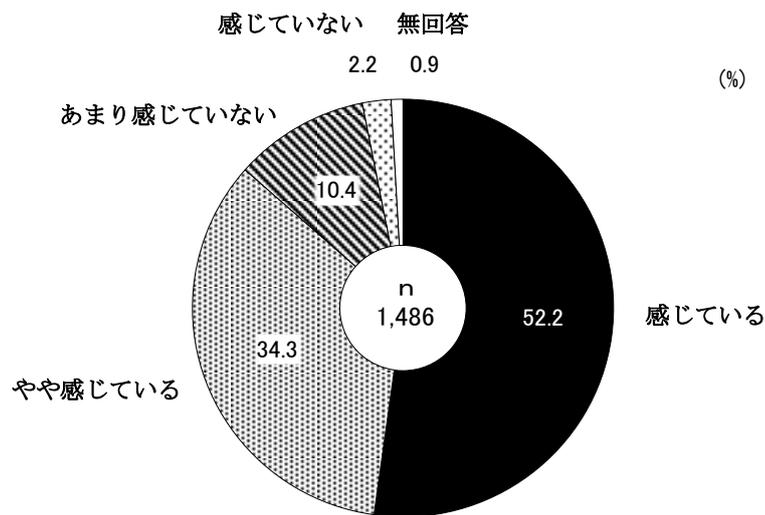
資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（平成 28 年）

(3) 区への親近感や愛着

◇ <親近感や愛着を感じる>が8割台半ば

問3 あなたは、江戸川区に親近感や愛着を感じますか。(○は1つだけ)

<図表1-11> 区への親近感や愛着



(注) <親近感や愛着を感じる> = 「感じている」 + 「やや感じている」・・・86.5%

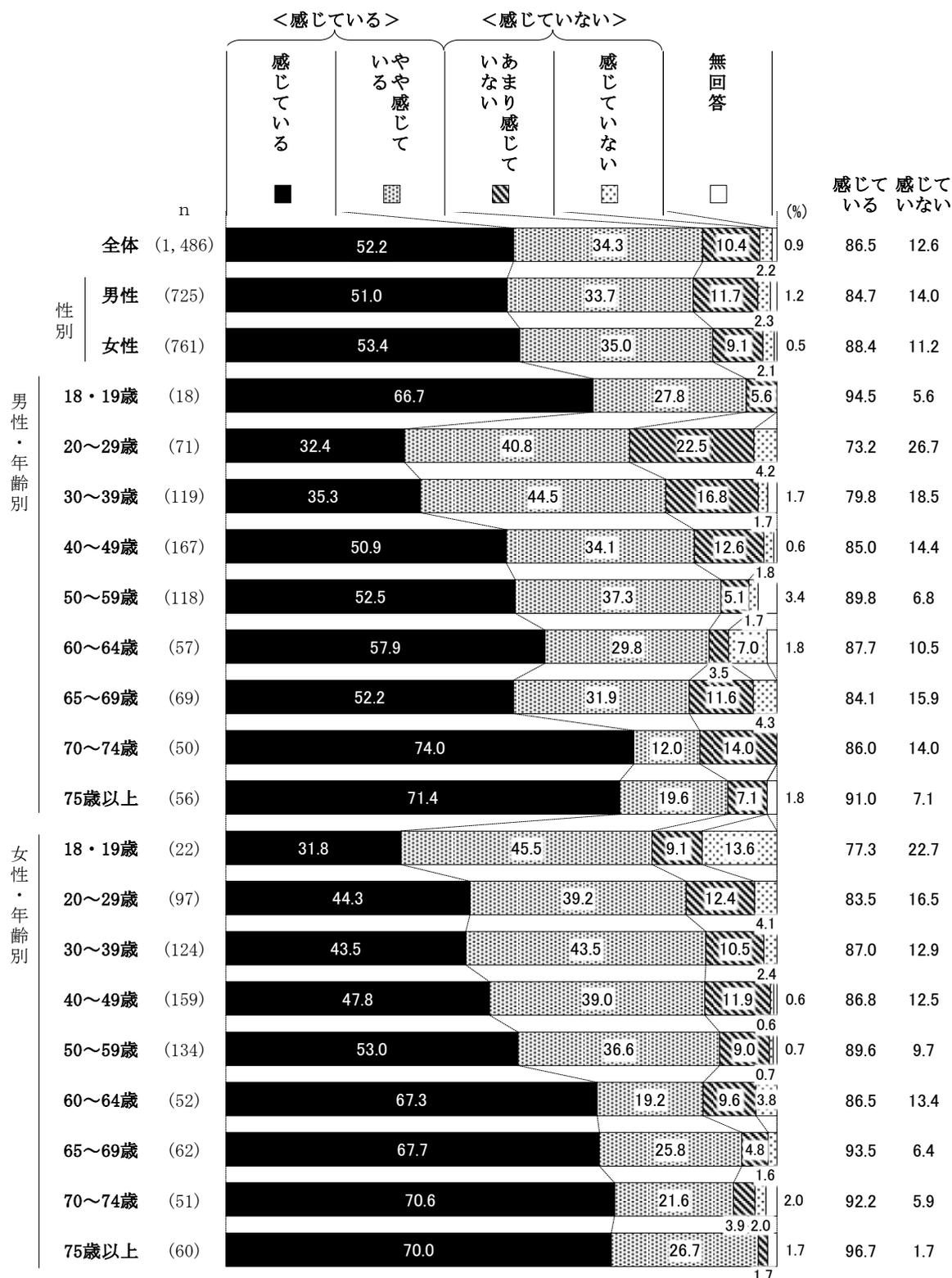
江戸川区に親近感や愛着を感じるか尋ねたところ、「感じている」(52.2%)が5割強と最も高く、これに「やや感じている」(34.3%)を合わせた<親近感や愛着を感じる>(86.5%)は8割台半ばとなっている。(図表1-11)

【性・年齢別】

性別では、＜親近感や愛着を感じる＞は女性（88.4%）が男性（84.7%）より3.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、＜親近感や愛着を感じる＞は女性75歳以上（96.7%）で9割台半ばと最も高くなっている。（図表1-12）

＜図表1-12＞ 区への親近感や愛着／性・年齢別

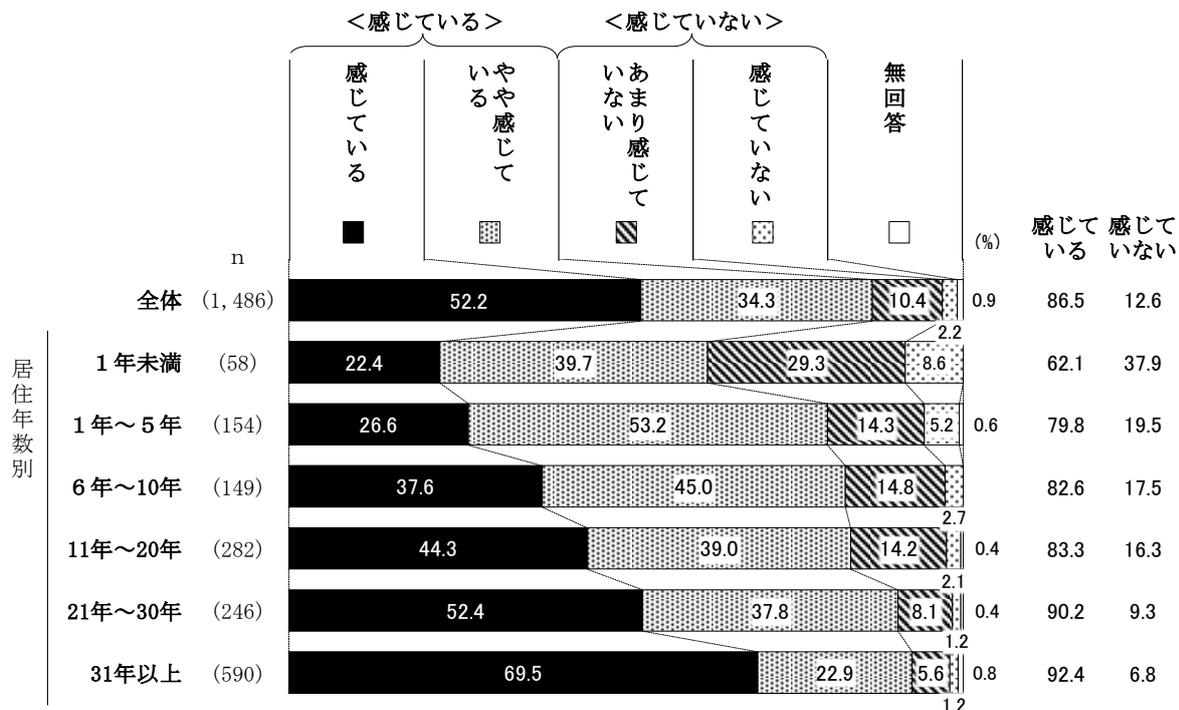


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住年数別】

居住年数別でみると、＜親近感や愛着を感じる＞は“31年以上”（92.4%）で9割強と最も高く、“21年～30年”（90.2%）で約9割となっている。（図表1-13）

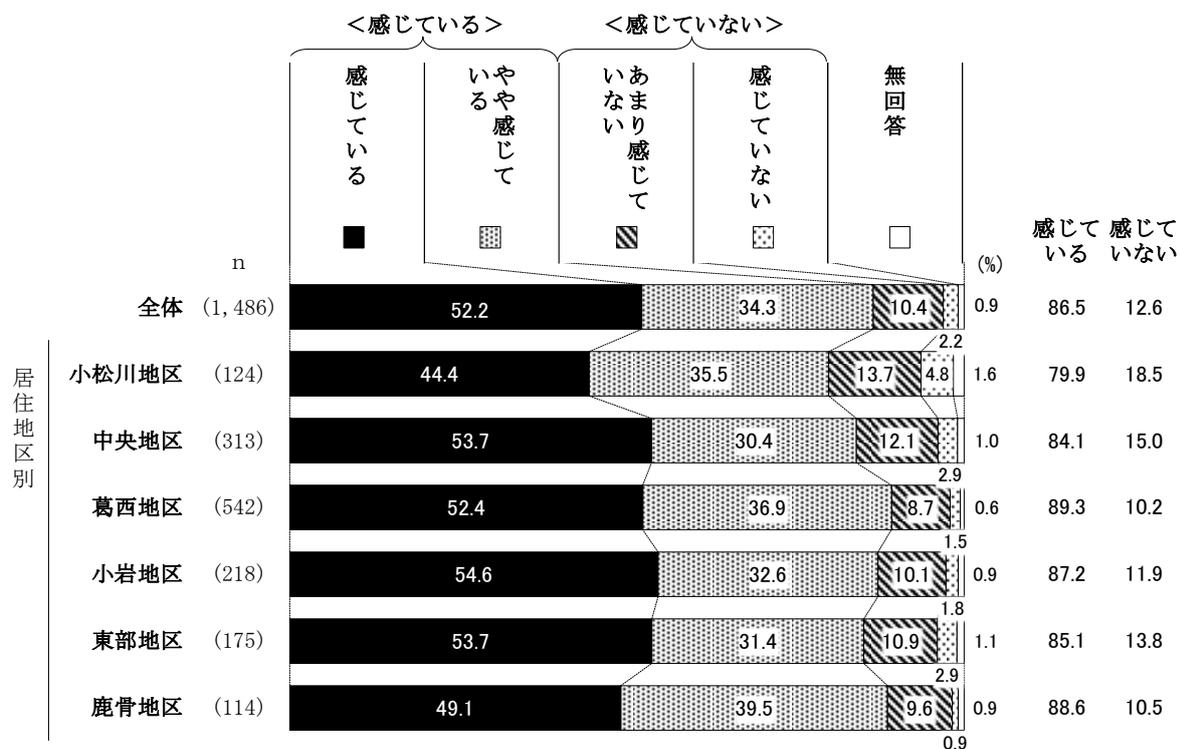
＜図表1-13＞ 区への親近感や愛着／居住年数別



【居住地区別】

居住地区別でみると、＜親近感や愛着を感じる＞は“葛西地区”（89.3%）で約9割と最も高く、“鹿骨地区”（88.6%）と“小岩地区”（87.2%）で9割弱となっている。（図表1-14）

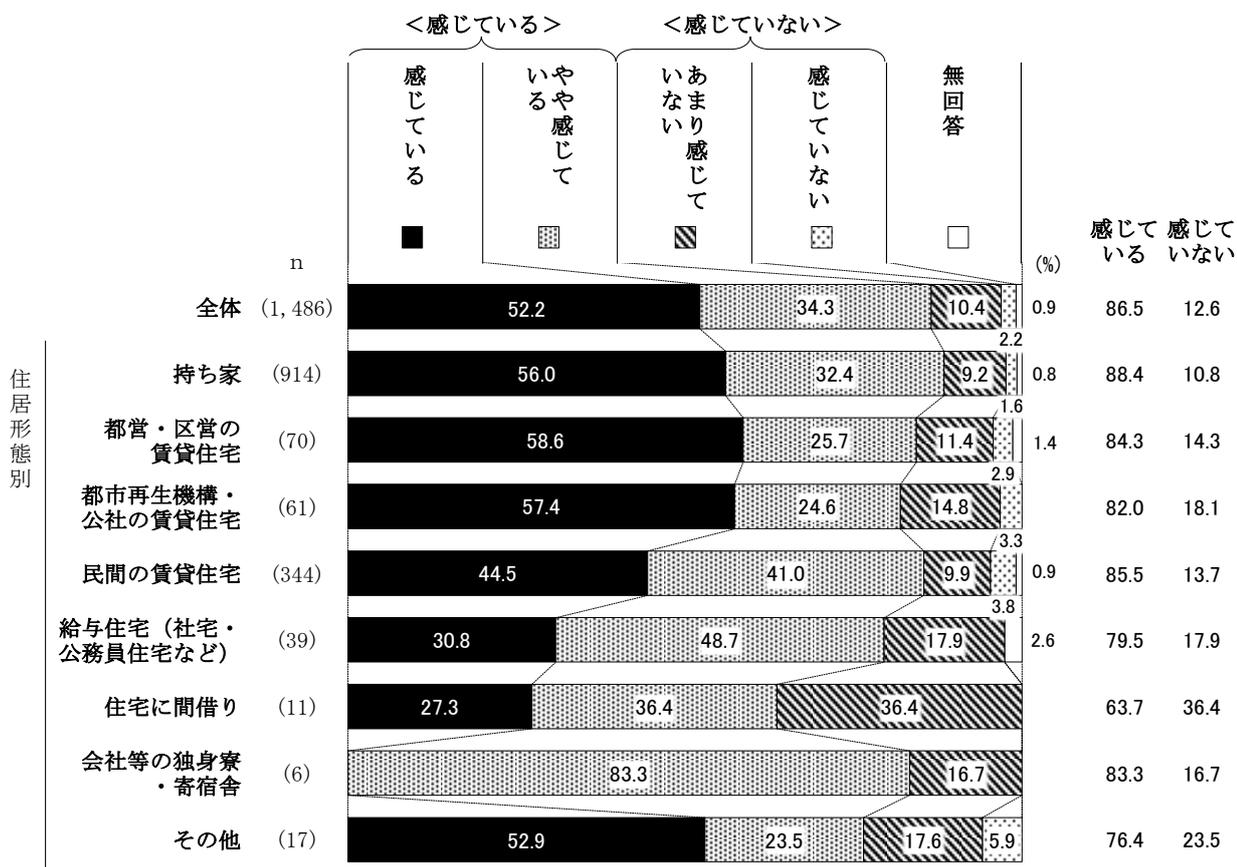
＜図表1-14＞ 区への親近感や愛着／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、＜親近感や愛着を感じる＞は、“持ち家”（88.4%）で9割弱と最も高くなっている。（図表1-15）

＜図表1-15＞ 区への親近感や愛着／住居形態別



※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

2. 江戸川区の現況について

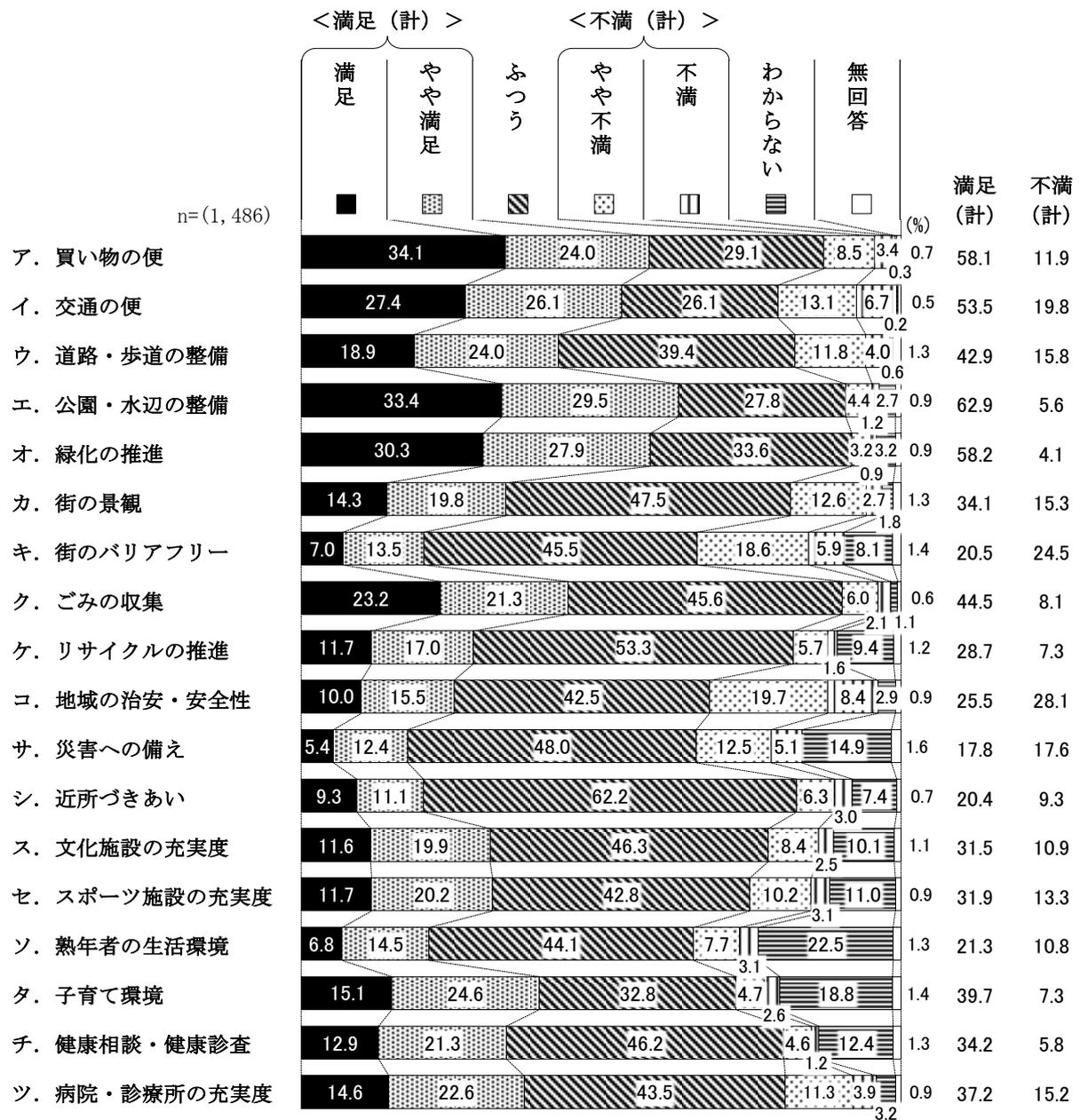
(1) 各項目の満足度

◇【公園・水辺の整備】の〈満足（計）〉が6割を超える

問4 あなたは、ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つつ)

<図表2-1> 各項目の満足度



Ⅲ 結果と分析 2. 江戸川区の現況について

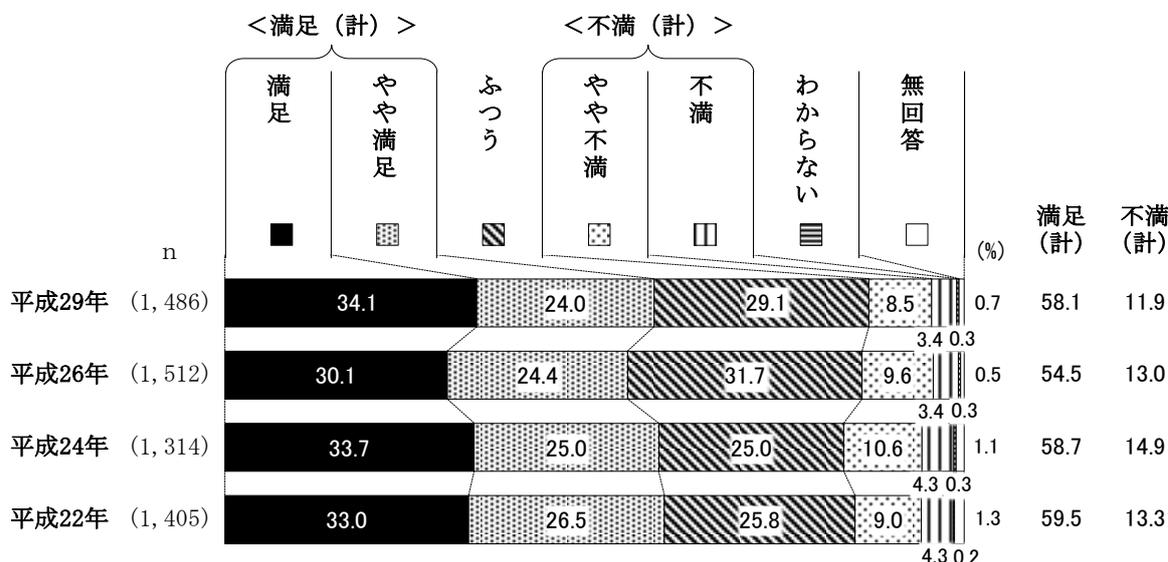
江戸川区の18項目の現況の満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足(計)>は、【公園・水辺の整備】(62.9%)で6割を超えて最も高く、続いて【緑化の推進】(58.2%)と【買い物の便】(58.1%)が約6割となっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満(計)>は、【地域の治安・安全性】(28.1%)が3割弱、【街のバリアフリー】(24.5%)が2割台半ばと高く、これらの項目は<不満(計)>が<満足(計)>よりも高くなっている。(図表2-1)

【ア. 買い物の便／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（54.5%）から3.6ポイント増加している。（図表2-2）

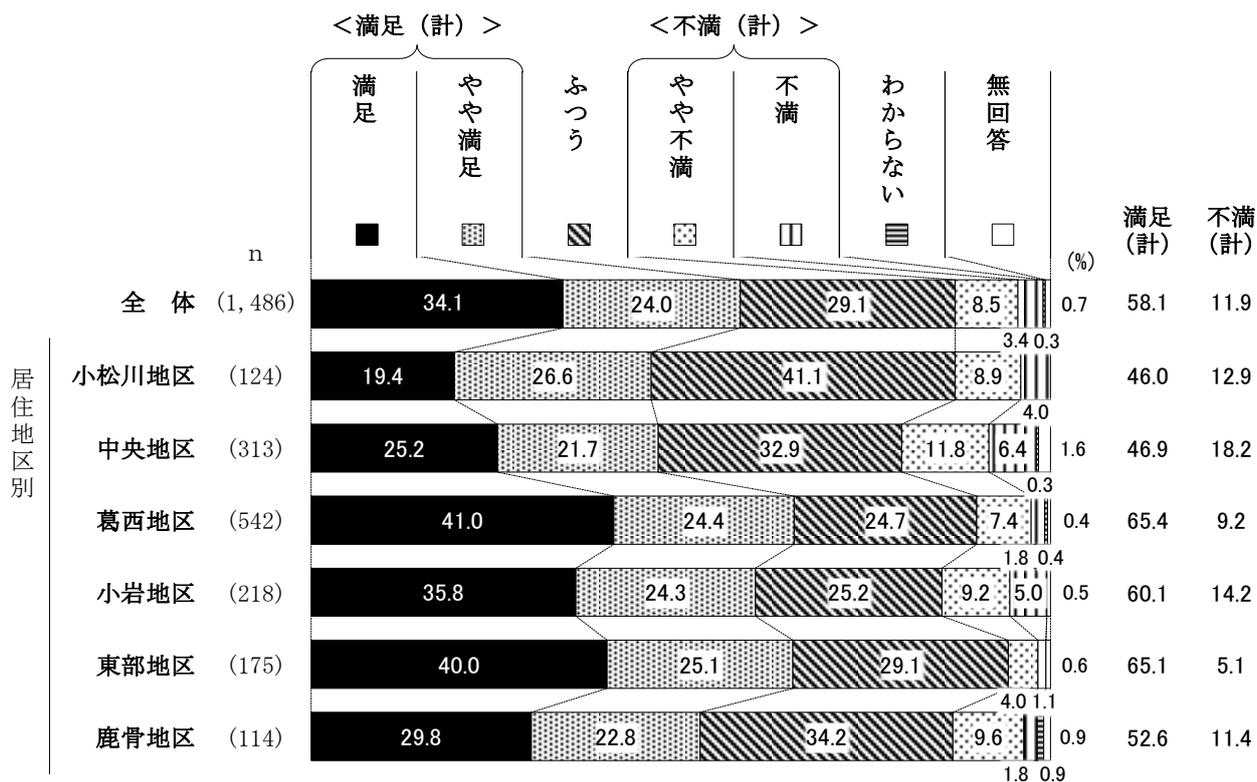
＜図表2-2＞ ア. 買い物の便／時系列比較



【ア. 買い物の便／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（65.4%）と“東部地区”（65.1%）で6割台半ばと高くなっている。一方、“小松川地区”（46.0%）で最も低くなっている。（図表2-3）

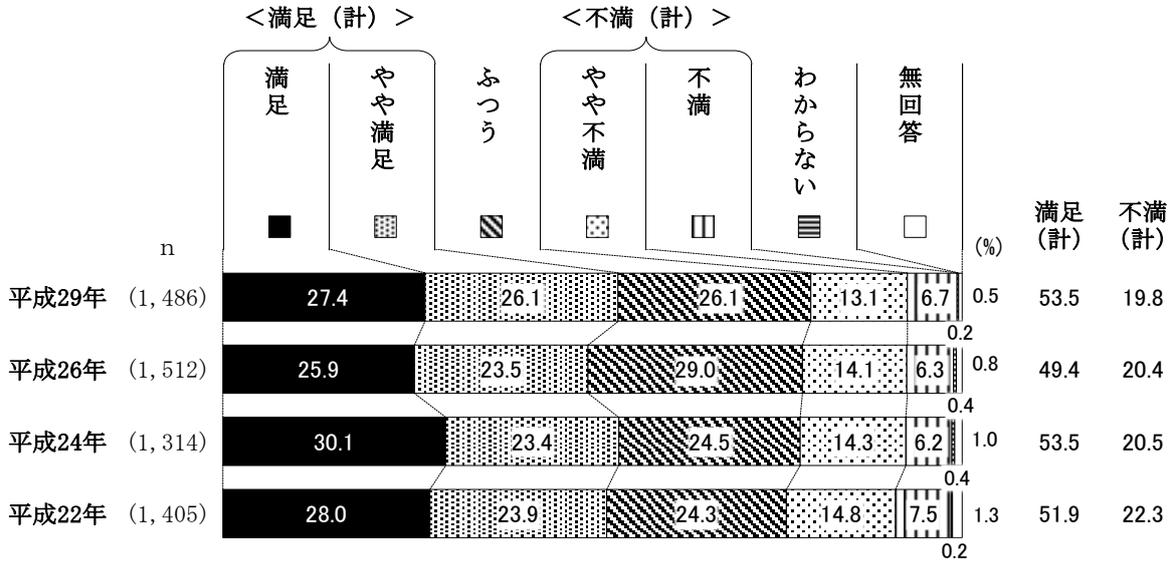
＜図表2-3＞ ア. 買い物の便／居住地区別



【イ. 交通の便／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（49.4％）から4.1ポイント増加している。（図表2-4）

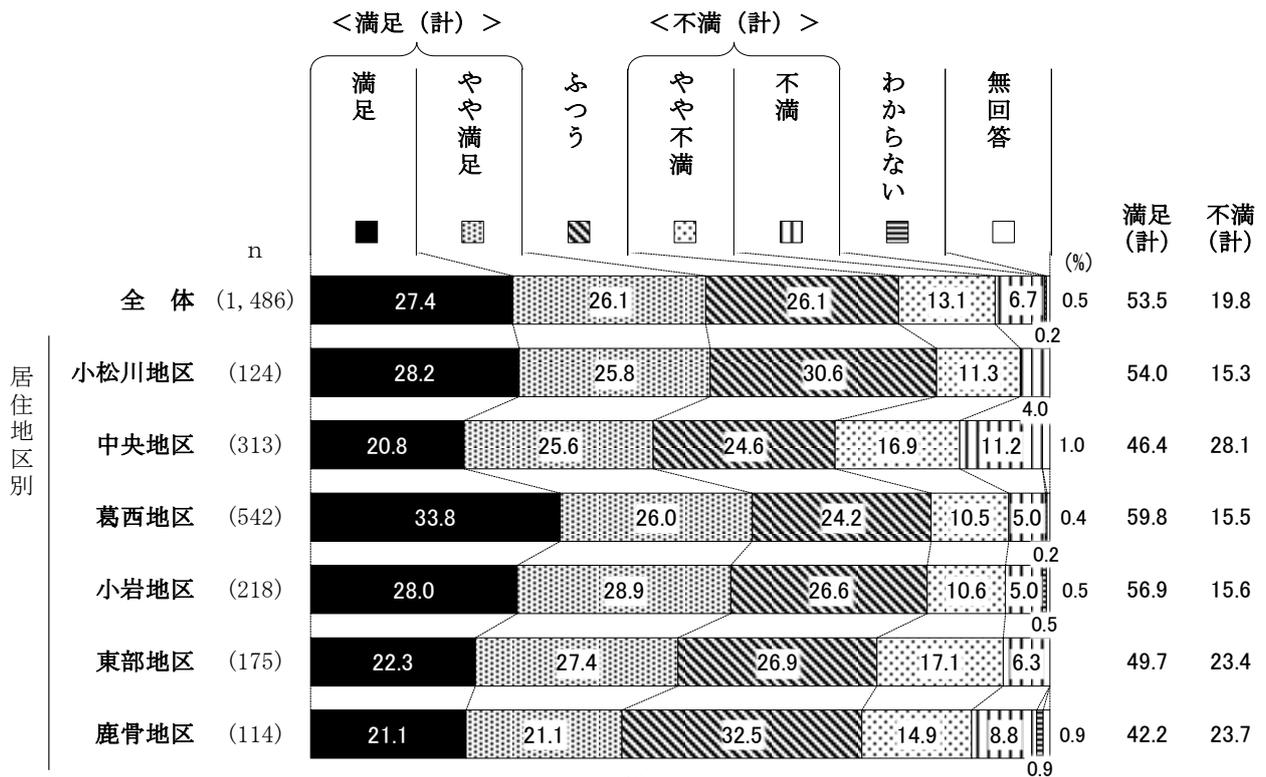
＜図表2-4＞ イ. 交通の便／時系列比較



【イ. 交通の便／居住地区別】

居住地区別にみると、交通の便は＜満足（計）＞は、“葛西地区”（59.8％）で6割弱と高く、“小岩地区”（56.9％）と“小松川地区”（54.0％）で5割台半ばとなっている。一方、“鹿骨地区”（42.2％）で最も低くなっている。（図表2-5）

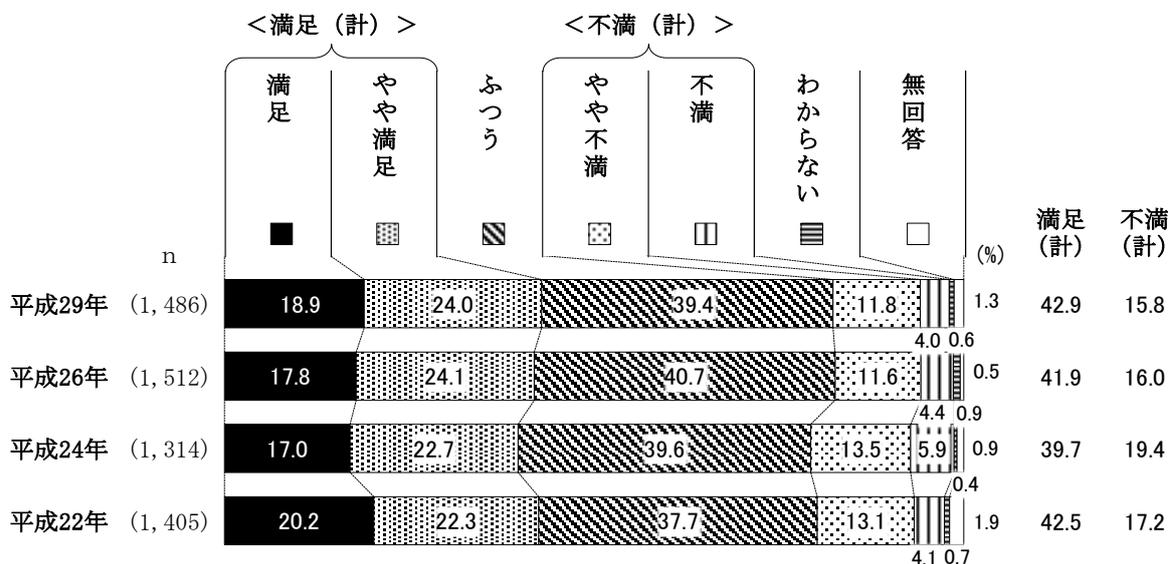
＜図表2-5＞ イ. 交通の便／居住地区別



【ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（41.9%）から1.0ポイント増加している。（図表2-6）

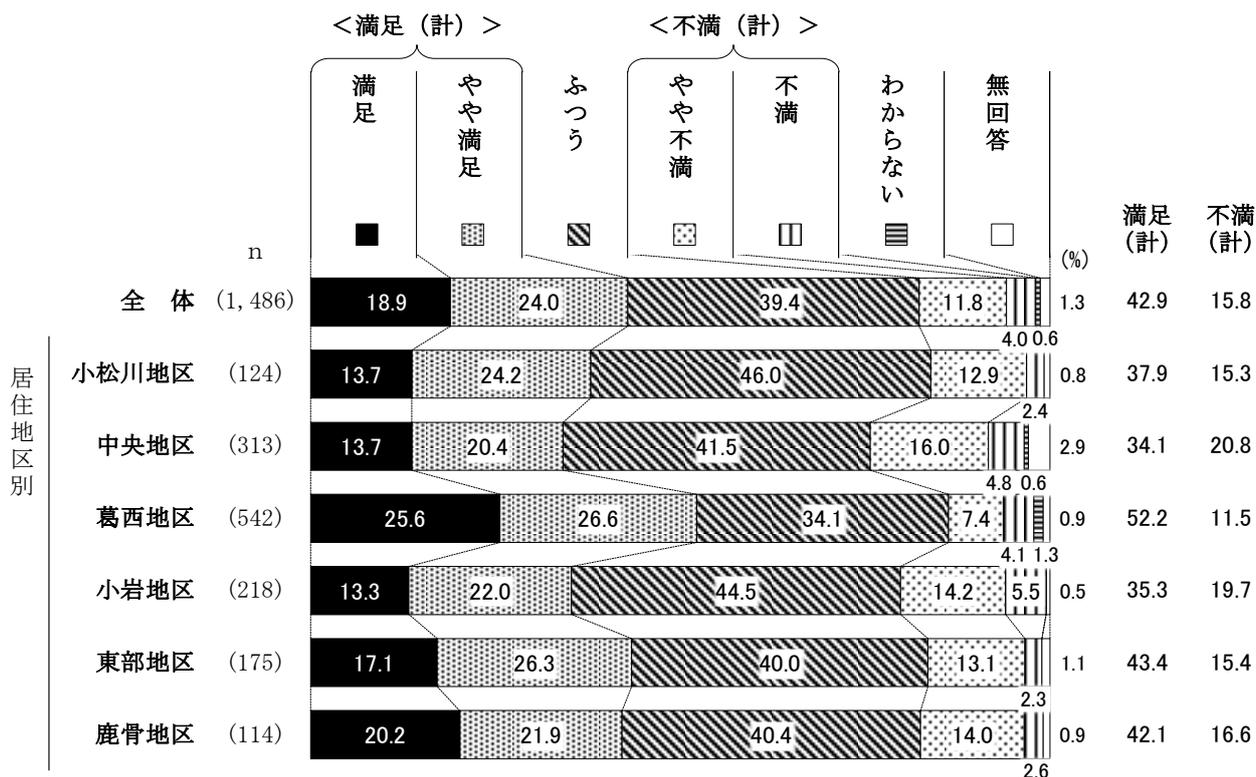
＜図表2-6＞ ウ. 道路・歩道の整備／時系列比較



【ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（52.2%）で5割を超えて高くなっている。一方、“中央地区”（34.1%）と“小岩地区”（35.3%）では低くなっている。（図表2-7）

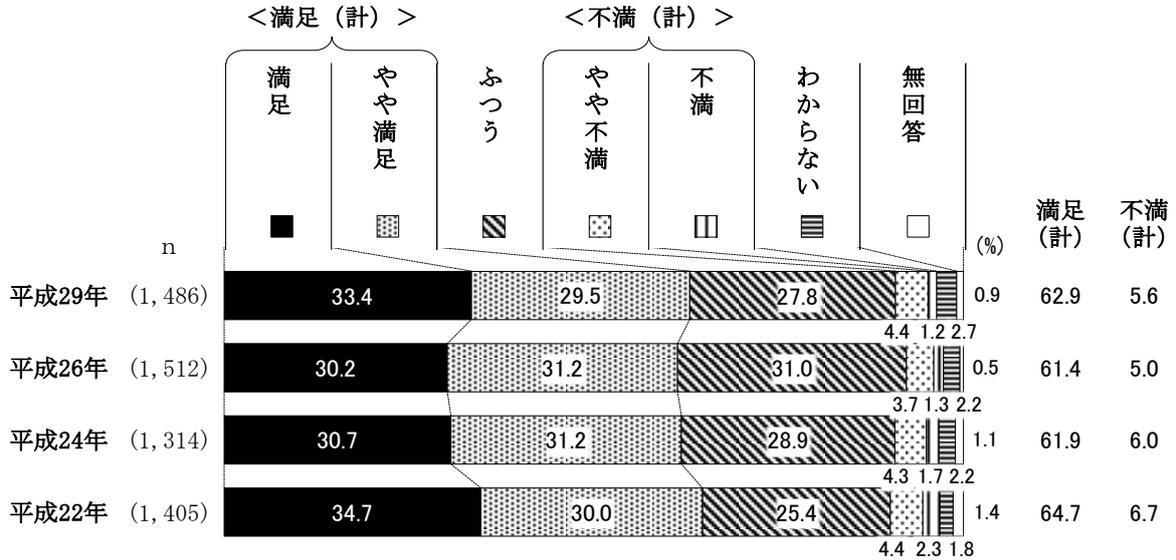
＜図表2-7＞ ウ. 道路・歩道の整備／居住地区別



【エ. 公園・水辺の整備／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成22年（64.7%）から平成26年（61.4%）は減少したが、平成29年（62.9%）は1.5ポイント増加している。（図表2-8）

＜図表2-8＞ エ. 公園・水辺の整備／時系列比較

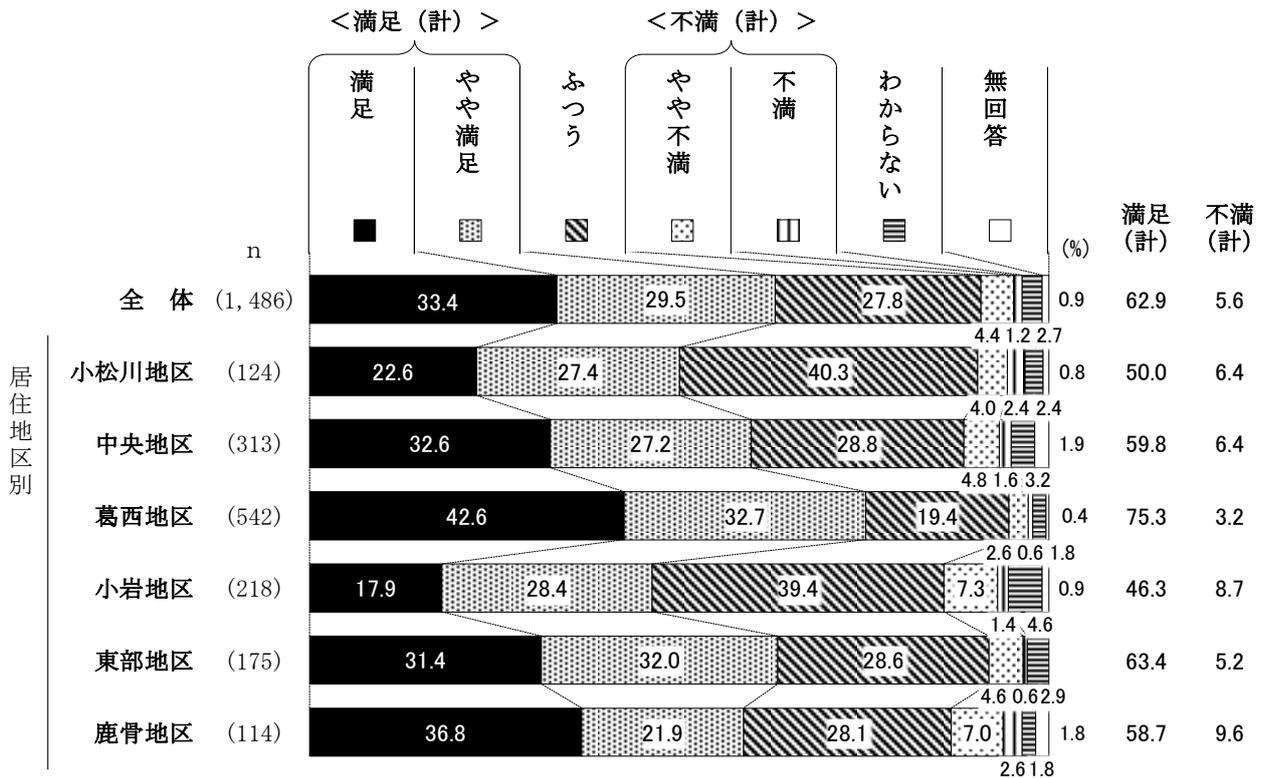


【エ. 公園・水辺の整備／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（75.3%）で7割台半ばと最も高く、続いて“東部地区”（63.4%）で6割強となっている。一方、“小岩地区”（46.3%）で最も低くなっている。

（図表2-9）

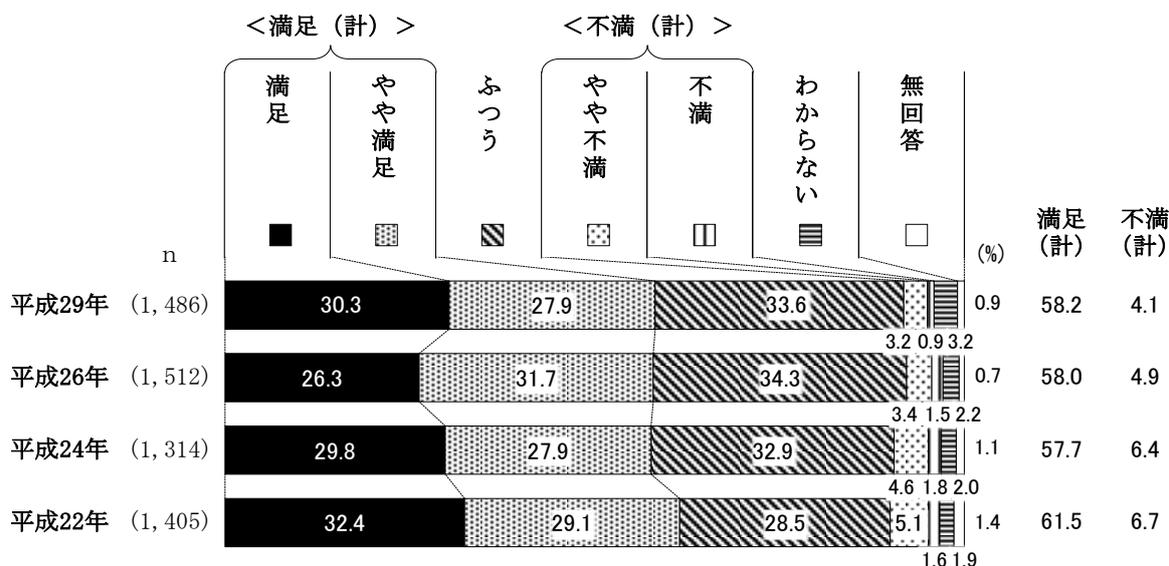
＜図表2-9＞ エ. 公園・水辺の整備／居住地区別



【オ. 緑化の推進／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成22年（61.5%）から平成24年（57.7%）は減少したものの、平成26年（58.0%）、平成29年（58.2%）はほぼ変化していない。
（図表2-10）

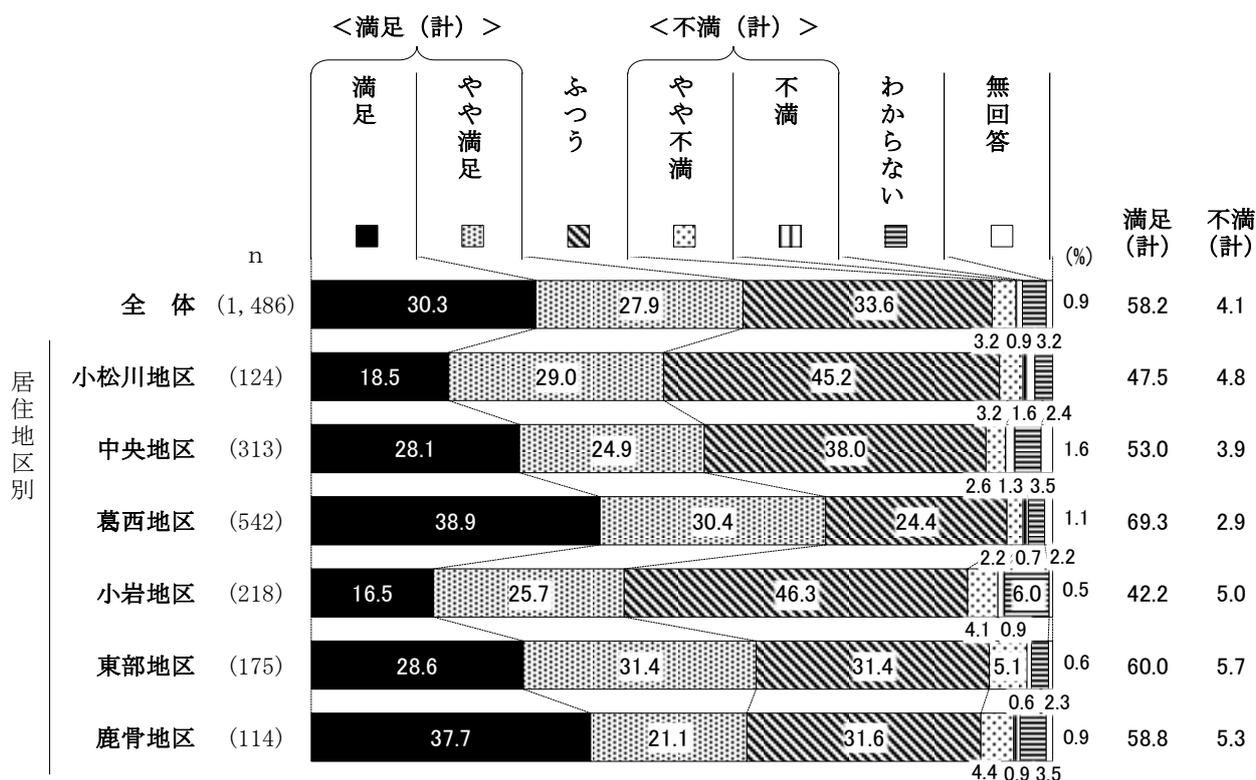
＜図表2-10＞ オ. 緑化の推進／時系列比較



【オ. 緑化の推進／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（69.3%）で約7割と最も高くなっている。一方、“小岩地区”（42.2%）で最も低くなっている。（図表2-11）

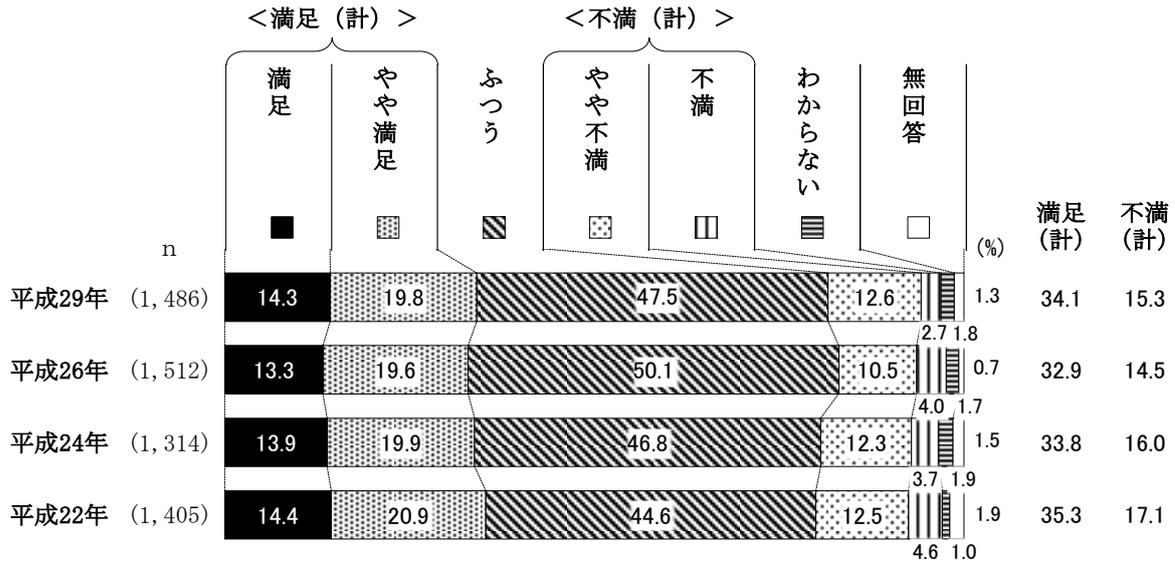
＜図表2-11＞ オ. 緑化の推進／居住地区別



【カ. 街の景観／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成22年（35.3%）から平成24年（33.8%）、平成26年（32.9%）と減少したものの、平成29年（34.1%）には増加している。
 （図表2-12）

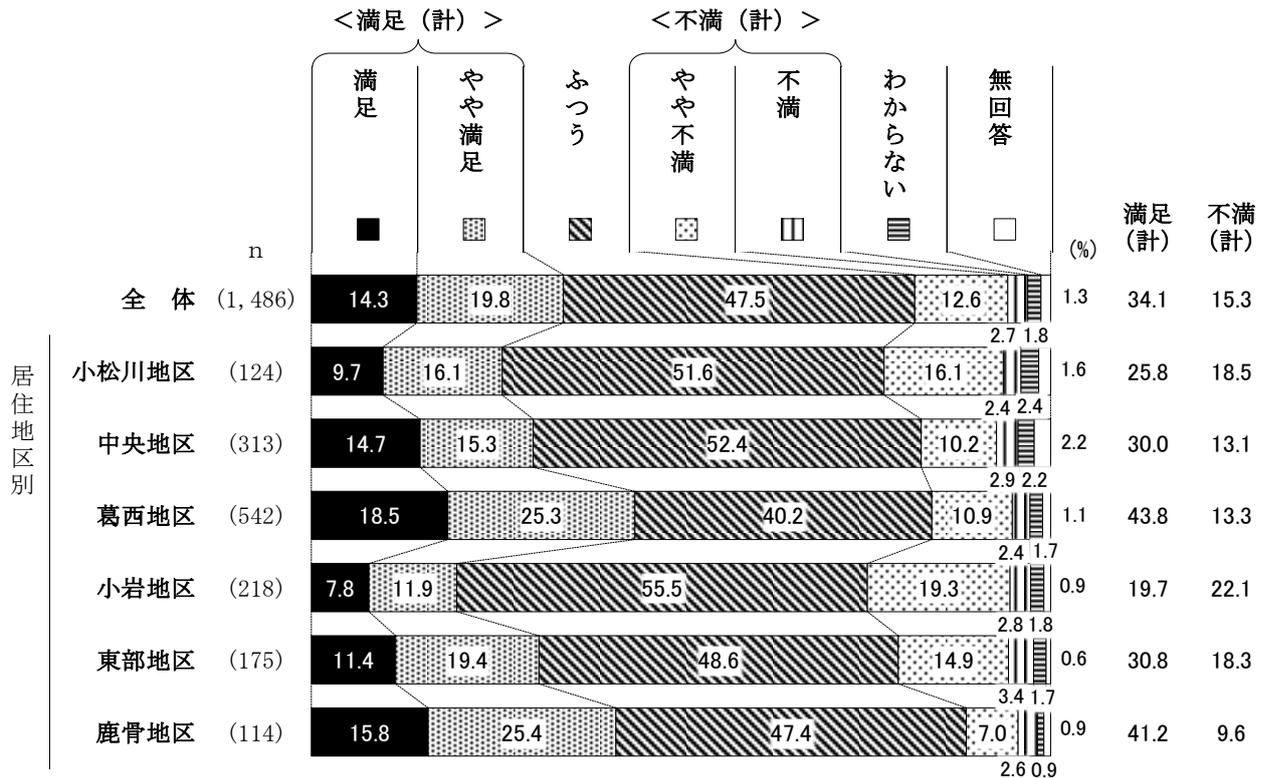
＜図表2-12＞ カ. 街の景観／時系列比較



【カ. 街の景観／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（43.8%）で4割を超えて最も高くなっている。一方、“小岩地区”（19.7%）で最も低くなっている。（図表2-13）

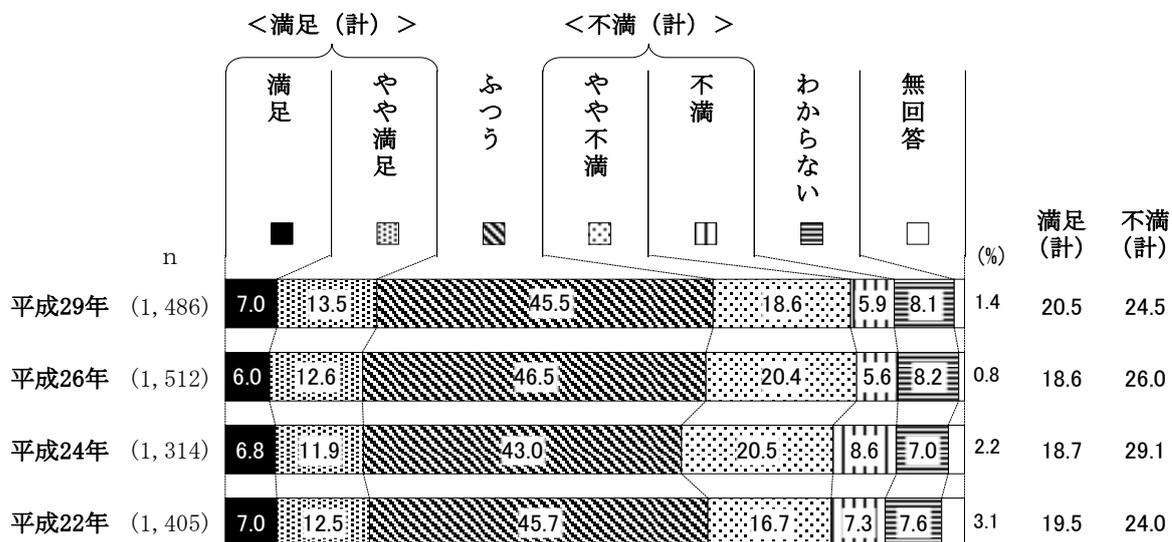
＜図表2-13＞ カ. 街の景観／居住地区別



【キ. 街のバリアフリー／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成26年（18.6%）から平成29年（20.5%）と増加している。（図表2-14）

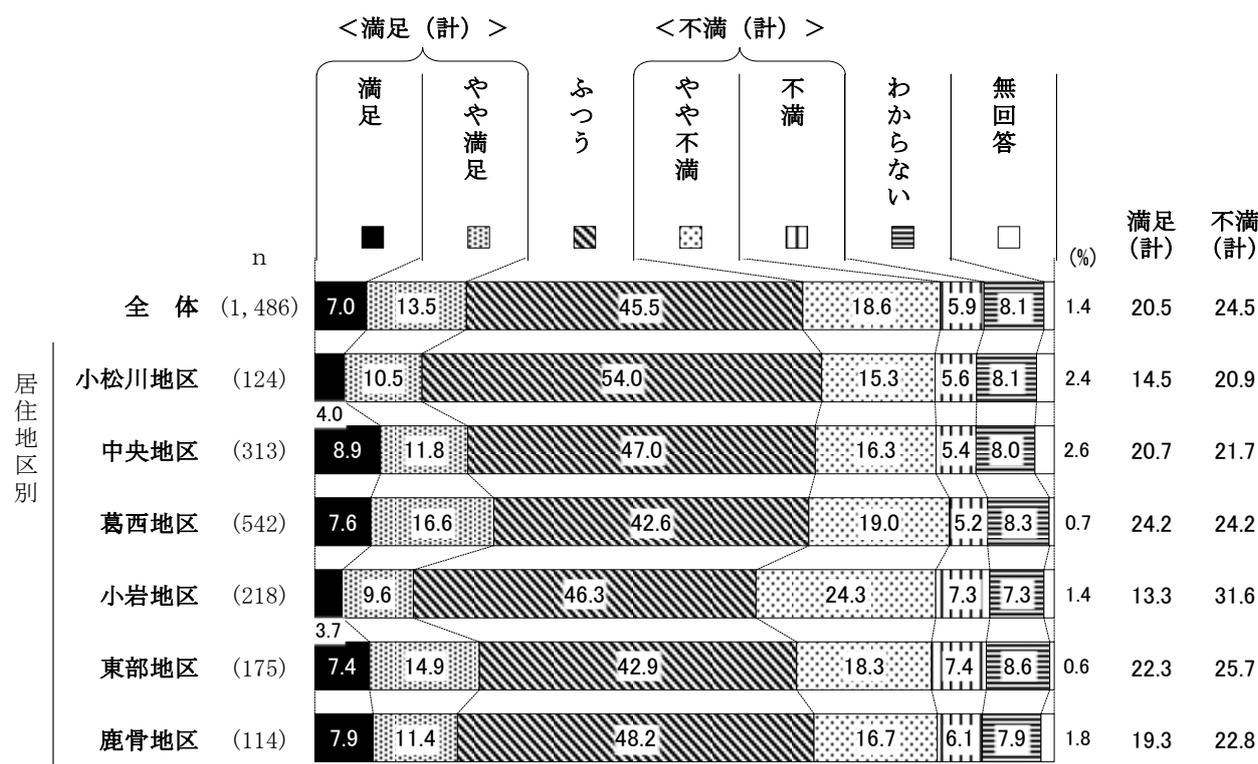
＜図表2-14＞ キ. 街のバリアフリー／時系列比較



【キ. 街のバリアフリー／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（24.2%）で2割台半ばと最も高く、“東部地区”（22.3%）、“中央地区”（20.7%）でも2割を超えて高くなっている。（図表2-15）

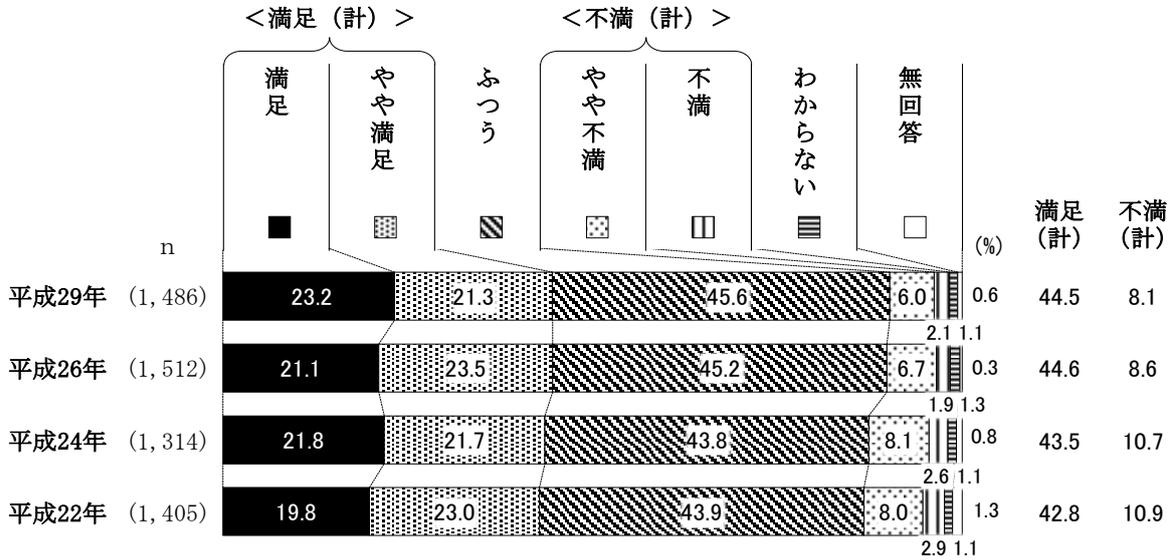
＜図表2-15＞ キ. 街のバリアフリー／居住地区別



【ク. ごみの収集／時系列比較】

平成 22 年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は微増傾向にあったが、前回の平成 26 年（44.6%）と平成 29 年（44.5%）はほぼ変化していない。（図表 2-16）

＜図表 2-16＞ ク. ごみの収集／時系列比較

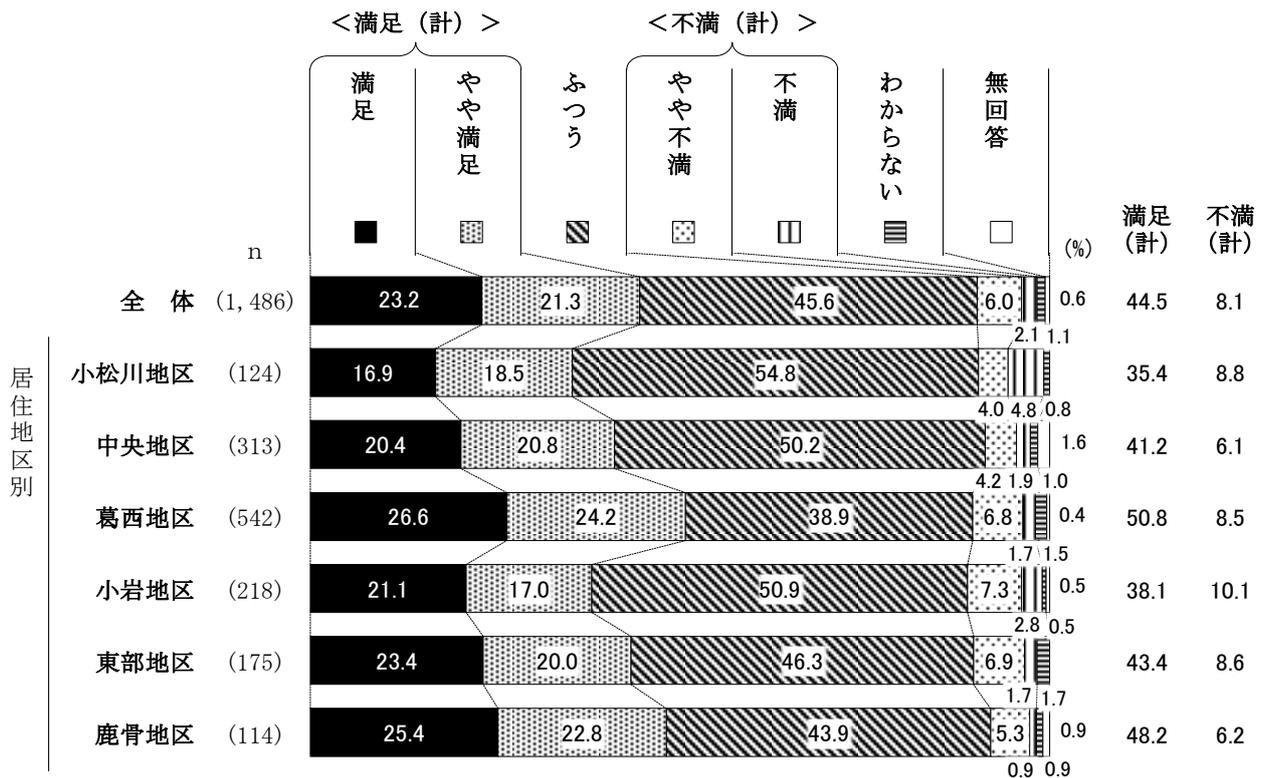


【ク. ごみの収集／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（50.8%）で約5割で最も高く、続いて“鹿骨地区”（48.2%）が5割弱となっている。一方、“小松川地区”（35.4%）で最も低くなっている。

（図表 2-17）

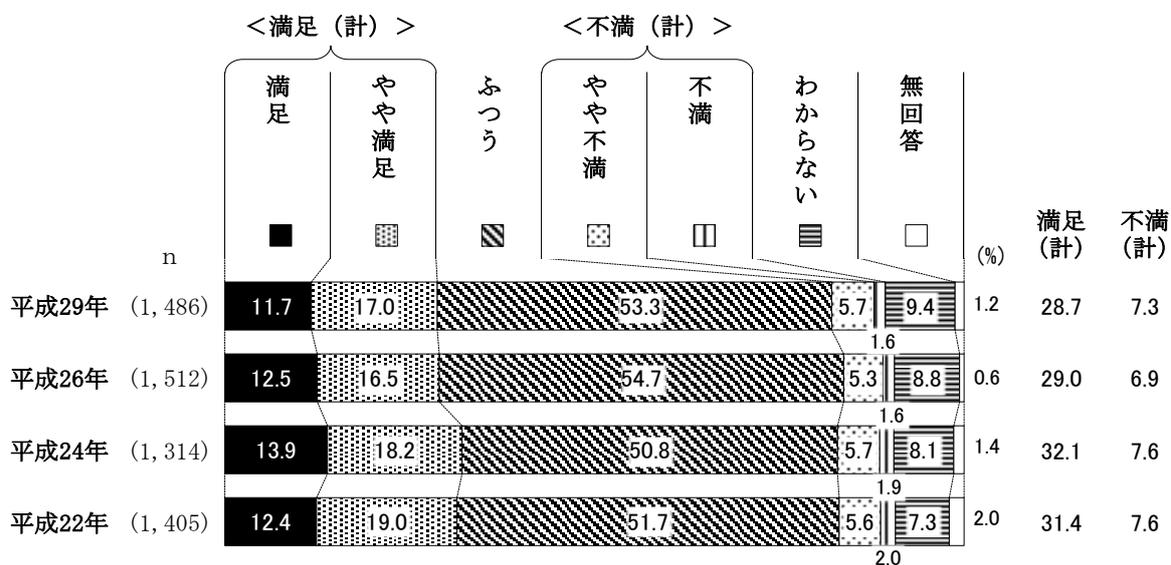
＜図表 2-17＞ ク. ごみの収集／居住地区別



【ケ. リサイクルの推進／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（29.0%）とほぼ変化していない。（図表2-18）

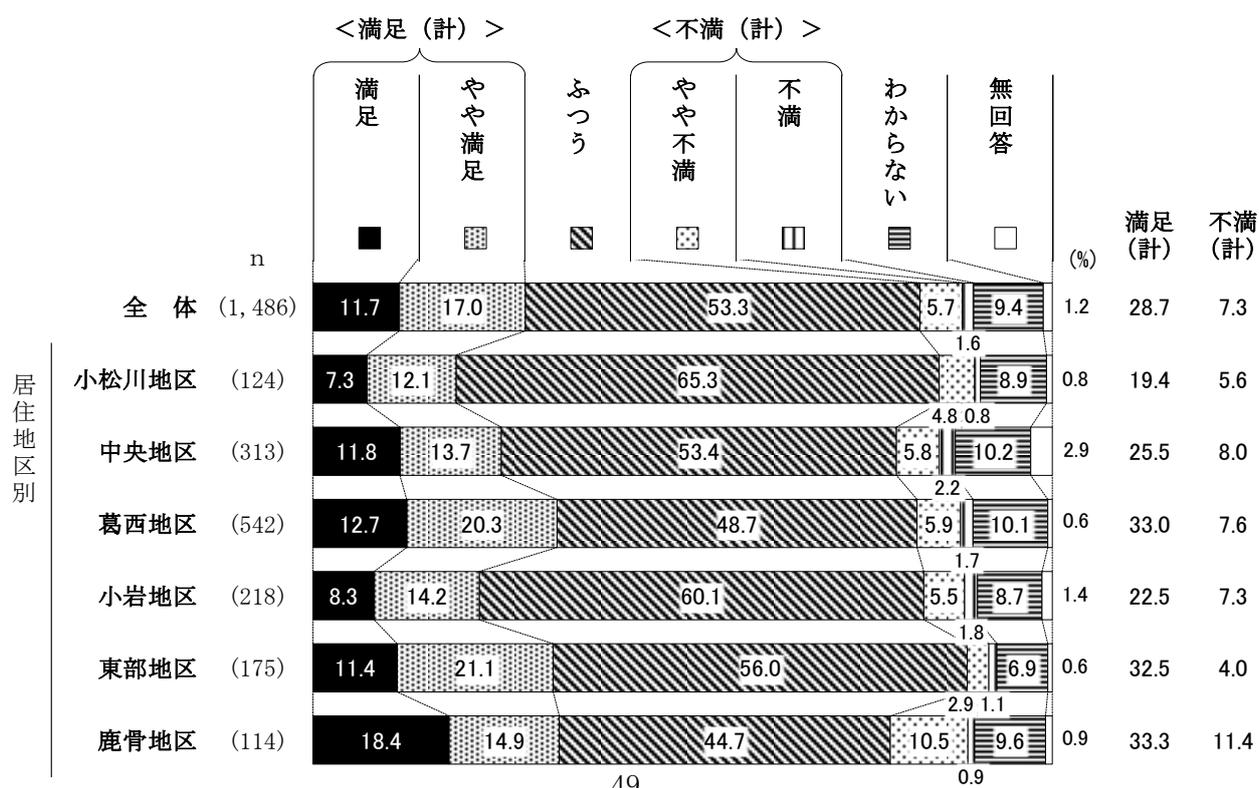
＜図表2-18＞ ケ. リサイクルの推進／時系列比較



【ケ. リサイクルの推進／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（33.3%）、“葛西地区”（33.0%）、“東部地区”（32.5%）で3割を超えて高くなっている。一方、“小松川地区”（19.4%）で最も低くなっている。（図表2-19）

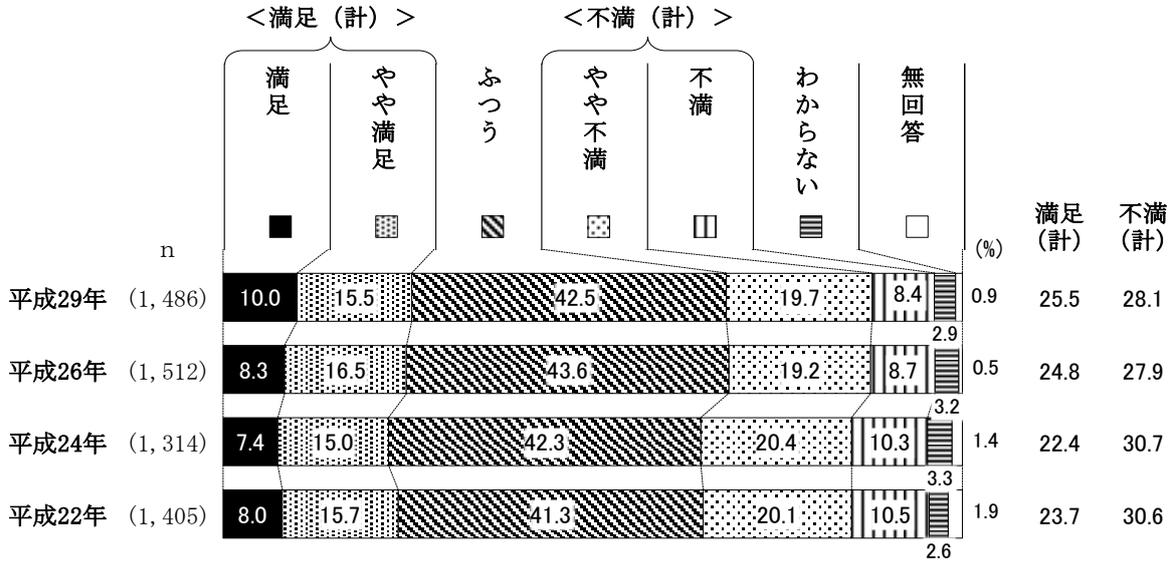
＜図表2-19＞ ケ. リサイクルの推進／居住地区別



【コ. 地域の治安・安全性／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（24.8%）からほぼ変化していない。（図表2-20）

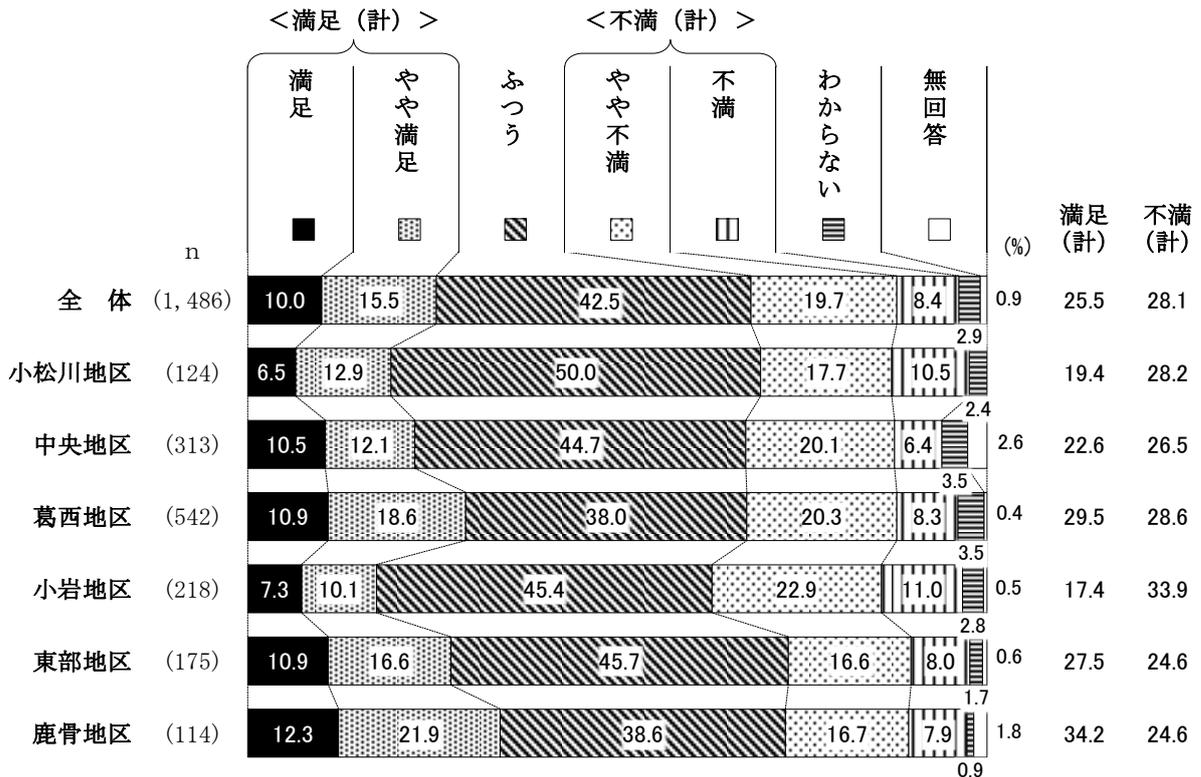
＜図表2-20＞ コ. 地域の治安・安全性／時系列比較



【コ. 地域の治安・安全性／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（34.2%）で3割台半ばとなっている。一方、“小岩地区”（17.4%）で最も低くなっている。（図表2-21）

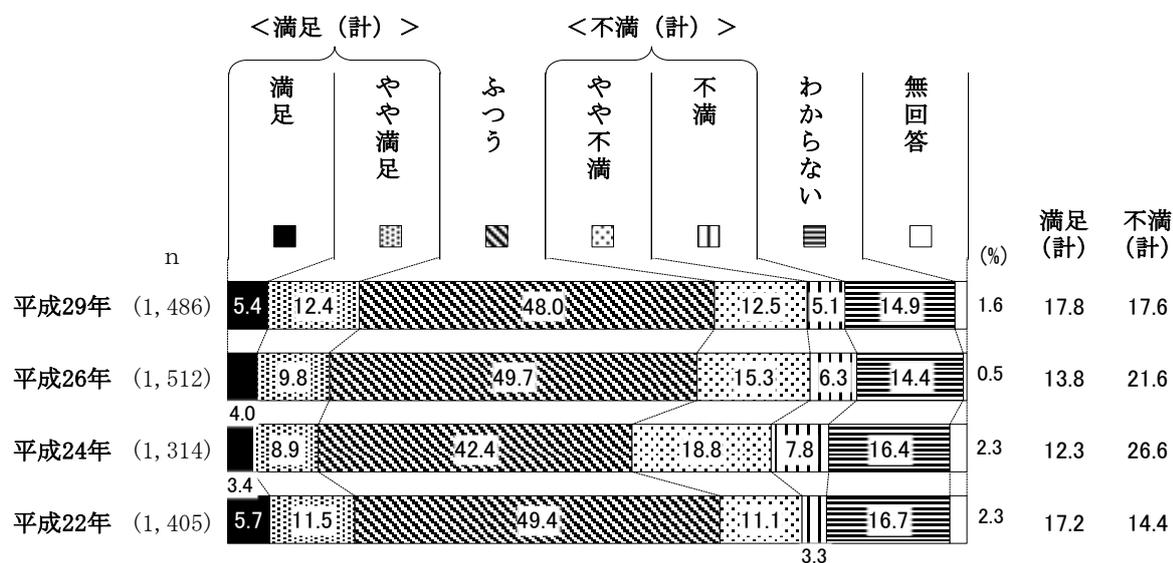
＜図表2-21＞ コ. 地域の治安・安全性／居住地区別



【サ. 災害への備え／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（13.8%）より4.0ポイント増加している。（図表2-22）

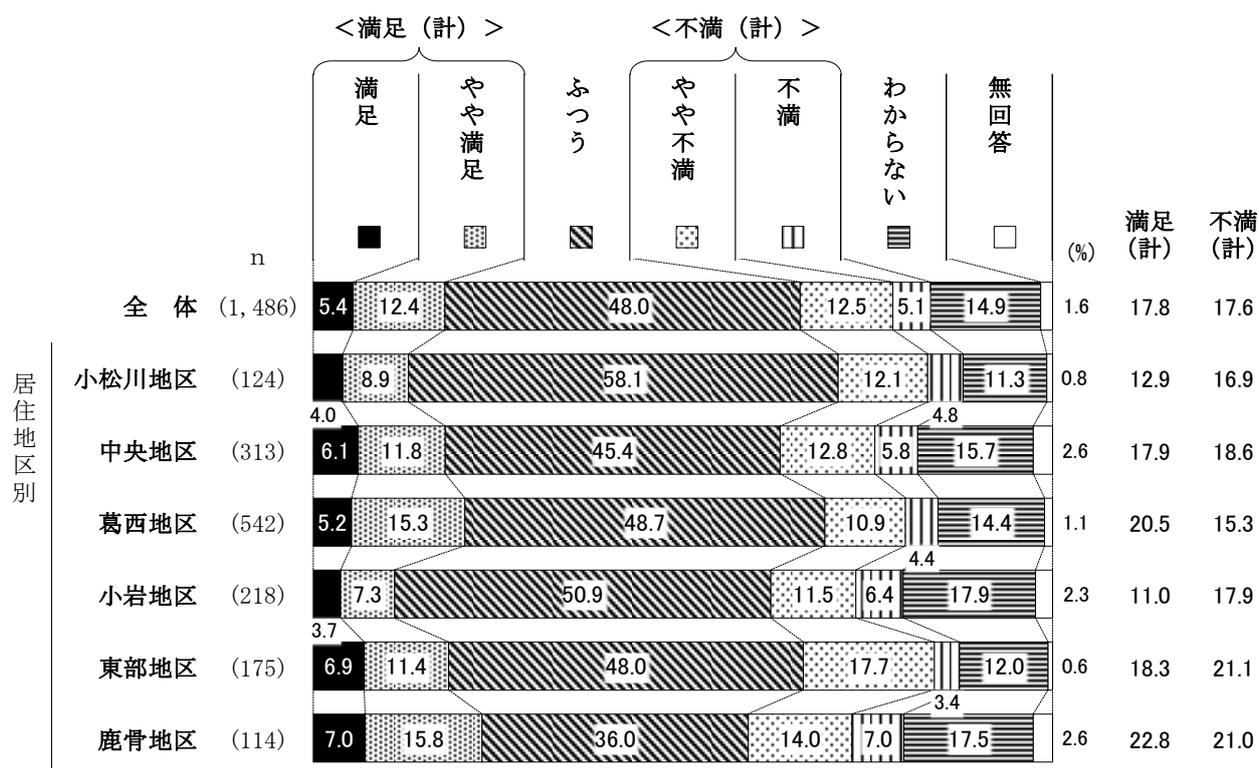
＜図表2-22＞ サ. 災害への備え／時系列比較



【サ. 災害への備え／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（22.8%）と“葛西地区”（20.5%）で2割を超えて高くなっている。一方、“小岩地区”（11.0%）で最も低くなっている。（図表2-23）

＜図表2-23＞ サ. 災害への備え／居住地区別

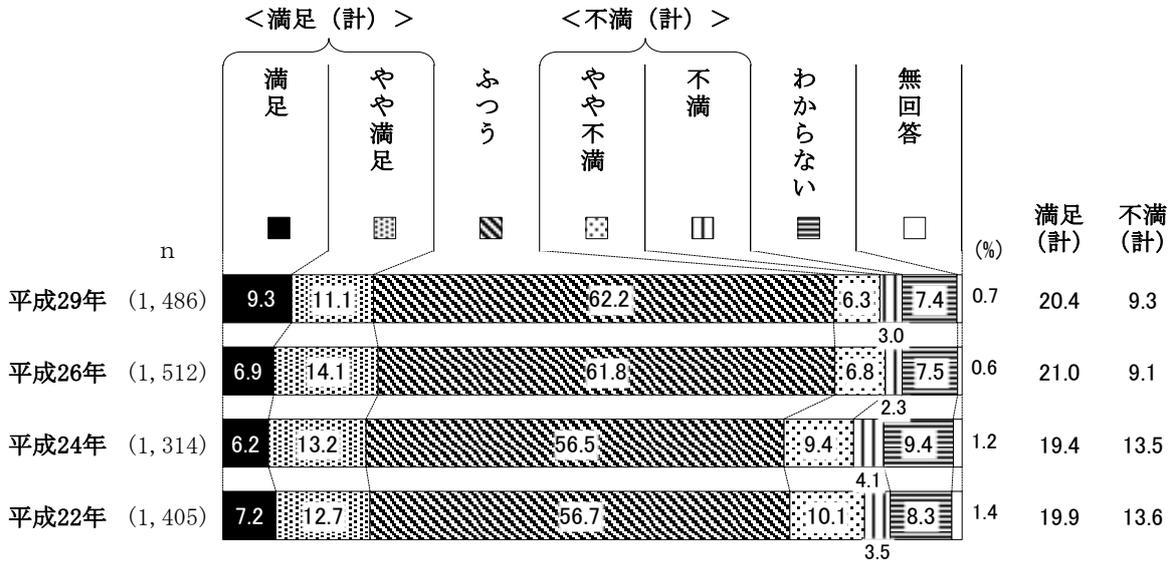


【シ. 近所づきあい／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は大きな変化はみられない。

（図表2-24）

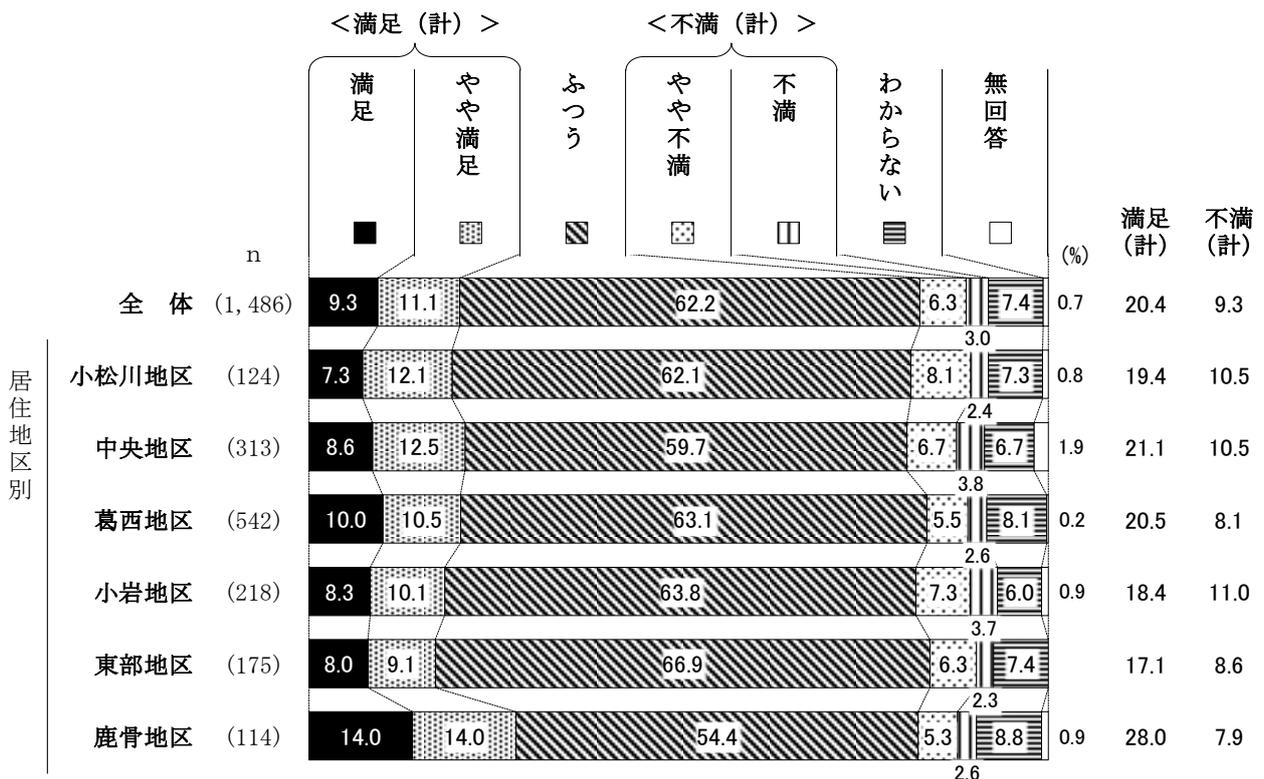
＜図表2-24＞ シ. 近所づきあい・助けあい／時系列比較



【シ. 近所づきあい／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（28.0%）で3割弱と最も高くなっている。一方、“東部地区”（17.1%）で最も低くなっている。（図表2-25）

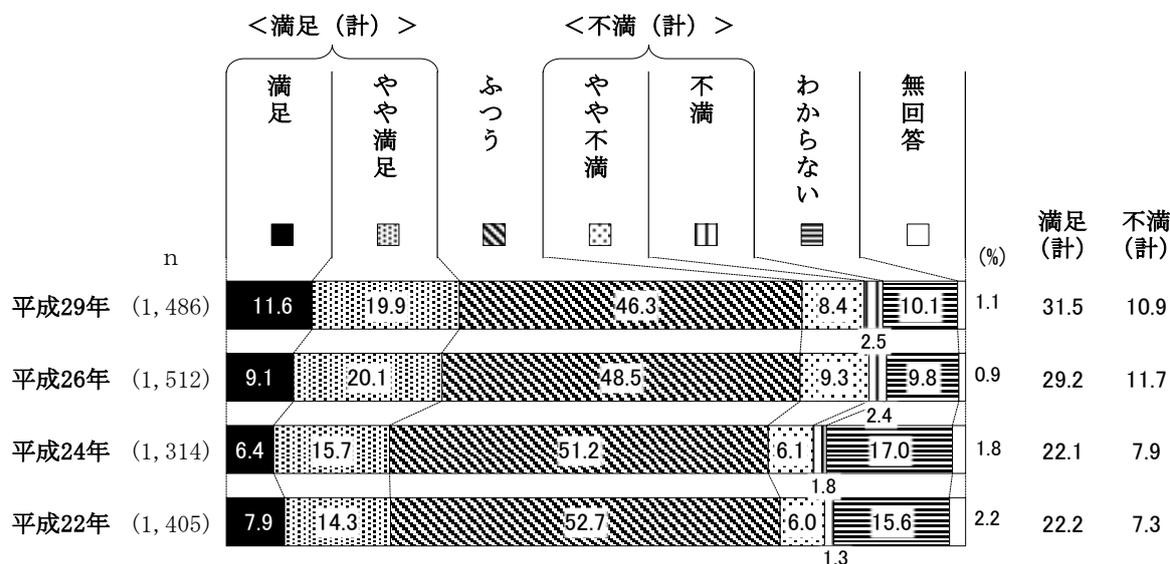
＜図表2-25＞ シ. 近所づきあい／居住地区別



【ス. 文化施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“文化活動の充実度”

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成26年（29.2%）より2.3ポイント増加している。（図表2-26）

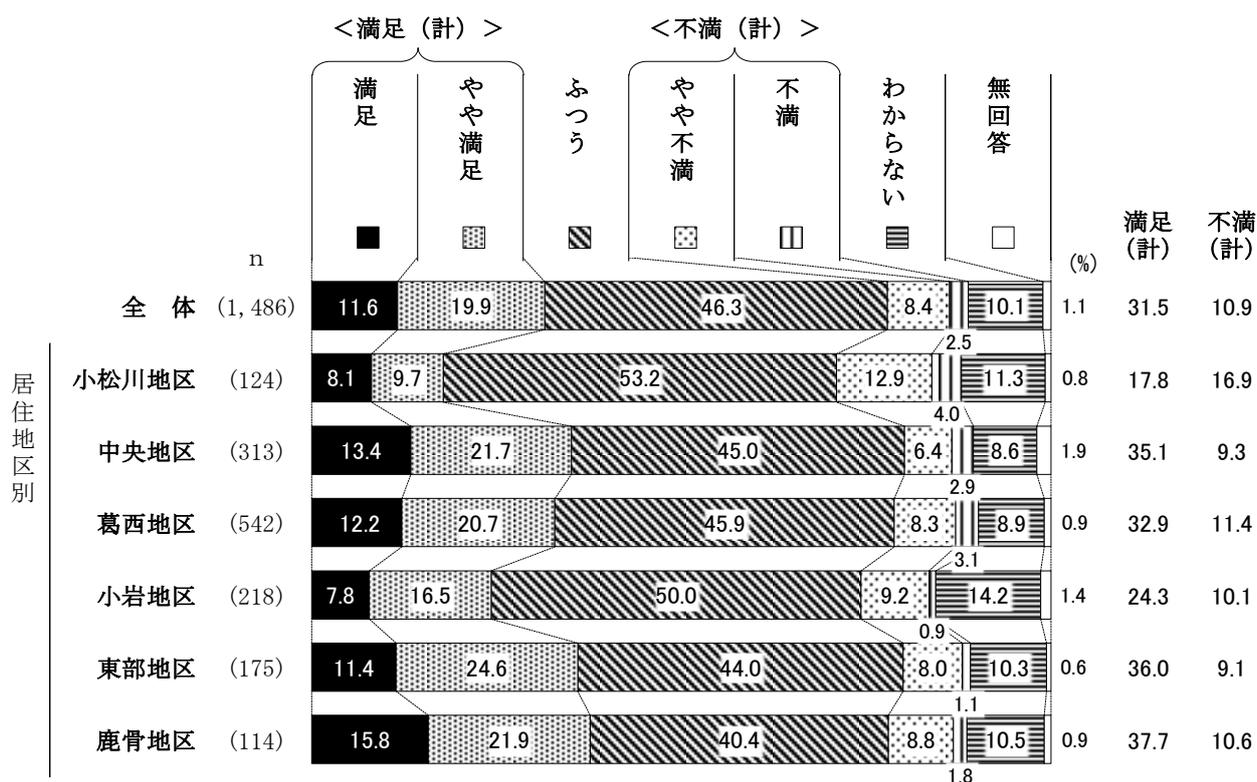
＜図表2-26＞ ス. 文化施設の充実度／時系列比較



【ス. 文化施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（37.7%）で4割弱と最も高くなっている。一方、“小松川地区”（17.8%）で最も低くなっている。（図表2-27）

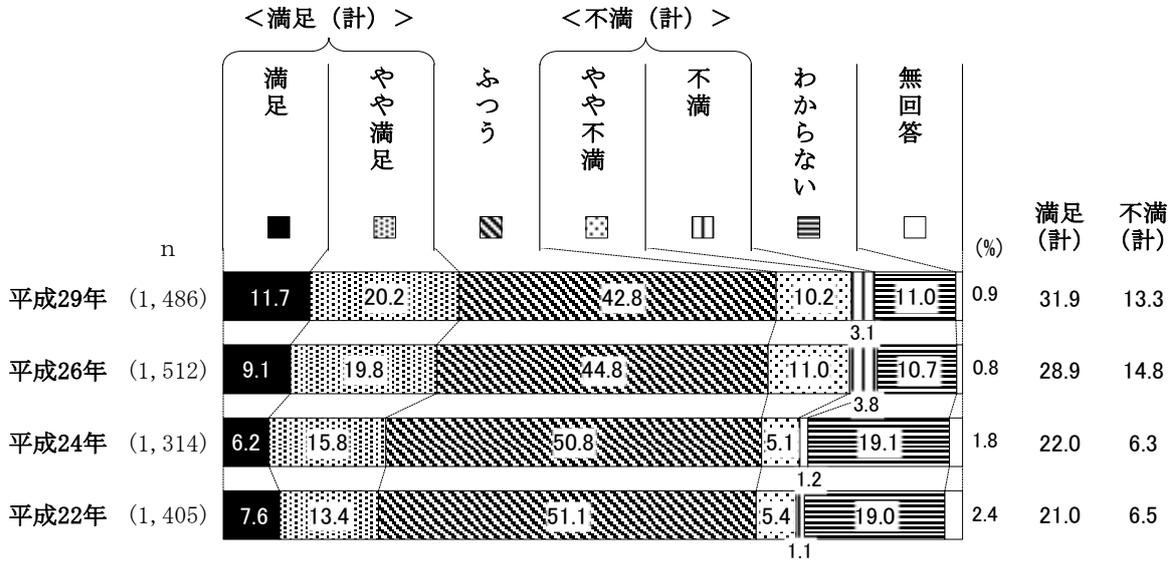
＜図表2-27＞ ス. 文化施設の充実度／居住地区別



【セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“スポーツ活動の充実度”

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は平成26年（28.9%）より3.0ポイント増加している。（図表2-28）

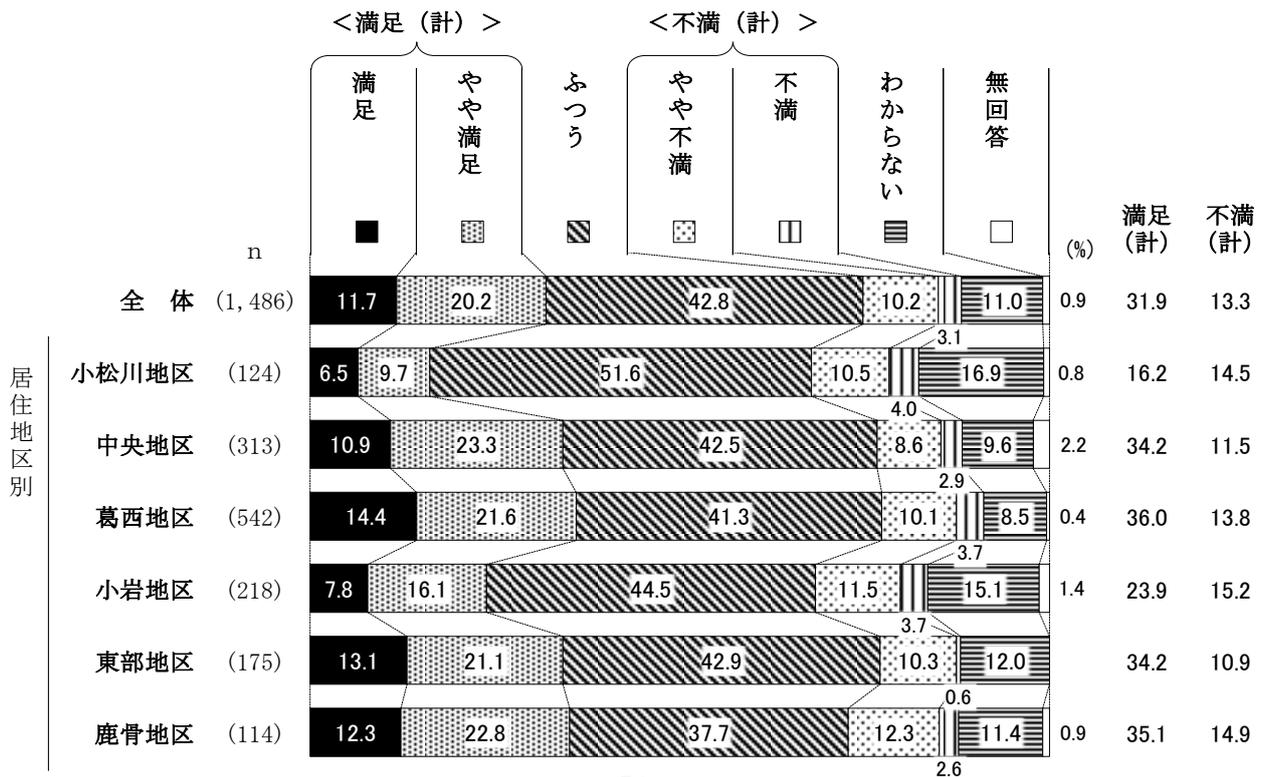
＜図表2-28＞ セ. スポーツ施設の充実度／時系列比較



【セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（36.0%）、“鹿骨地区”（35.1%）、“中央地区”（34.2%）、“東部地区”（34.2%）が3割台半ばと高くなっている。一方、“小松川地区”（16.2%）で最も低くなっている。（図表2-29）

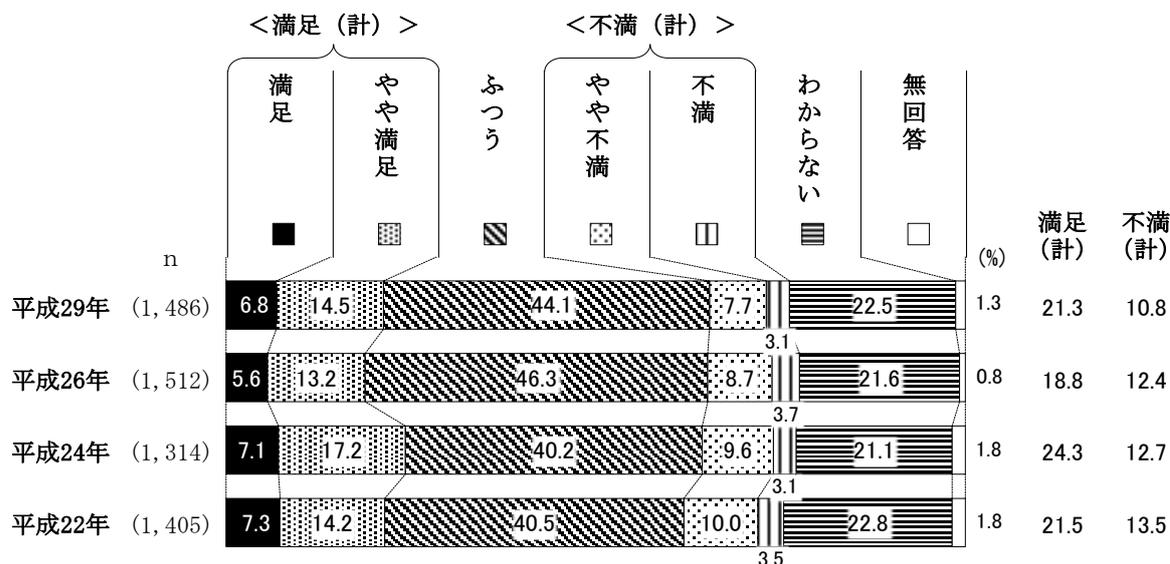
＜図表2-29＞ セ. スポーツ施設の充実度／居住地区別



【ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（18.8%）より2.5ポイント増加している。（図表2-30）

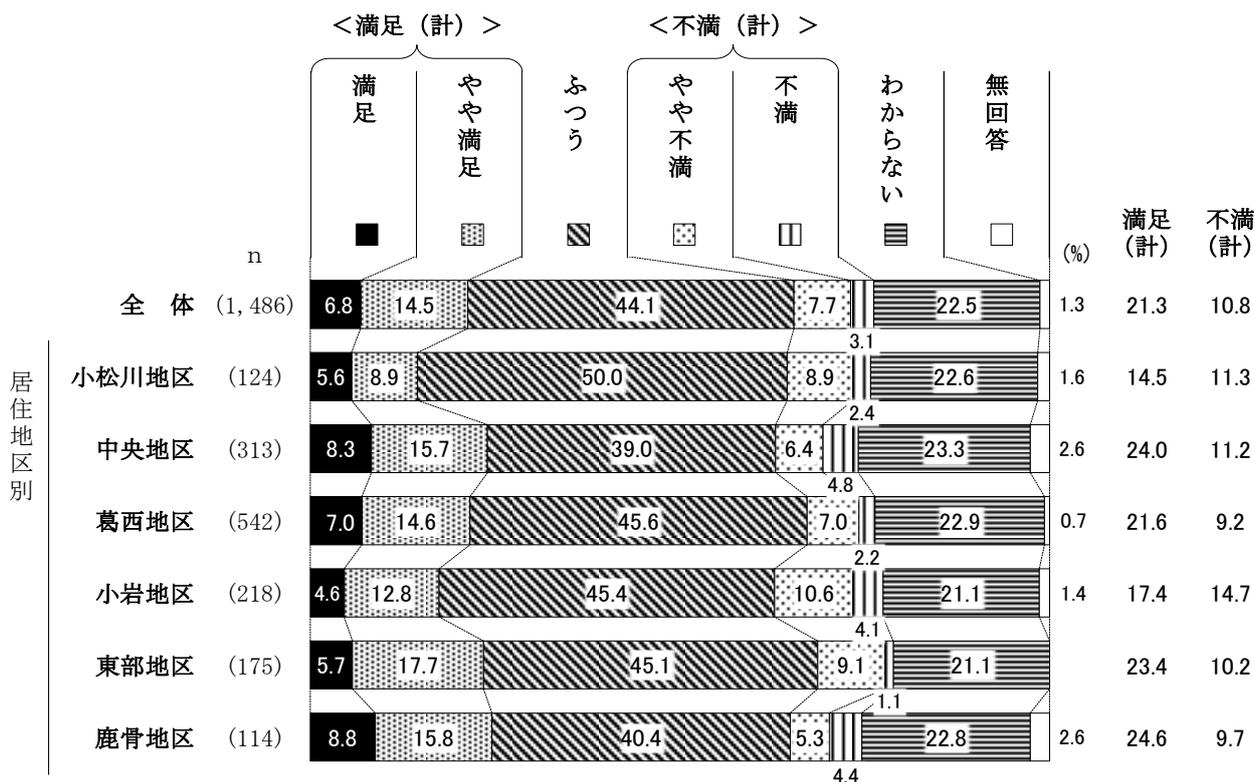
＜図表2-30＞ ソ. 熟年者の生活環境／時系列比較



【ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（24.6%）と“中央地区”（24.0%）で2割台半ばと高くなっている。一方、“小松川地区”（14.5%）で最も低くなっている。（図表2-31）

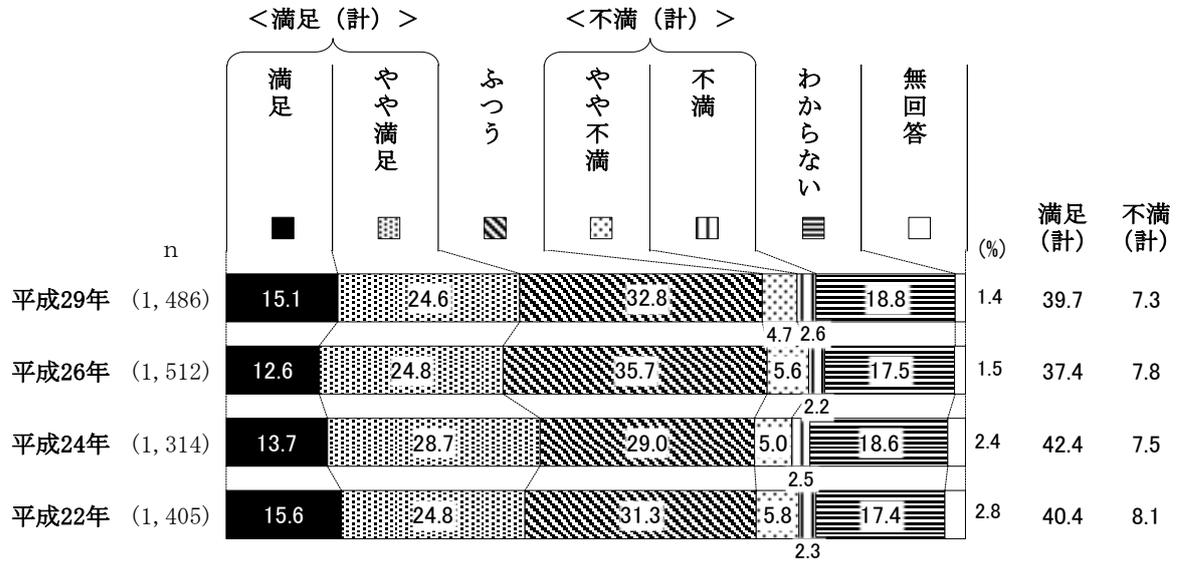
＜図表2-31＞ ソ. 熟年者の生活環境／居住地区別



【タ. 子育て環境／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（37.4%）より2.3ポイント増加している。（図表2-32）

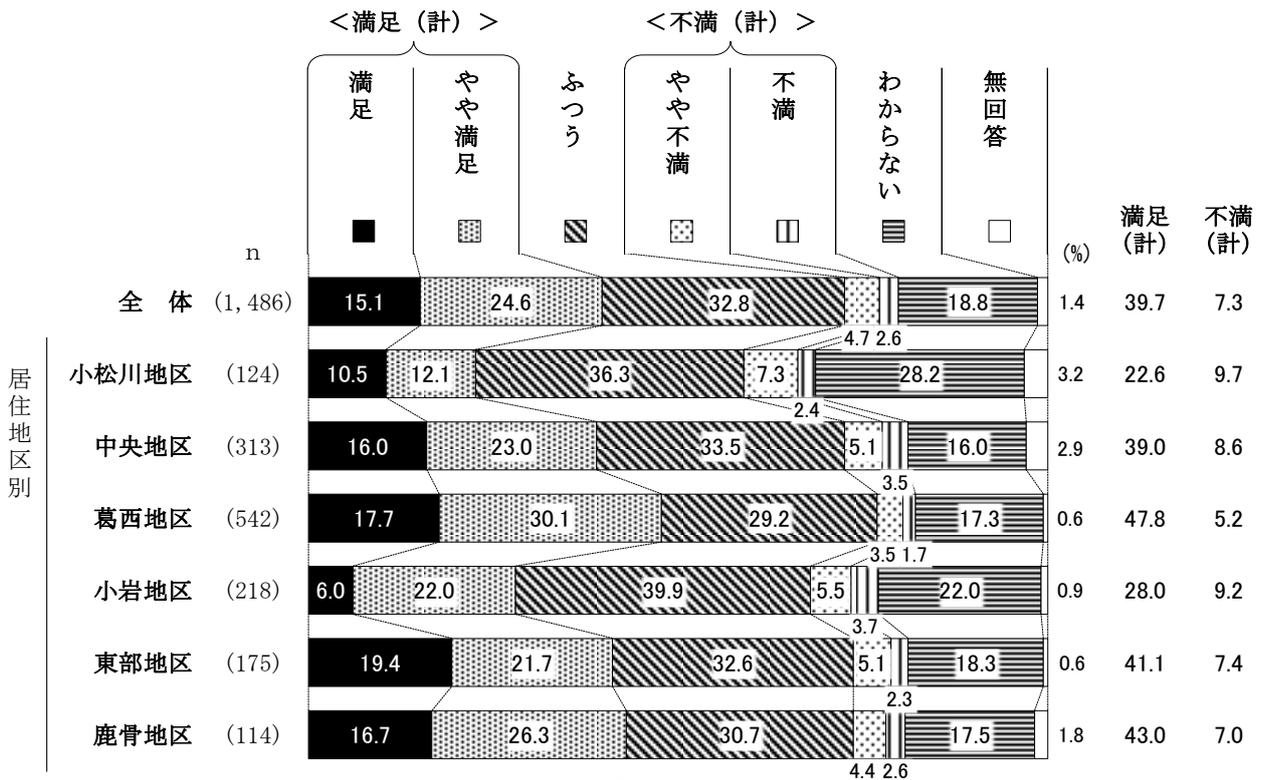
＜図表2-32＞ タ. 子育て環境／時系列比較



【タ. 子育て環境／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（47.8%）で5割弱と最も高くなっている。一方、“小松川地区”（22.6%）で最も低くなっている。（図表2-33）

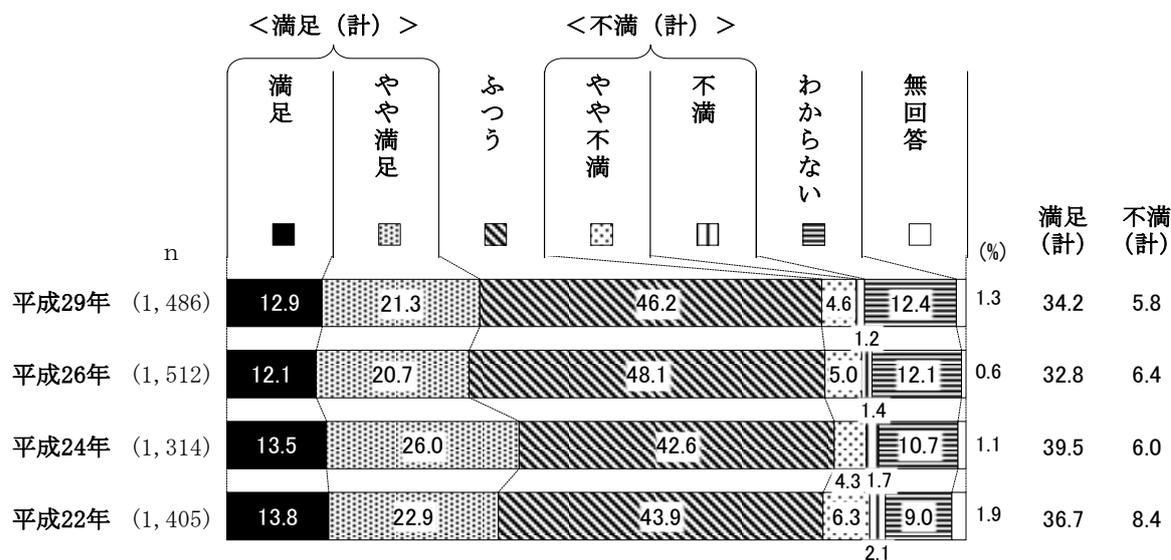
＜図表2-33＞ タ. 子育て環境／居住地区別



【チ. 健康相談・健康診査／時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（32.8%）よりやや増加している。（図表2-34）

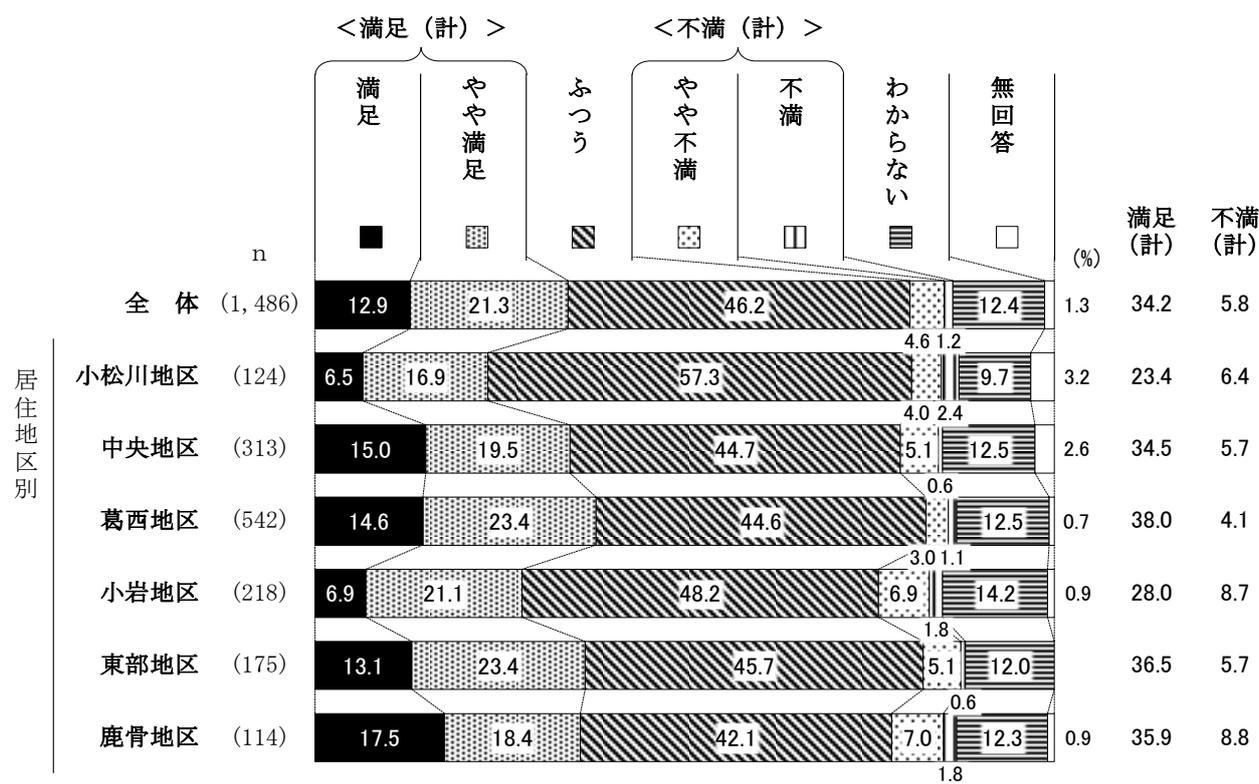
＜図表2-34＞ チ. 健康相談・健康診査／時系列比較



【チ. 健康相談・健康診査／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（38.0%）で4割弱で最も高くなっている。一方、“小松川地区”（23.4%）で最も低くなっている。（図表2-35）

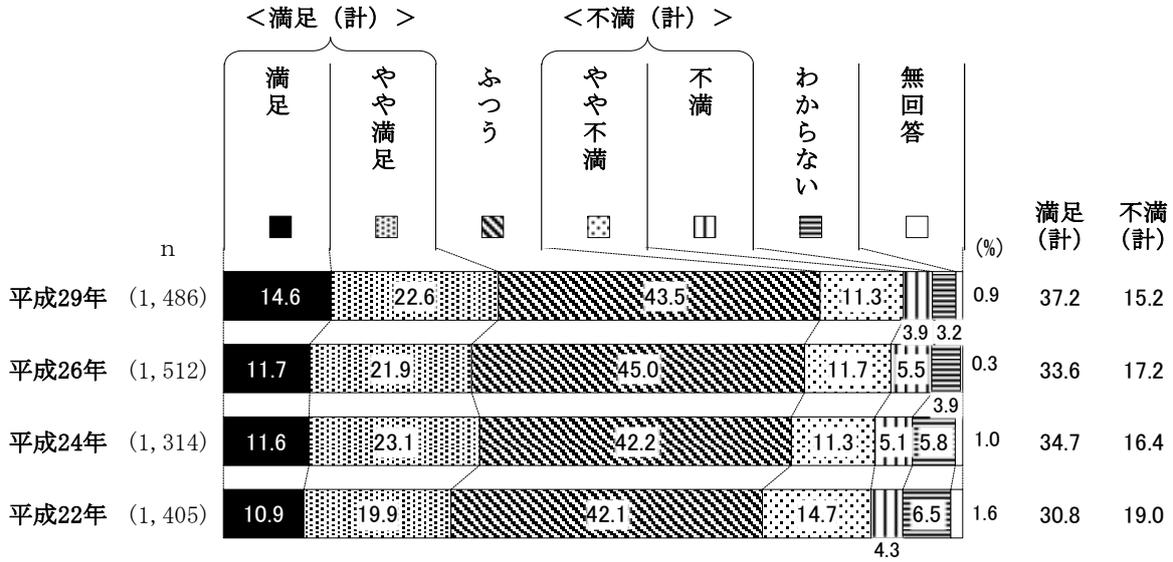
＜図表2-35＞ チ. 健康相談・健康診査／居住地区別



【ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較】 ※平成24年以前の項目名は“医療機関・医療体制”

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（33.6%）より3.6ポイント増加している。（図表2-36）

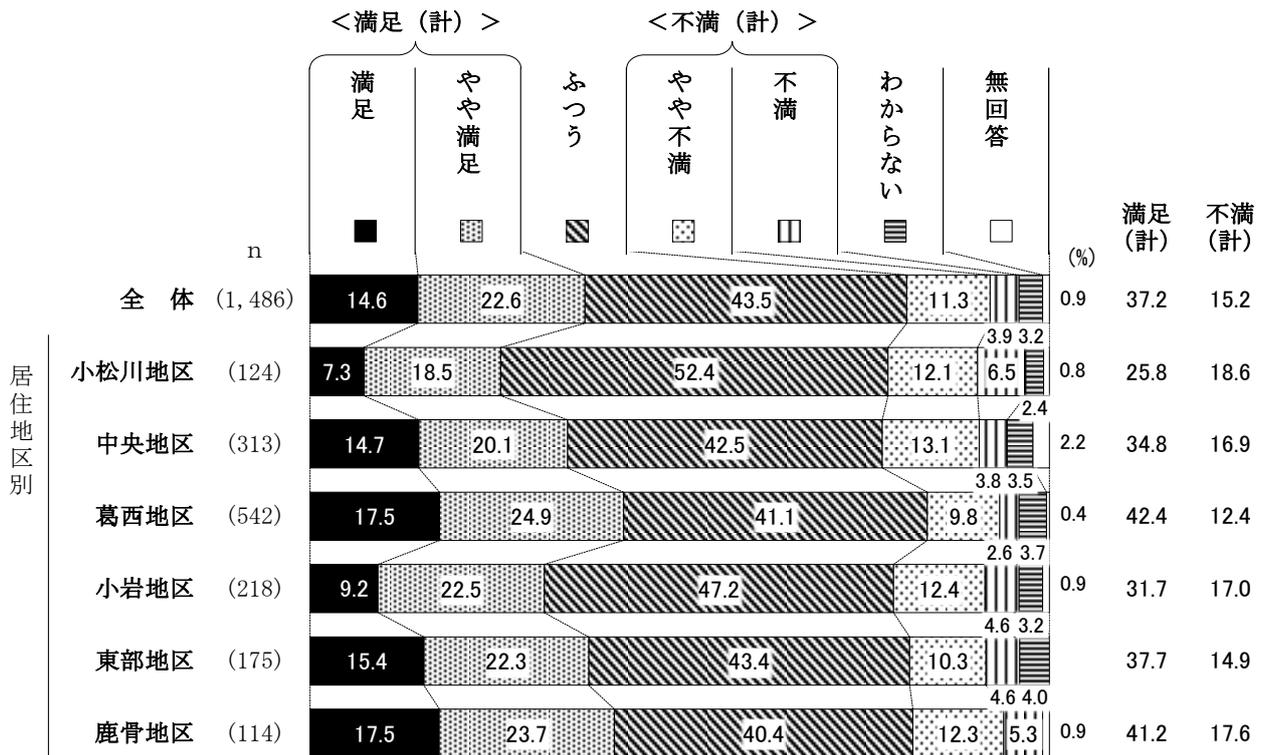
＜図表2-36＞ ツ. 病院・診療所の充実度／時系列比較



【ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別】

居住地区別にみると、＜満足（計）＞は、“葛西地区”（42.4%）と“鹿骨地区”（41.2%）で4割を超えて高くなっている。一方、“小松川地区”（25.8%）で最も低くなっている。（図表2-37）

＜図表2-37＞ ツ. 病院・診療所の充実度／居住地区別

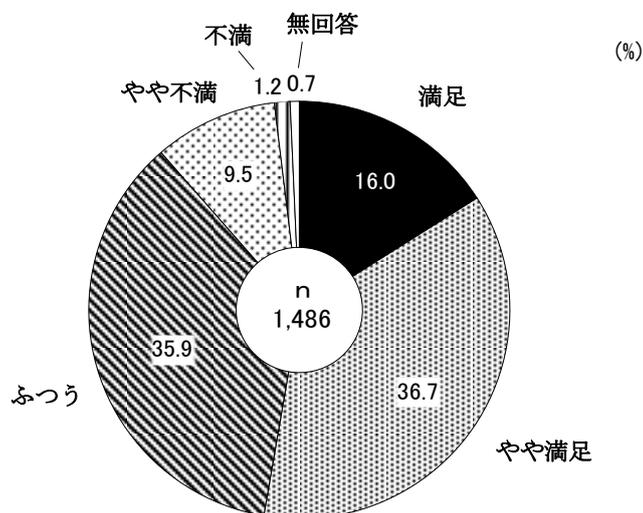


(2) 区の現況への満足度

◇ <満足(計)>が5割強

問5 あなたは、区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

<図表2-38> 区の現況への満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・52.7%

<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・10.7%

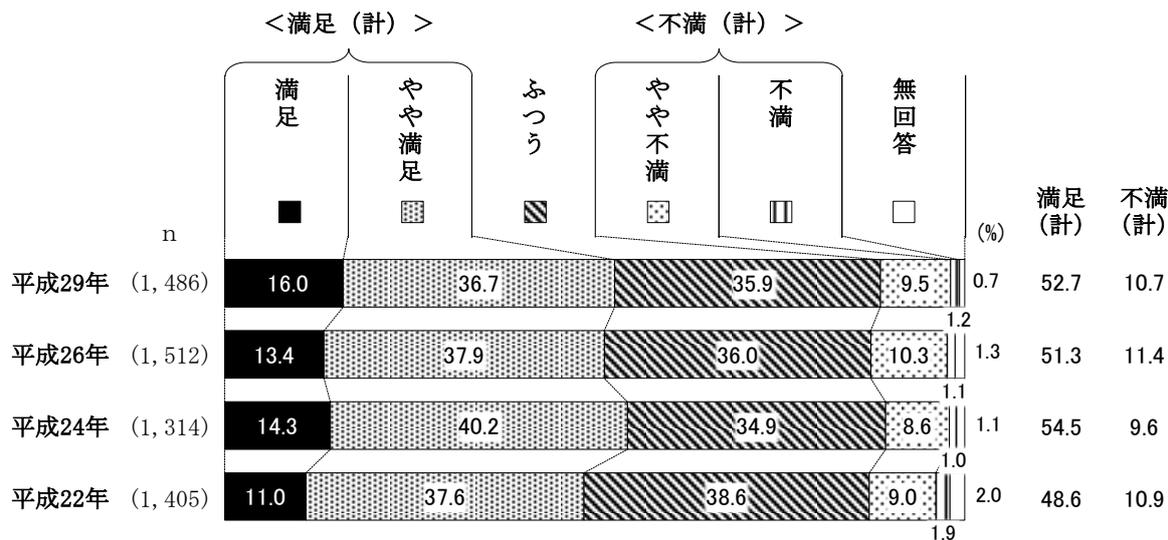
区の現況を総合的にみた場合の満足度は、「満足」(16.0%)と「やや満足」(36.7%)を合わせた<満足(計)>(52.7%)は5割強となっている。また、「ふつう」(35.9%)は3割台半ば、「不満」(1.2%)と「やや不満」(9.5%)を合わせた<不満(計)>(10.7%)は約1割である。

(図表2-38)

【時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、＜満足（計）＞は前回の平成26年（51.3%）よりやや増加している。（図表2-39）

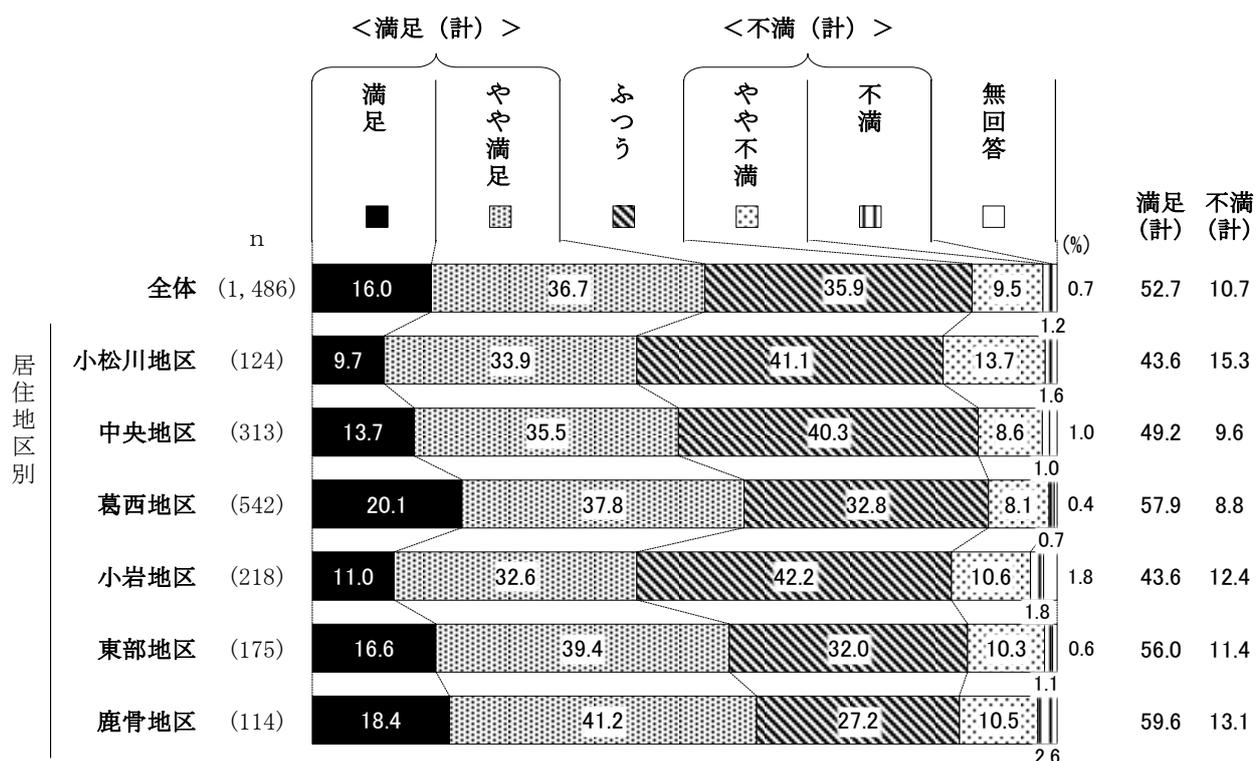
＜図表2-39＞ 区の現況への満足度／時系列比較



【居住地区別】

居住地区別でみると、＜満足（計）＞は、“鹿骨地区”（59.6%）で約6割と最も高く、続いて“葛西地区”（57.9%）、“東部地区”（56.0%）となっている。（図表2-40）

＜図表2-40＞ 区の現況への満足度／居住地区別

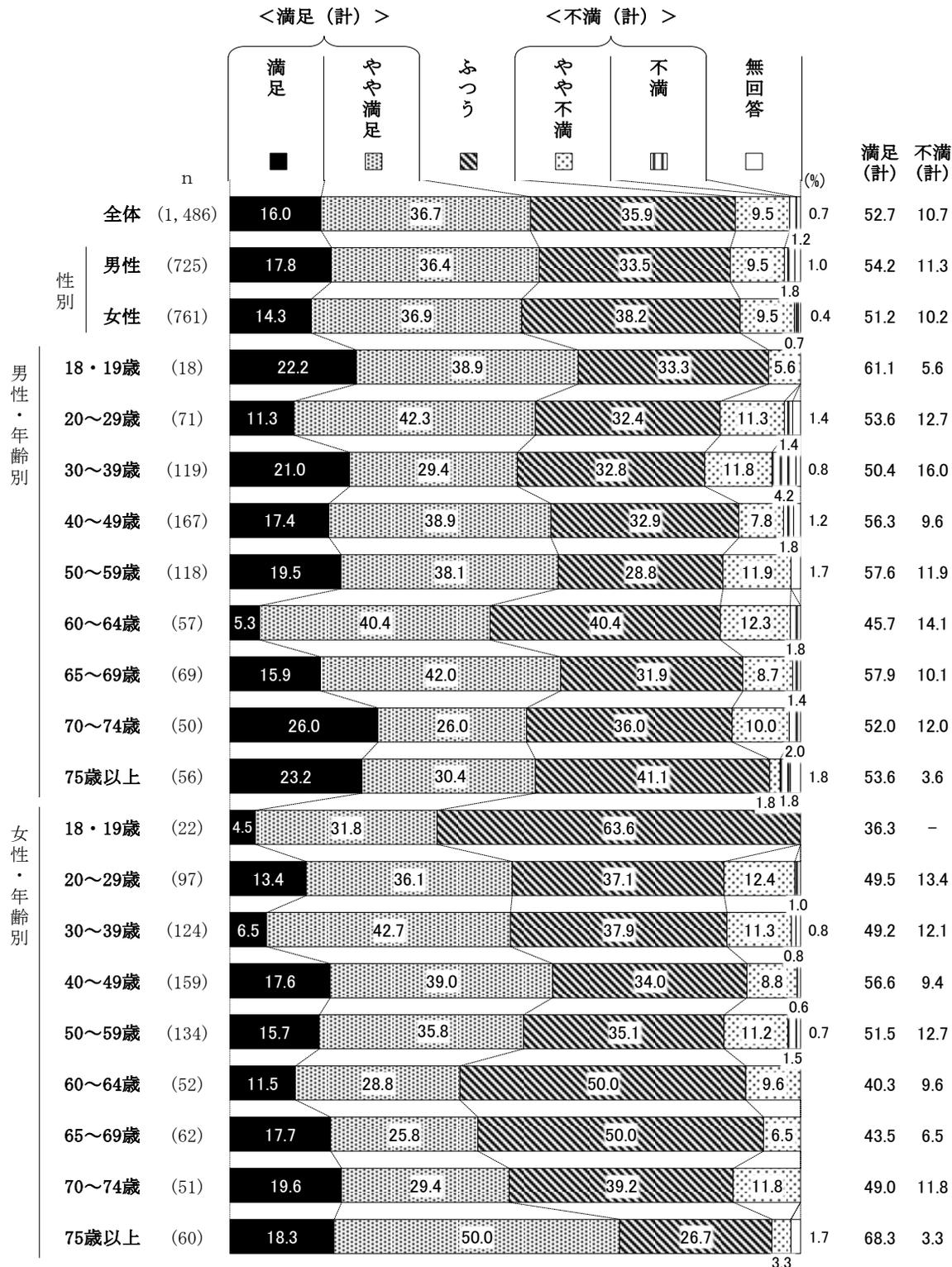


【性・年齢別】

性別では、＜満足（計）＞は男性（54.2%）が女性（51.2%）よりも3.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、＜満足（計）＞は女性75歳以上（68.3%）で7割弱と最も高くなっている。一方、女性60～64歳（40.3%）では低くなっている。（図表2-41）

＜図表2-41＞ 区の現況への満足度／性・年齢別

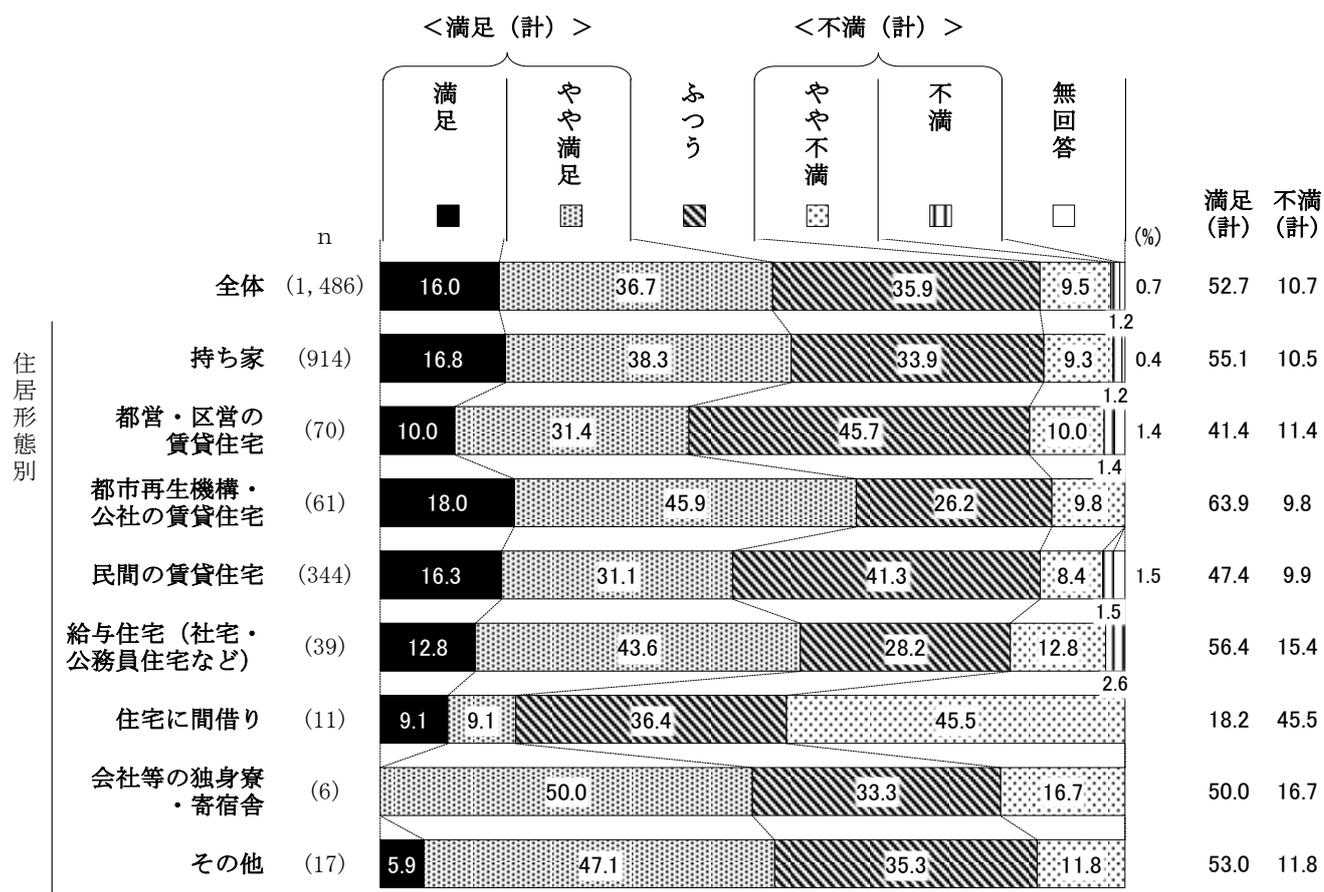


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【住居形態別】

住居形態別でみると、＜満足（計）＞は都市再生機構・公社の賃貸宅（63.9％）で6割強と高くなっている。（図表2-42）

＜図表2-42＞ 区の現況への満足度／住居形態別



※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

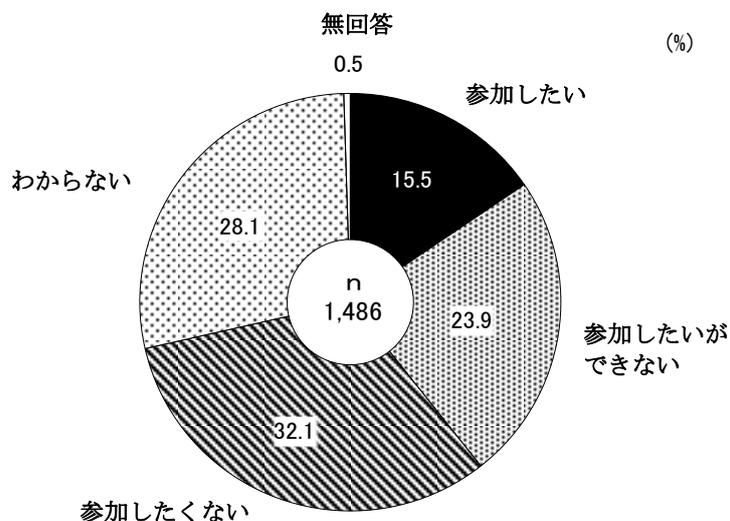
3. 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度

◇ 「参加したい」が1割台半ば

問6 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される際に、ボランティアとして大会に参加しようと思いますか。(〇は1つだけ)

<図表3-1> 東京2020オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度

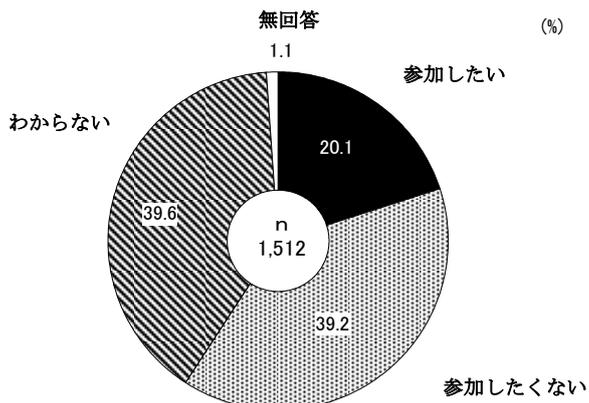


東京2020オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度について尋ねたところ、「参加したい」(15.5%)が1割台半ば、「参加したいができない」(23.9%)、「参加したくない」(32.1%)、「わからない」(28.1%)となっている。(図表3-1)

【参考 前回調査】

今回調査と選択肢が異なるため、参考として掲載する。

<図表3-2> 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度

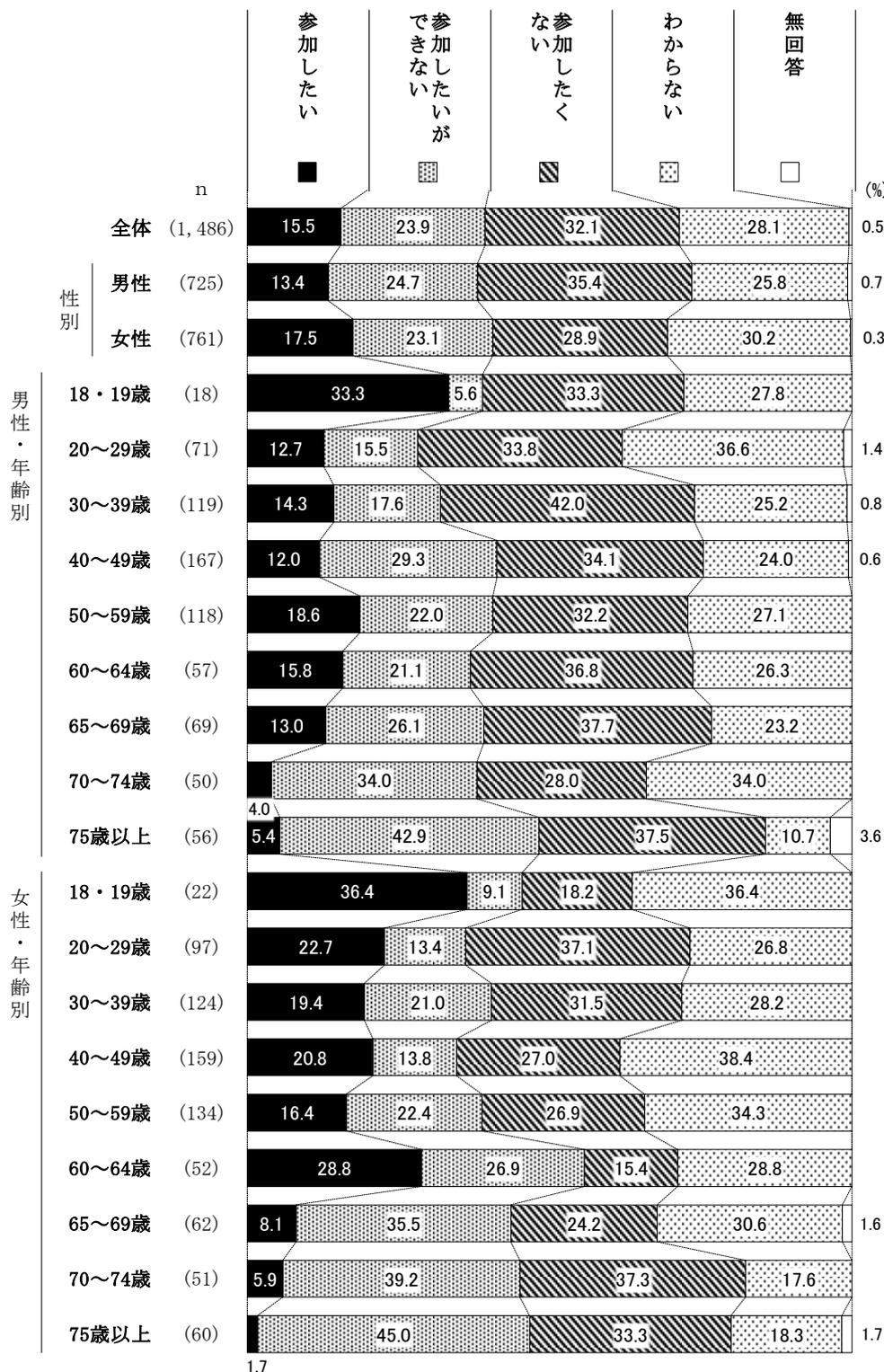


【性・年齢別】

性別では、「参加したい」は女性（17.5%）が男性（13.4%）よりも4.1ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「参加したい」は女性60～64歳（28.8%）で3割弱と高く、男性50～59歳（18.6%）で2割弱と高くなっている。（図表3-3）

＜図表3-3＞ 東京オリンピック・パラリンピックへのボランティア参加希望度／性・年齢別



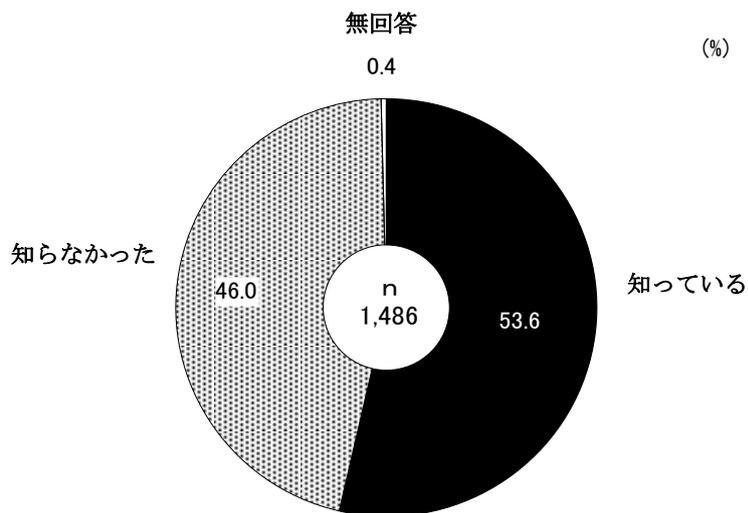
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 江戸川区でのカヌー（スラローム）競技開催の認知度

◇「知っている」が5割強

問7 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、江戸川区でカヌー（スラローム）競技が開催されることを知っていますか。（○は1つだけ）

<図表3-4> 江戸川区でのカヌー（スラローム）競技開催の認知度



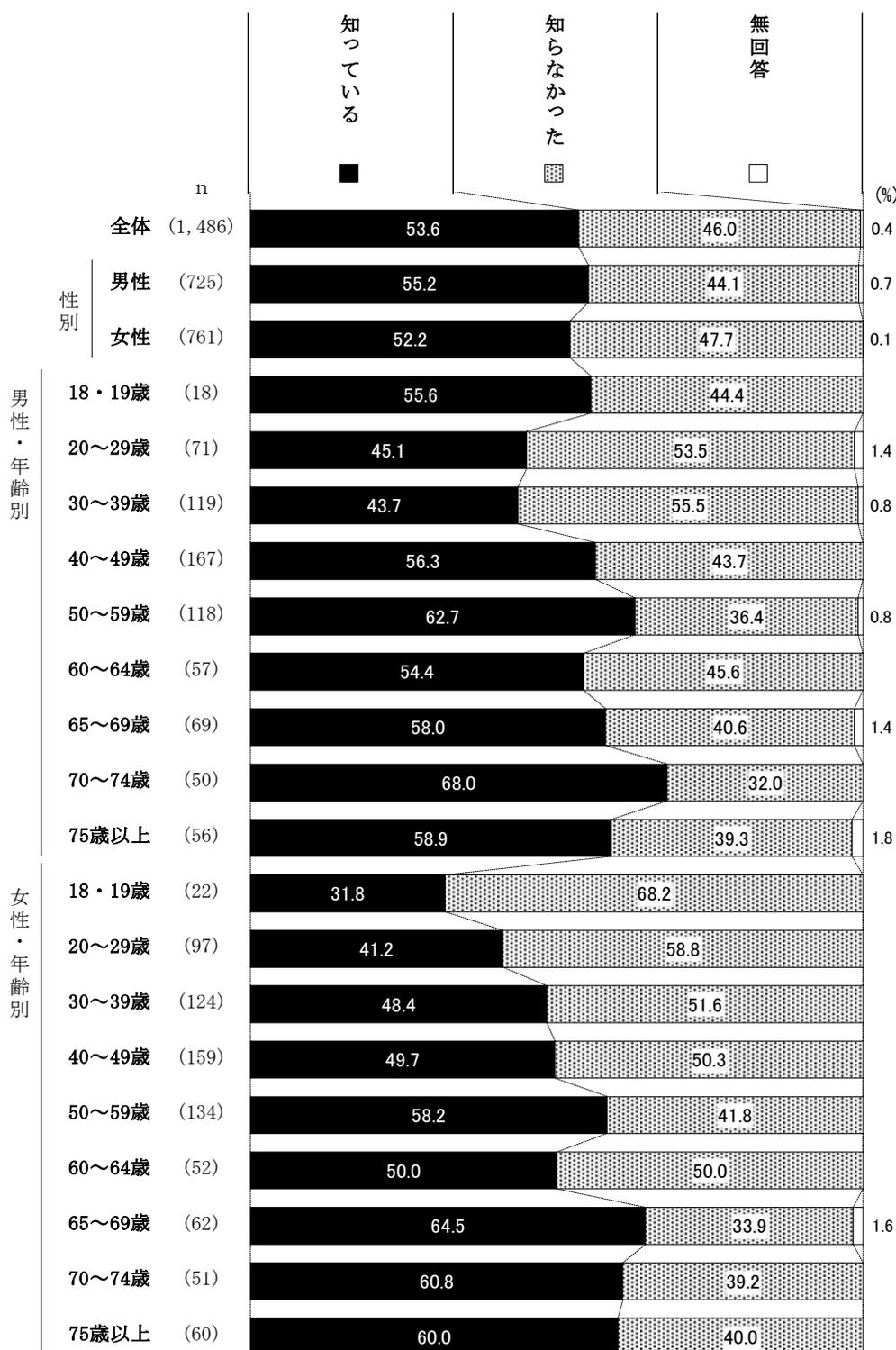
2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、江戸川区でカヌー（スラローム）競技が開催されることを知っているか尋ねたところ、「知っている」（53.6%）が5割強、「知らなかった」（46.0%）が4割台半ばとなっている。（図表3-4）

【性・年齢別】

性別では、「知っている」は男性（55.2%）が女性（52.2%）よりも3.0ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「知っている」は男性70～74歳（68.0%）で7割弱と最も高く、女性65～69歳（64.5%）で6割台半ばと高くなっている。一方、男性20～29歳（45.1%）と30～39歳（43.7%）で4割台半ば、女性の20～29歳（41.2%）で4割強と低くなっている。（図表3-5）

＜図表3-5＞ 江戸川区でのカヌー（スラローム）競技開催の認知度／性・年齢別



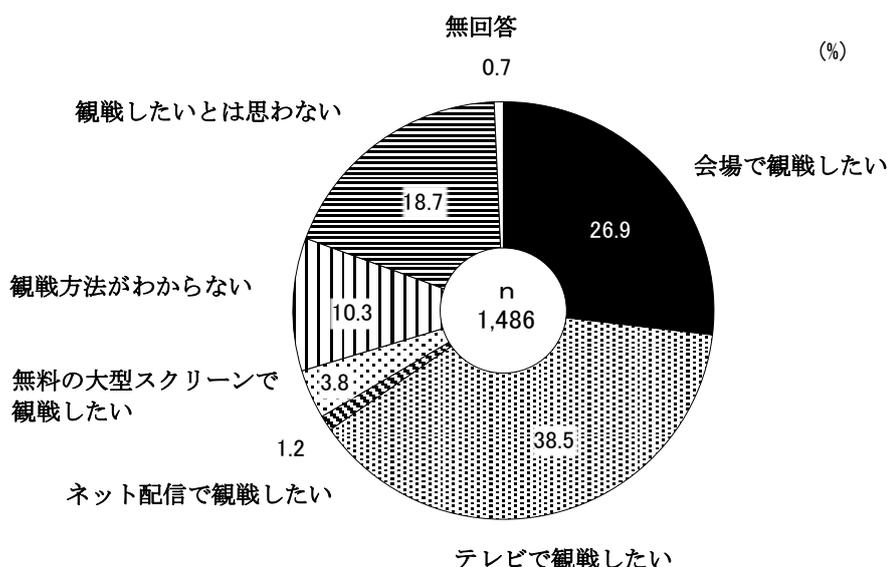
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(3) カヌー（スラローム）競技はどのように観戦したいか

◇「テレビで観戦したい」が4割弱

問8 カヌー（スラローム）競技は葛西臨海公園の隣接地に整備される施設で開催されます。どのように観戦したいですか。（○は1つだけ）

<図表3-6> カヌー（スラローム）競技はどのように観戦したいか



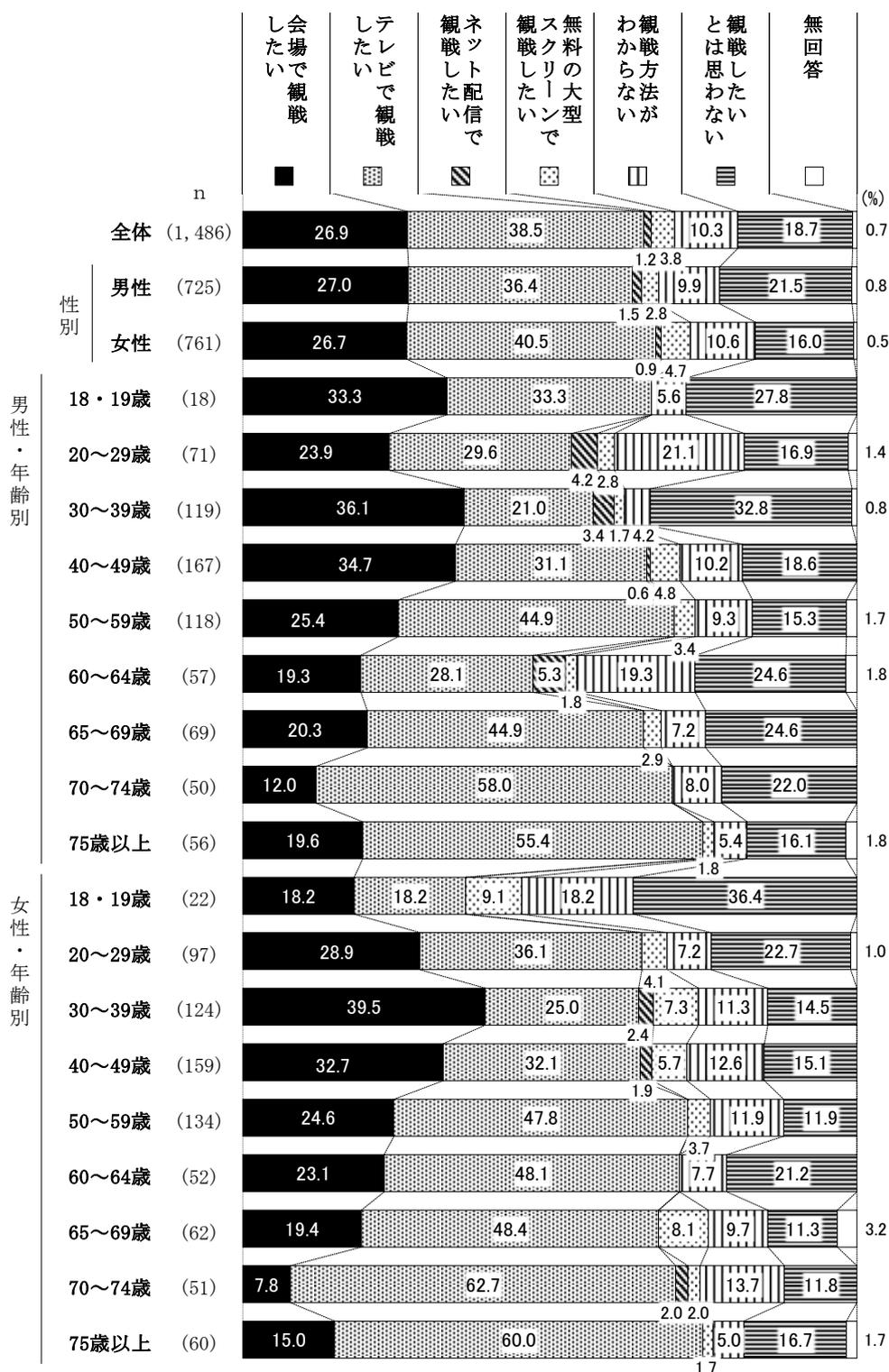
葛西臨海公園の隣接地に整備される施設で開催されるカヌー（スラローム）競技はどのように観戦したいかを尋ねたところ、「テレビで観戦したい」（38.5%）が4割弱で最も高く、続いて「会場で観戦したい」（26.9%）が2割台半ばとなっている。一方、「観戦したいとは思わない」（18.7%）が2割弱となっている。また、「観戦方法がわからない」（10.3%）が約1割となっている。（図表3-6）

【性・年齢別】

性別では、「テレビで観戦したい」は女性（40.5%）が男性（36.4%）より4.1ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「会場で観戦したい」は女性30～39歳（39.5%）で約4割と最も高く、男性30～39歳（36.1%）と40～49歳（34.7%）、女性40～49歳（32.7%）で3割を超えて高くなっている。「テレビで観戦したい」は、女性70～74歳（62.7%）と男性70～74歳（58.0%）で高くなっている。一方、「観戦方法がわからない」は男性20～29歳（21.1%）と男性60～64歳（19.3%）で高くなっている。（図表3-7）

<図表3-7> カヌー（スラローム）競技はどのように観戦したいか／性・年齢別



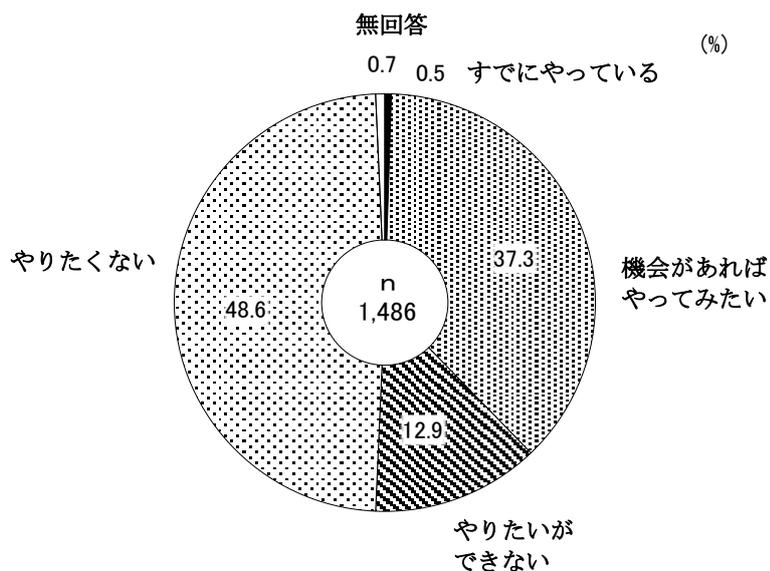
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(4) レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいと思うか

◇「機会があればやってみたい」が4割弱

問9 レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいと思いますか。(○は1つだけ)

<図表3-8> レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいと思うか



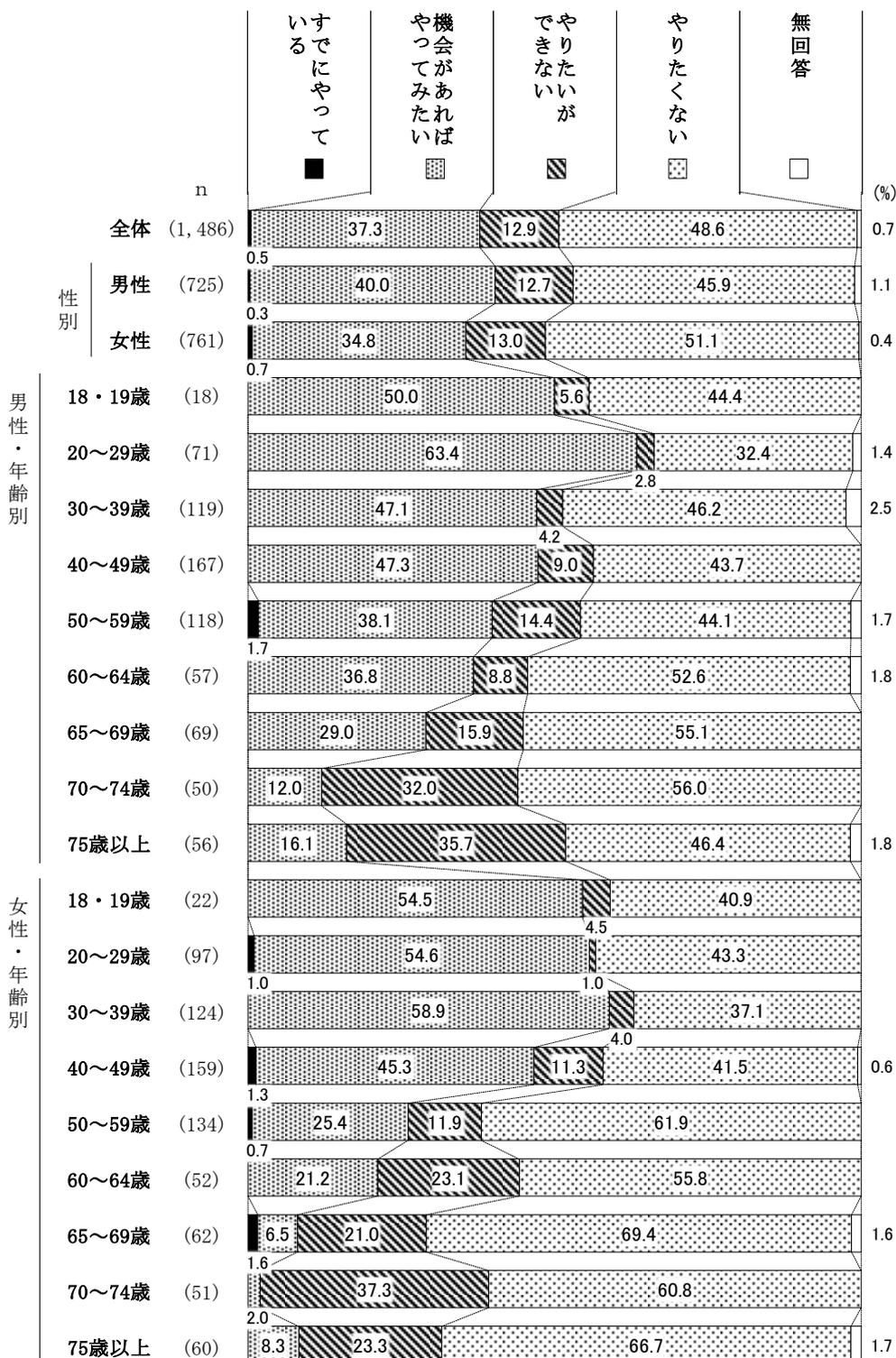
レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいか尋ねたところ、「機会があればやってみたい」(37.3%)が4割弱となっている。一方、「やりたくない」(48.6%)が5割弱となっている。(図表3-8)

【性・年齢別】

性別では、「機会があればやってみたい」は男性(40.0%)が女性(34.8%)より5.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「機会があればやってみたい」は男性20～29歳(63.4%)で6割台半ばと最も高く、女性30～39歳(58.9%)で6割弱と高くなっている。一方、「やりたいができない」は女性70～74歳(37.3%)、男性70～74歳(32.0%)、男性75歳以上(35.7%)で3割を超えて高くなっている。(図表3-9)

<図表3-9> レジャーカヌーや競技カヌーを行ってみたいと思うか／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

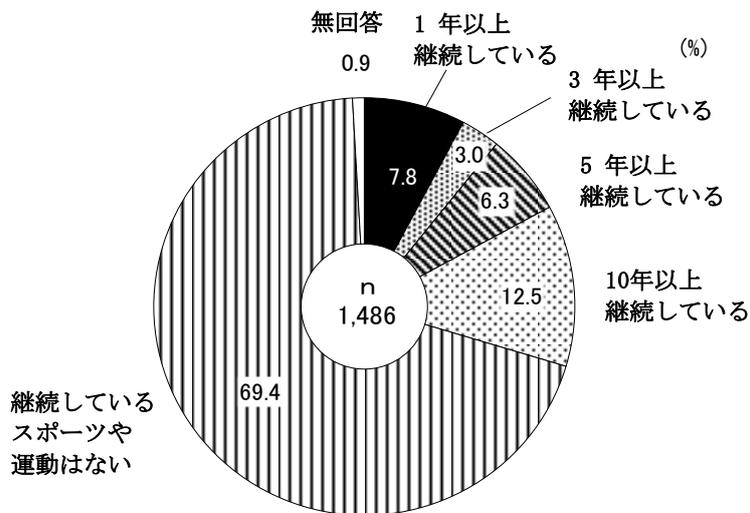
4. スポーツの実践について

(1) 週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているか

◇ <継続的に行っている>は約3割

問10 あなたは、週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っていますか。(○は1つだけ)

<図表4-1>週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているか



週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているかを尋ねたところ、「10年以上継続している」(12.5%)が1割強、「1年以上継続している」(7.8%)、「5年以上継続している」(6.3%)、「3年以上継続している」(3.0%)を合わせた<継続的に行っている>は29.6%となっている。

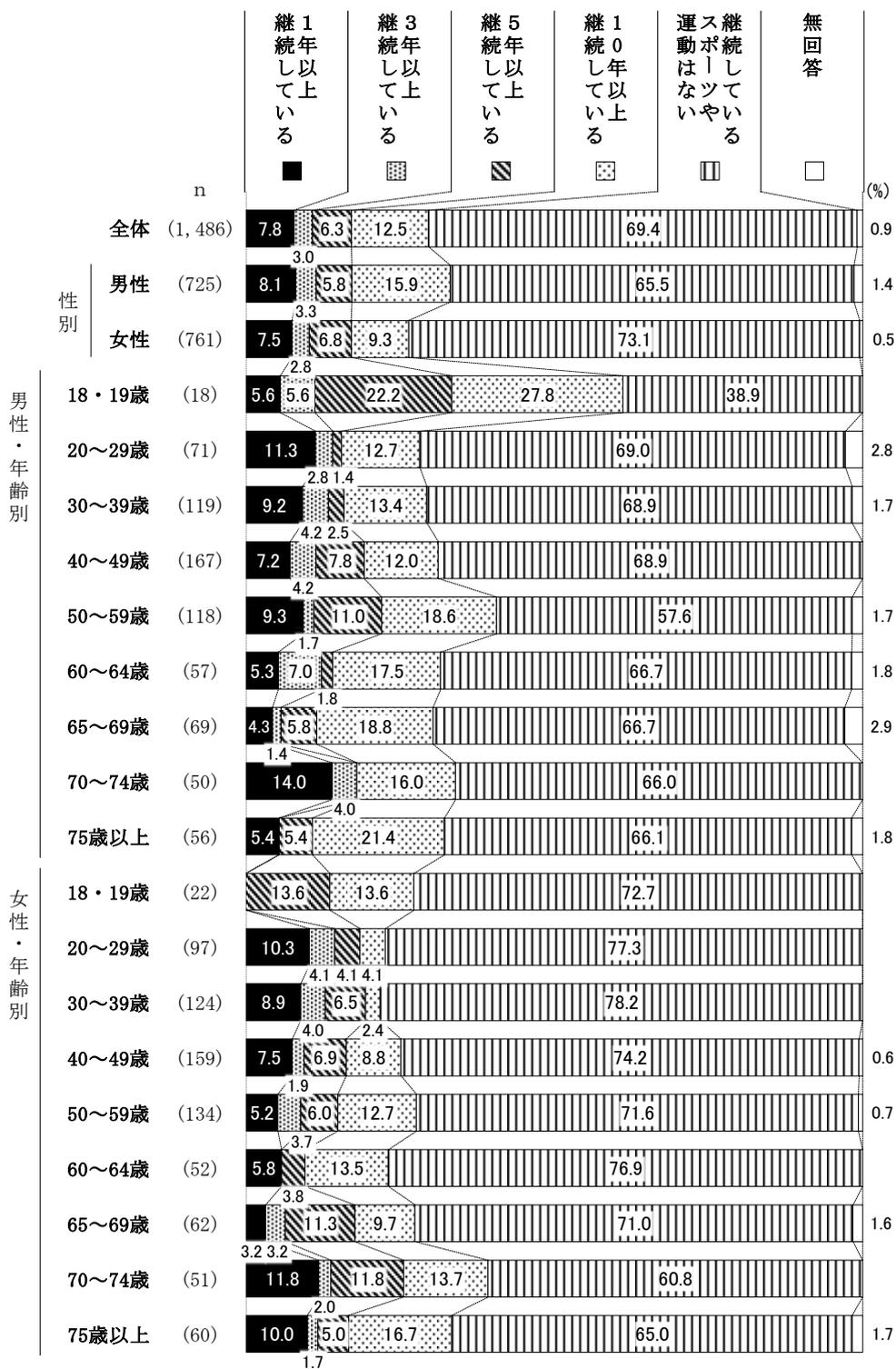
(図表4-1)

【性・年齢別】

性別では、「継続しているスポーツや運動はない」は、女性(73.1%)が男性(65.5%)より7.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「継続しているスポーツや運動はない」は、女性では70~74歳と75歳以上を除いて7割を超えて高く、女性30~39歳(78.2%)で8割弱となっている。「10年以上継続している」は、男性75歳以上(21.4%)で2割強と最も高くなっている。「5年以上継続している」は、女性の70~74歳(11.8%)、65~69歳(11.3%)、男性50~59歳(11.0%)で1割を超えている。「1年以上継続している」は男性70~74歳(14.0%)で1割台半ばと最も高くなっている。(図表4-2)

＜図表4-2＞ 週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っているか／性・年齢別



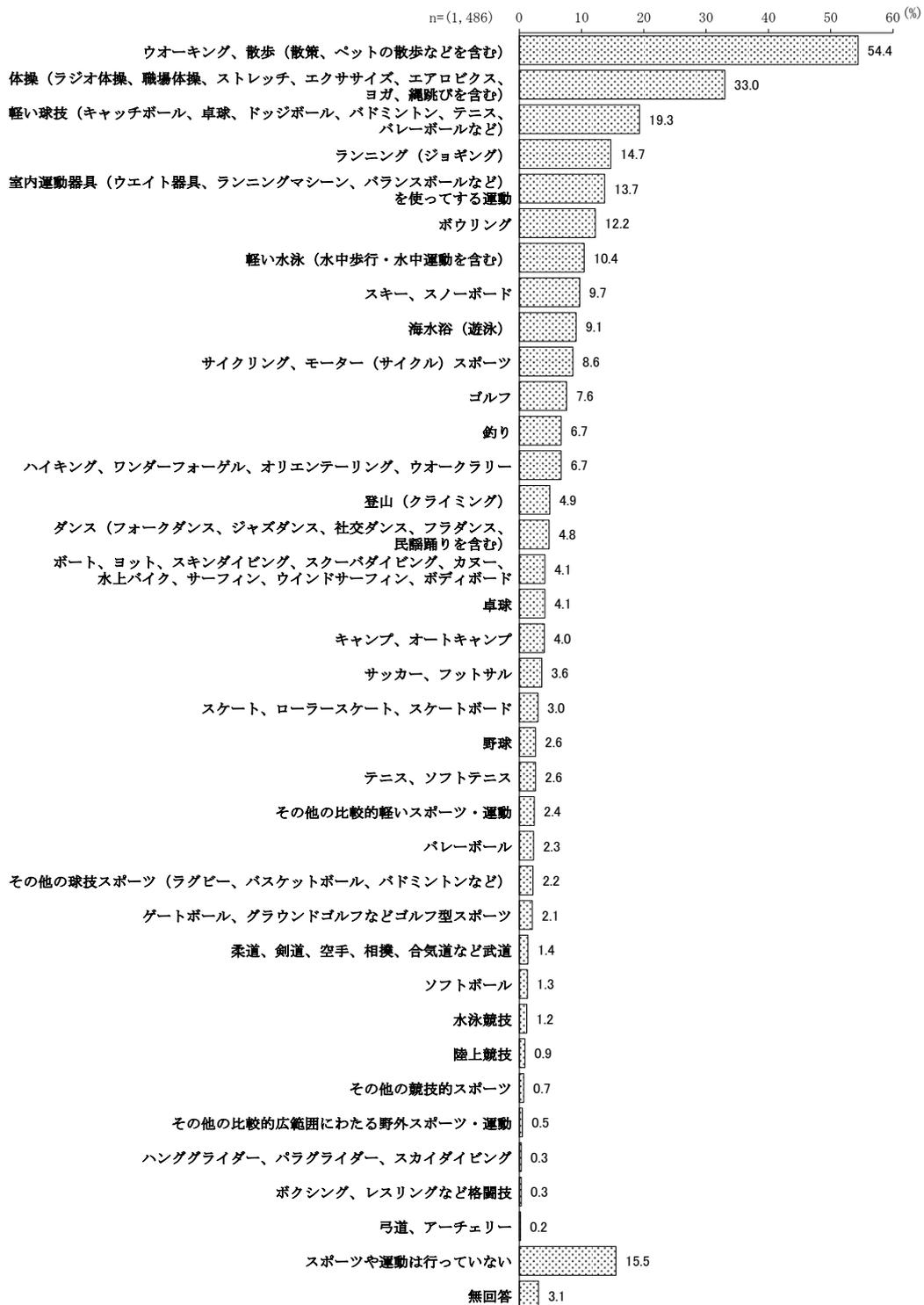
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 1年間に行ったスポーツや運動

◇「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」が5割台半ば

問11 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動がありますか。学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。（あてはまる番号すべてに○）

<図表4-3> 1年間に行ったスポーツや運動（複数回答）

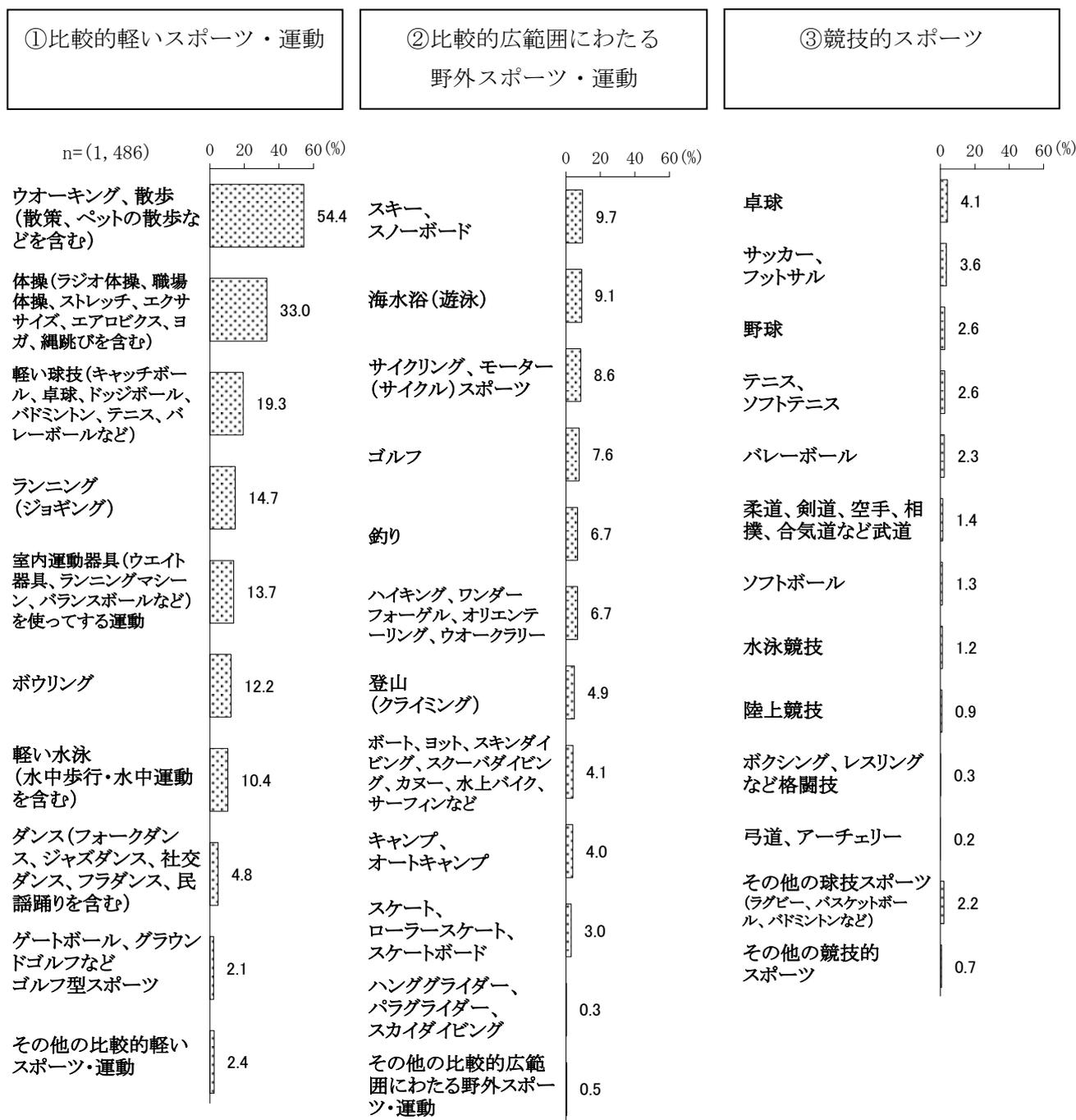


この1年間に行ったスポーツや運動について尋ねたところ、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」(54.4%) が5割台半ばで最も高く、続いて「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、縄跳びを含む）」(33.0%) となっている。一方、「スポーツや運動は行っていない」(15.5%) は1割台半ばとなっている。(図表4-3)

比較的広域（広範囲）にわたる野外スポーツ・運動では、「スキー、スノーボード」(9.7%)、「海水浴（遊泳）」(9.1%) が高く、競技的スポーツでは「卓球」(4.1%) が最も高くなっている。

(図表4-4)

<図表4-4> 1年間に行ったスポーツや運動（複数回答）



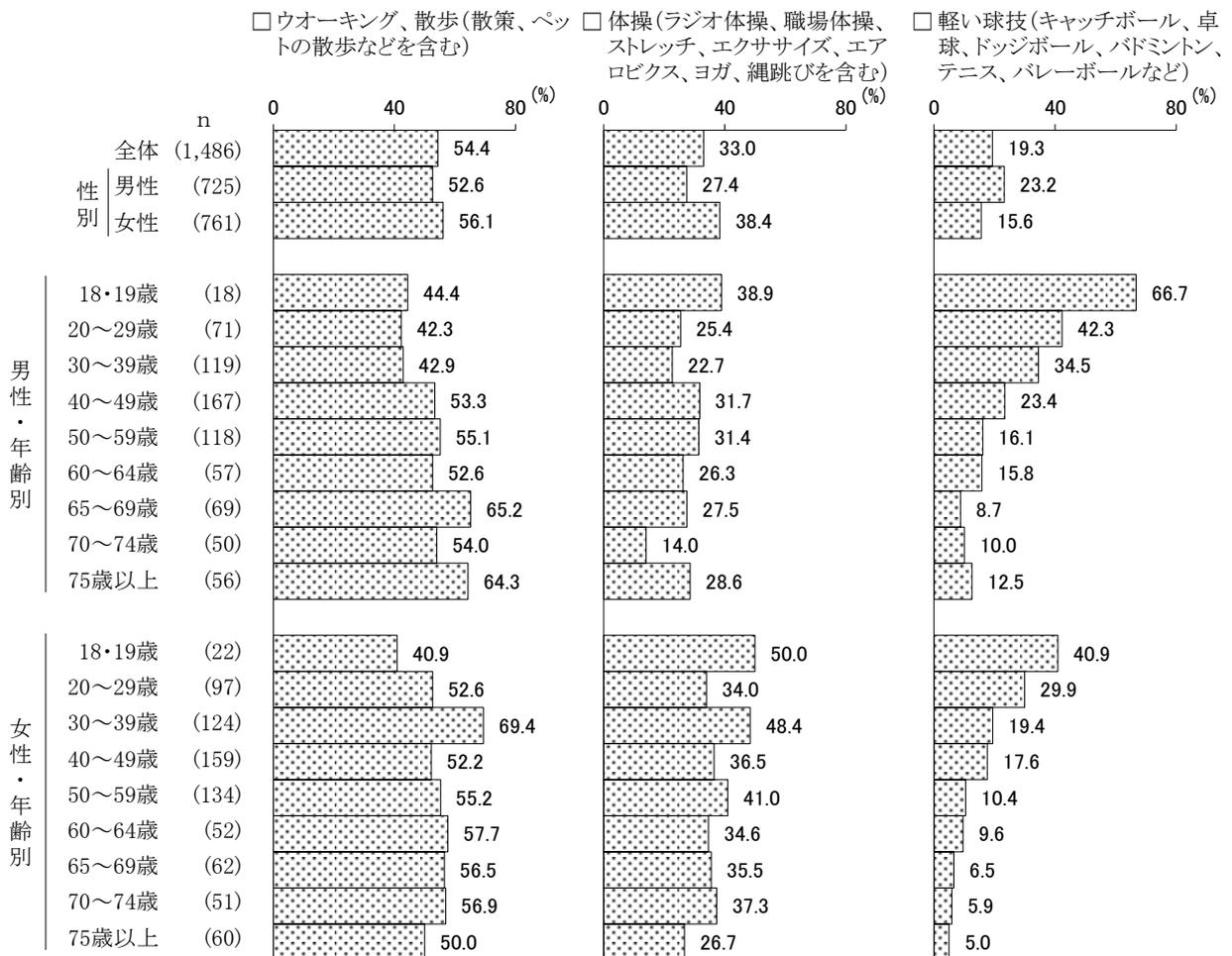
①比較的軽いスポーツ・運動

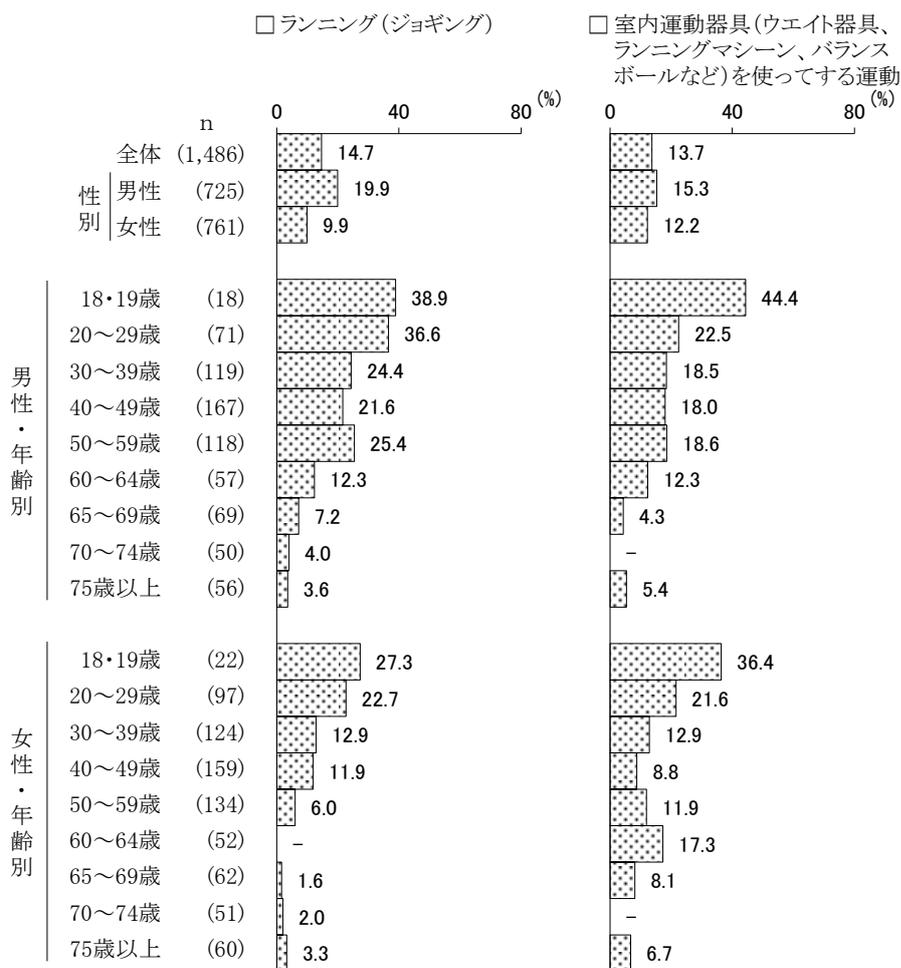
【性・年齢別】

性別では、「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、縄跳びを含む）」は女性（38.4%）が男性（27.4%）より 11.0 ポイント高く、「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボールなど）」は、男性（23.2%）が女性（15.6%）より 7.6 ポイント高くなっている。「ランニング（ジョギング）」は、男性（19.9%）が女性（9.9%）より 10.0 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」は女性 30～39 歳（69.4%）で約 7 割と最も高く、男性 65～69 歳（65.2%）と男性 75 歳以上（64.3%）で 6 割台半ばと高くなっている。「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、縄跳びを含む）」は女性 30～39 歳（48.4%）で 5 割弱と最も高くなっている。「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボールなど）」は、男女ともに年齢が高いほど割合が低くなる傾向がある。（図表 4-5）

<図表 4-5> 比較的軽いスポーツ・運動／性・年齢別（上位 5 項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

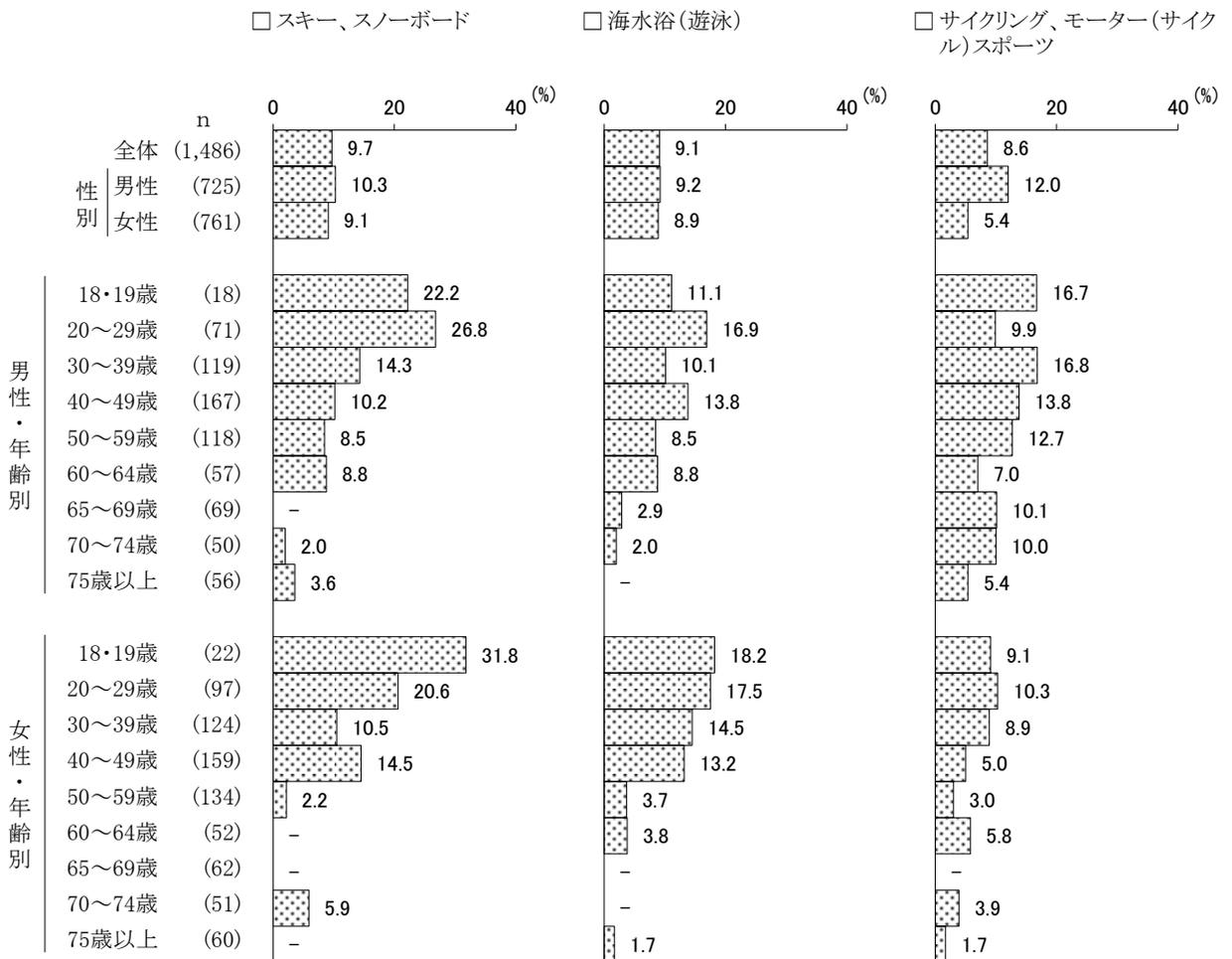
②比較的広範囲にわたる野外スポーツ・運動

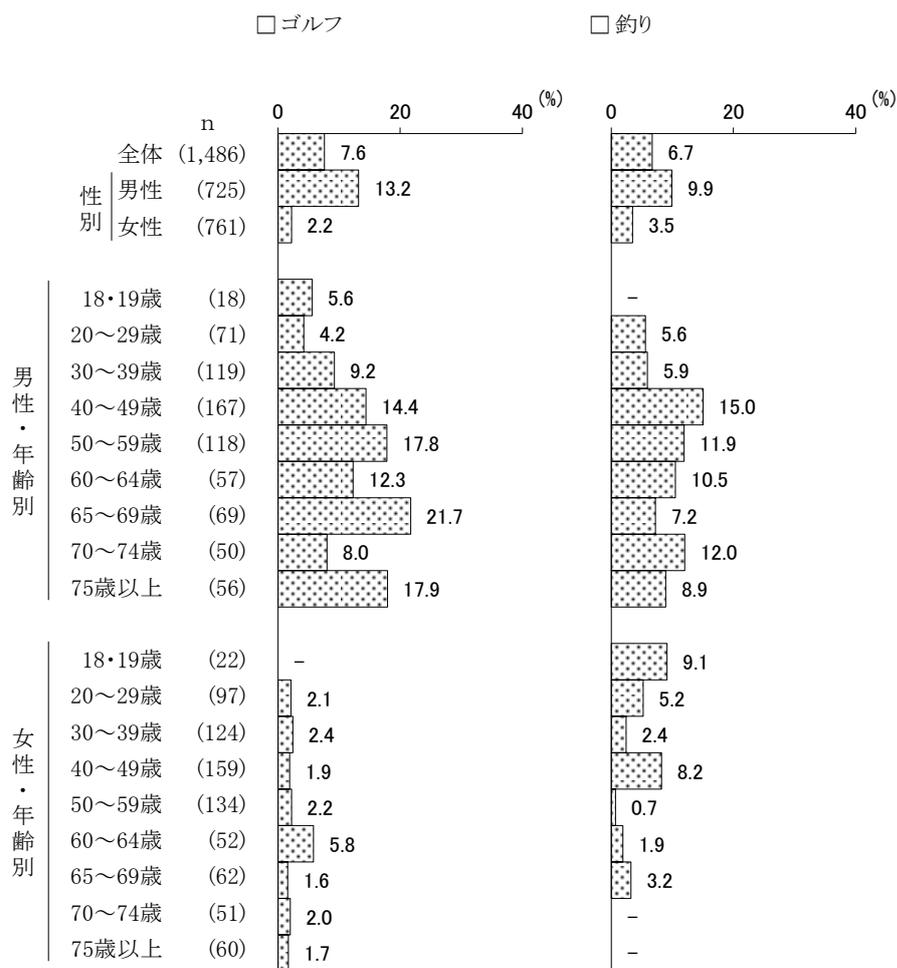
【性・年齢別】

性別では、「スキー、スノーボード」と「海水浴（遊泳）」は、大きな違いはみられない。「ゴルフ」は、男性（13.2%）が女性（2.2%）より 11 ポイント高く、「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」は男性（12.0%）が女性（5.4%）より 6.6 ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「スキー、スノーボード」は、男性 20～29 歳（26.8%）、女性 20～29 歳（20.6%）で 2 割台と高くなっている。「スキー、スノーボード」、「海水浴（遊泳）」、「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」は、男女とも年齢が高いほど割合が低くなる傾向がある。「ゴルフ」は男性 65～69 歳（21.7%）で 2 割台と高くなっている。（図表 4－6）

＜図表 4－6＞ 比較的広範囲にわたる野外スポーツ・運動／性・年齢別（上位 5 項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

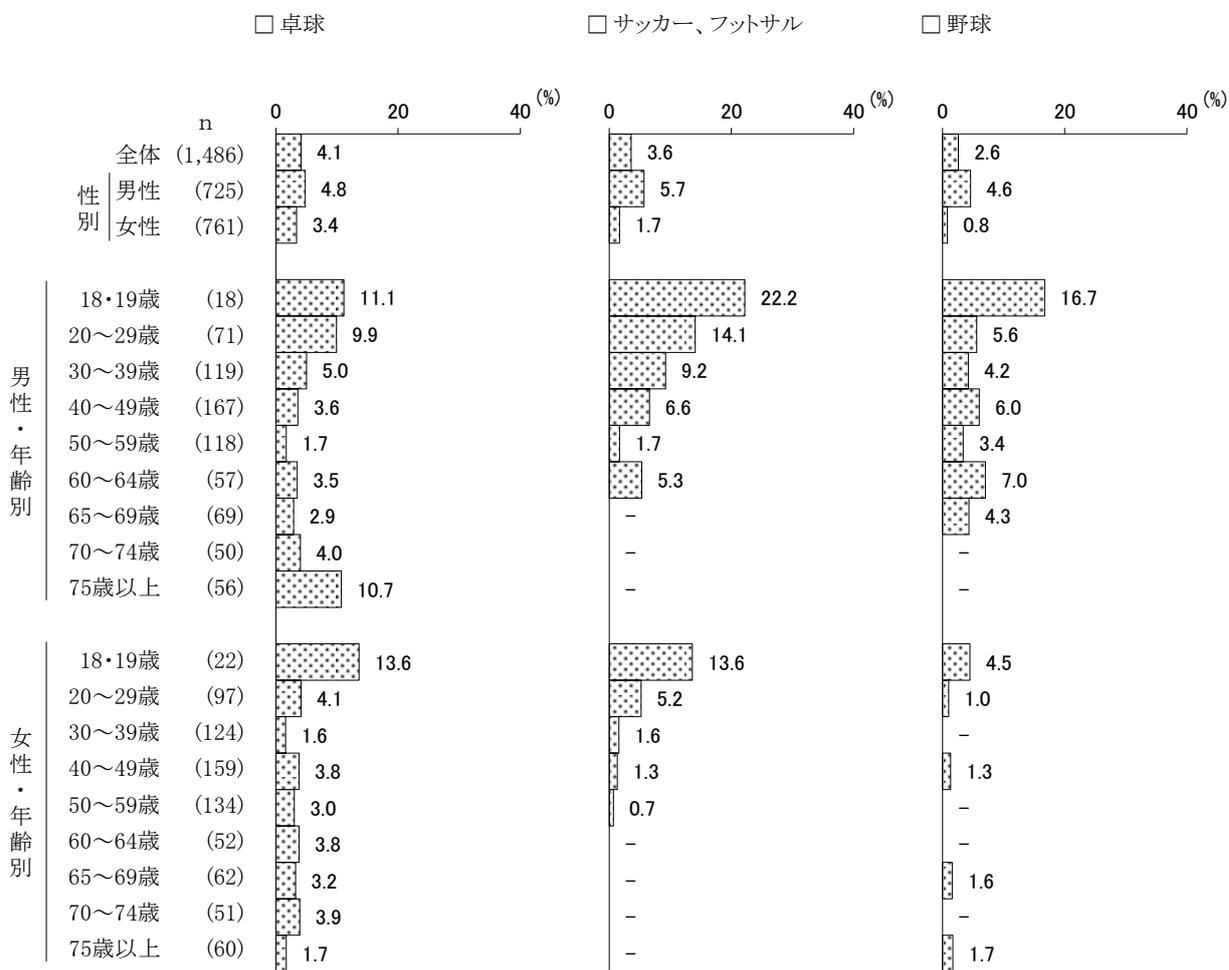
③競技的スポーツ

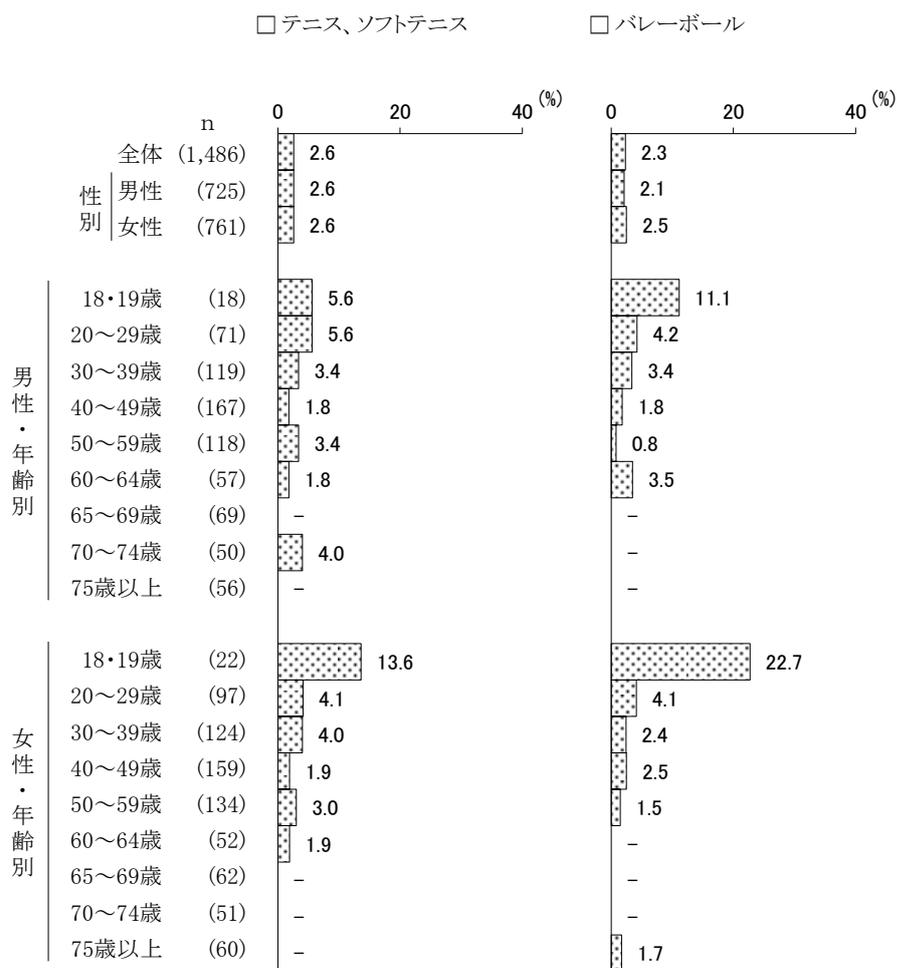
【性・年齢別】

性別では、「卓球」は大きな違いはみられない。「サッカー、フットサル」は、男性（5.7%）が女性（1.7%）より4.0ポイント、「野球」は、男性（4.6%）が女性（0.8%）より3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「卓球」は、男性75歳以上（10.7%）と男性20～29歳（9.9%）で約1割と高くなっており、男女とも割合は低いものの全ての年齢で行われている。（図表4－7）

<図表4－7> 競技的スポーツ／性・年齢別（上位5項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

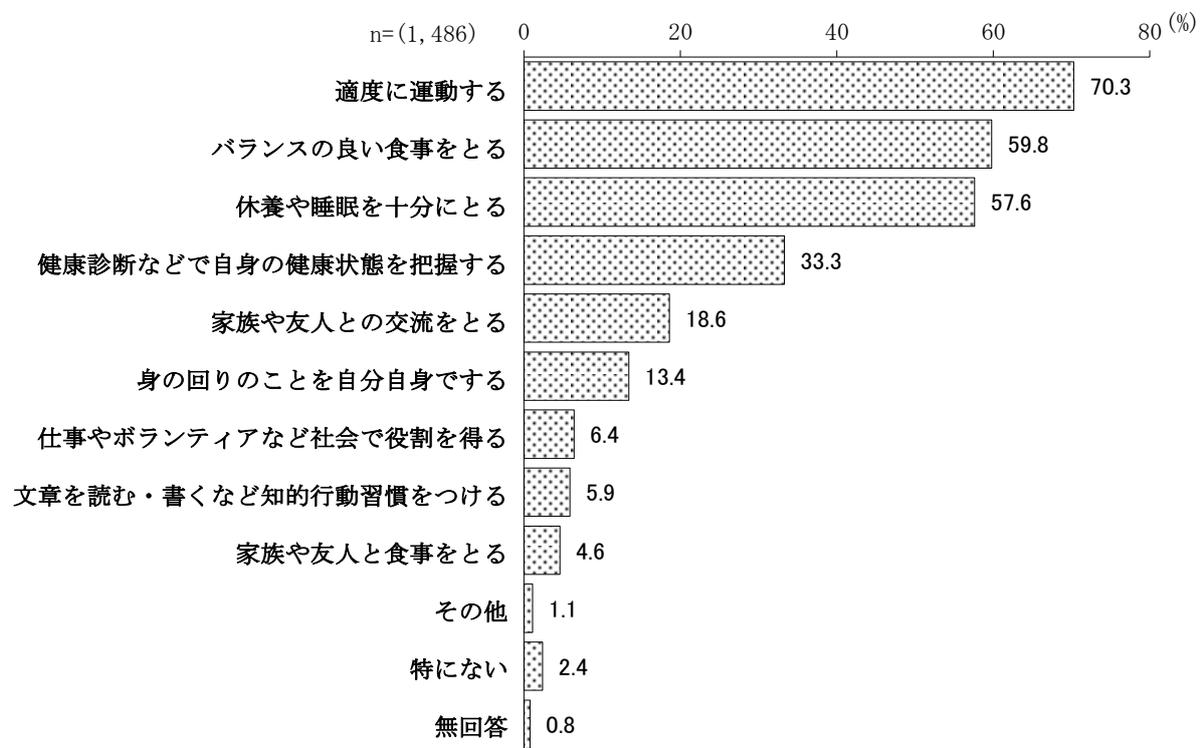
5. 健康について

(1) 健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うこと

◇「適度に運動する」が約7割

問12 健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うことは何ですか。
 (○は3つまで)

<図表5-1> 健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うこと
 (複数回答)



健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うことは何かについて尋ねたところ、「適度に運動する」（70.3%）が約7割で最も高く、続いて「バランスの良い食事をする」（59.8%）が約6割、「休養や睡眠を十分にとる」（57.6%）が6割弱となっている。（図表5-1）

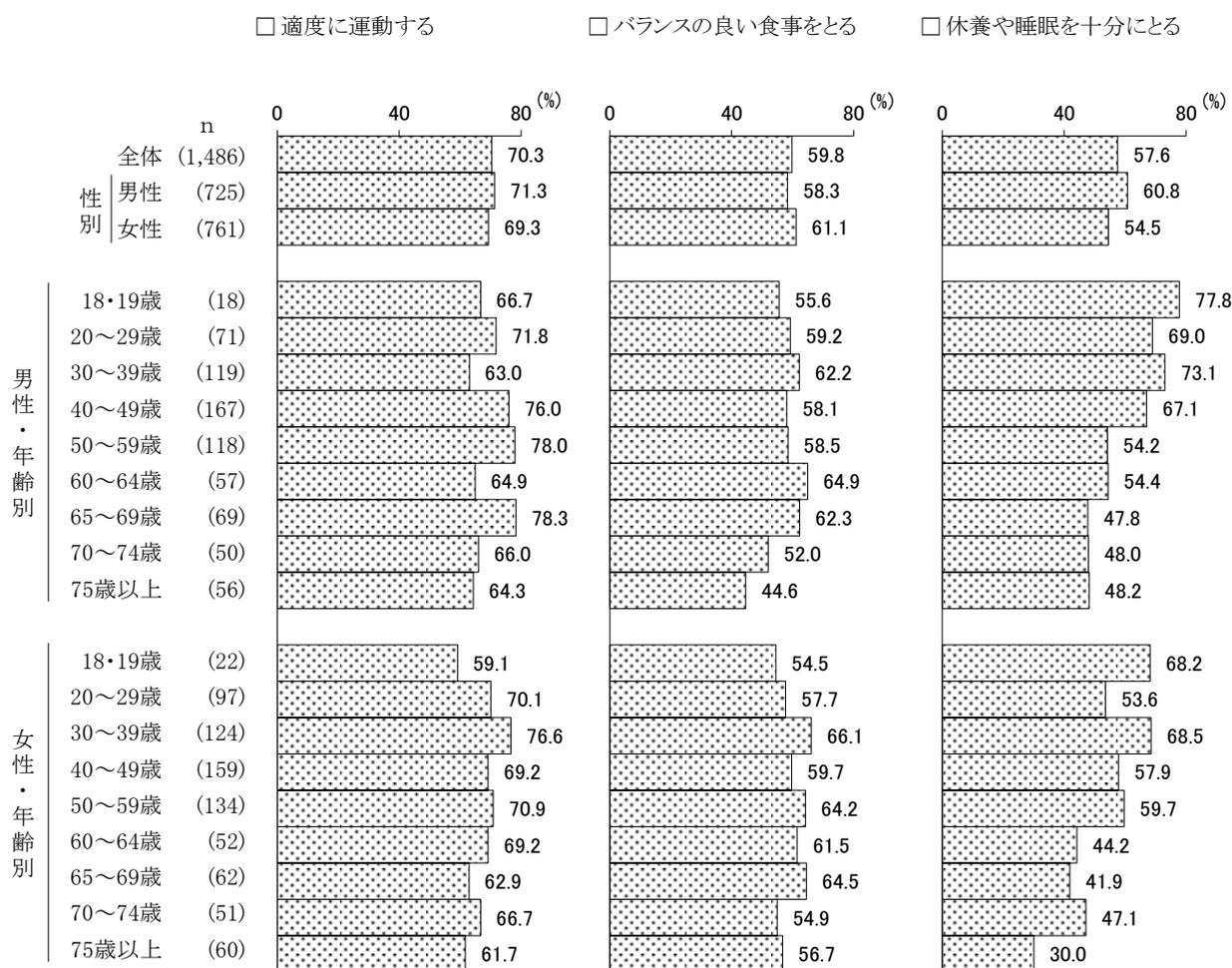
【性・年齢別】

性別では、「適度に運動する」と「バランスの良い食事をとる」はあまり大きな違いはみられない。「休養や睡眠を十分にとる」は、男性(60.8%)が女性(54.5%)より6.3ポイント高くなっている。

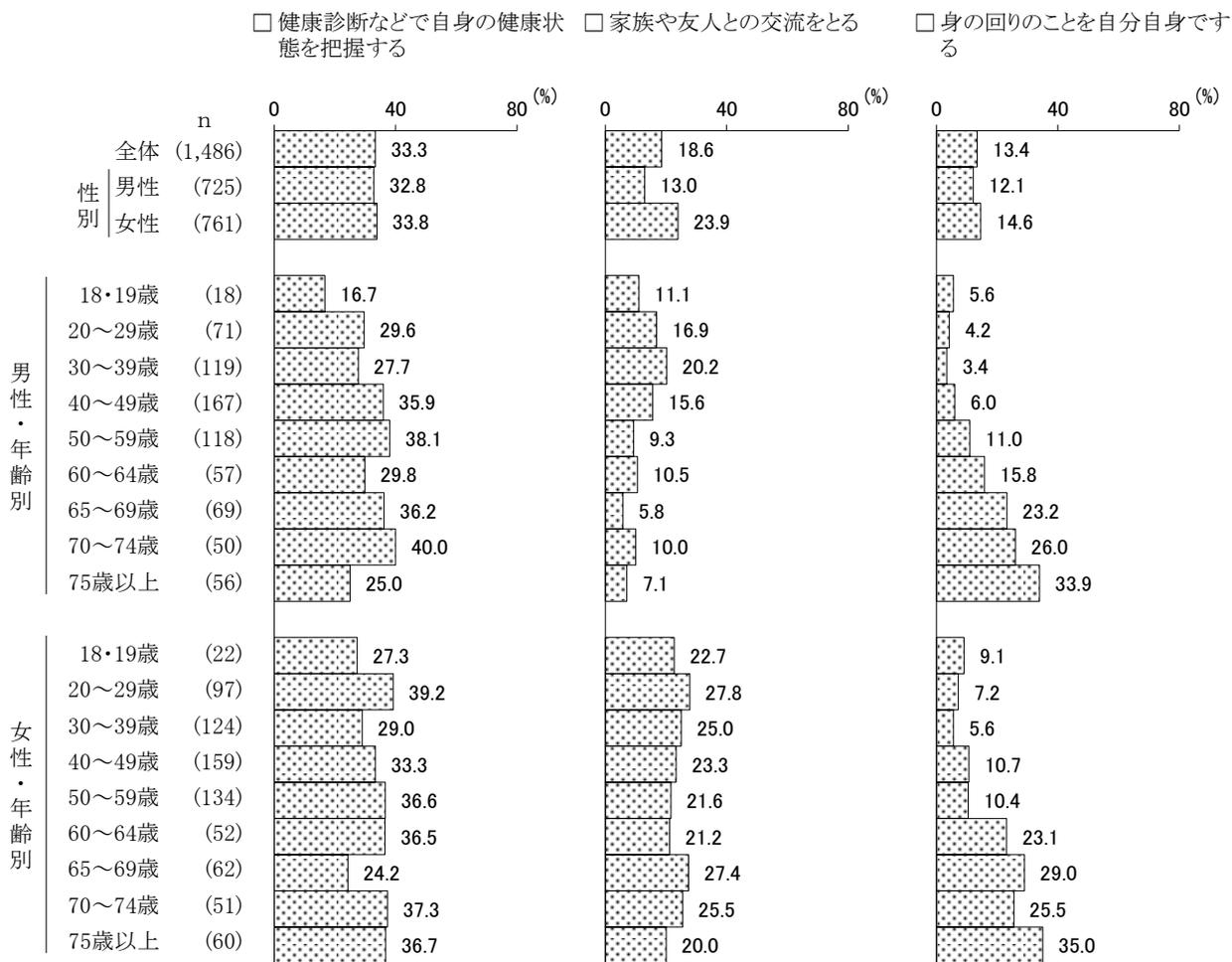
性・年齢別でみると、「適度に運動する」は、男女とも全ての年齢で5割以上と高く、男性65～69歳(78.3%)で8割弱と最も高く、女性30～39歳(76.6%)で7割台半ばと高くなっている。「バランスの良い食事をとる」は、女性30～39歳(66.1%)で6割台半ばと最も高く、「休養や睡眠を十分にとる」は、男性30～39歳(73.1%)で7割強と最も高くなっている。「身の回りのことを自分自身でする」は、男女とも年齢が高いほど割合が高くなっている。(図表5-2)

＜図表5-2＞ 健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うこと

／性・年齢別



Ⅲ 結果と分析 5. 健康について



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

6. がん検診について

(1) 過去1年間のがん検診の受診状況

◇がん検診の受診率は約4割

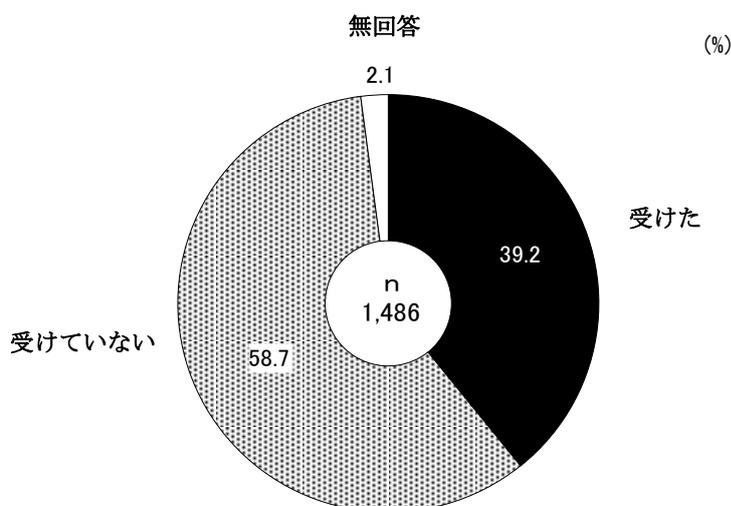
江戸川区では、区民の皆さんの健康を守るため、がん検診（無料）を実施しています。

【区で実施しているがん検診と検診対象】

子宮頸がん	: 20歳以上の女性
乳がん	: 30歳以上の女性
胃がん	: 30歳以上
大腸がん・肺がん・口腔がん	: 40歳以上
前立腺がん	: 年度中に60、65、70歳の誕生日を迎える男性

問13 あなたは、過去1年間のがん検診を受けましたか。(○は1つだけ)

<図表6-1> 過去1年間のがん検診の受診状況



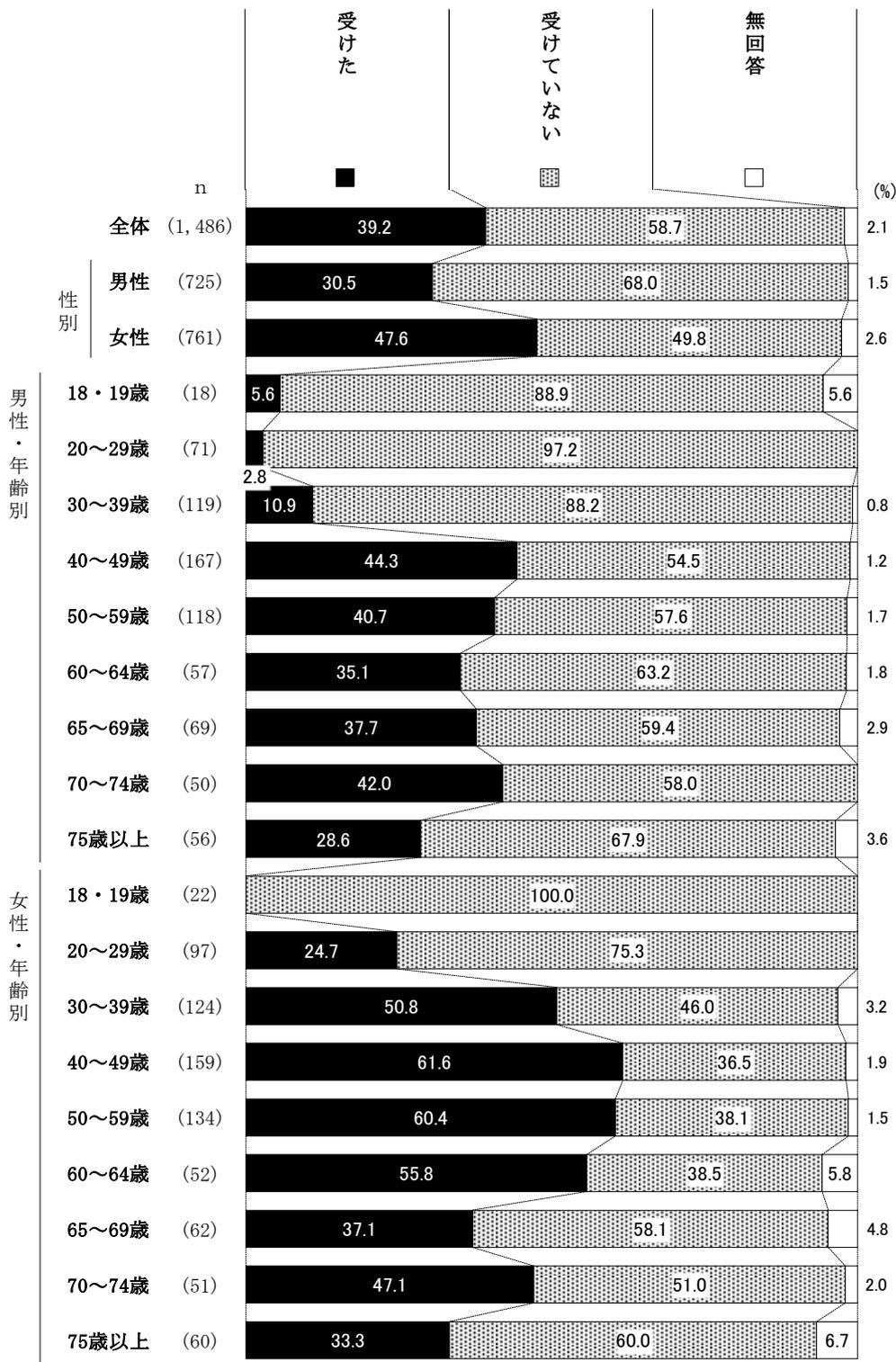
過去1年間のがん検診を受けたかを尋ねたところ、「受けた」(39.2%)は約4割、「受けていない」(58.7%)は6割弱となっている。(図表6-1)

【性・年齢別】

性別では、「受けた」は女性（47.6%）が男性（30.5%）より17.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「受けた」は女性40～49歳（61.6%）と50～59歳（60.4%）で6割を超えて高くなっている。（図表6－2）

＜図表6－2＞ がん検診の受診状況／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

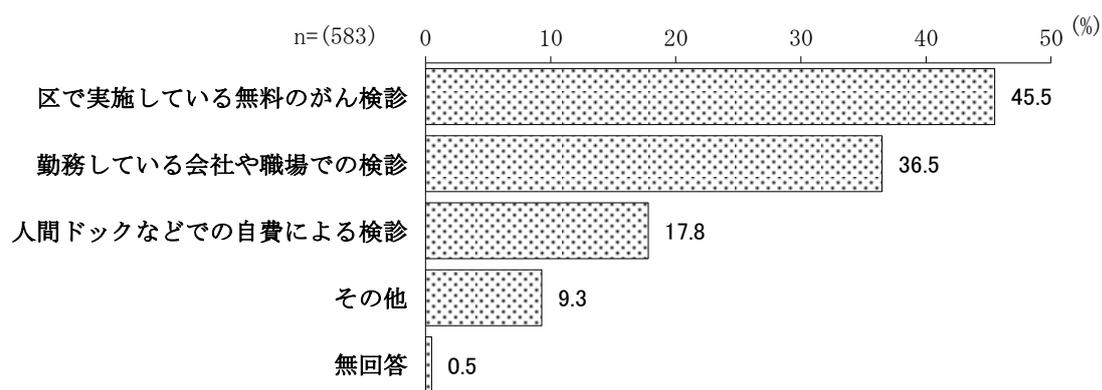
(1-1) がん検診を受けた機会

◇ 「区で実施している無料のがん検診」が4割台半ば

＜問13で「1 受けた」とお答えの方に＞

問13-1 どのような機会にがん検診を受けましたか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表6-3＞ がん検診を受けた機会（複数回答）



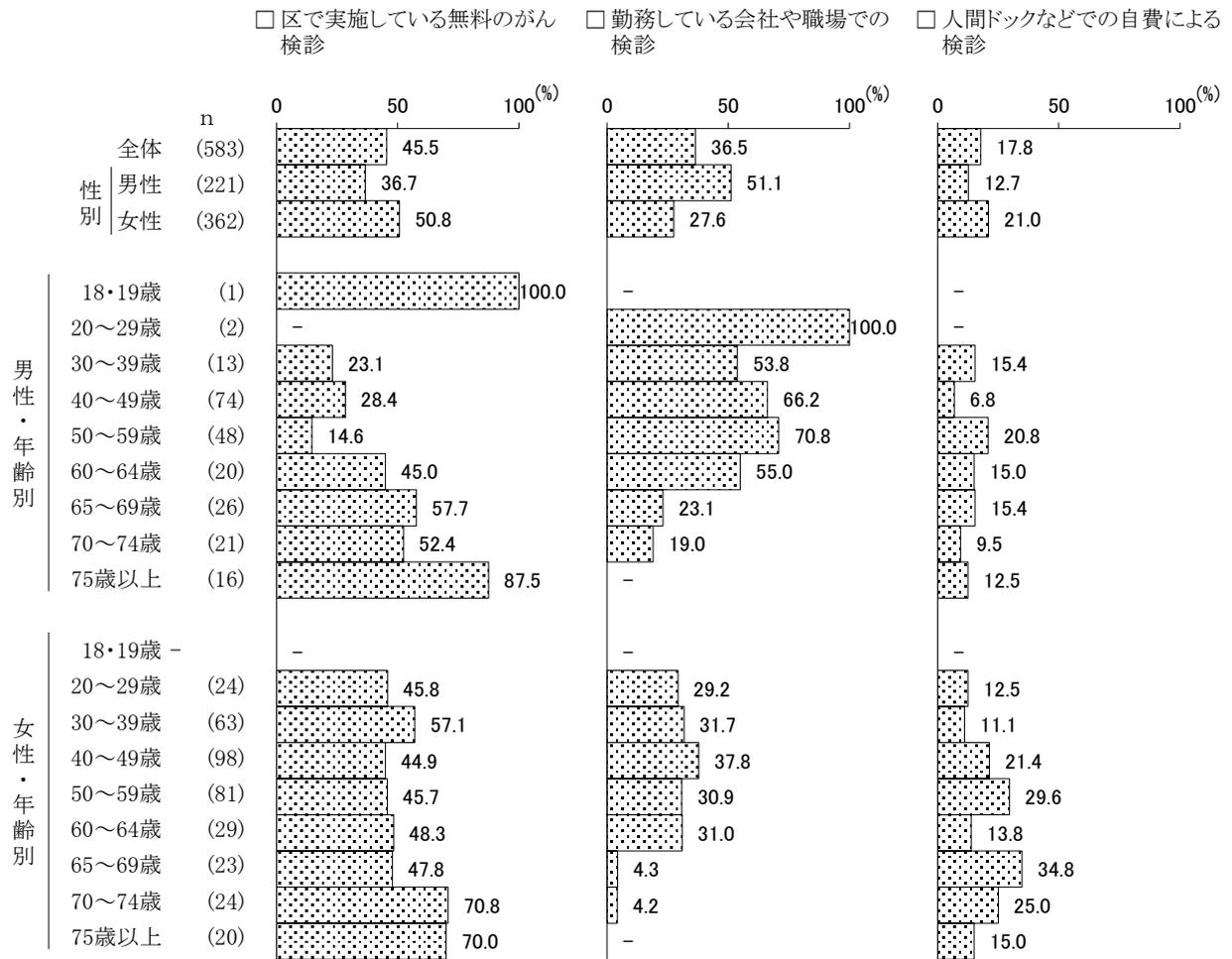
がん検診を受けた人に、その機会について尋ねたところ、「区で実施している無料のがん検診」(45.5%)が4割台半ば、続いて「勤務している会社や職場での検診」(36.5%)が3割台半ば、「人間ドックなどでの自費による検診」(17.8%)が2割弱となっている。(図表6-3)

【性・年齢別】

性別では、「区で実施している無料のがん検診」は女性（50.8%）が男性（36.7%）より14.1ポイント高く、「勤務している会社や職場での検診」は、男性（51.1%）が女性（27.6%）より23.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「区で実施している無料のがん検診」は女性30～39歳（57.1%）で6割弱と最も高く、「勤務している会社や職場での検診」は男性50～59歳（70.8%）で約7割と最も高くなっている。（図表6-4）

＜図表6-4＞ がん検診を受けた機会／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”、“20～29歳”、男性“30～39歳”、男性及び女性の“60～64歳”、“65～69歳”“70～74歳”、“75歳以上”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

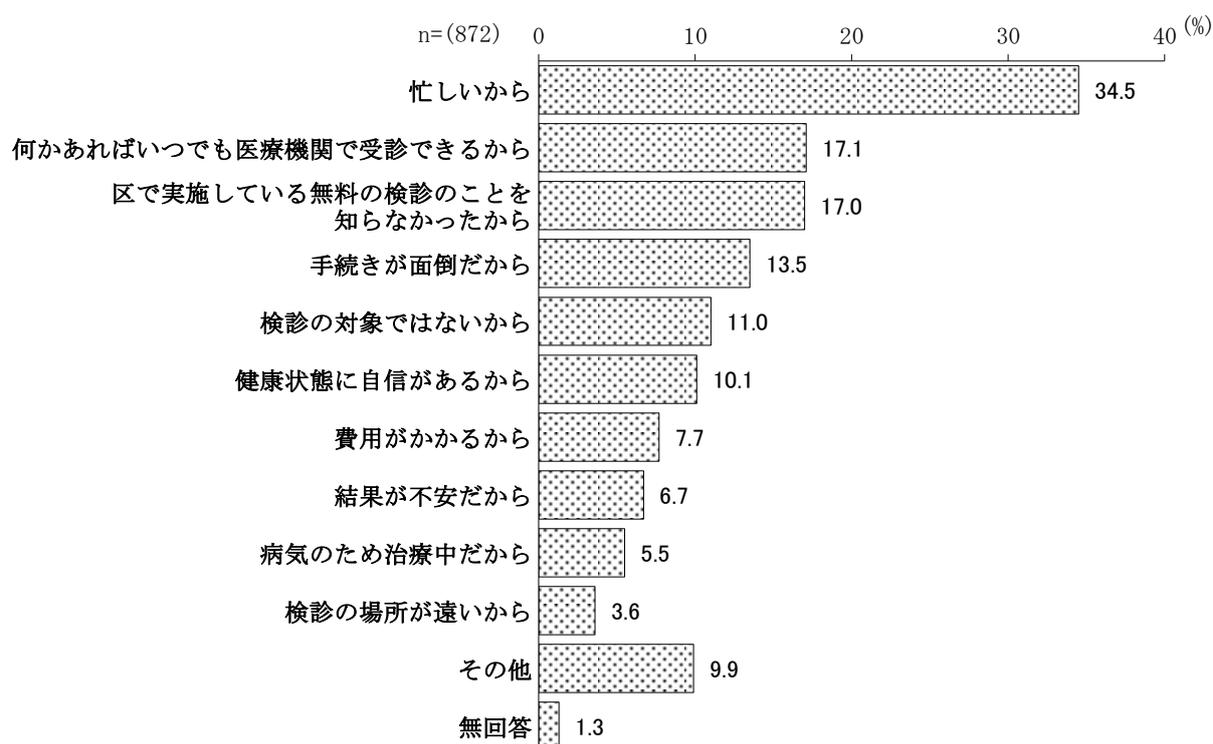
(1-2) がん検診を受診しなかった理由

◇ 「忙しいから」が3割台半ば

＜問13で「2 受けていない」とお答えの方に＞

問13-2 がん検診を受診しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

＜図表6-5＞ がん検診を受診しなかった理由（複数回答）



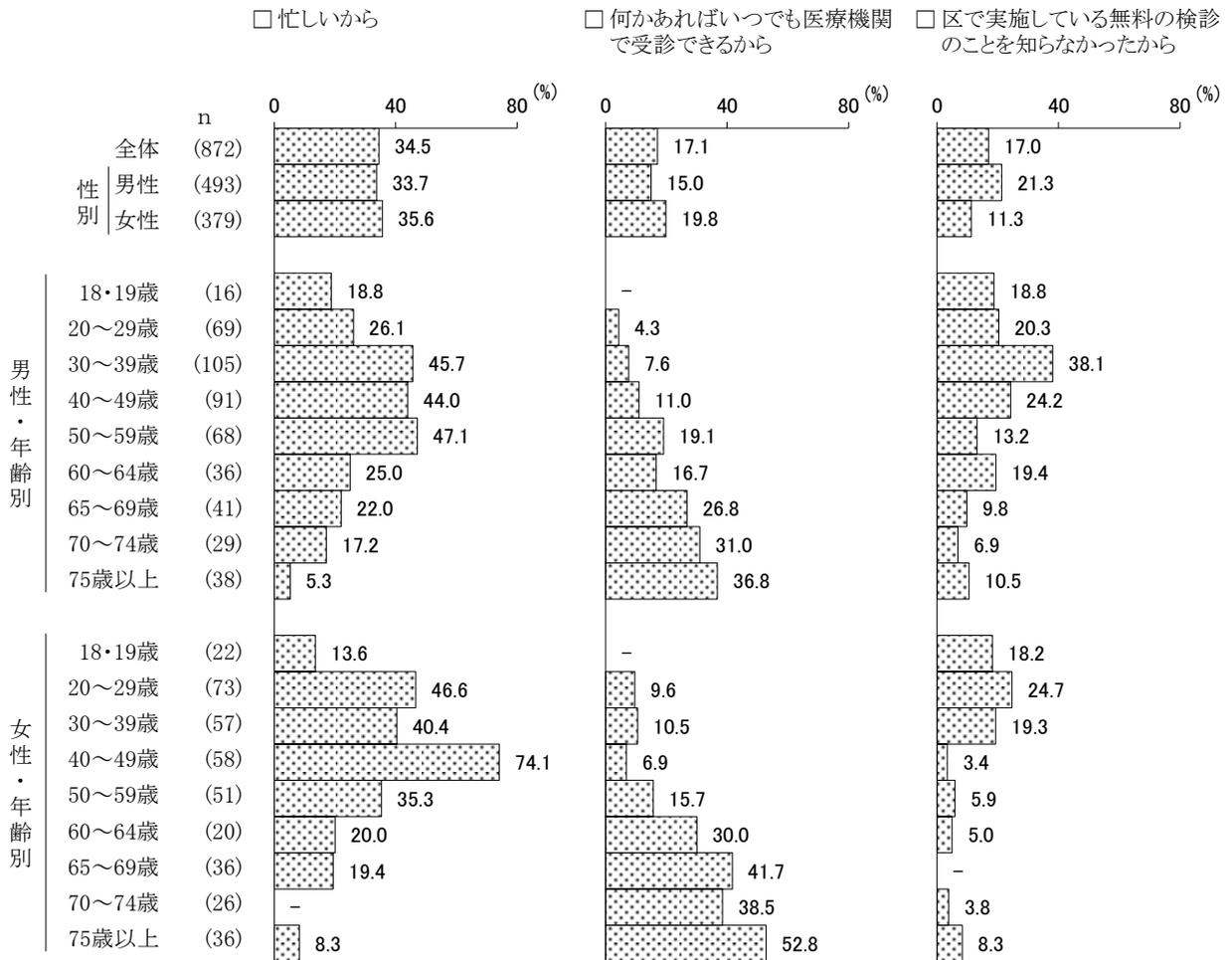
がん検診を受けていない人に、その理由を尋ねたところ、「忙しいから」(34.5%)が3割台半ばで最も高く、続いて「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」(17.1%)、「区で実施している無料の検診のことを知らなかったから」(17.0%)がそれぞれ2割弱となっている。(図表6-5)

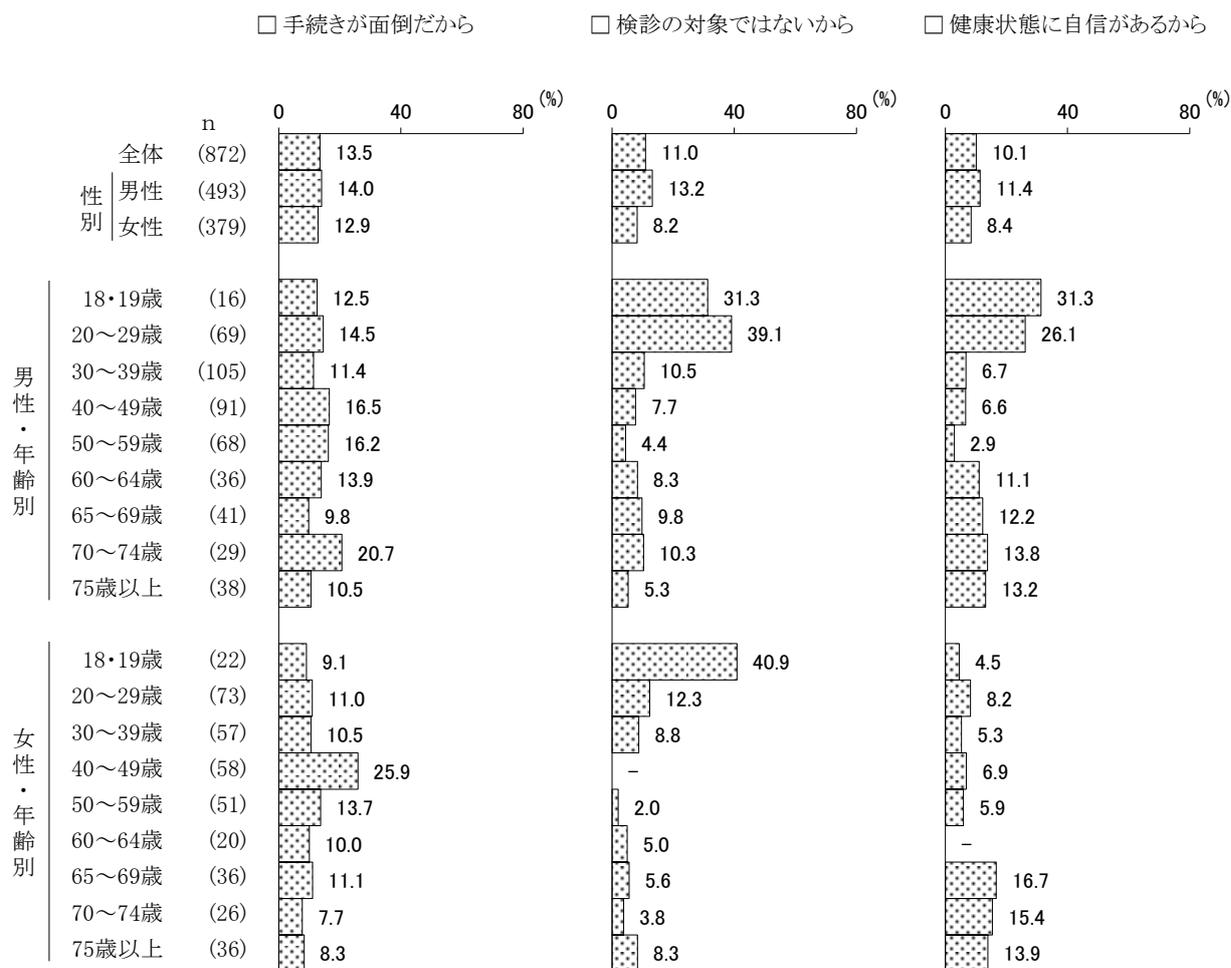
【性・年齢別】

性別では、「忙しいから」はあまり大きな違いはみられない。「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」は、女性（19.8%）が男性（15.0%）より4.8ポイント高く、「区で実施している無料の検診のことを知らなかったから」は、男性（21.3%）が女性（11.3%）より10.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「忙しいから」は女性40～49歳（74.1%）で7割台半ばと最も高く、男性50～59歳（47.1%）で5割弱と高くなっている。「何かあればいつでも医療機関で受診できるから」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にある。「手続きが面倒だから」は女性40～49歳（25.9%）で2割台半ばと最も高くなっている（図表6-6）

＜図表6-6＞ がん検診を受診しなかった理由／性・年齢別





※男性及び女性の“18・19歳”、女性“60～64歳”、男性及び女性の“70～74歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

7. 喫煙について

(1) 喫煙の状況

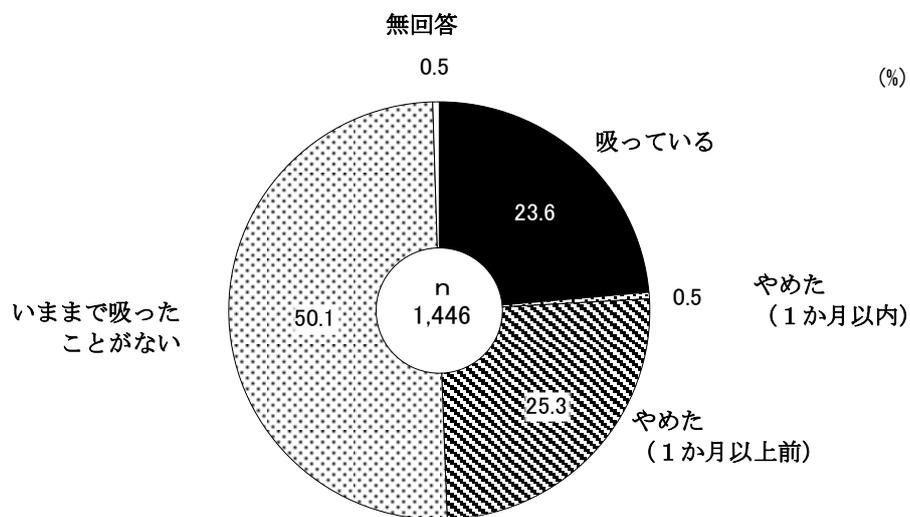
◇「いままで吸ったことがない」が約5割

江戸川区は、『歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例』を平成24年1月に施行するとともに、がん予防推進計画を策定し、健康づくりを進めています。

問14 <20歳以上の方に>

あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

<図表7-1> 喫煙の状況



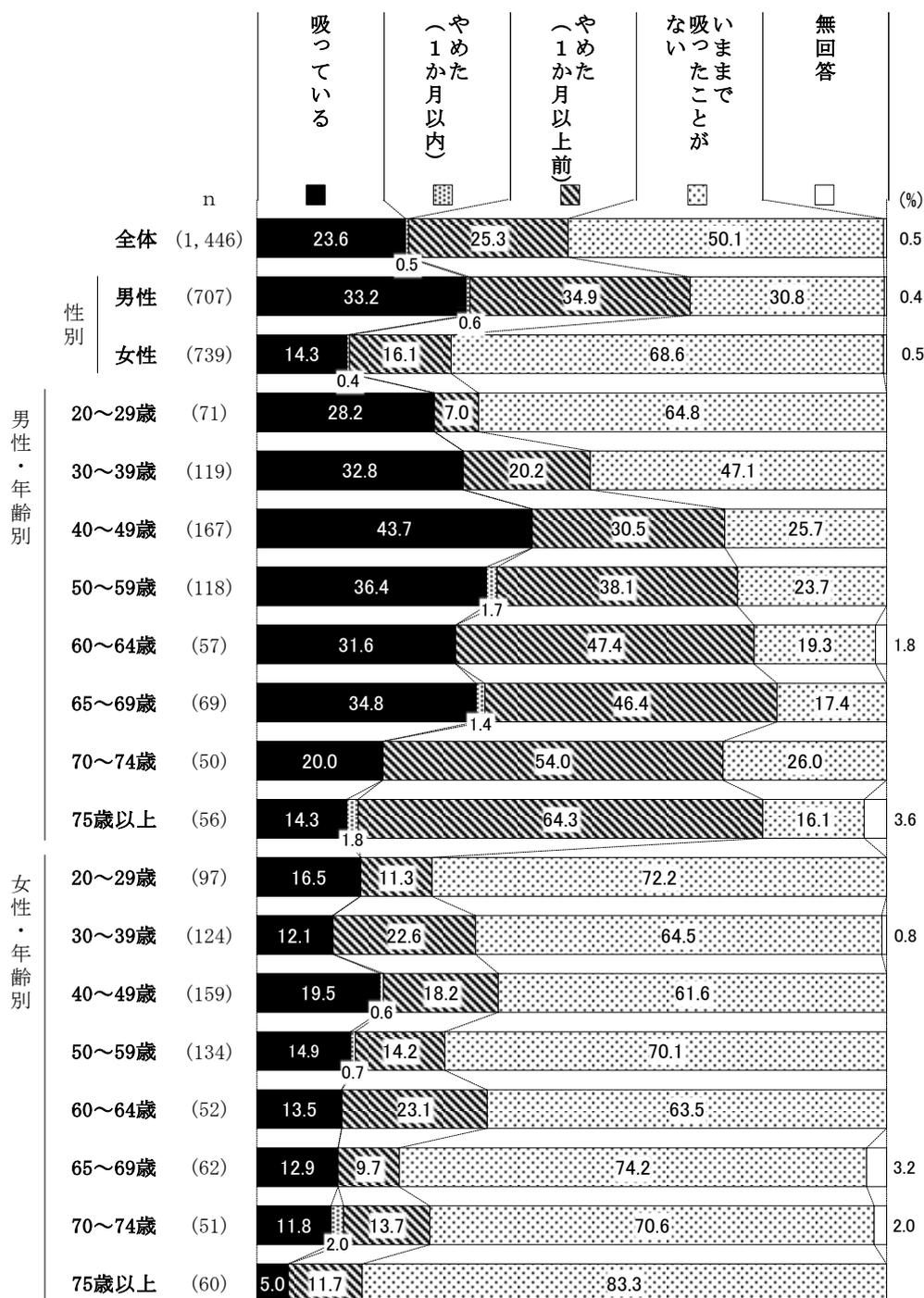
20歳以上の方にたばこを吸うか尋ねたところ、「いままで吸ったことがない」(50.1%)が約5割と最も高くなっている。「やめた(1か月以上前)」(25.3%)と「やめた(1か月以内)」(0.5%)を合わせた<やめた(計)>(25.8%)は2割台半ばとなっている。一方、「吸っている」(23.6%)が2割強となっている。(図表7-1)

【性・年齢別】

性別では、「吸っている」は男性(33.2%)が女性(14.3%)より18.9ポイント高く、「やめた(1か月以上前)」は、男性(34.9%)が女性(16.1%)より18.8ポイント高くなっている。一方、「いままで吸ったことがない」は、女性(68.6%)が男性(30.8%)より37.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「吸っている」は男性40~49歳(43.7%)で4割強と最も高く、全ての年齢で男性の割合が女性の割合より高くなっている。「やめた(1か月以上前)」は、男性75歳以上(64.3%)で6割台半ばと最も高くなっている。一方、「いままで吸ったことがない」は、女性75歳以上(83.3%)で8割強と最も高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2> 喫煙の状況/性・年齢別

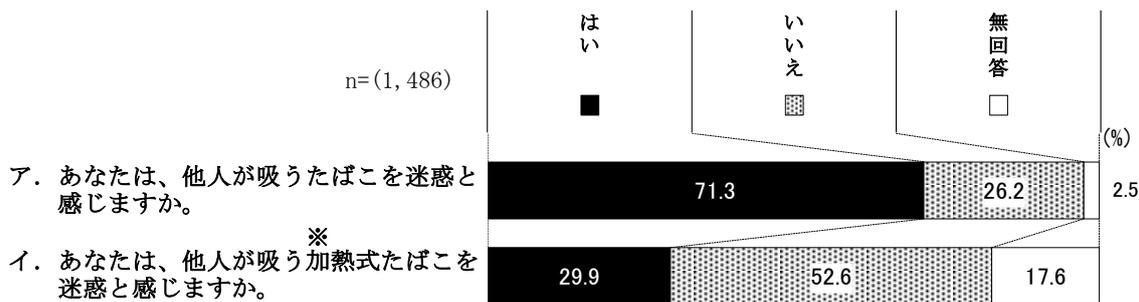


(2) たばこを迷惑と感じるか

◇ 「はい (迷惑と感じる)」が7割強

問15 あなたは、他人が吸うたばこを迷惑と感じますか。(それぞれ○は1つずつ)

<図表7-3> たばこを迷惑と感じるか



※加熱式たばこ (アイコスやプルームテックなど)

他人が吸うたばこを迷惑と感じるかを尋ねたところ、「はい」(71.3%)が7割強と高く、「いいえ」(26.2%)が2割台半ばとなっている。加熱式たばこ(アイコスやプルームテックなど)は、「いいえ」(52.6%)が5割強と高く、「はい」(29.9%)が約3割となっている。(図表7-3)

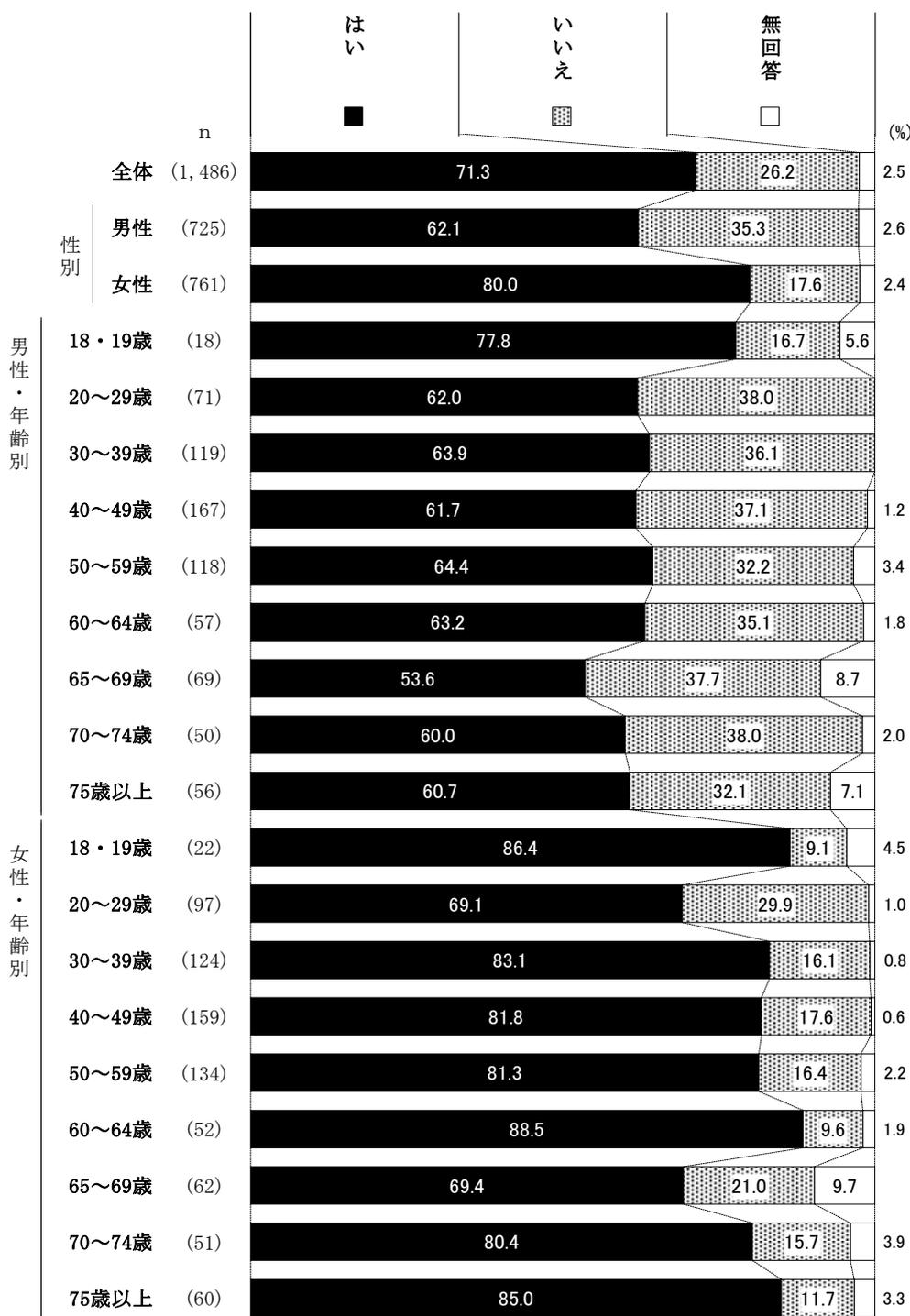
ア. 他人が吸うたばこを迷惑と感じるか

【性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（80.0%）が男性（62.1%）より17.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（88.5%）で9割弱と最も高く、全ての年齢で女性の割合が男性の割合より高くなっている。（図表7-4）

＜図表7-4＞ 他人が吸うたばこを迷惑と感じるか／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

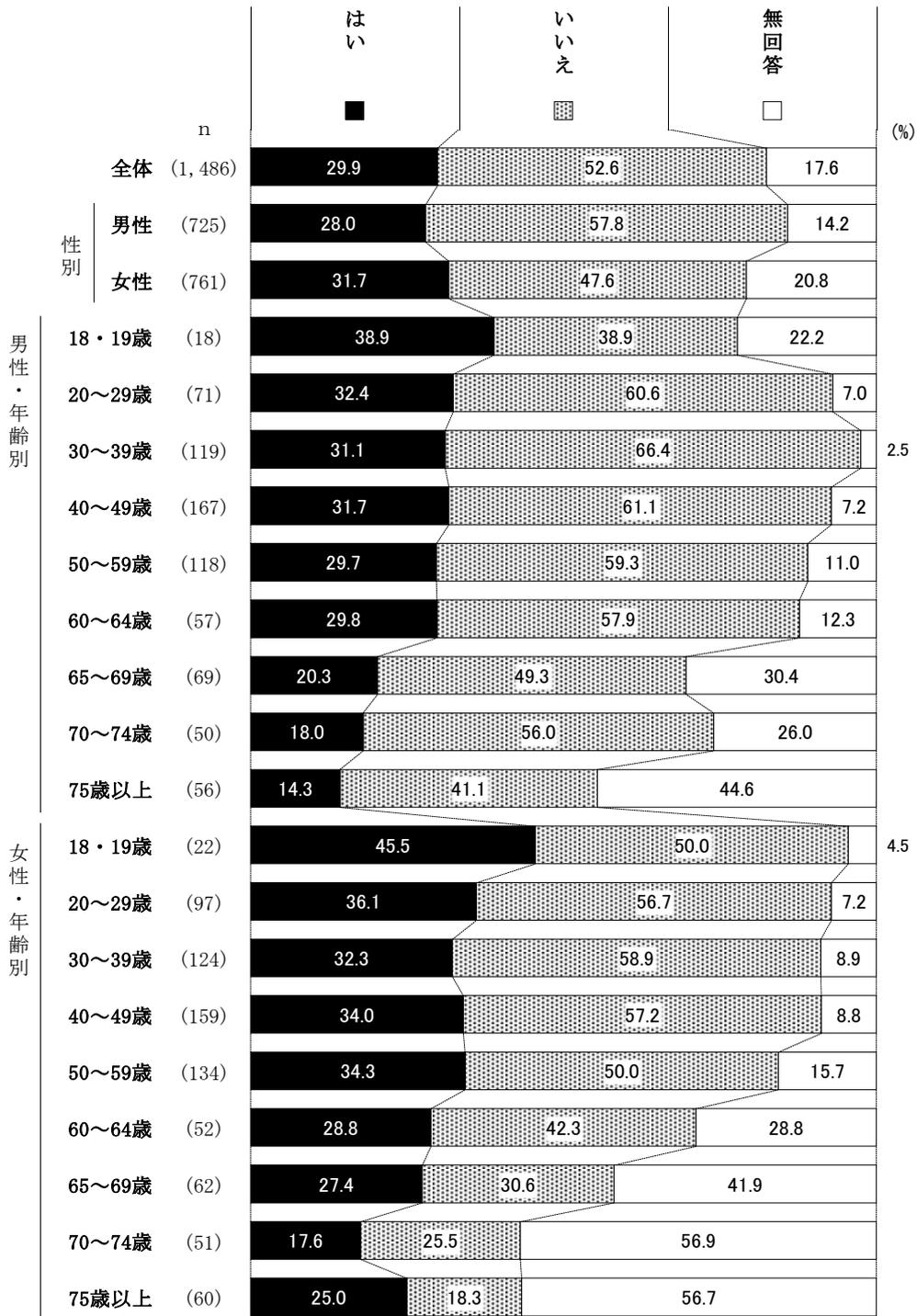
イ. 他人が吸う加熱式たばこ（アイコスやプルームテックなど）を迷惑と感じるか

【性・年齢別】

性別では、「いいえ」は男性（57.8%）が女性（47.6%）より10.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「いいえ」は男性30～39歳（66.4%）で6割台半ばと最も高く、全ての年齢で男性の割合が女性の割合より高くなっている。（図表7-5）

＜図表7-5＞ 他人が吸う加熱式たばこを迷惑と感じるか／性・年齢別



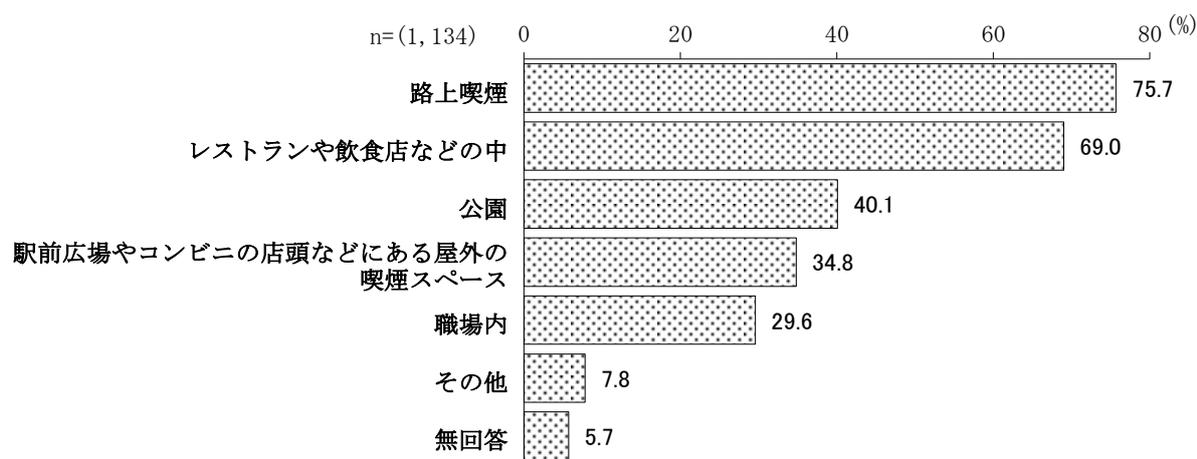
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2-1) 迷惑と感ずる場所

◇ 「路上喫煙」が7割台半ば

問15-1 <問15で1つでも「1 はい」とお答えの方に>
 あなたは、どのような場所で迷惑と感ずりますか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表7-6> 迷惑と感ずる場所 (複数回答)



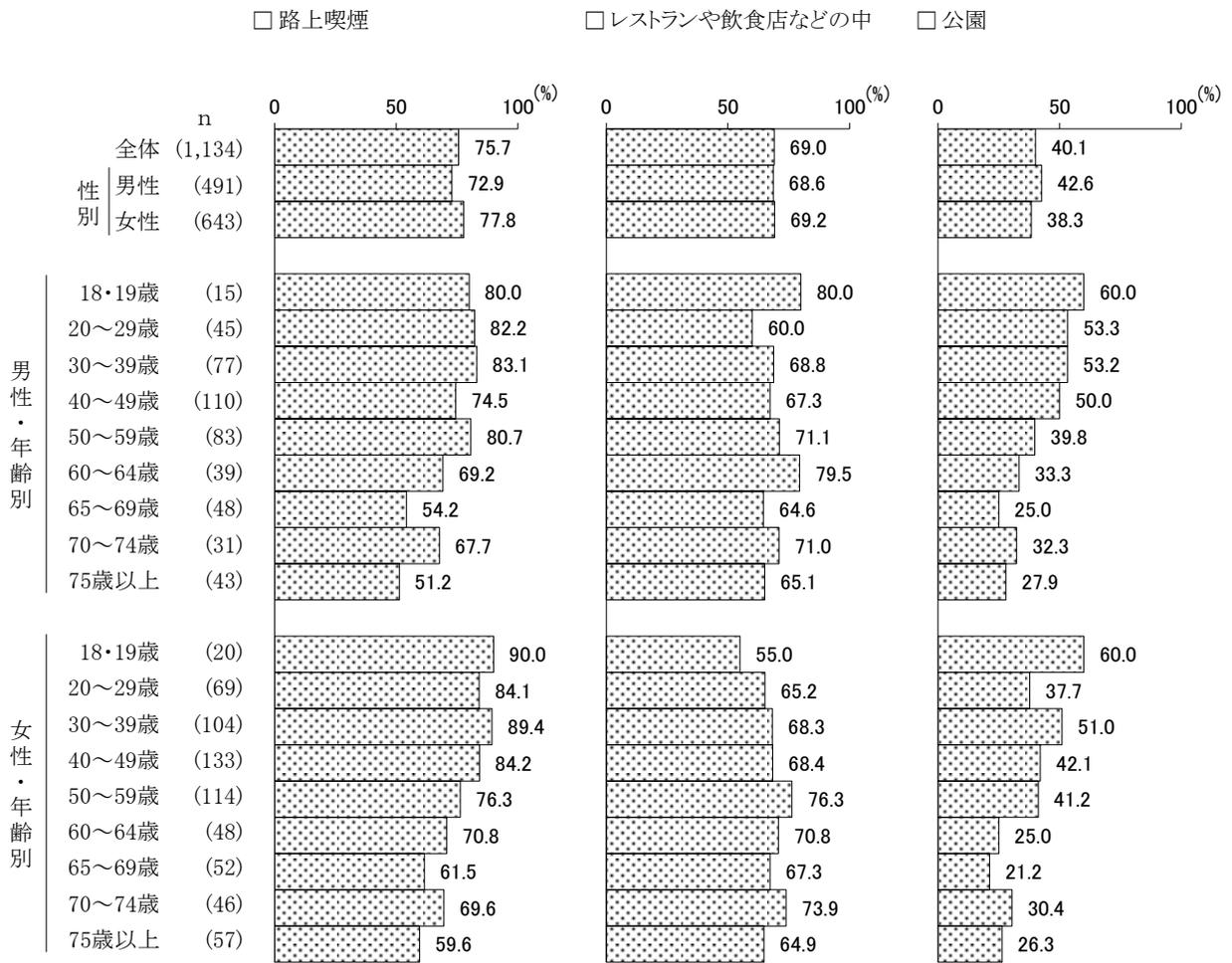
他人が吸うたばこを迷惑と感ずると答えた人にどのような場所で迷惑と感ずるかを尋ねたところ、「路上喫煙」(75.7%)が7割台半ばで最も高く、続いて「レストランや飲食店などの中」(69.0%)が約7割、「公園」(40.1%)、「駅前広場やコンビニの店頭などにある屋外の喫煙スペース」(34.8%)、「職場内」(29.6%)となっている。(図表7-6)

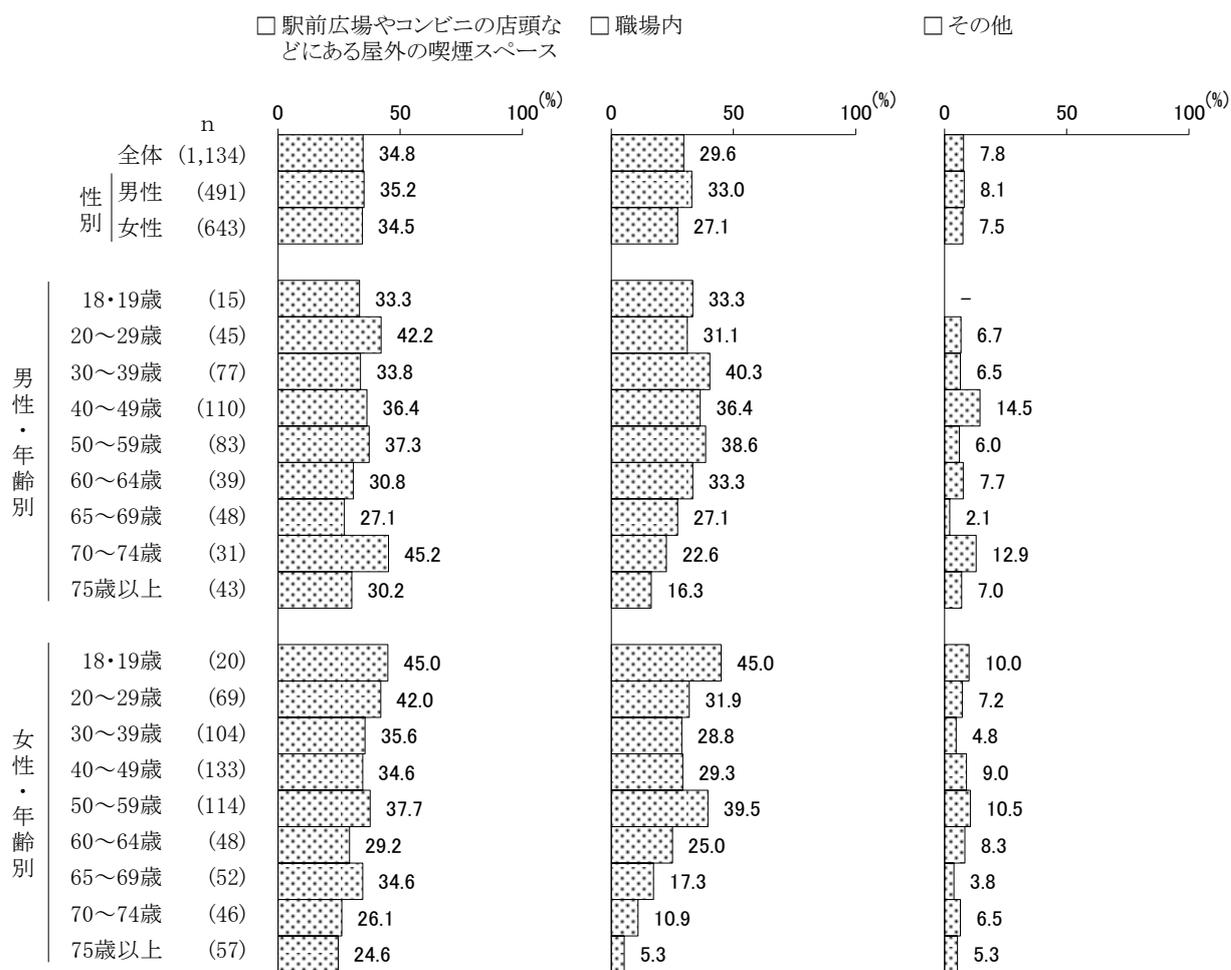
【性・年齢別】

性別では、「路上喫煙」は女性(77.8%)が男性(72.9%)より4.9ポイント高く、「公園」は男性(42.6%)が女性(38.3%)より4.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「路上喫煙」は女性30～39歳(89.4%)で約9割と最も高く、50～59歳を除く全ての年齢で女性の割合が男性の割合より高くなっている。「レストランや飲食店などの中」は男性60～64歳(79.5%)で約8割と最も高くなっている。「公園」は年齢が高いほど割合が低くなる傾向がある。「駅前広場やコンビニの店頭などにある屋外の喫煙スペース」は、男性70～74歳(45.2%)、男性20～29歳(42.2%)、女性20～29歳(42.0%)で4割を超えて高くなっている。(図表7-7)

<図表7-7> 迷惑と感じる場所／性・年齢別(上位6項目)





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

8. 地域活動への参加について

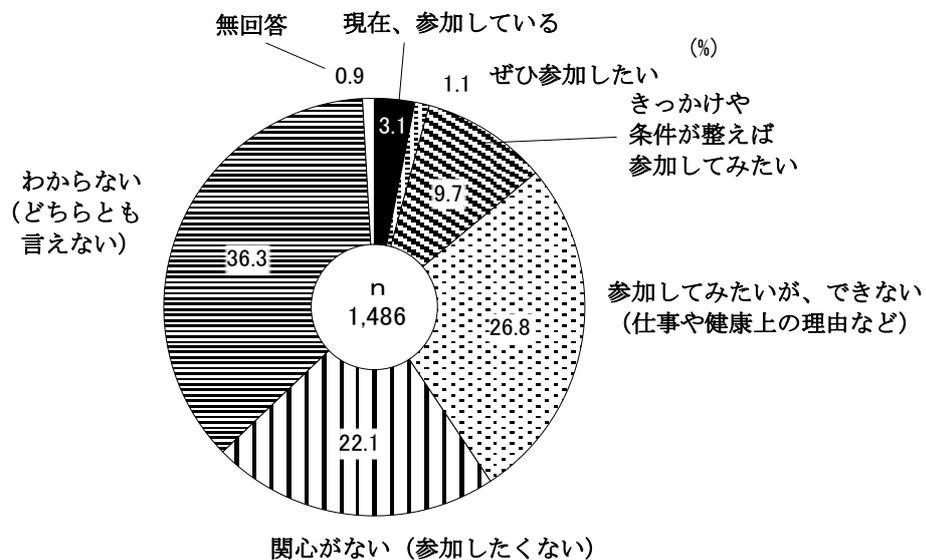
(1) 地域活動への参加の意向

◇ <参加したい>は37.6%

江戸川区では、「安全・安心パトロール」などの町会・自治会活動のほか、「保育ママ」「すくすくスクール」「熟年者等の見守り」活動などで、地域力が活かされています。

問16 あなたは、こうした活動をしたいと思いませんか。(○は1つだけ)

<図表8-1> 地域活動への参加の意向



(注) <参加したい> = 「ぜひ参加したい」 + 「きっかけや条件が整えば参加してみたい」 + 「参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)」・・・37.6%
 <参加しない> = 「関心がない(参加したくない)」・・・22.1%

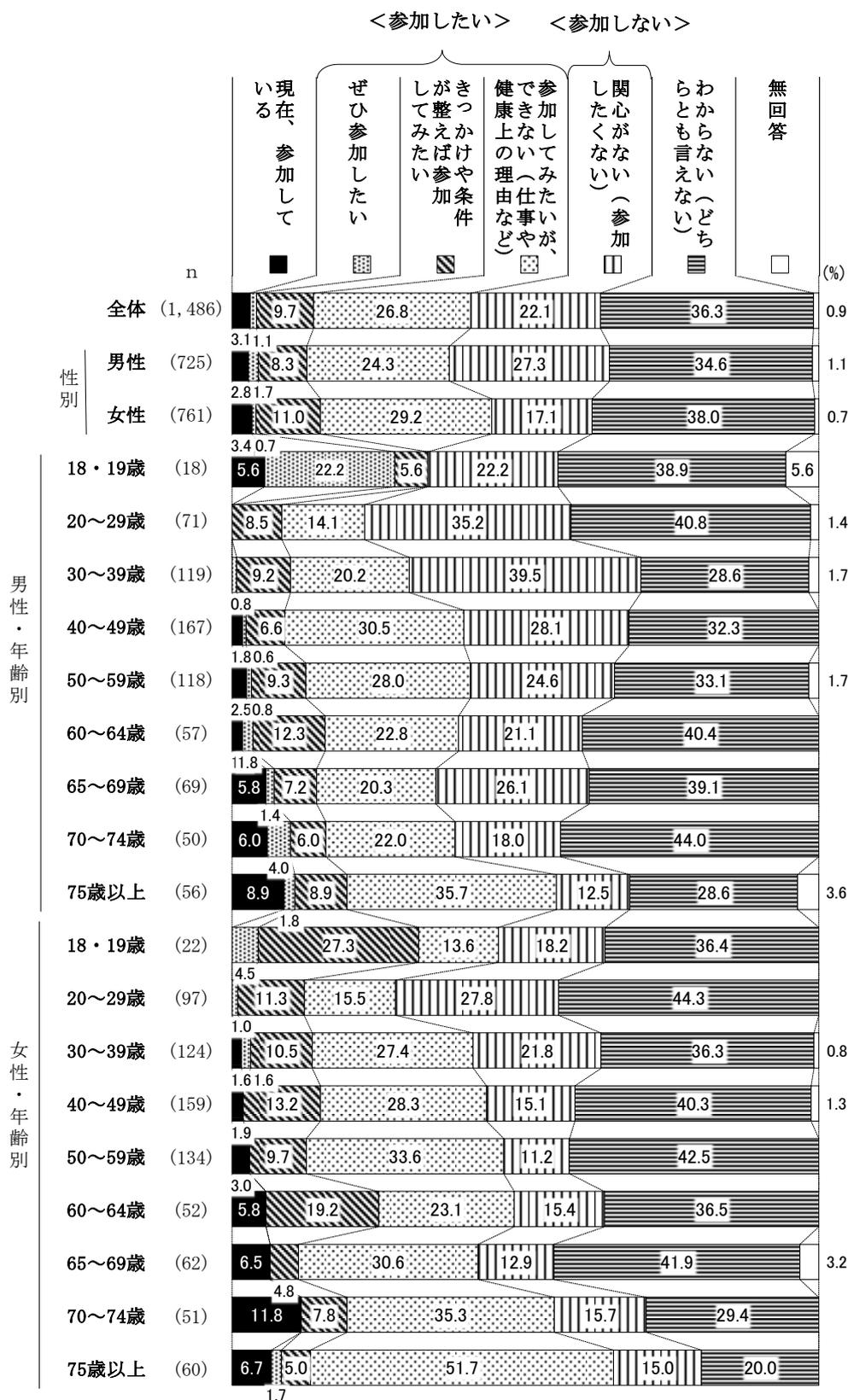
地域活動をしたいか尋ねたところ、「ぜひ参加したい」(1.1%)と「きっかけや条件が整えば参加してみたい」(9.7%)、「参加してみたいが、できない」を合わせた<参加したい>(37.6%)は4割弱、「現在、参加している」(3.1%)は1割未満となっている。一方、<参加しない>(22.1%)が2割強、「わからない(どちらともいえない)」(36.3%)は3割台半ばとなっている。(図表8-1)

【性・年齢別】

性別では、<参加したい>は女性(40.9%)が男性(34.3%)より6.6ポイント高くなっている。<参加しない>は、男性(27.3%)が女性(17.1%)より10.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「現在、参加している」は女性70~74歳(11.8%)で1割強と高く、<参加したい>は女性75歳以上(58.4%)で6割弱高くなっている。<参加しない>は男性30~39歳(39.5%)で約4割と高くなっている。(図表8-2)

<図表8-2> 地域活動への参加の意向／性・年齢別

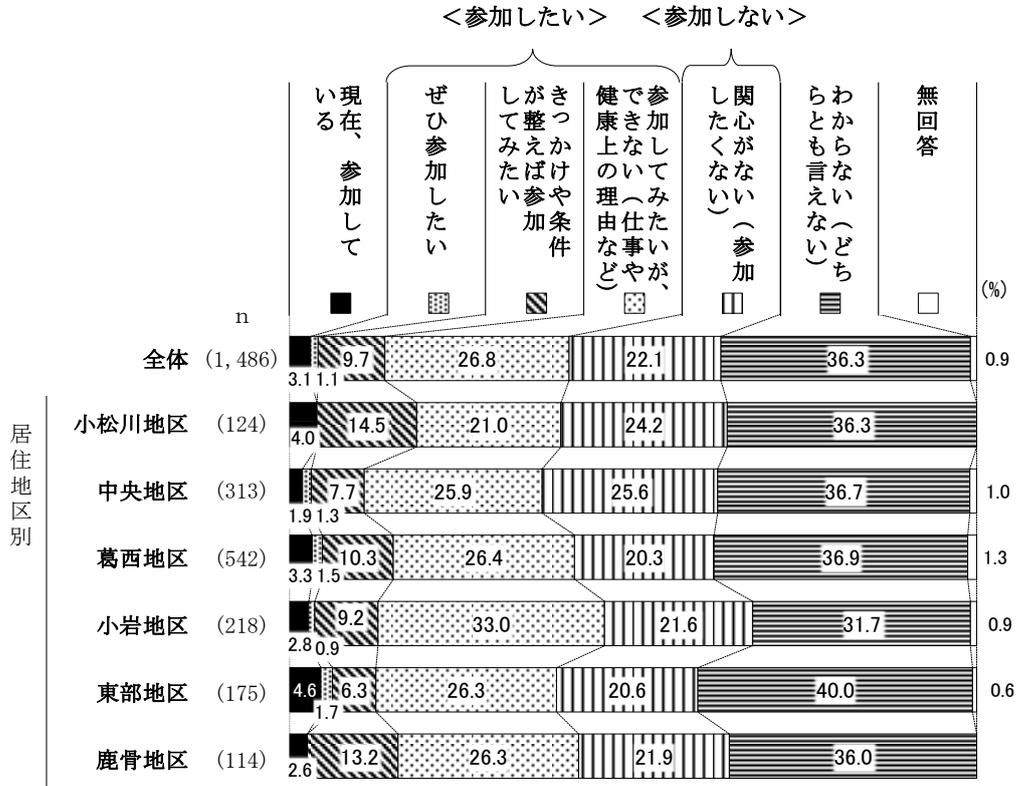


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、＜参加したい＞は“小岩地区”（43.1%）で4割強と最も高くなっている。一方、＜参加しない＞は“中央地区”（25.6%）で2割台半ばとなっている。（図表8-3）

＜図表8-3＞ 地域活動への参加の意向／居住地区別

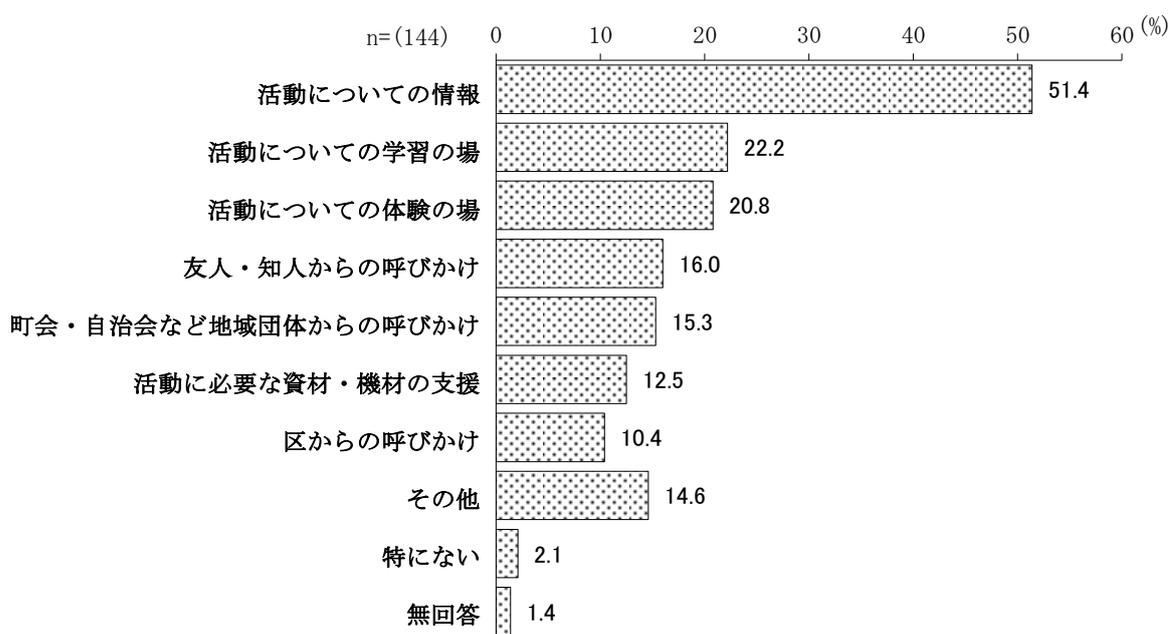


(1-1) 地域活動をするために必要なこと

◇ 「活動についての情報」が5割強

問16-1 <問16で「3 きっかけや条件が整えば参加してみたい」とお答えの方に>
 あなたが活動するためには、どのようなことが必要ですか。(〇は2つまで)

<図表8-4> 地域活動をするために必要なこと (複数回答)



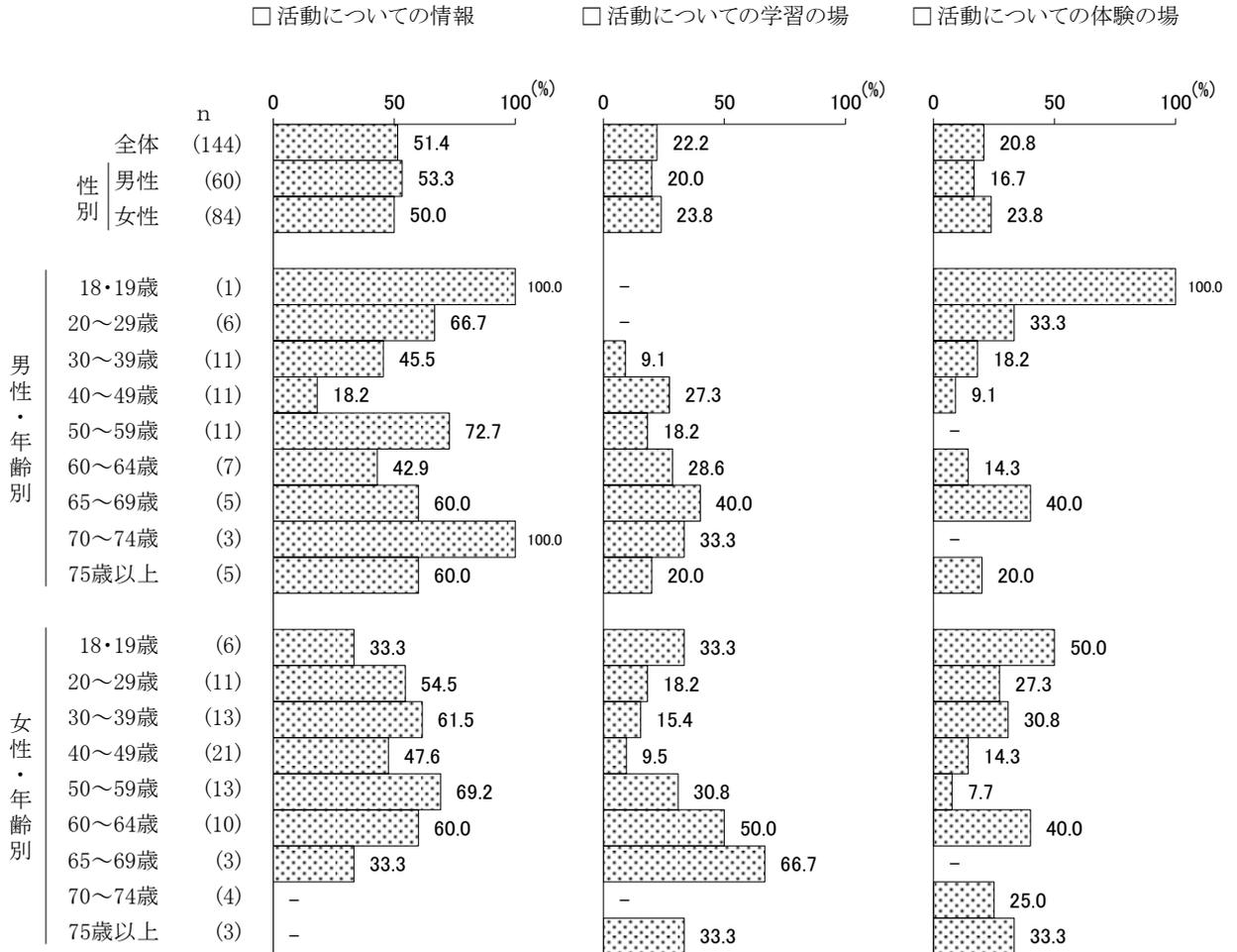
きっかけや条件が整えば参加してみたいと回答した人に活動をするために必要なことを尋ねたところ、「活動についての情報」(51.4%)が5割強、続いて「活動についての学習の場」(22.2%)が2割強、「活動についての体験の場」(20.8%)が約2割となっている。(図表8-4)

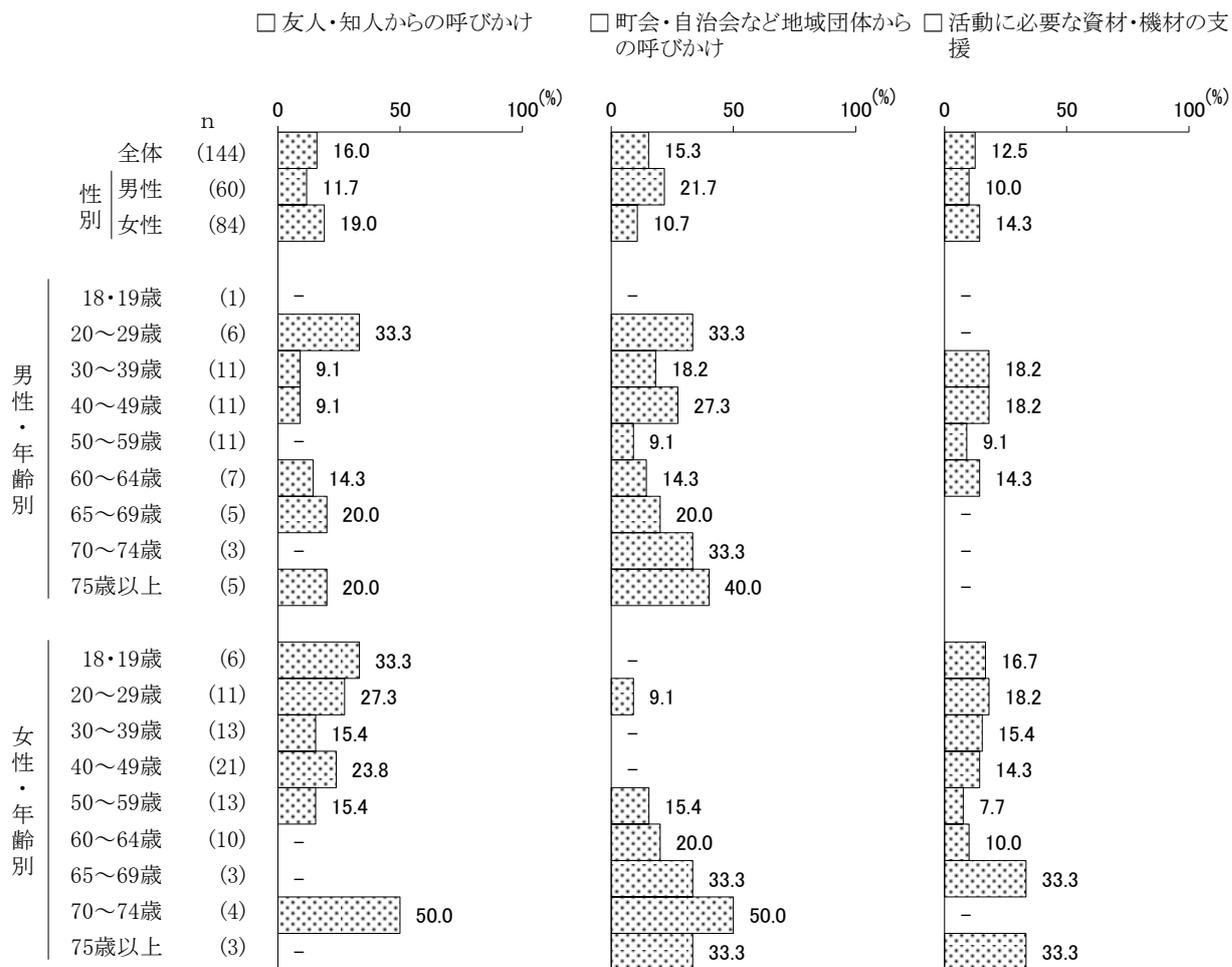
【性・年齢別】

性・年齢別については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(図表8-5)

＜図表8-5＞ 地域活動をするために必要なこと／性・年齢別（上位6項目）



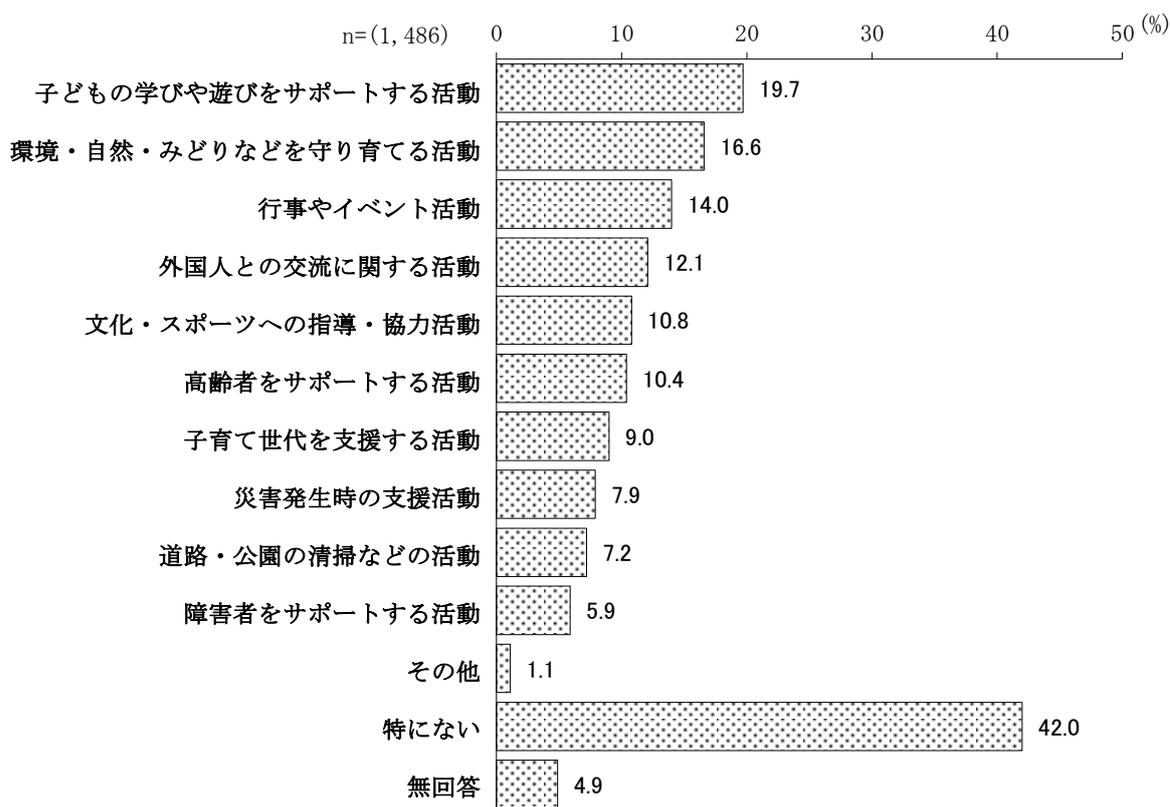


(2) 参加したい活動

◇ 「子どもの学びや遊びをサポートする活動」が約2割

問17 あなたは、どのような活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表8-6> 参加したい活動(複数回答)



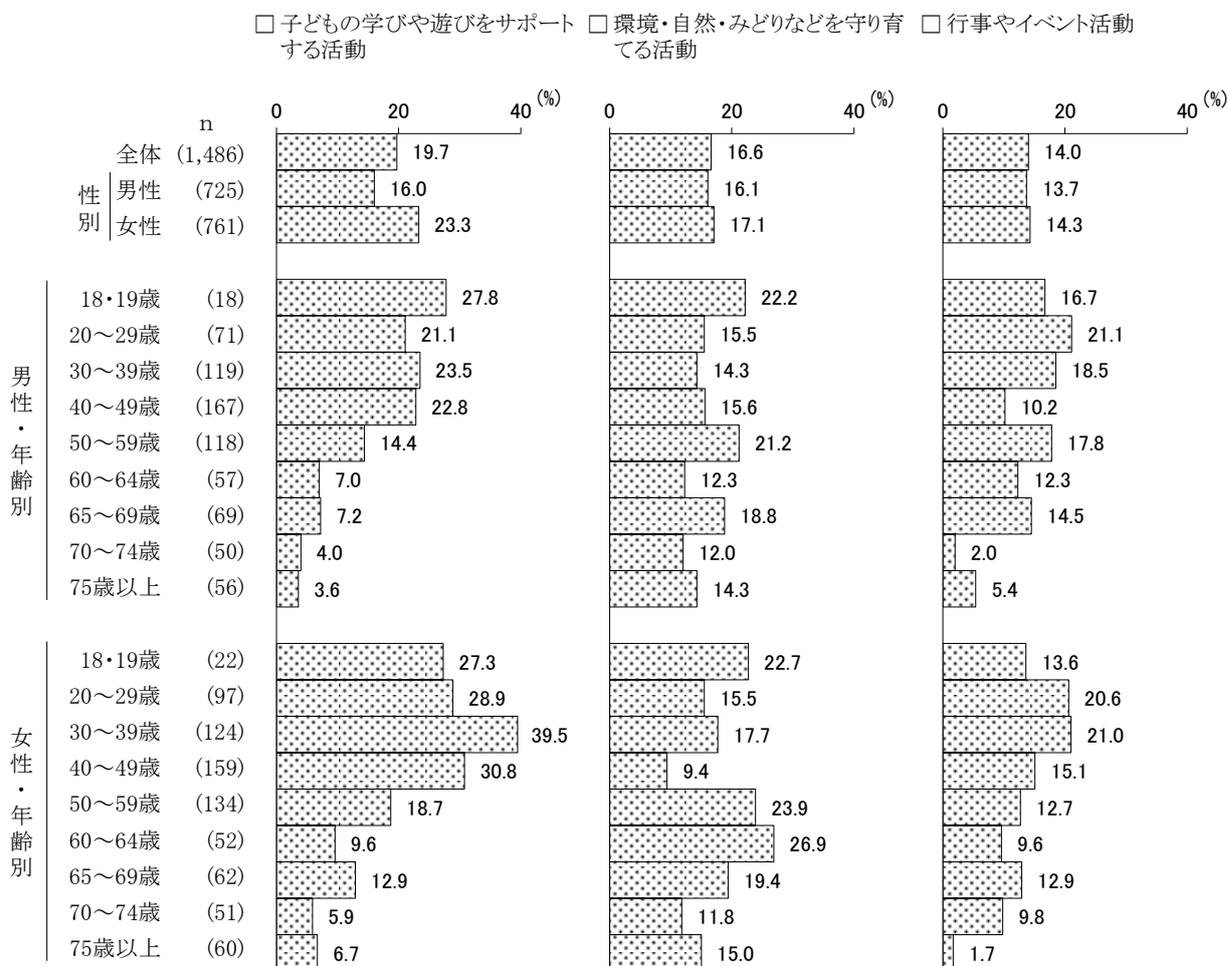
どのような活動に参加したいかを尋ねたところ、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」(19.7%)が約2割、続いて「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」(16.6%)、「行事やイベント活動」(14.0%)が1割台半ばとなっている。一方、「特にない」(42.0%)が4割強となっている。(図表8-6)

【性・年齢別】

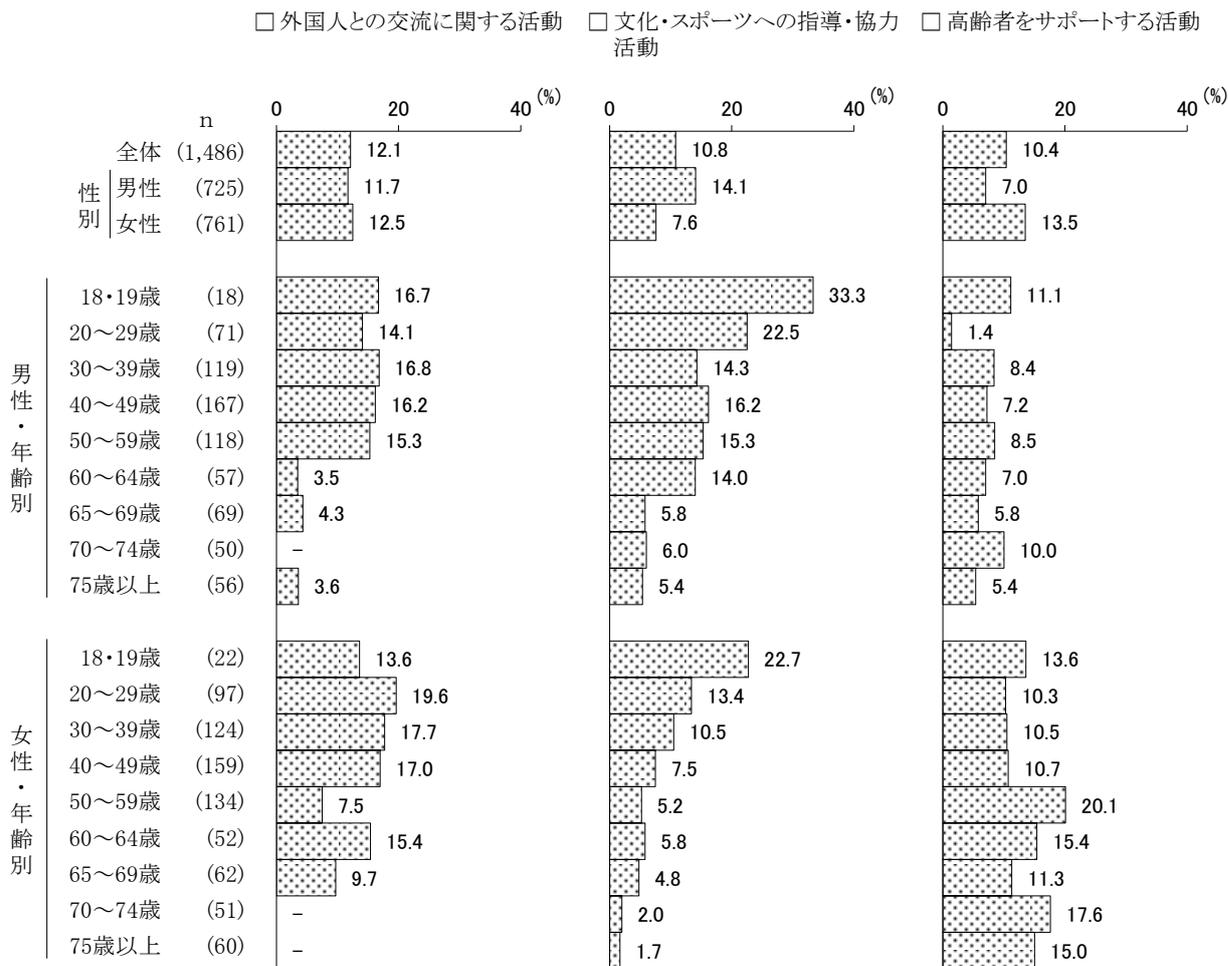
性別では、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」は女性（23.3%）が男性（16.0%）よりも7.3ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「子どもの学びや遊びをサポートする活動」は女性30～39歳（39.5%）で約4割と高く、女性40～49歳（30.8%）と女性20～29歳（28.9%）で3割前後と高くなっている。「環境・自然・みどりなどを守り育てる活動」は、女性60～64歳（26.9%）で2割台半ばと高く、「行事やイベント活動」は、男性20～29歳（21.1%）と女性20～29歳（20.6%）、女性30～39歳（21.0%）で2割を超えて高くなっている。「外国人との交流に関する活動」は、女性20～29歳（19.6%）で約2割と高く、「文化・スポーツへの指導・協力活動」は、男性20～29歳（22.5%）で2割台半ばと高くなっている。「高齢者をサポートする活動」は、女性50～59歳（20.1%）で約2割と高く、全ての年齢で女性の割合が男性の割合より高くなっている。（図表8－7）

＜図表8－7＞ 参加したい活動／性・年齢別



Ⅲ 結果と分析 8. 地域活動への参加について



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

9. みどりについて

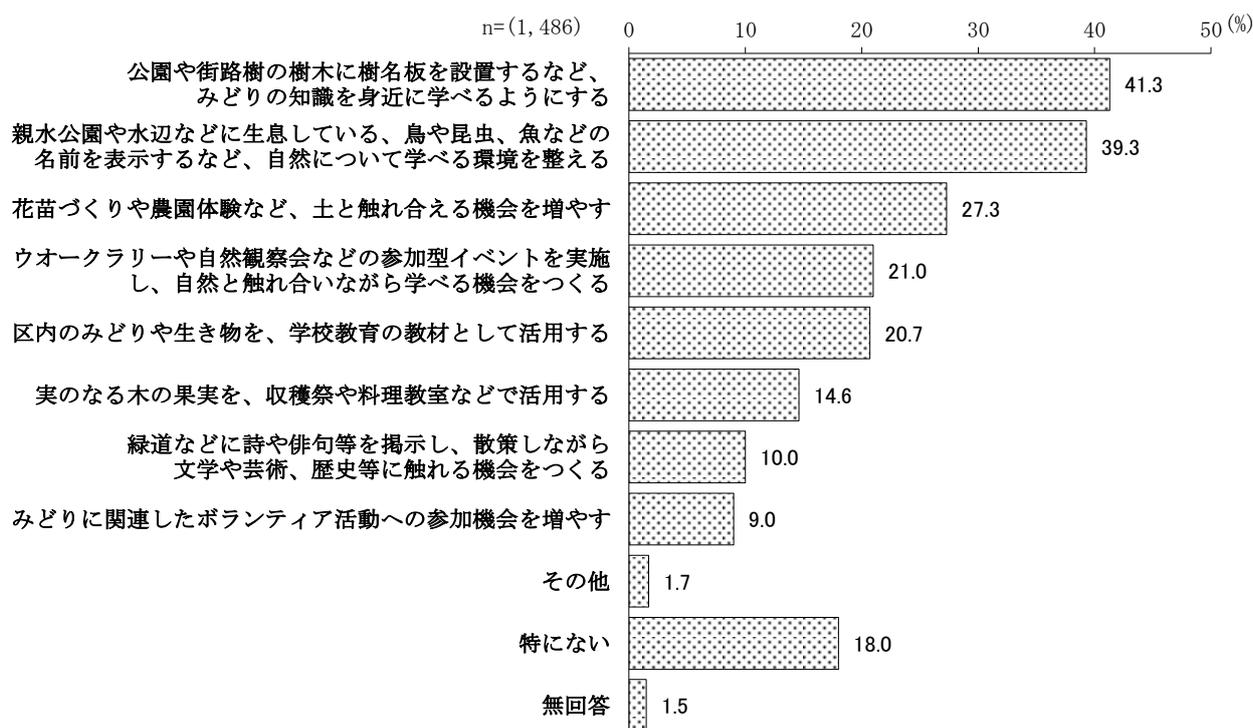
(1) みどりのまちづくりのために行うべき取り組み

- ◇ 「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」は4割を超える

江戸川区は、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりを進めてきました。また、平成25年4月には「江戸川区みどりの基本計画」を策定し、「みどりを守り、育て、創る」施策を区民の皆さんと共にすすめています。

問18 豊かなまちのみどりをより身近で親しみやすくしていくためには、どのようなことに取り組んでいったらよいと思いますか。(○は3つまで)

<図表9-1> みどりのまちづくりのために行うべき取り組み (複数回答)



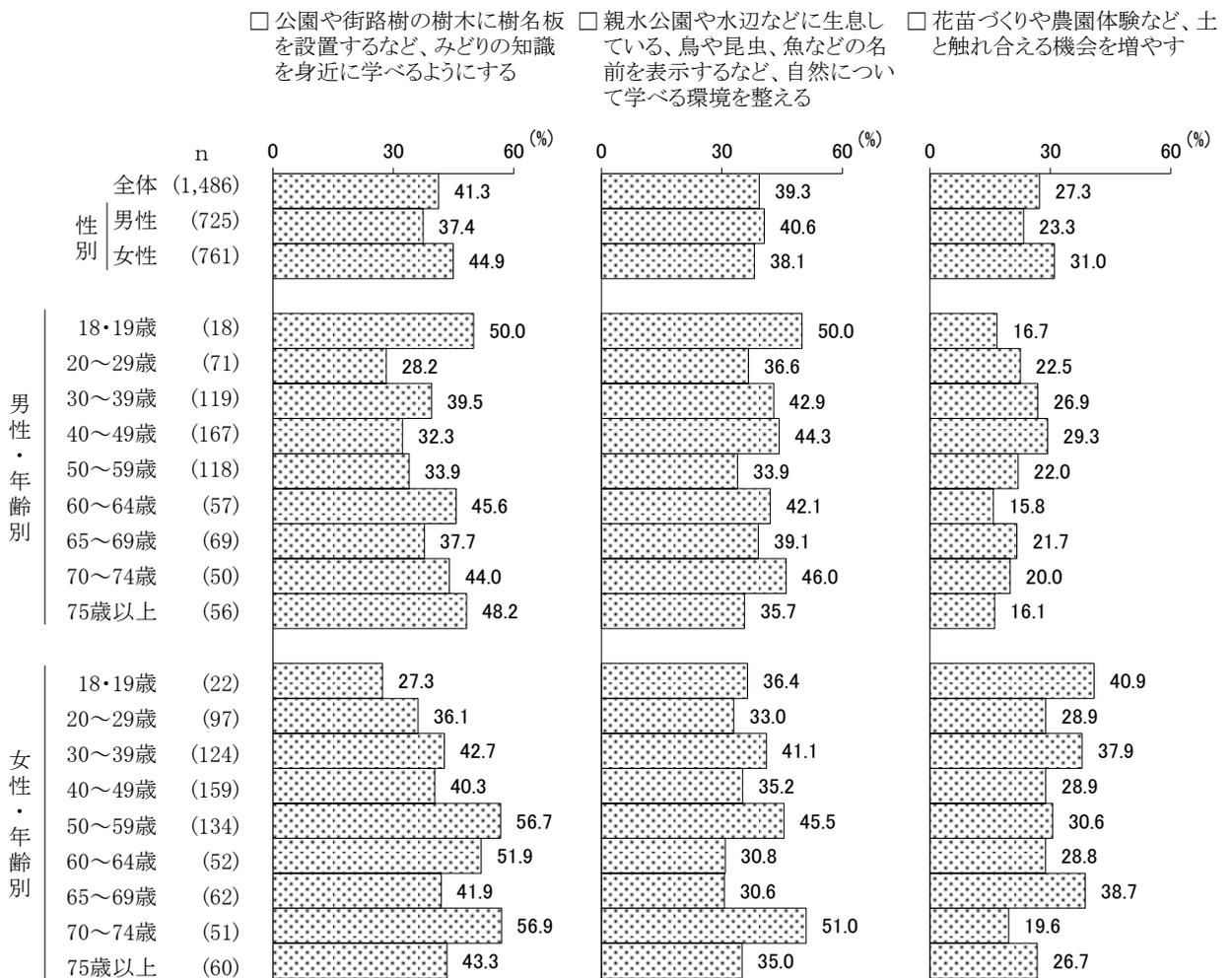
みどりのまちづくりのために行うべき取り組みについて尋ねたところ、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」(41.3%)が4割強と最も高く、続いて「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」(39.3%)が約4割となっている。(図表9-1)

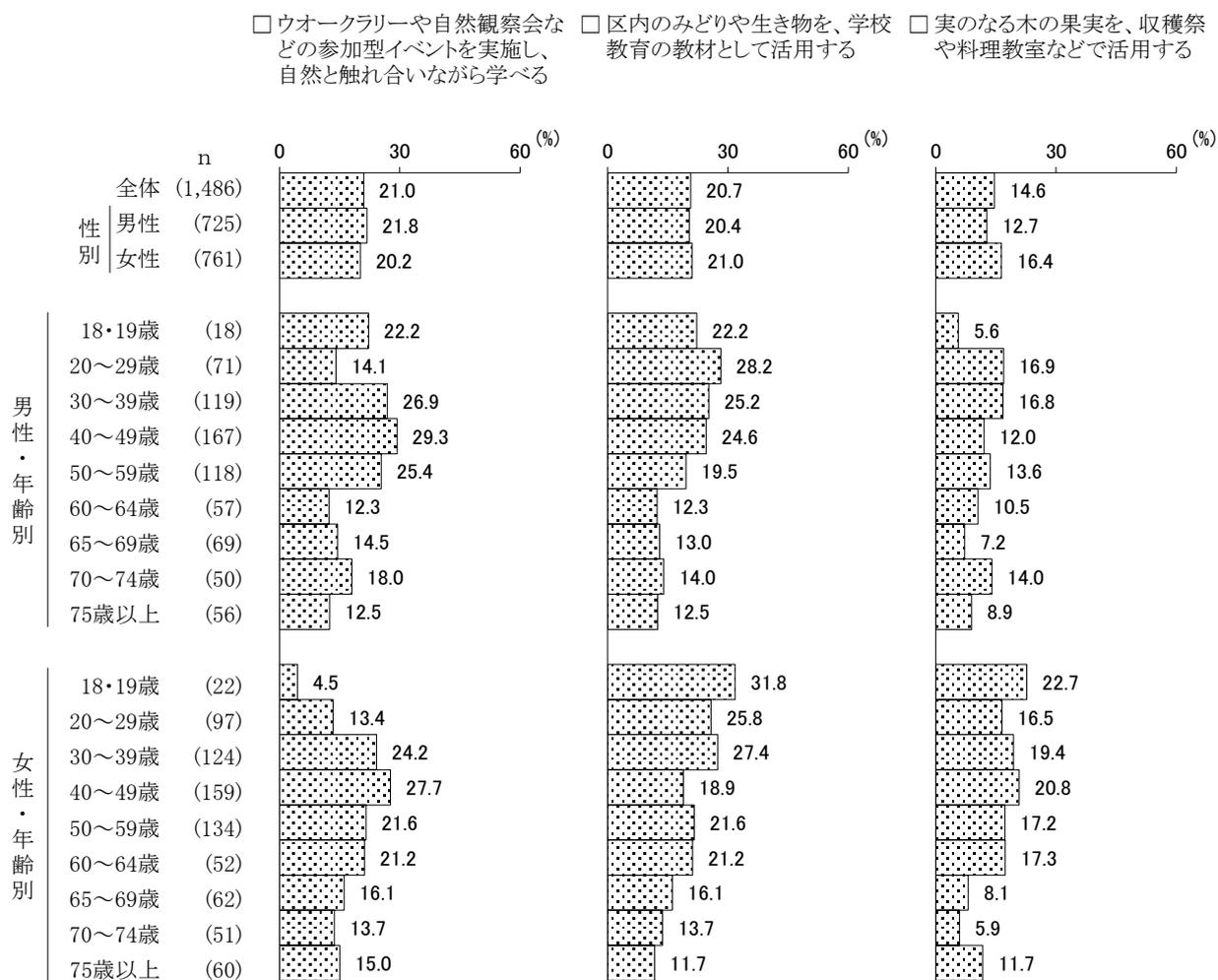
【性・年齢別】

性別では、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」は女性（44.9%）が男性（37.4%）より7.5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする」は女性70～74歳（56.9%）、女性50～59歳（56.7%）で5割台半ばと高く、「親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える」は女性70～74歳（51.0%）で約5割と高くなっている。（図表9－2）

＜図表9－2＞ みどりのまちづくりのために行うべき取り組み／性・年齢別（上位6項目）





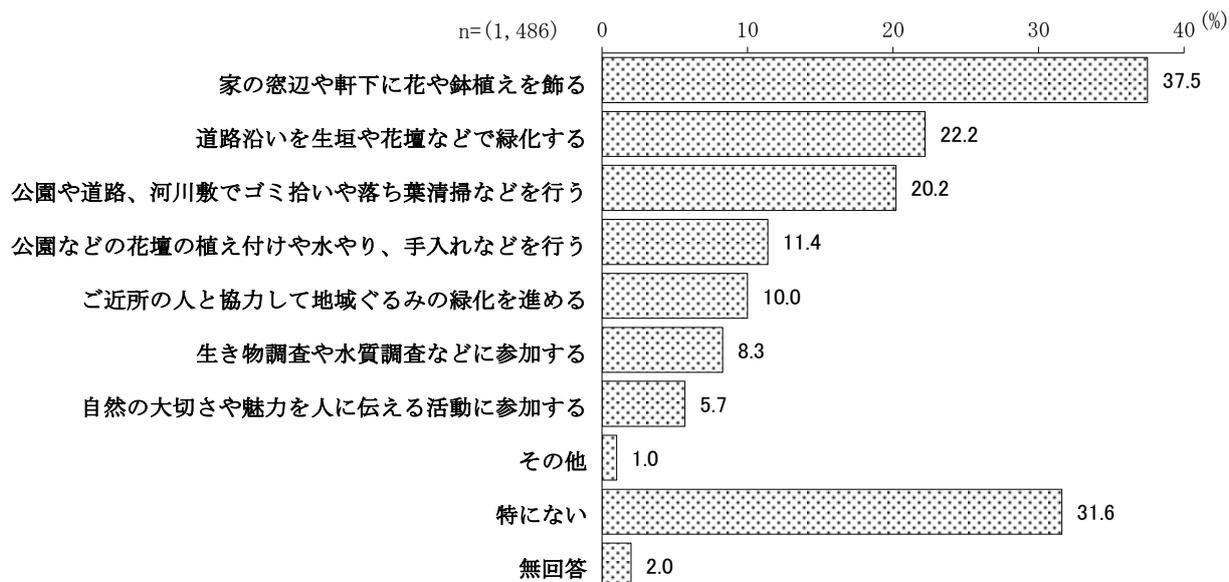
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) みどり豊かなまちづくりのために協力したいこと

◇「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」が4割弱

問19 みどり豊かなまちづくりを進めていくために、あなたが協力したいと思うことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

<図表9-3> みどり豊かなまちづくりのために協力したいと思うこと (複数回答)



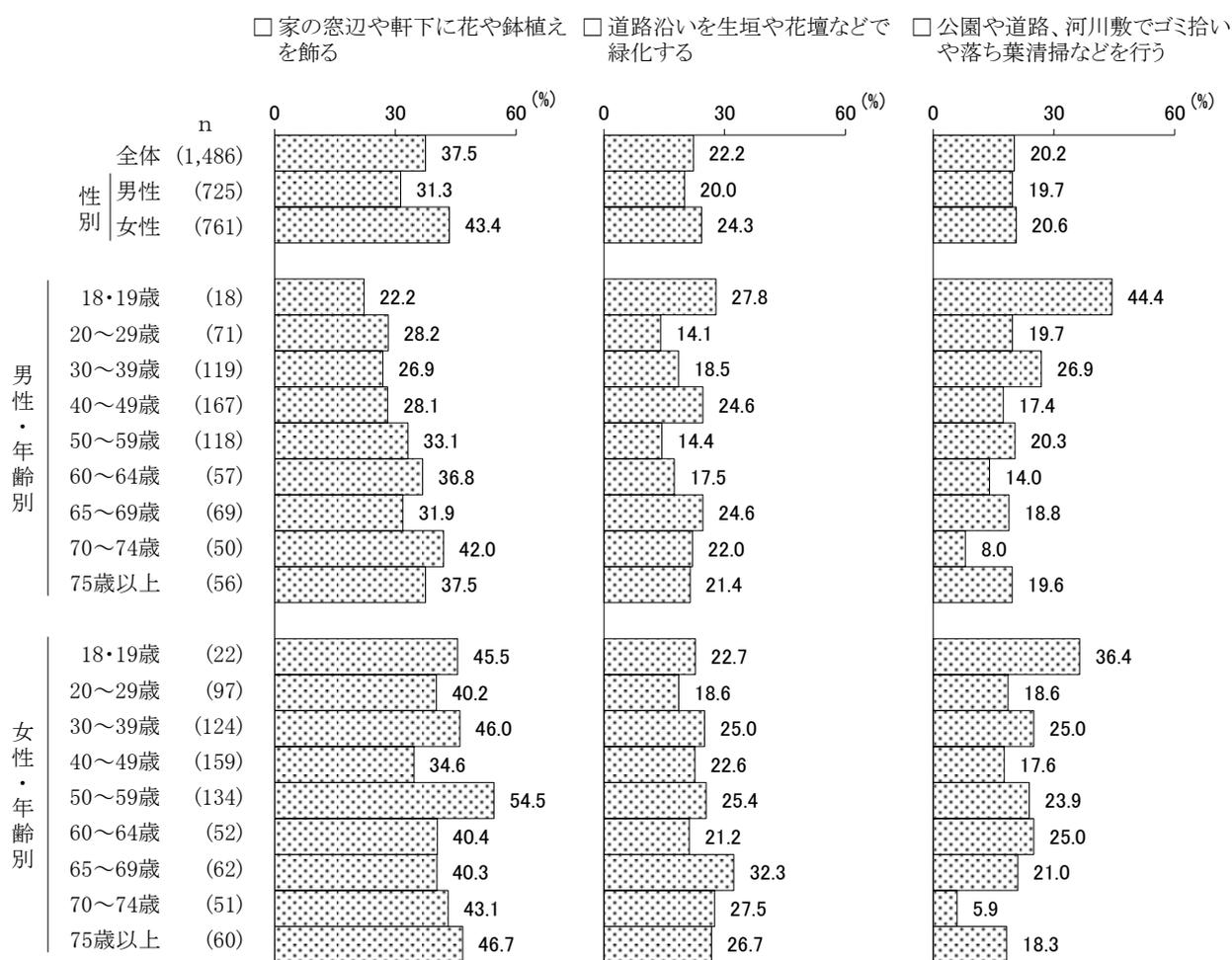
みどり豊かなまちづくりを進めていくために協力したいと思うことについて尋ねたところ、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」(37.5%)が4割弱で最も高く、続いて「道路沿いを生垣や花壇などで緑化する」(22.2%)が2割強、「公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う」(20.2%)が約2割となっている。一方、「特にない」(31.6%)は3割を超えている。(図表9-3)

【性・年齢別】

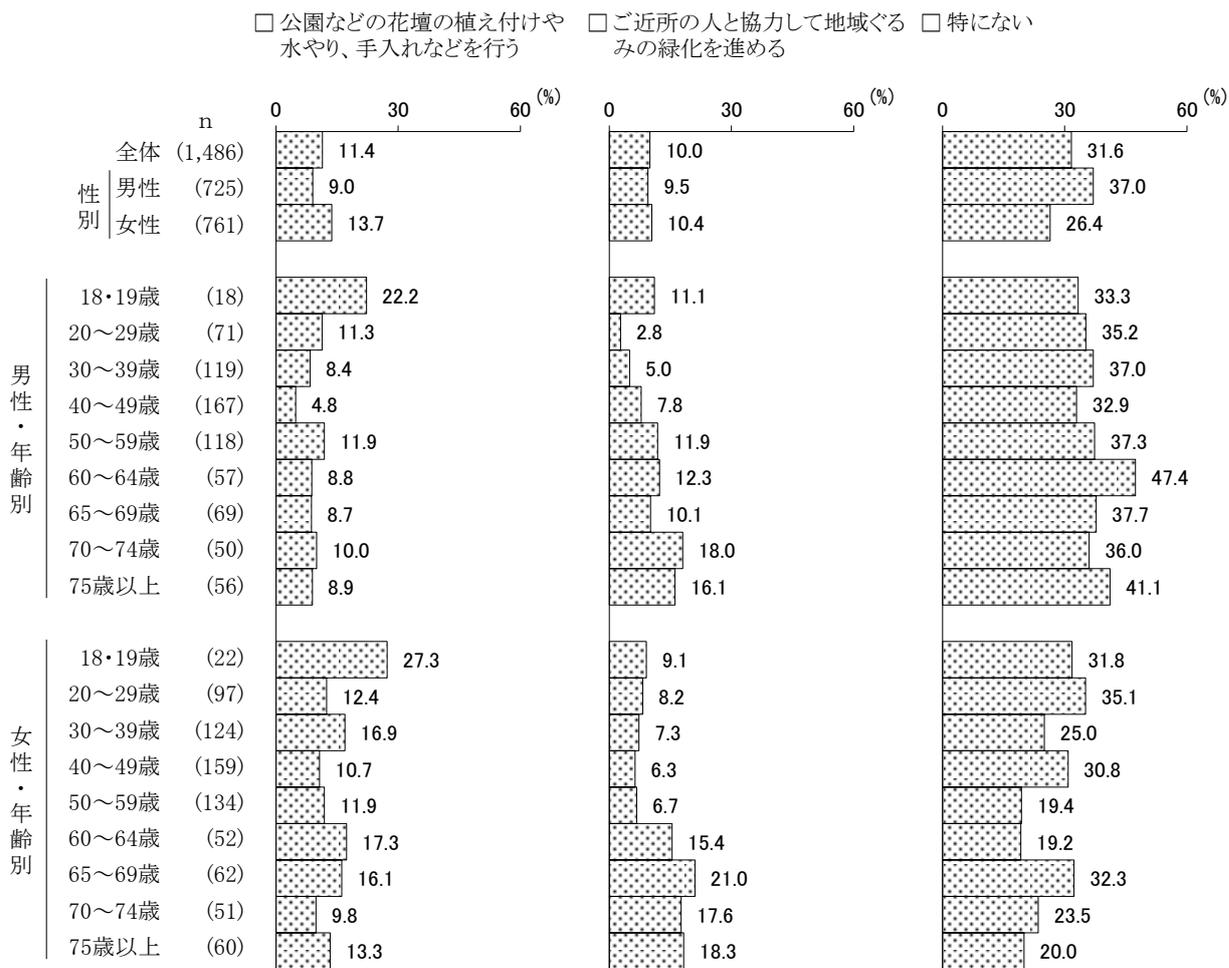
性別では、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」は女性（43.4%）が男性（31.3%）より12.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」は女性50～59歳（54.5%）で5割台半ばと最も高く、「道路沿いを生垣や花壇などで緑化する」は女性65～69歳（32.3%）で3割強と最も高くなっている。（図表9-4）

＜図表9-4＞ みどりのまちづくりのために協力したいと思うこと／性・年齢別
（上位5項目＋「特になし」）



Ⅲ 結果と分析 9. みどりについて



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

10. 環境に配慮した行動について

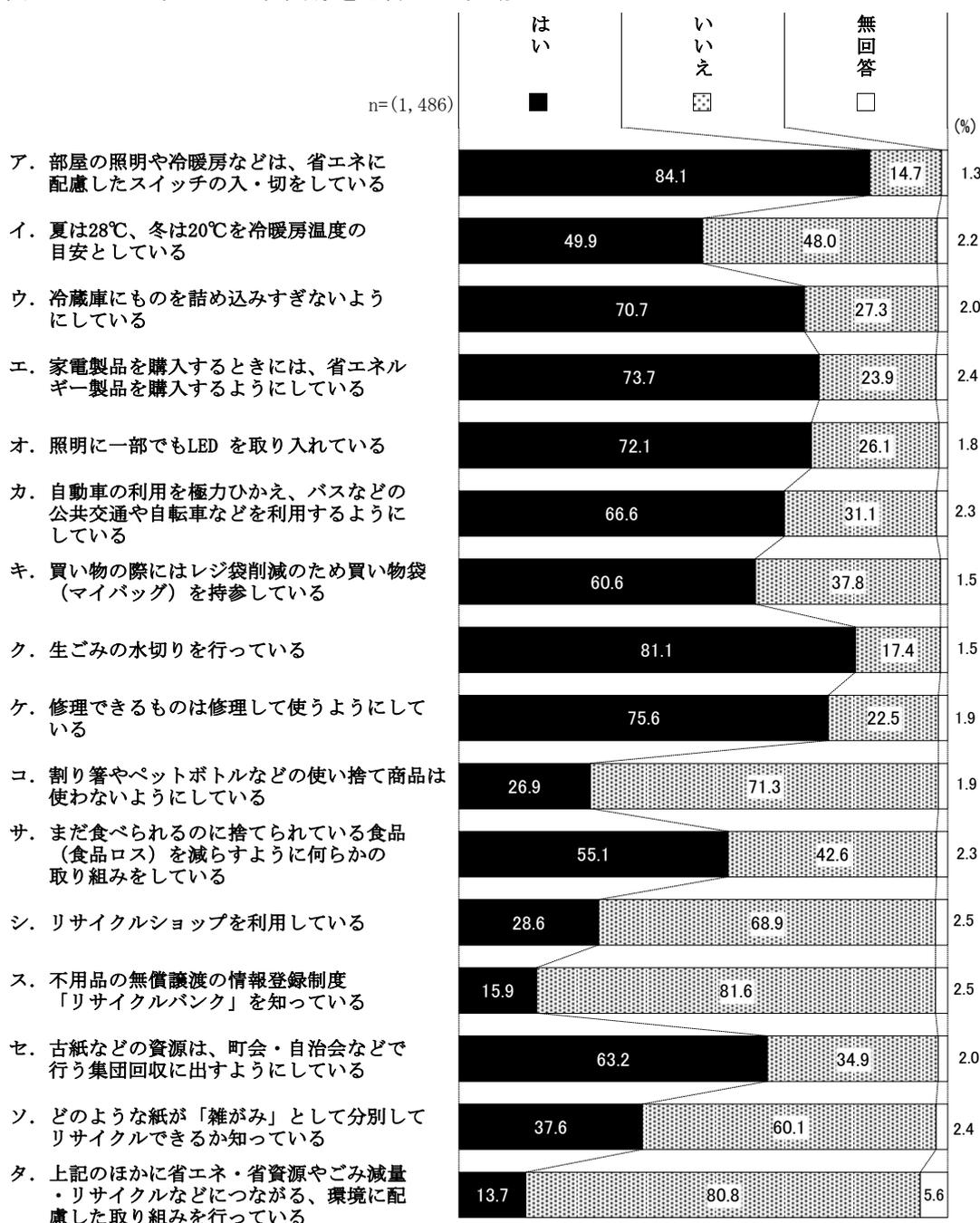
(1) 省エネ・省資源を意識した行動

◇【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】が8割台半ば

平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」を策定しました。この計画のもと、江戸川区とえどがわエコセンターが協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」を推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問20 あなたは次のア～タの行動をしていますか。(それぞれ○は1ずつ)

<図表10-1> 省エネ・省資源を意識した行動



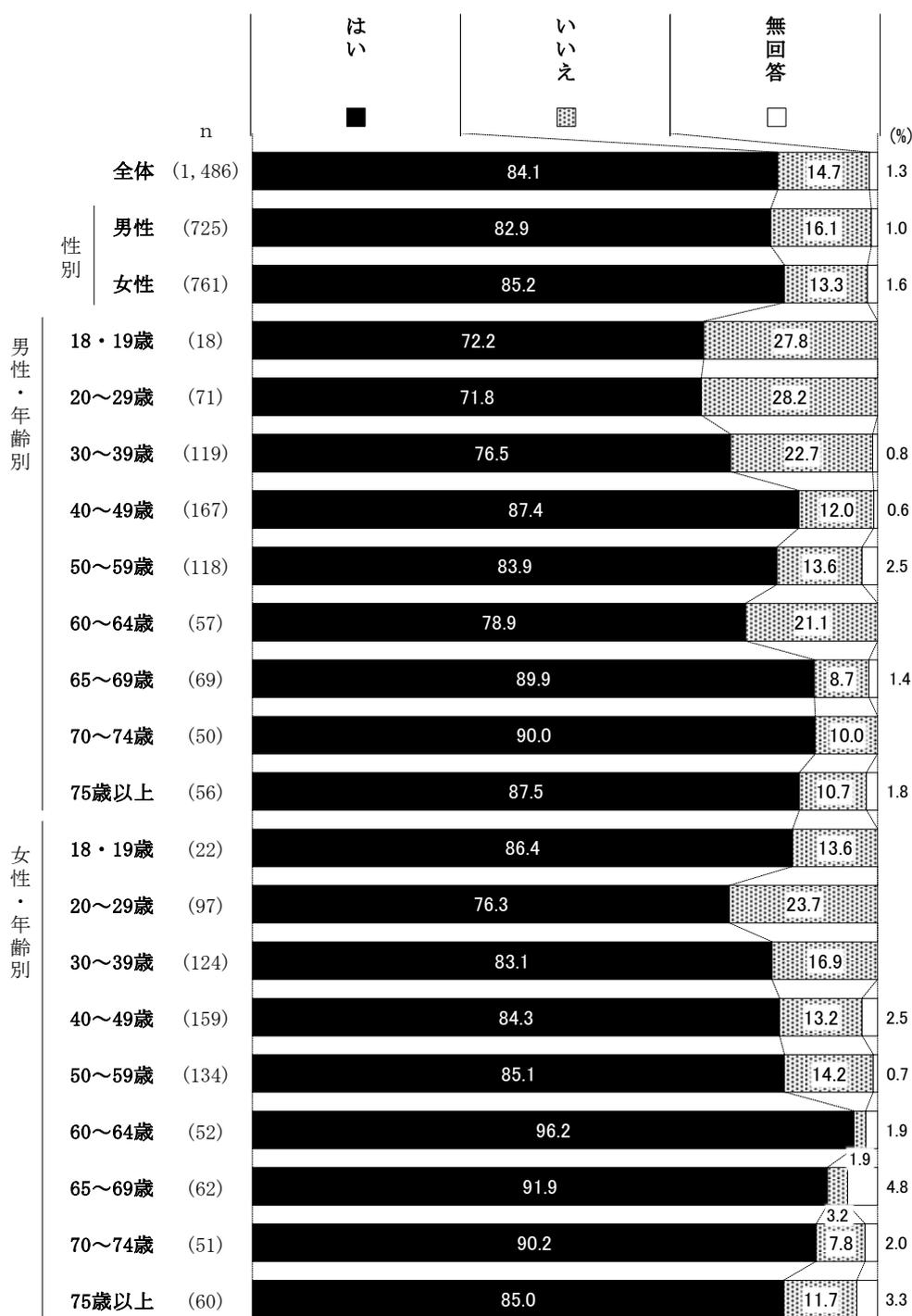
省エネ・省資源を意識した行動をしているかを尋ねたところ、「はい」は【部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】(84.1%)で8割台半ばと最も高く、続いて【生ごみの水切りを行っている】(81.1%)が8割強、【修理できるものは修理して使うようにしている】(75.6%)で7割台半ばなどとなっている。(図表10-1)

【ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 60～64 歳（96.2%）で最も高くなっている。（図表10－2）

＜図表10－2＞ ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別



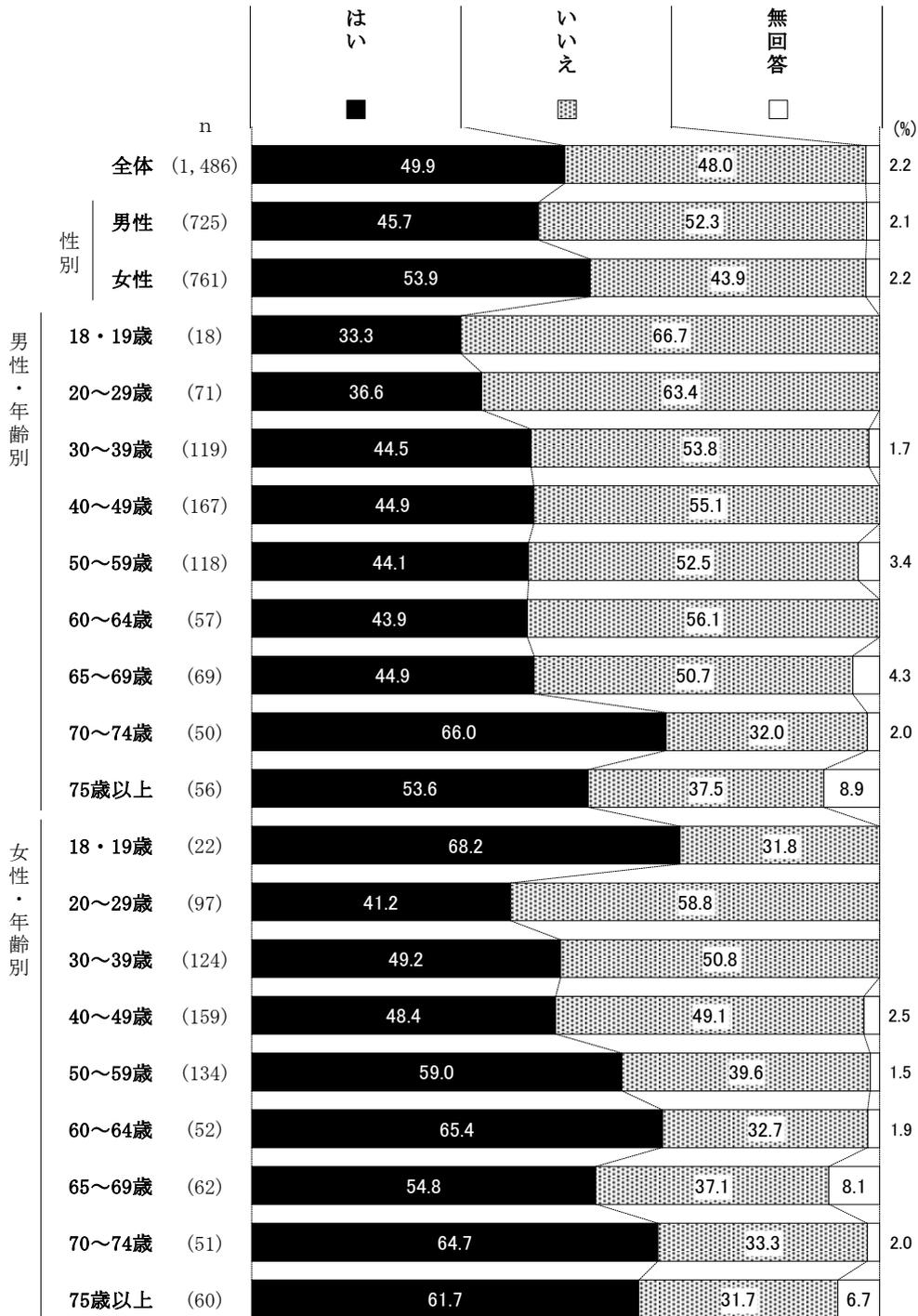
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【イ. 夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（53.9%）が男性（45.7%）よりも 8.2 ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「はい」は男性 70～74 歳（66.0%）と女性 60～64 歳（65.4%）、女性 70～74 歳（64.7%）で 6 割台半ばと高くなっている。（図表10－3）

＜図表10－3＞ イ. 夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別



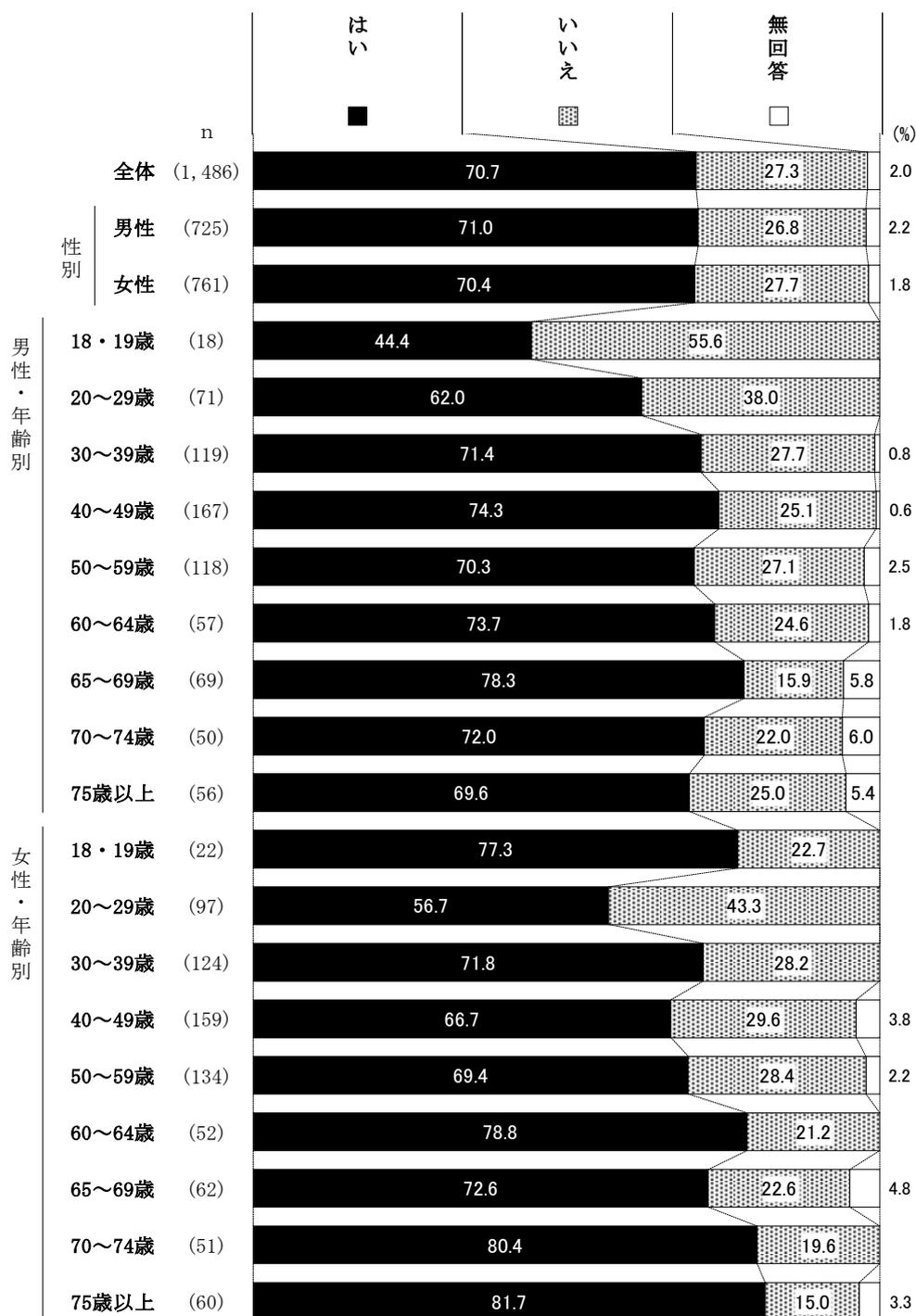
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ウ. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 70～74 歳（80.4%）と女性 75 歳以上（81.7%）で 8 割を超えて高くなっている。（図表10-4）

＜図表10-4＞ ウ. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

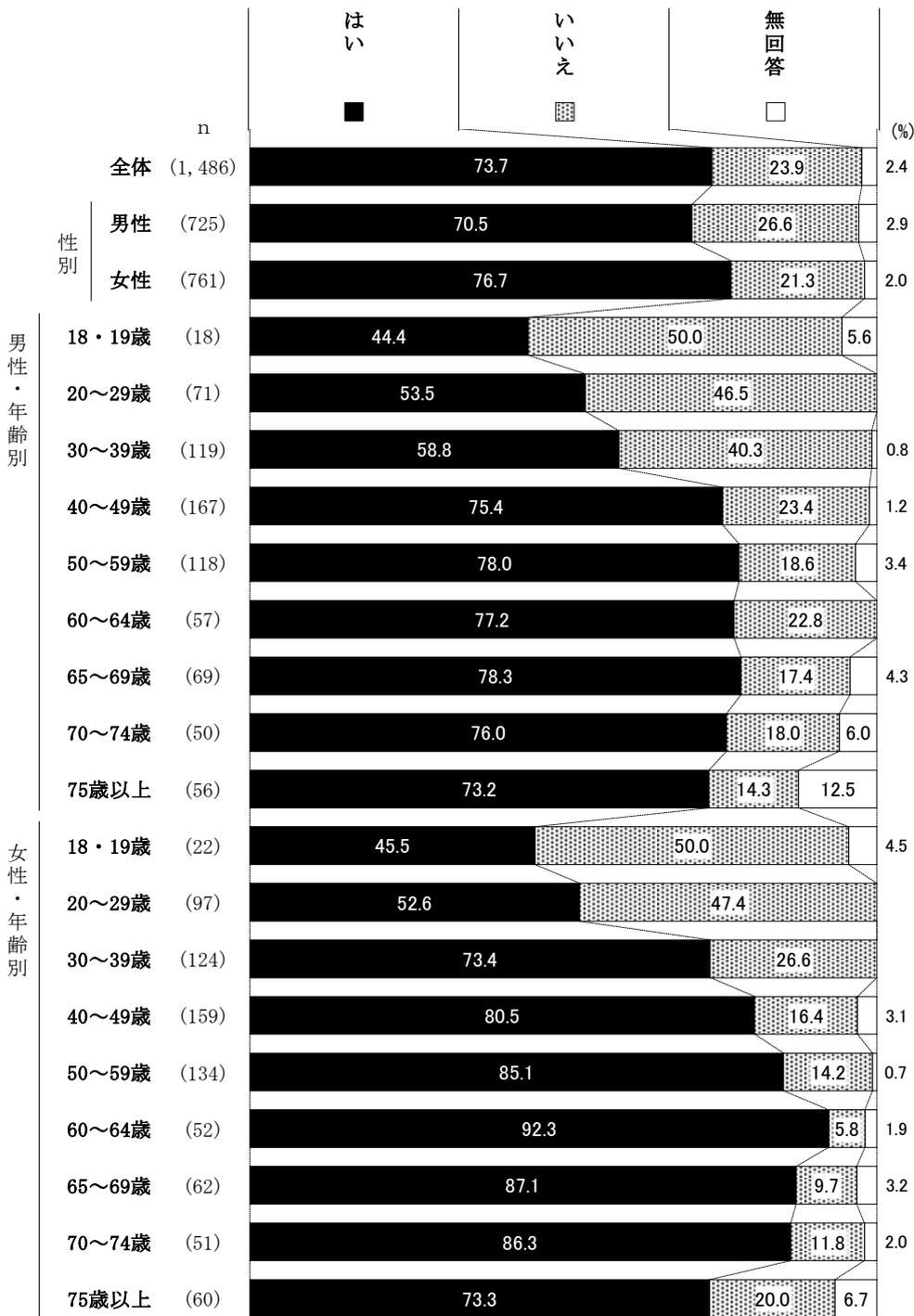
【エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（76.7%）が男性（70.5%）よりも6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 60～64 歳（92.3%）で9割強と最も高くなっている。

（図表10-5）

＜図表10-5＞ エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

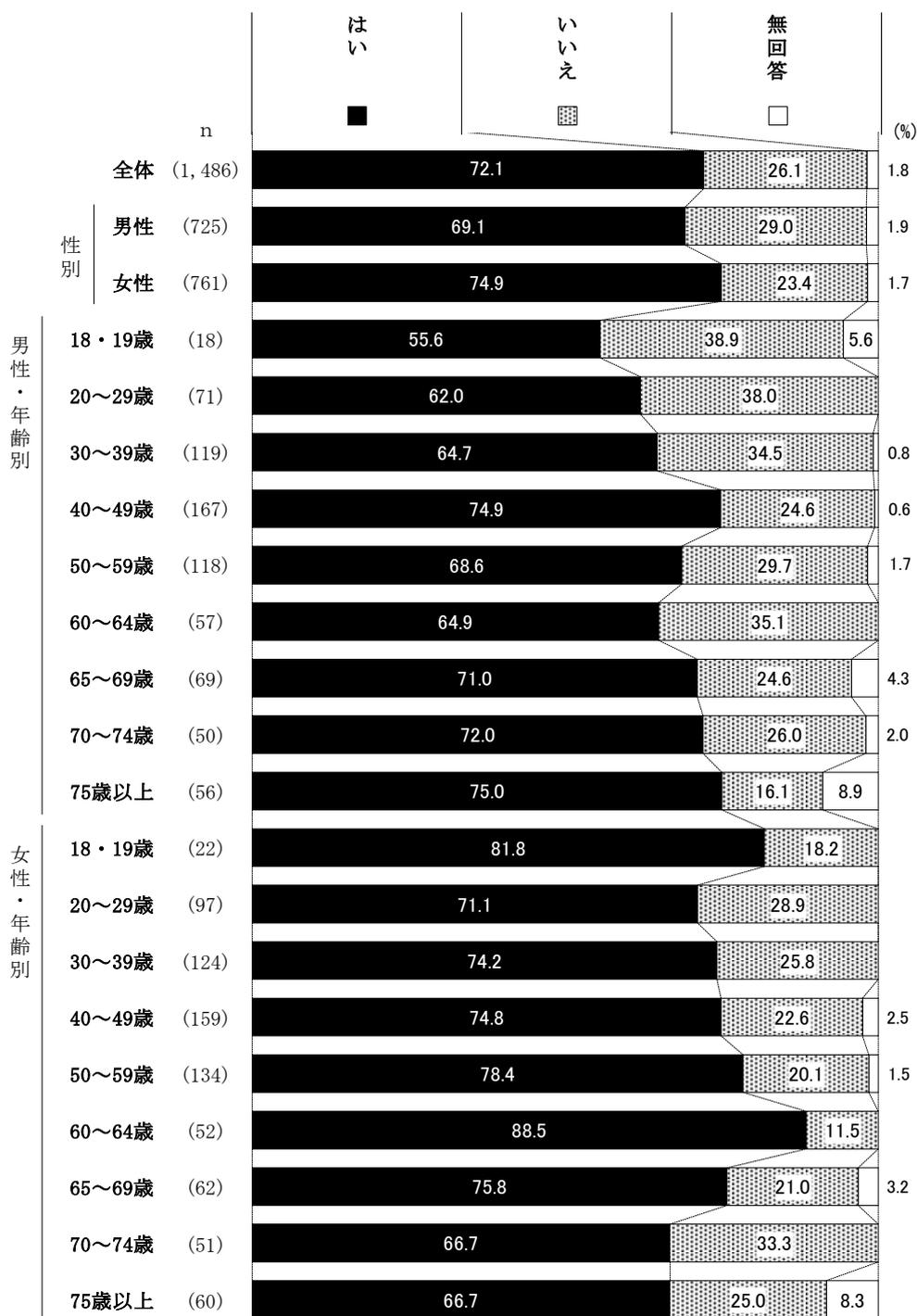
【オ. 照明に一部でもLEDを取り入れている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（74.9%）が男性（69.1%）よりも5.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性60～64歳（88.5%）で9割弱と最も高くなっている。

（図表10-6）

＜図表10-6＞ オ. 照明に一部でもLEDを取り入れている／性・年齢別



※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

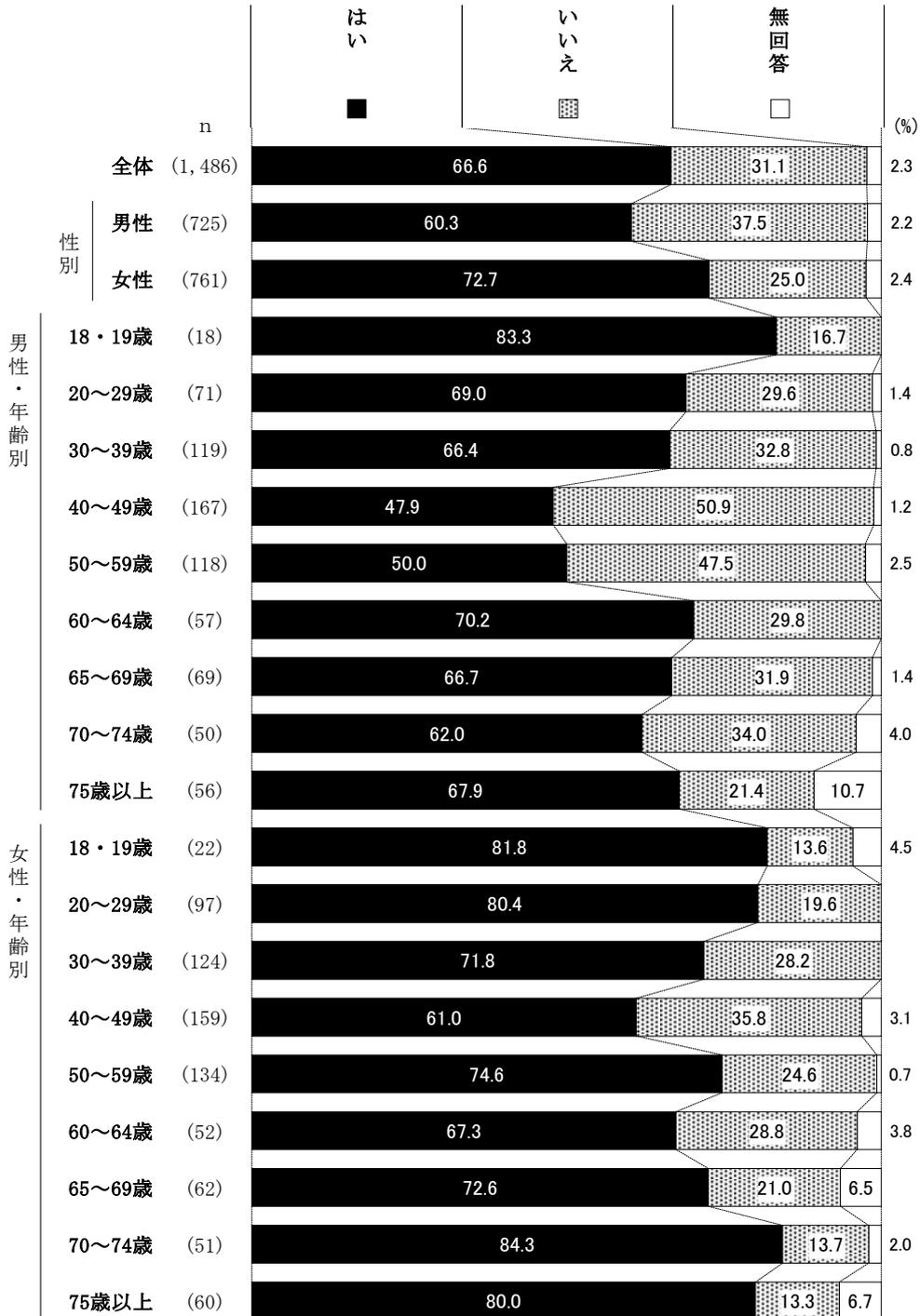
【カ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている
／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（72.7%）が男性（60.3%）よりも12.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性70～74歳（84.3%）で8割台半ばと最も高くなっている。

（図表10-7）

＜図表10-7＞ カ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている／性・年齢別



※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

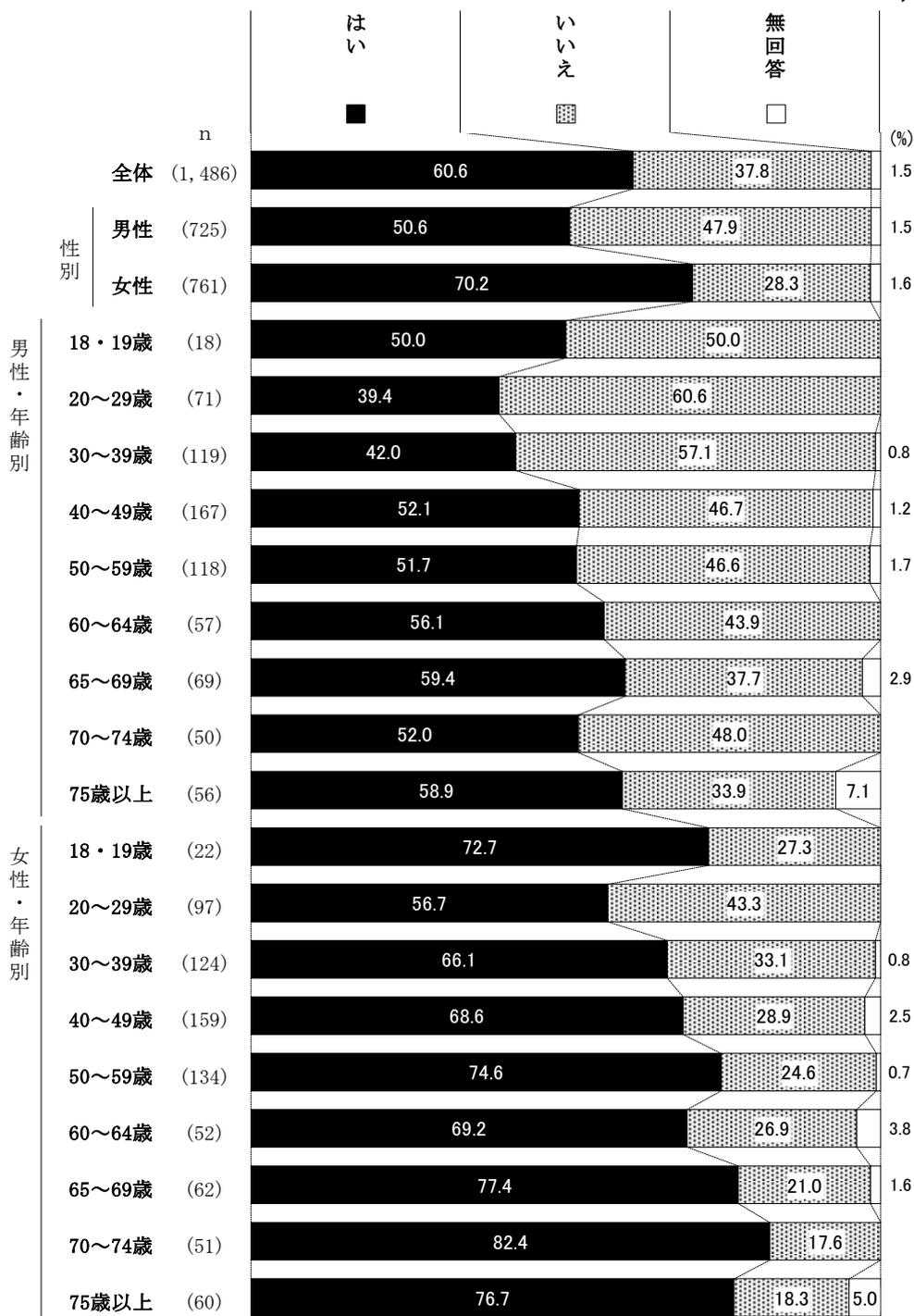
【キ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（70.2%）が男性（50.6%）よりも19.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性70～74歳（82.4%）で8割強と最も高くなっている。

（図表10－8）

＜図表10－8＞ キ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

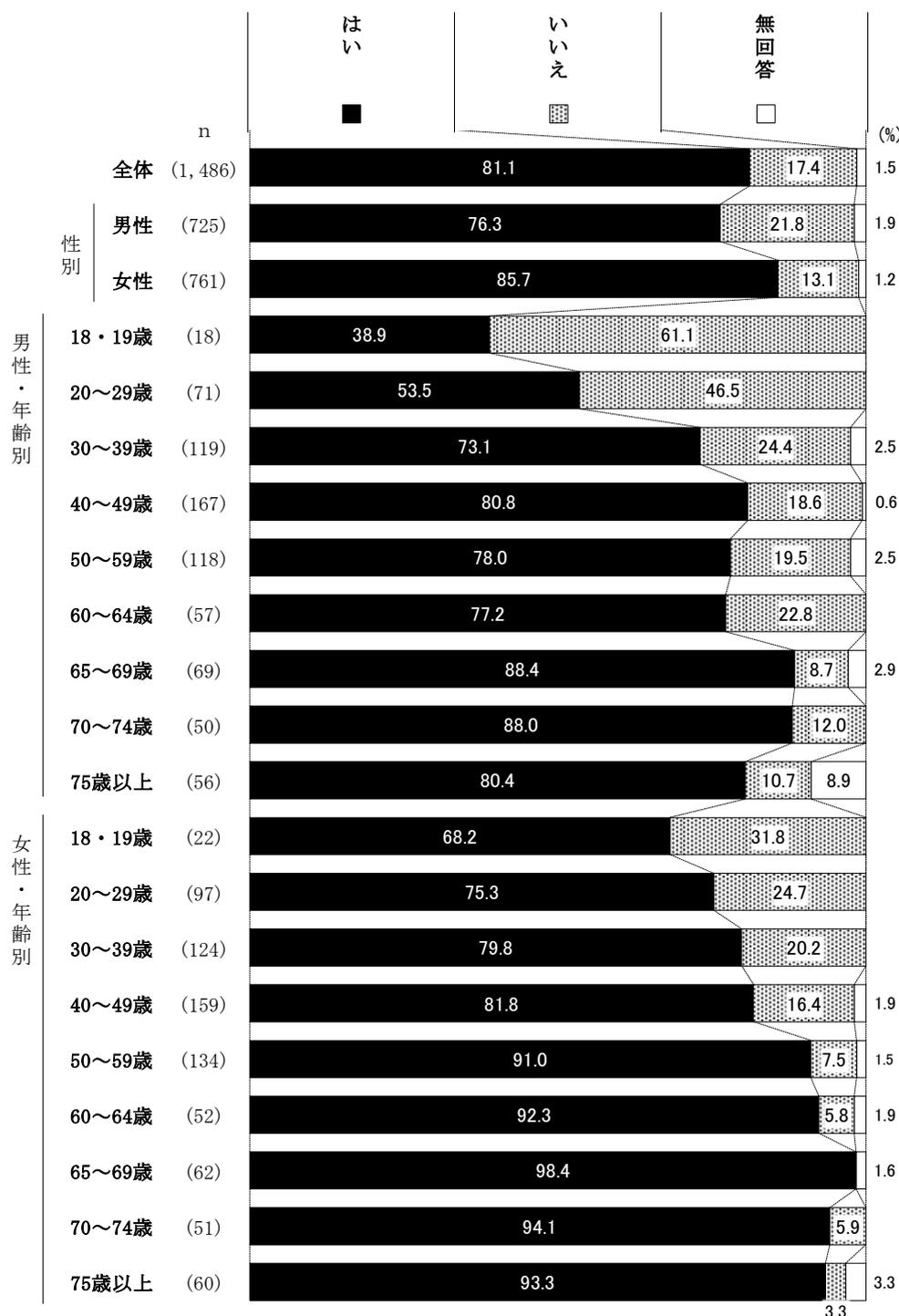
【ク. 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（85.7%）が男性（76.3%）よりも9.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性65～69歳（98.4%）で9割台後半と最も高くなっている。

（図表10-9）

＜図表10-9＞ ク. 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

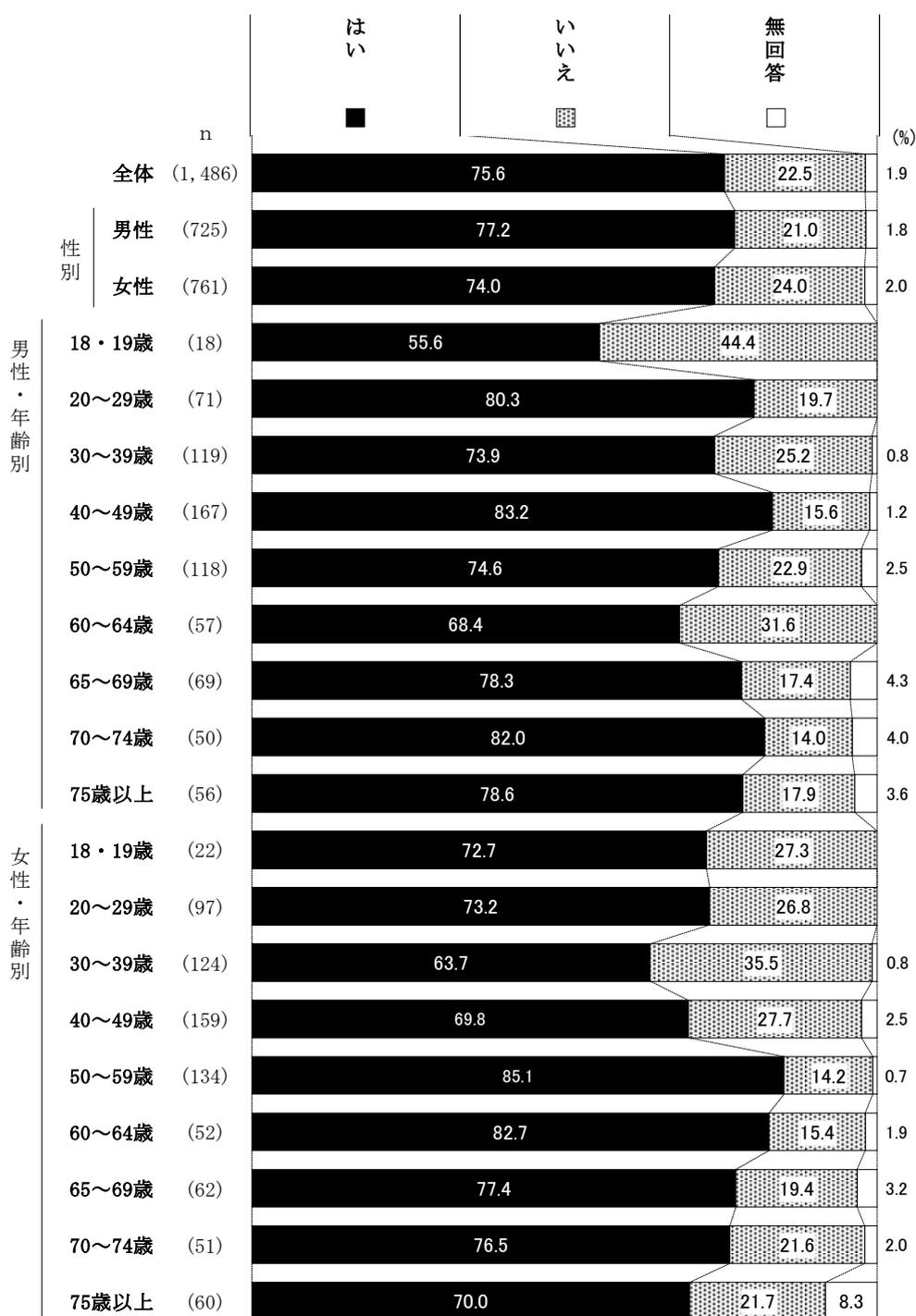
【ケ. 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（77.2%）が女性（74.0%）よりも3.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性50～59歳（85.1%）で8割台半ばと最も高くなっている。

（図表10-10）

＜図表10-10＞ ケ. 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

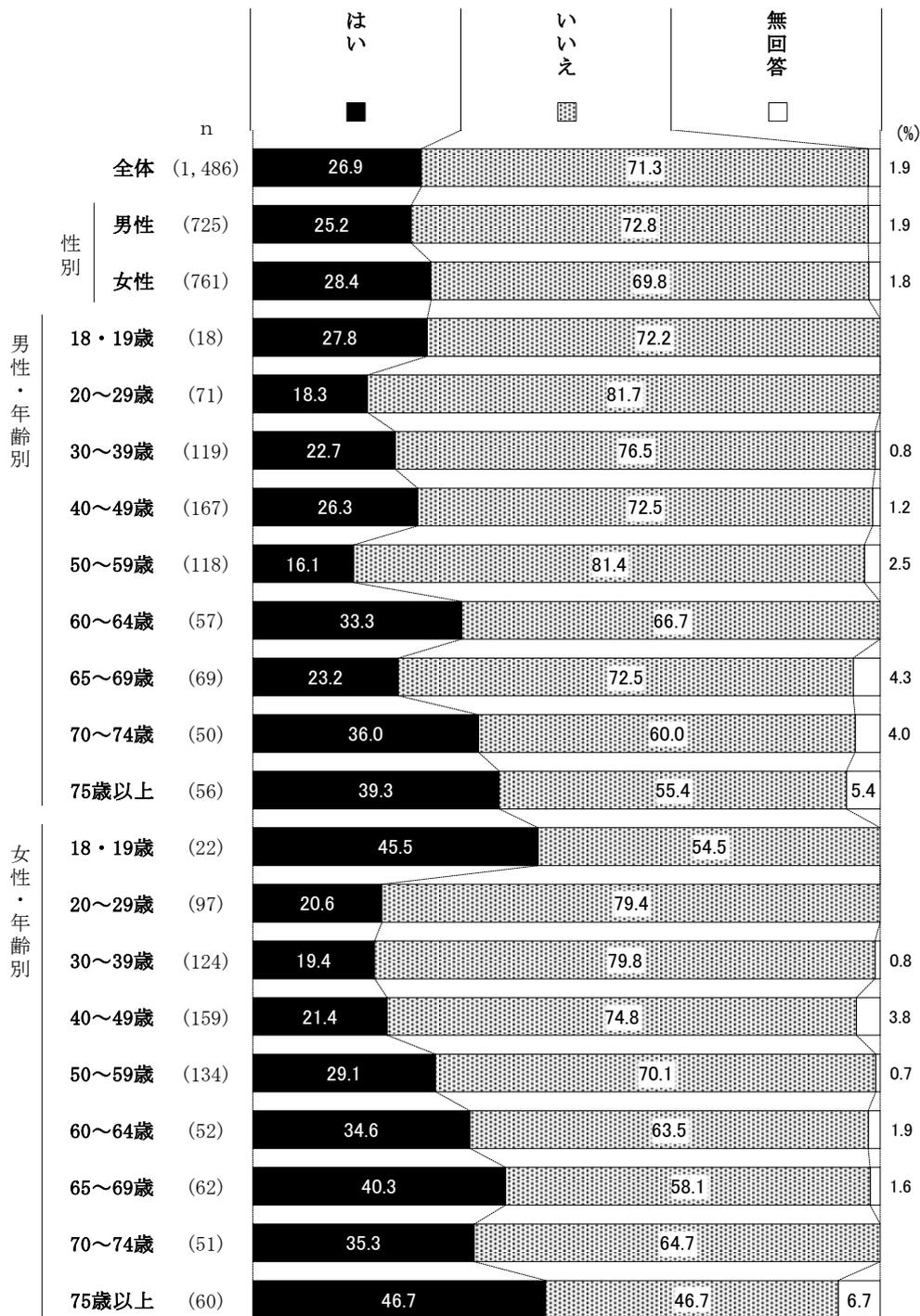
【コ. 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（28.4%）が男性（25.2%）よりも3.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性75歳以上（46.7%）で4割台半ばと高くなっている。

（図表10-11）

＜図表10-11＞ コ. 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別



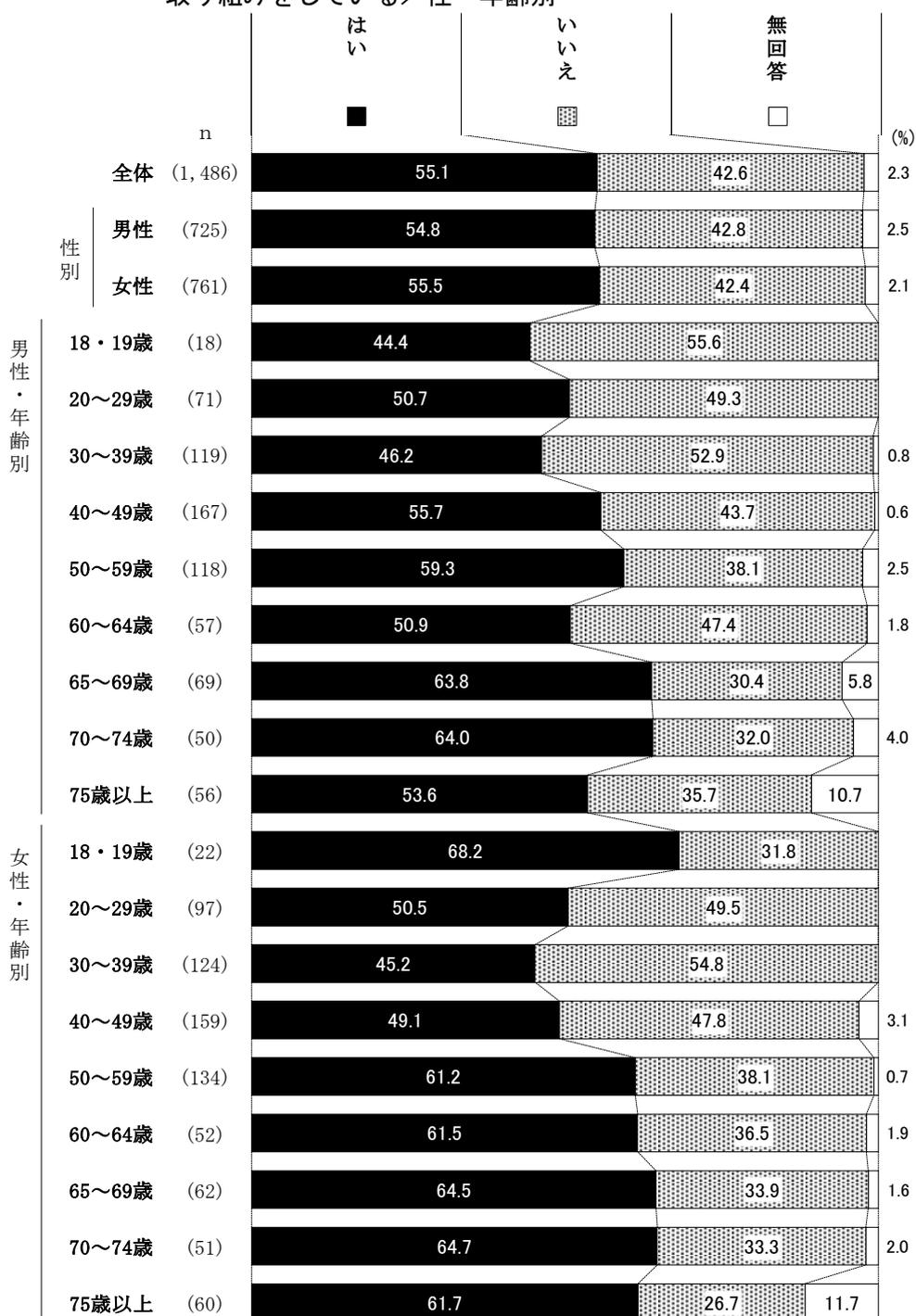
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【サ. まだ食べられるのに捨てられている食品（食品ロス）を減らすように何らかの取り組みをしている
／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 70～74 歳（64.0%）と女性 65～69 歳（64.5%）、女性 70～74 歳（64.7%）で 6 割台半ばと高くなっている。（図表10-12）

＜図表10-12＞ サ. まだ食べられるのに捨てられている食品（食品ロス）を減らすように何らかの取り組みをしている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

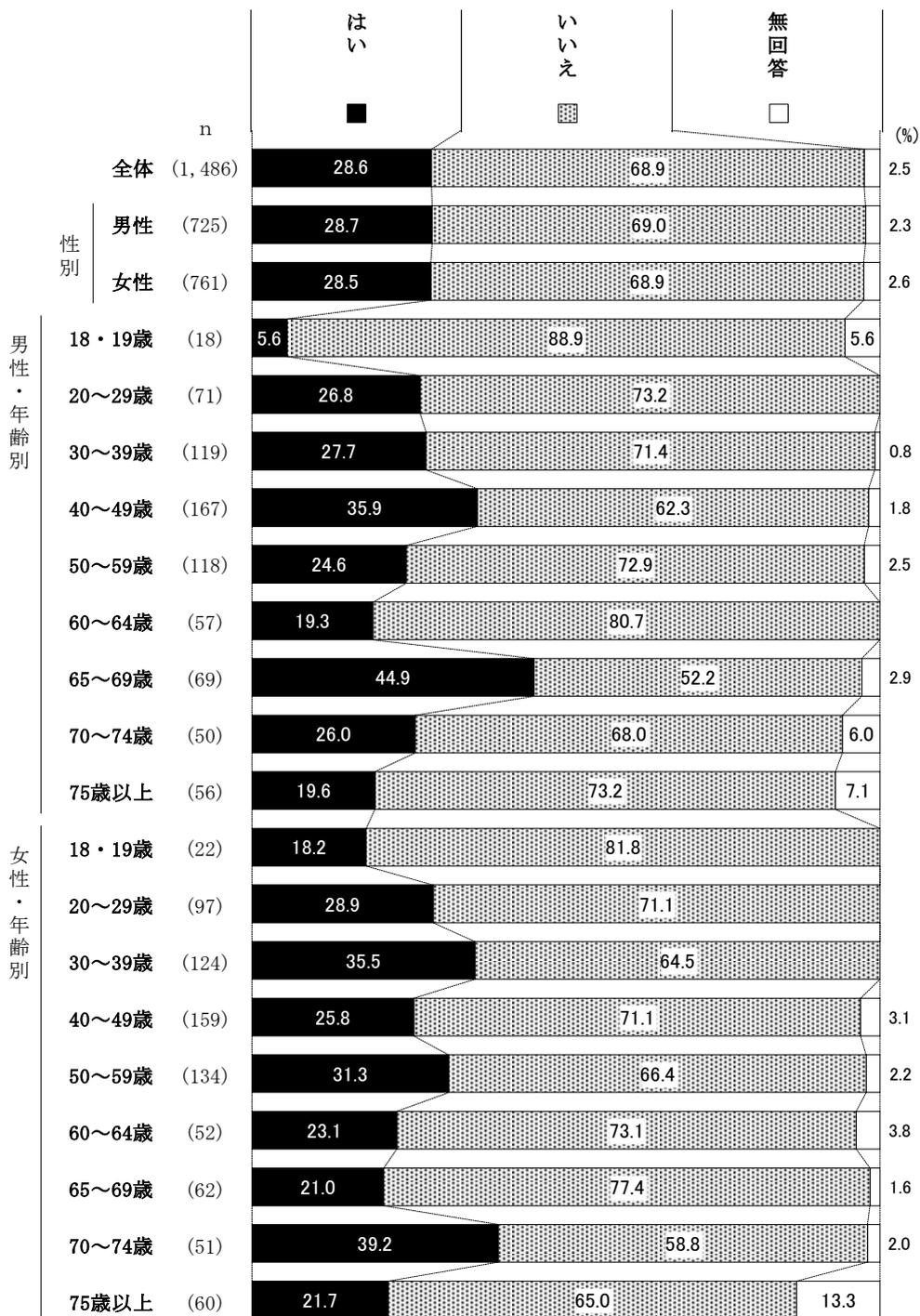
【シ. リサイクルショップを利用している／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 65～69 歳（44.9%）で4割台半ばと特に高くなっている。

(図表10-13)

<図表10-13> シ. リサイクルショップを利用している／性・年齢別



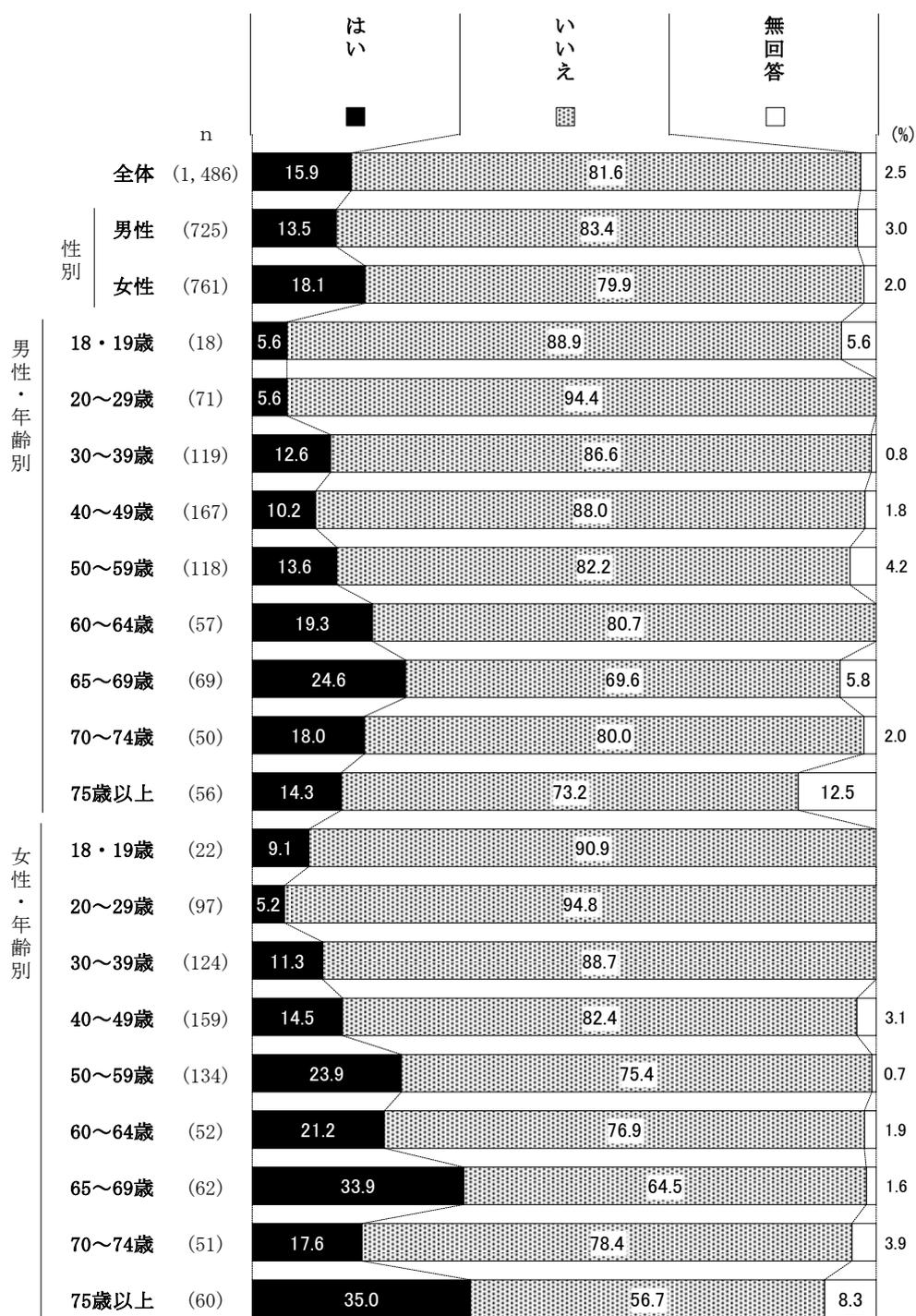
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ス. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（18.1%）が男性（13.5%）よりも4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は女性 65～69 歳（33.9%）と女性 75 歳以上（35.0%）で3割台と高くなっている。（図表10-14）

＜図表10-14＞ ス. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている
／性・年齢別



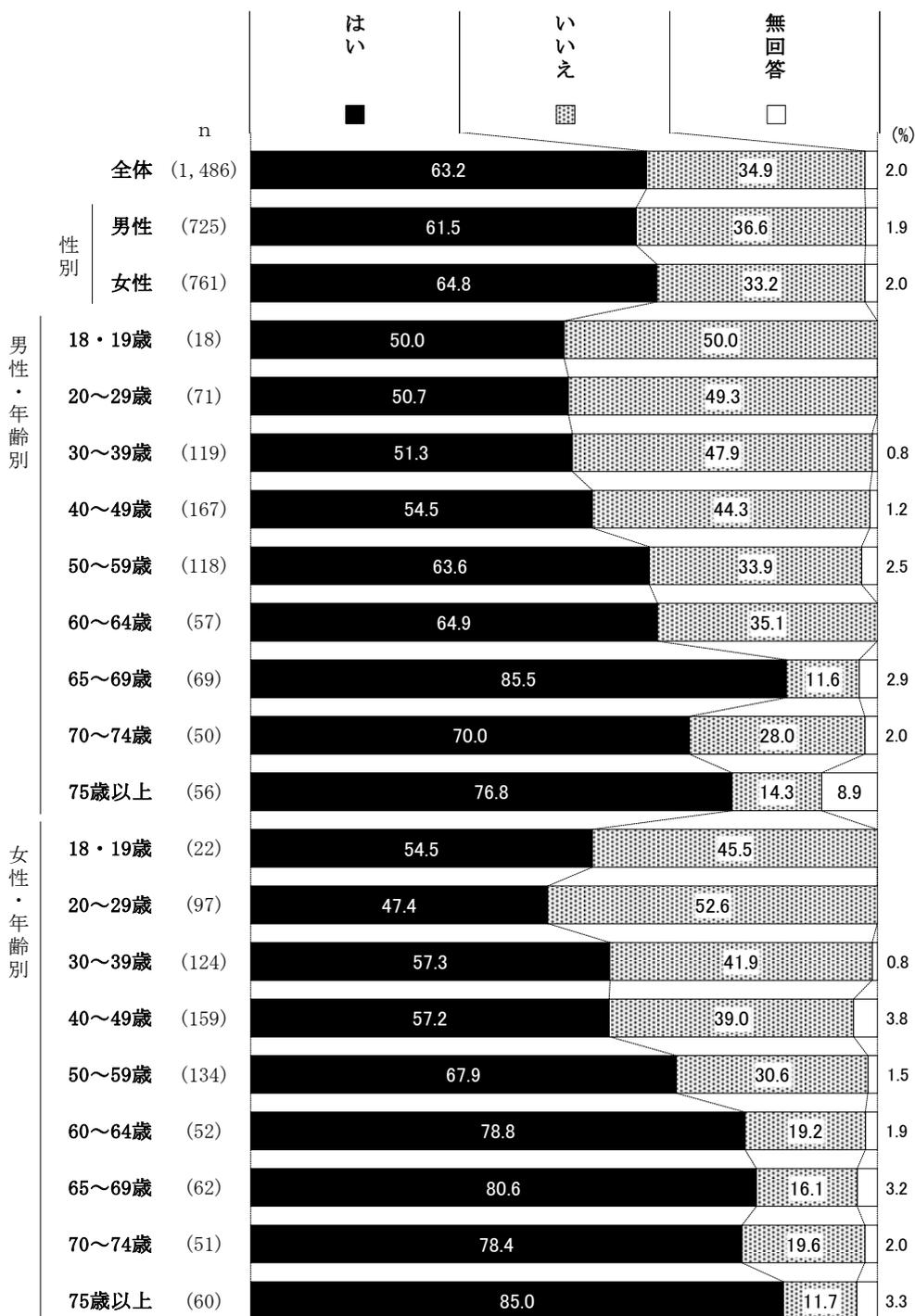
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【セ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別】

性別では、「はい」は女性（64.8%）が男性（61.5%）よりも3.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性 65～69 歳（85.5%）と女性 75 歳以上（85.0%）で8割台半ばと高くなっている。（図表10-15）

＜図表10-15＞ セ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別



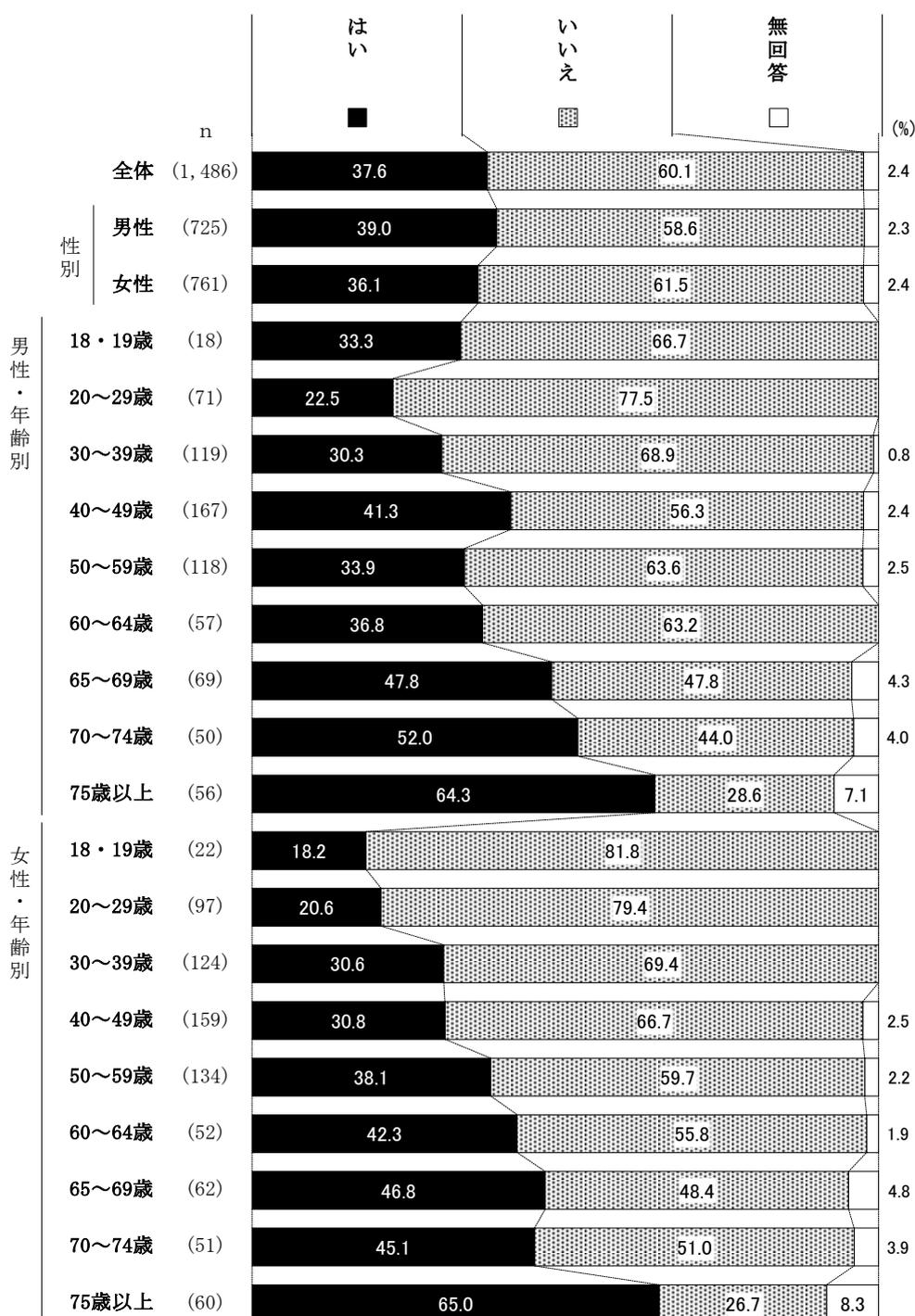
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ソ. どのような紙が「雑がみ」として分別してリサイクルできるか知っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男性（39.0%）が女性（36.1%）よりも2.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性75歳以上（64.3%）と女性75歳以上（65.0%）で6割台半ばと高くなっている。（図表10-16）

＜図表10-16＞ ソ. どのような紙が「雑がみ」として分別してリサイクルできるか知っている／性・年齢別



※男性及び女性の「18・19歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

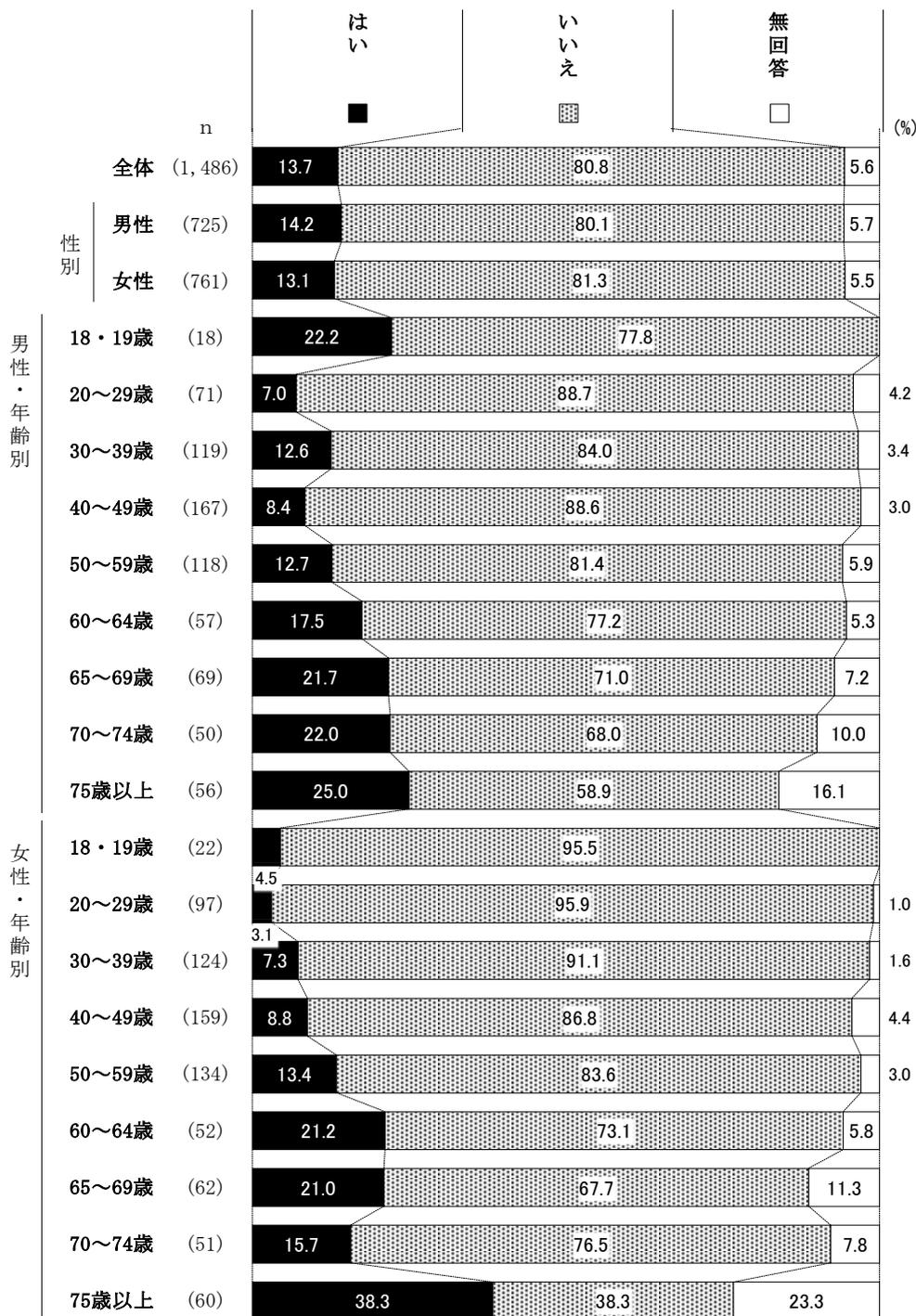
【タ. ア～ソのほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別】

性別では、「はい」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「はい」は女性75歳以上（38.3%）で4割弱と最も高くなっている。

(図表10-17)

＜図表10-17＞ タ. ア～ソのほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

11. 大規模水害対策について

(1) 大規模水害時における江戸川区外の地盤の高い地域等への広域避難

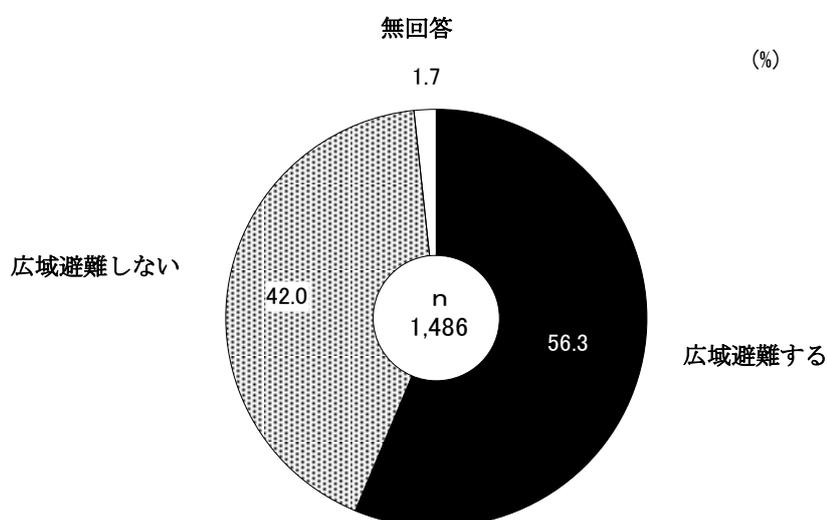
◇「広域避難する」が5割台半ば

低地帯に位置する江戸川区は、洪水や高潮などにより堤防が決壊するような大規模水害が発生すると、広範囲にわたる浸水被害が生じる危険性があります。浸水域内に留まった場合、ライフラインが途絶した劣悪な環境に2週間以上取り残されるかもしれません。

問21 あなたは、大規模水害時に江戸川区外の地盤の高い地域等に広域避難すると思いますか。

(○は1つだけ)

<図表11-1> 大規模水害時における江戸川区外の地盤の高い地域等への広域避難



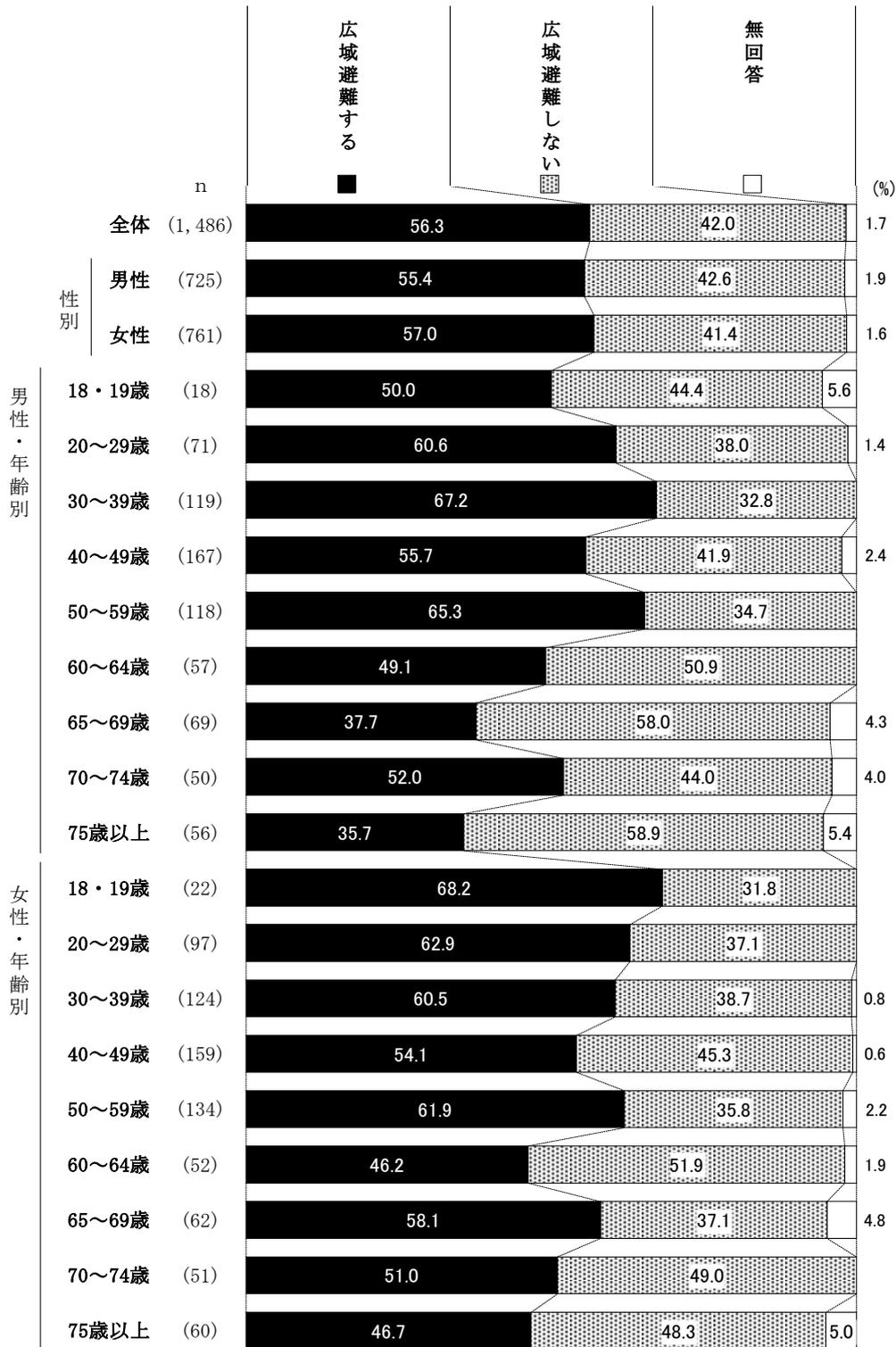
大規模水害時に江戸川区外の地盤の高い地域等に広域避難するか尋ねたところ、「広域避難する」(56.3%)は5割台半ば、「広域避難しない」(42.0%)は4割強となっている。(図表11-1)

【性・年齢別】

性別では、「広域避難する」は男女間であまり大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「広域避難する」は男性 30～39 歳（67.2%）と 50～59 歳（65.3%）で 6 割台半ば、女性 20～29 歳（62.9%）と 50～59 歳（61.9%）で 6 割強と高くなっている。（図表11-2）

＜図表11-2＞ 大規模水害時における江戸川区外の地盤の高い地域等への広域避難／性・年齢別

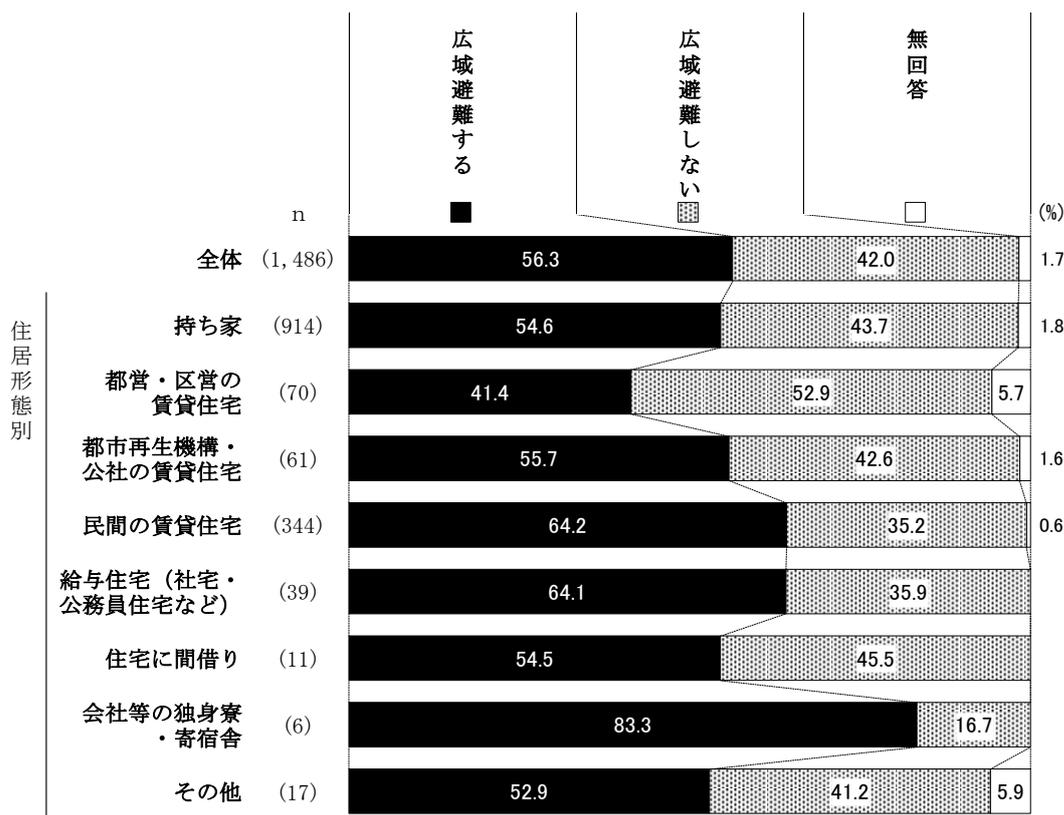


※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【住居形態別】

住居形態別でみると、「広域避難する」は、“民間の賃貸住宅”（64.2%）と “給与住宅（社宅・公務員住宅）”（64.1%）で6割台半ばと高くなっている。（図表11-3）

＜図表11-3＞ 大規模水害時における江戸川区外の地盤の高い地域等への広域避難／住居形態別



※ “住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

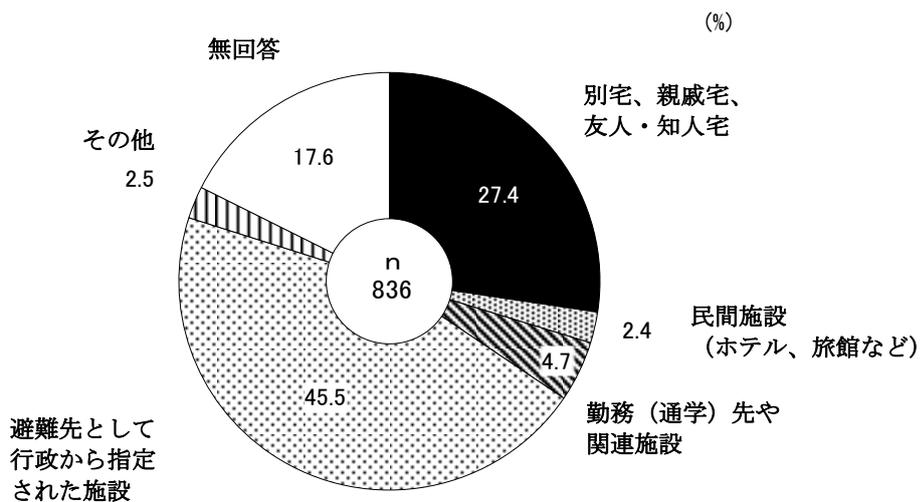
(1-1) 江戸川区外へ避難

◇ 「避難先として行政から指定された施設」が4割台半ば

問21-1 <問21で「1 広域避難する」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。(○は1つだけ)

<図表11-4> 江戸川区外の避難先



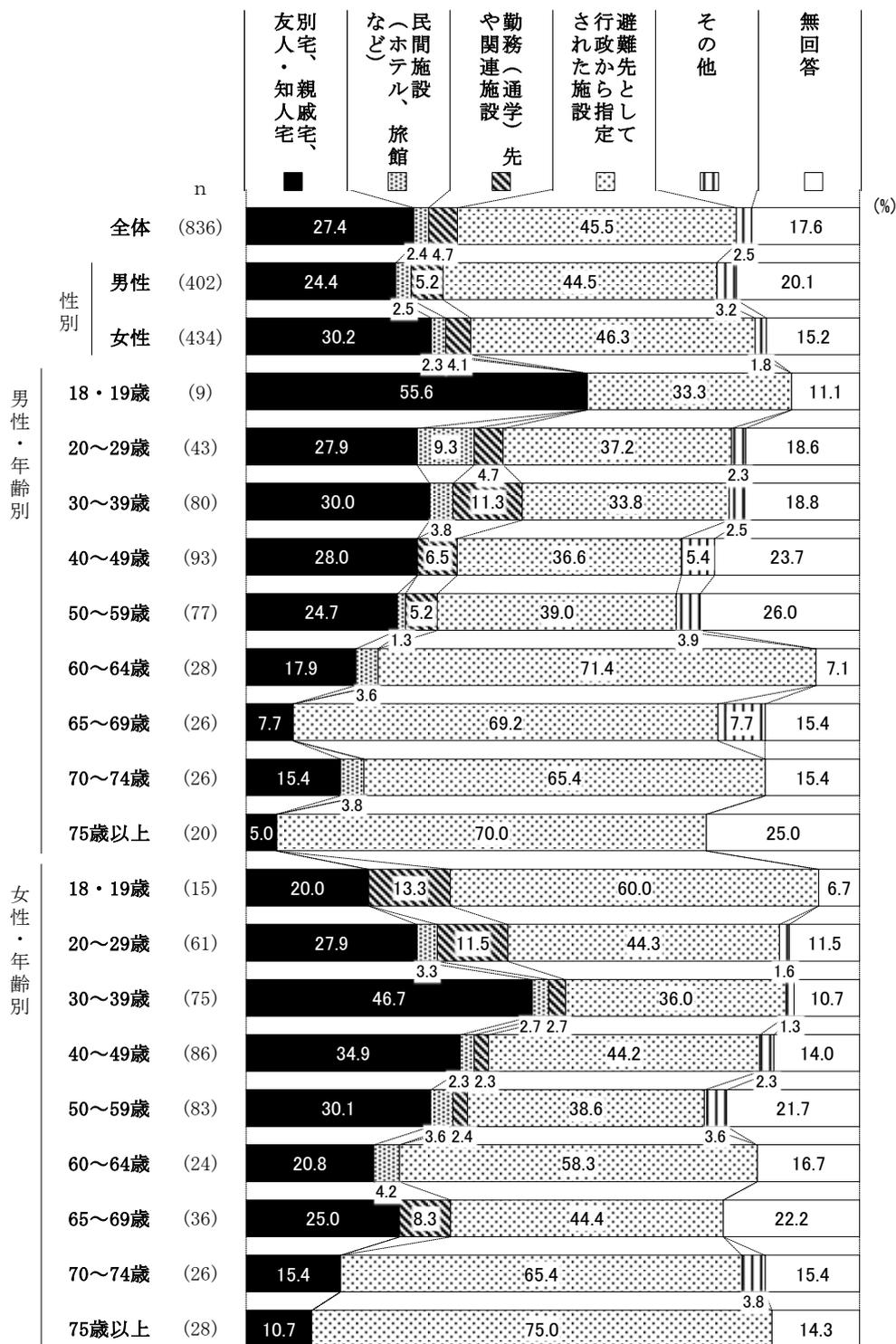
広域避難すると回答した方に江戸川区外のどこへ避難するか尋ねたところ、「避難先として行政から指定された施設」(45.5%)が4割台半ばで最も高く、続いて「別宅、親戚宅、友人・知人宅」(27.4%)となっている。(図表11-4)

【性・年齢別】

性別では、「別宅、親戚宅、友人・知人宅」は女性（30.2%）が男性（24.4%）より 5.8 ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「別宅、親戚宅、友人・知人宅」は女性 30～39 歳（46.7%）で 4 割台半ばと最も高くなっている。（図表11-5）

＜図表11-5＞ 江戸川区外の避難先／性・年齢別

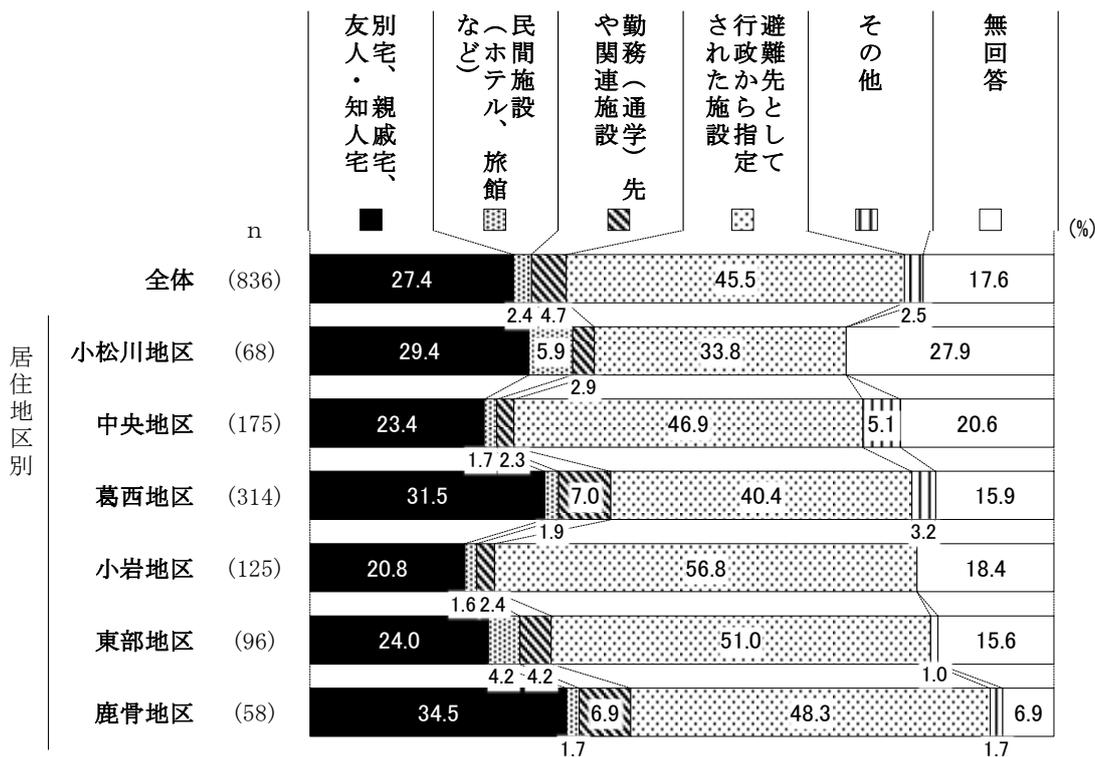


※男性及び女性の「18・19歳」、「60～64歳」、「70～74歳」、「75歳以上」、男性の「65～69歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「別宅、親戚宅、友人・知人宅」は“鹿骨地区”（34.5%）で3割台半ばと最も高く、「避難先として行政から指定された施設」は、“小岩地区”（56.8%）で5割台半ばと最も高くなっている。（図表11-6）

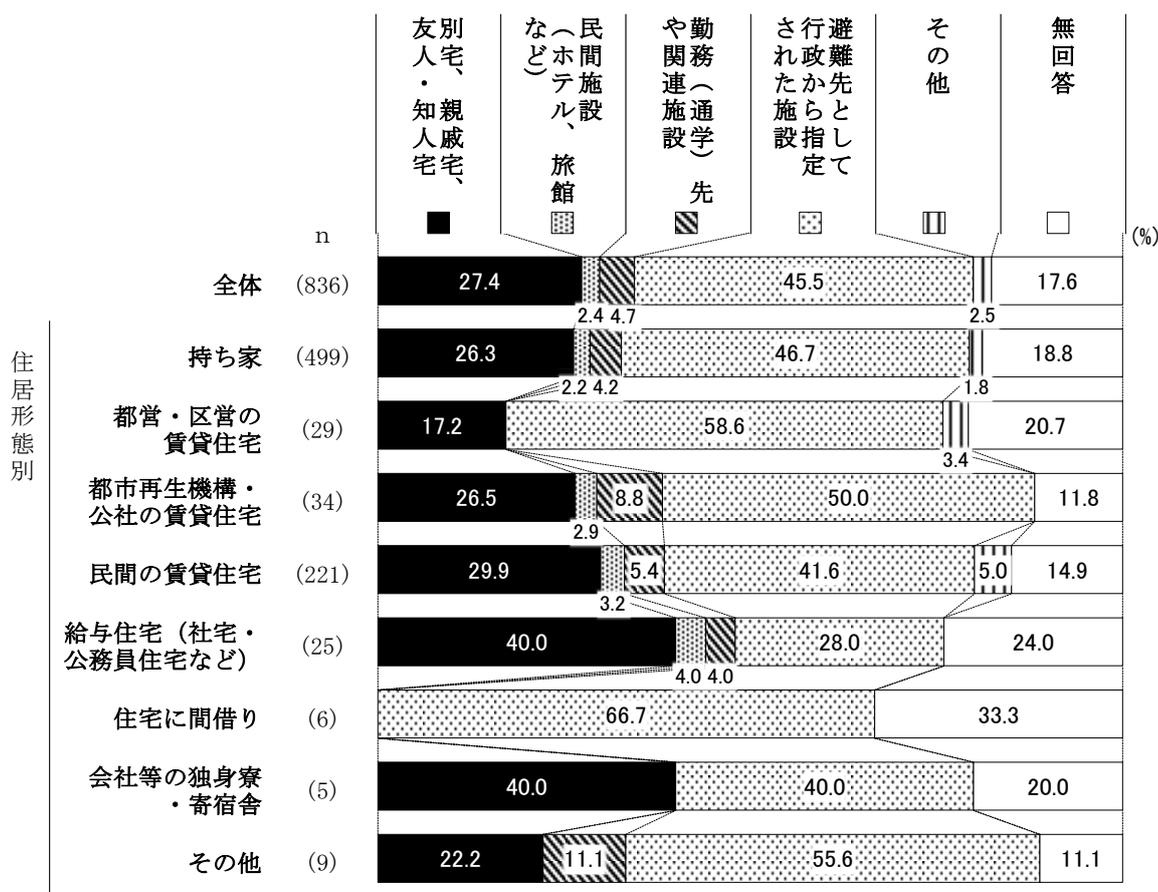
＜図表11-6＞ 江戸川区外の避難先／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、「別宅、親戚宅、友人・知人宅」は、「民間の賃貸住宅」(29.9%)で約3割と高くなっている。「避難先として行政から指定された施設」は、「都営・区営の賃貸住宅」(58.6%)で6割弱と高くなっている。(図表11-7)

＜図表11-7＞ 江戸川区外の避難先／住居形態別



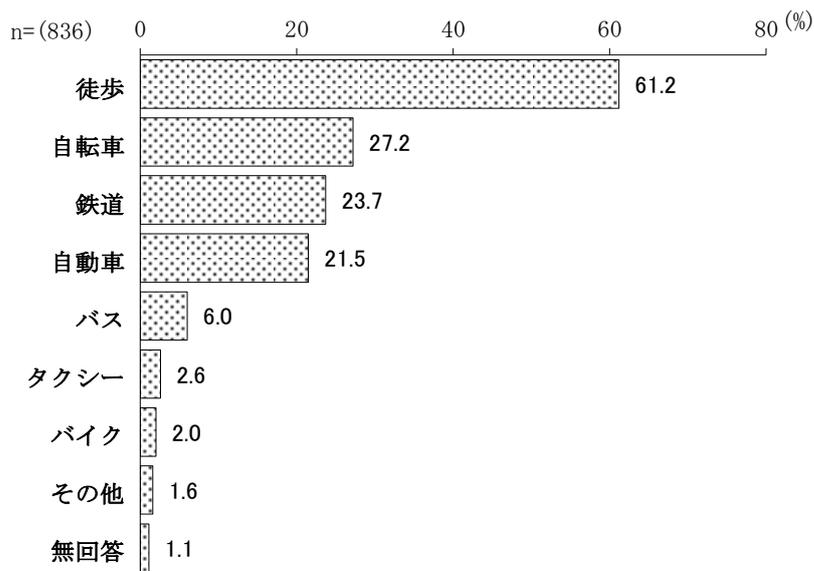
※ “給与住宅(社宅・公務員住宅など)”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(1-2) 避難する手段

◇ 「徒歩」が6割強

問21-2 <問21で「1 広域避難する」とお答えの方に>
 広域避難先へは、どのような手段で避難しますか。(〇は2つまで)

<図表11-8> 避難する手段 (複数回答)



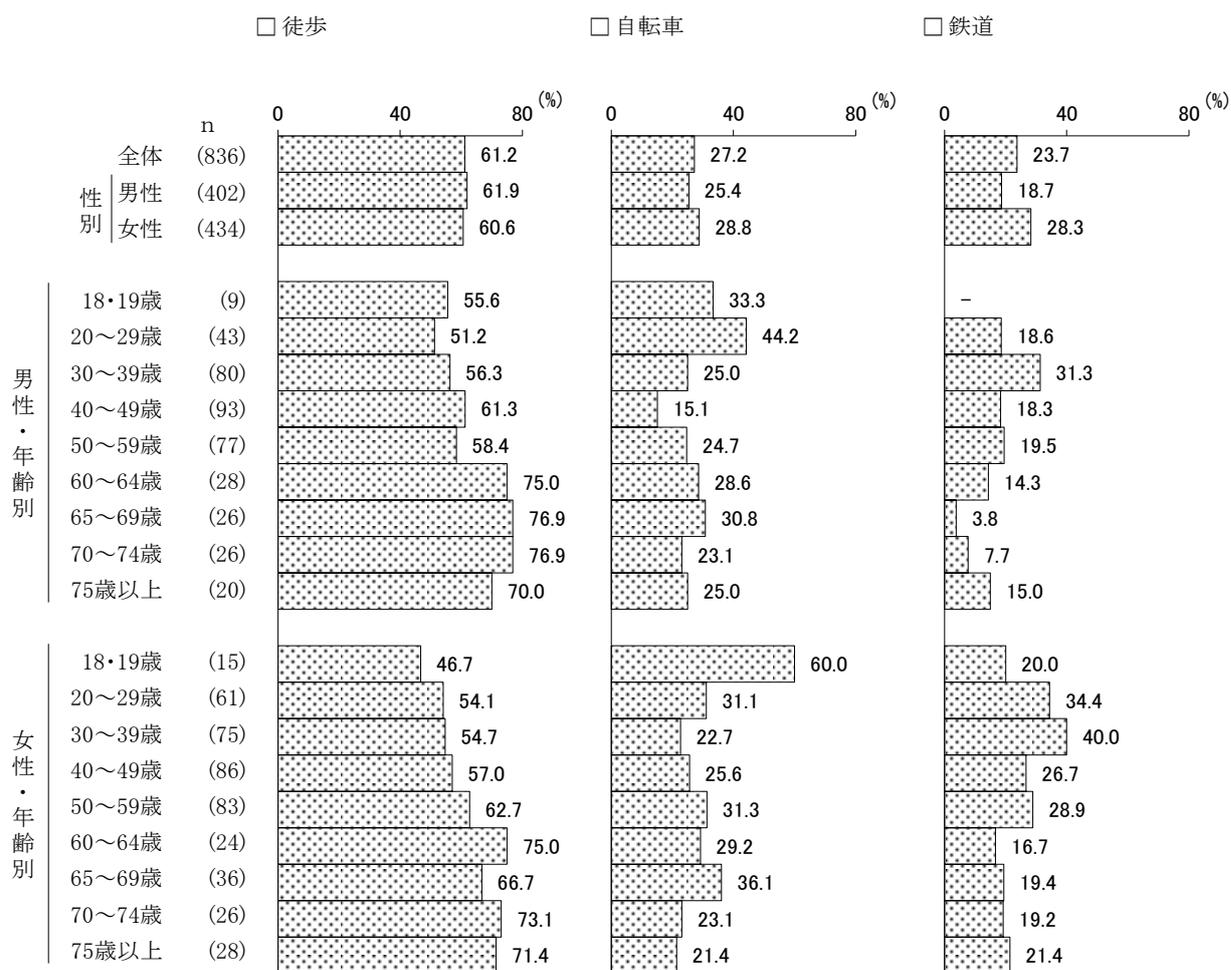
広域避難すると回答した方に広域避難先への避難手段を尋ねたところ、「徒歩」(61.2%)が6割強で最も高く、続いて「自転車」(27.2%)、「鉄道」(23.7%)となっている。(図表11-8)

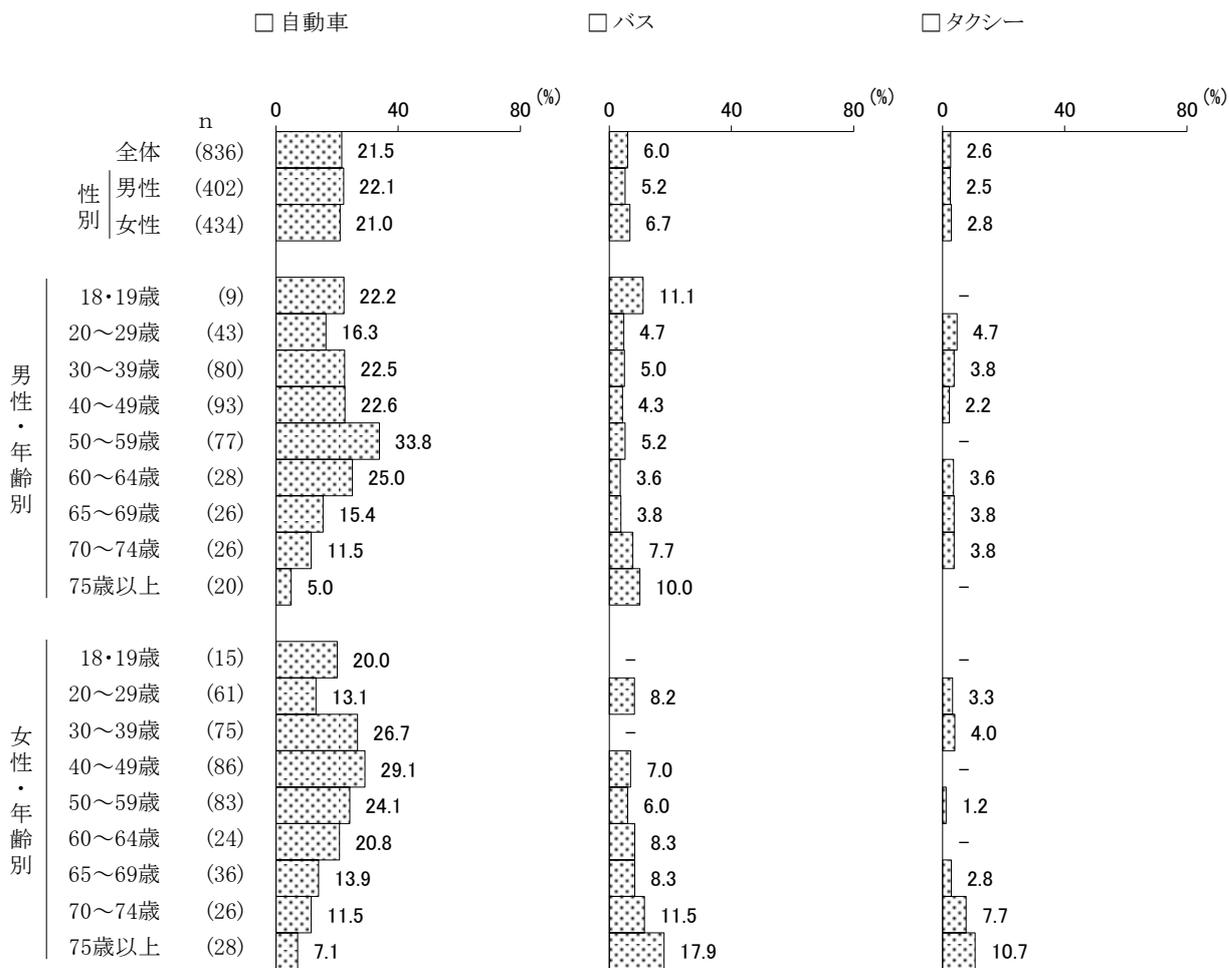
【性・年齢別】

性別では、「鉄道」は女性（28.3%）が男性（18.7%）よりも9.6ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「徒歩」は女性65～69歳（66.7%）と男性40～49歳（61.3%）で6割強と高くなっている。「自転車」は、男性20～29歳（44.2%）で4割台半ばと高く、「鉄道」は、女性30～39歳（40.0%）で4割と最も高くなっている。（図表11－9）

＜図表11－9＞ 避難する手段／性・年齢別（上位6項目）





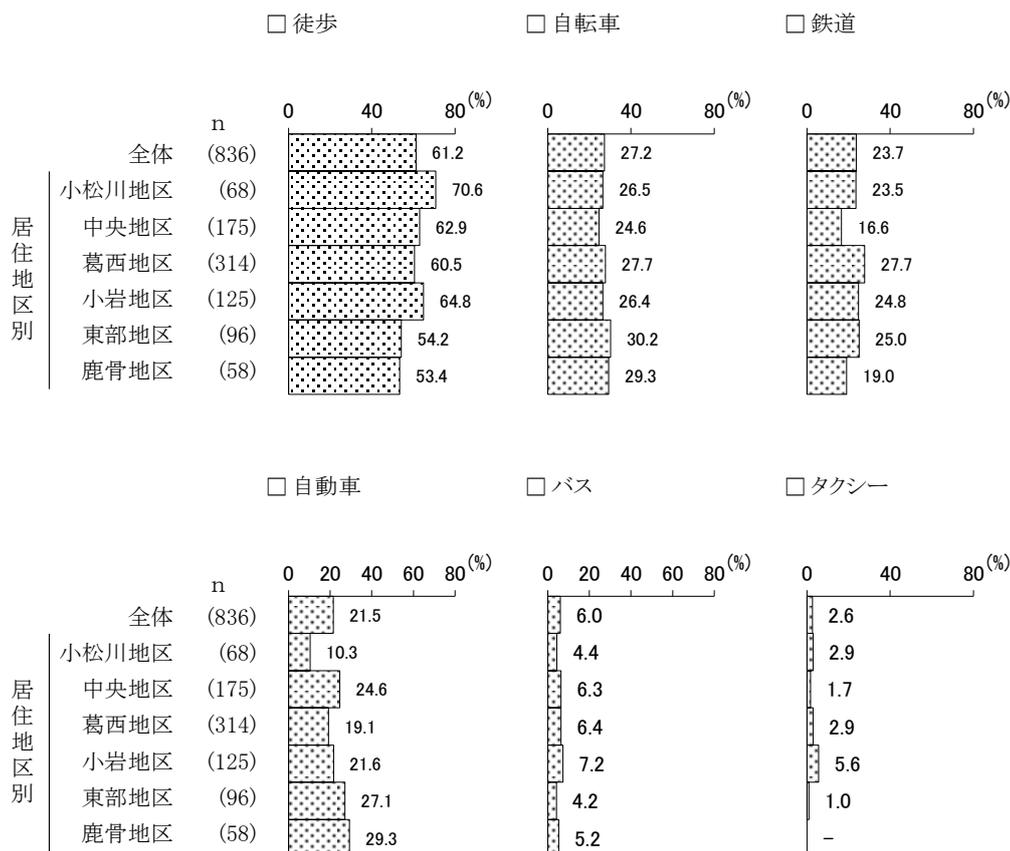
※男性及び女性の“18・19歳”、“60～64歳”、“70～74歳”、“75歳以上”、男性の“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「徒歩」は“小松川地区”（70.6%）で約7割と最も高くなっている。「自転車」は地区別による大きな違いはみられない。「鉄道」は、“中央地区”（16.6%）と“鹿骨地区”（19.0%）を除いて2割台となっている。「自動車」は、“鹿骨地区”（29.3%）で約3割と最も高くなっている。

（図表11-10）

＜図表11-10＞ 避難する手段／居住地区別（上位6項目）



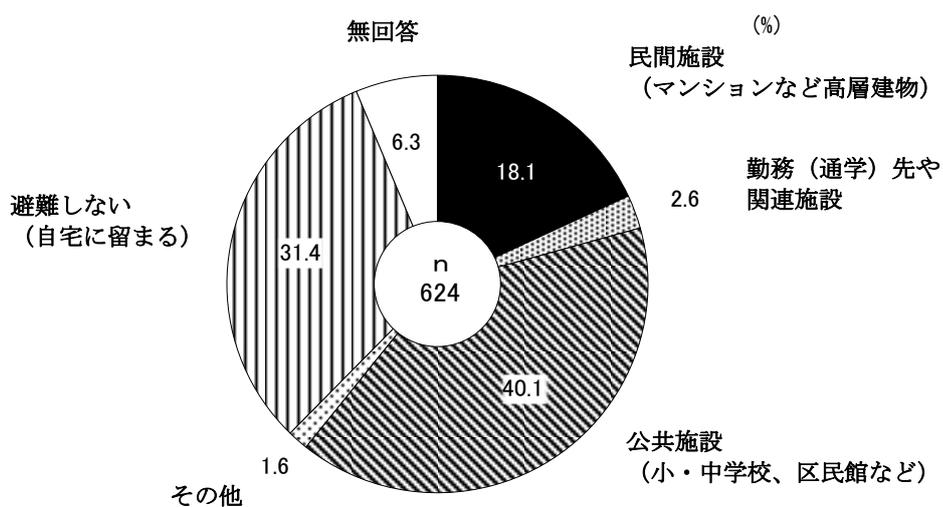
(1-3) 江戸川区内に避難

◇ 「公共施設（小・中学校、区民館など）」が約4割

問21-3 <問21で「2 広域避難しない」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか。(〇は1つだけ)

<図表11-12> 江戸川区内の避難先



広域避難しないと回答した方に江戸川区内のどこへ避難するか尋ねたところ、「公共施設（小・中学校、区民館など）」(40.1%) が約4割で最も高く、続いて「民間施設（マンションなど高層建物）」(18.1%) となっている。一方、「避難しない（自宅に留まる）」(31.4%) は3割強となっている。

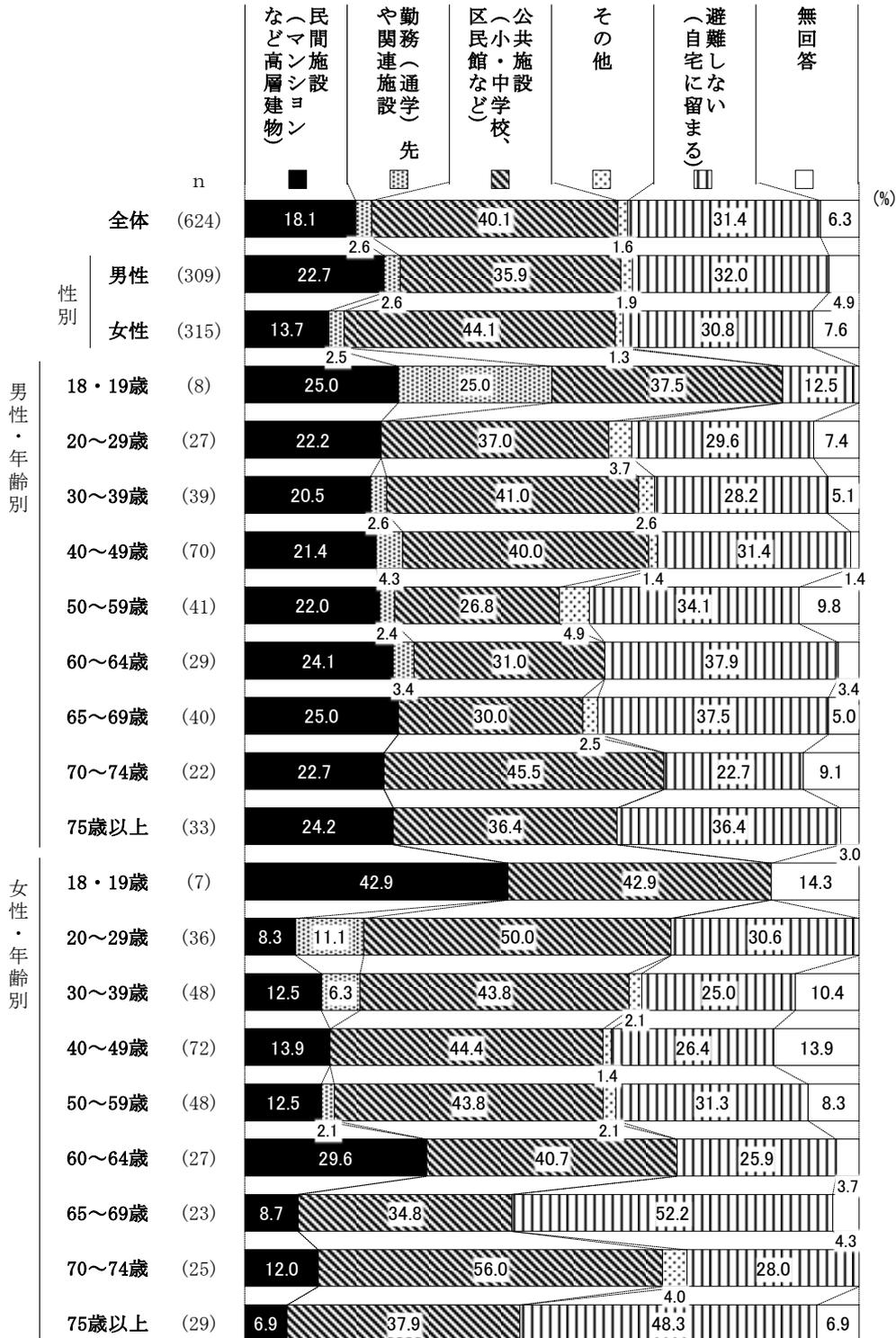
(図表11-12)

【性・年齢別】

性別では、「民間施設（マンションなど高層建物）」は男性（22.7%）が女性（13.7%）より9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「公共施設（小・中学校、区民館など）」は女性20～29歳（50.0%）で5割と最も高くなっている。（図表11-13）

<図表11-13> 江戸川区内の避難先／性・年齢別

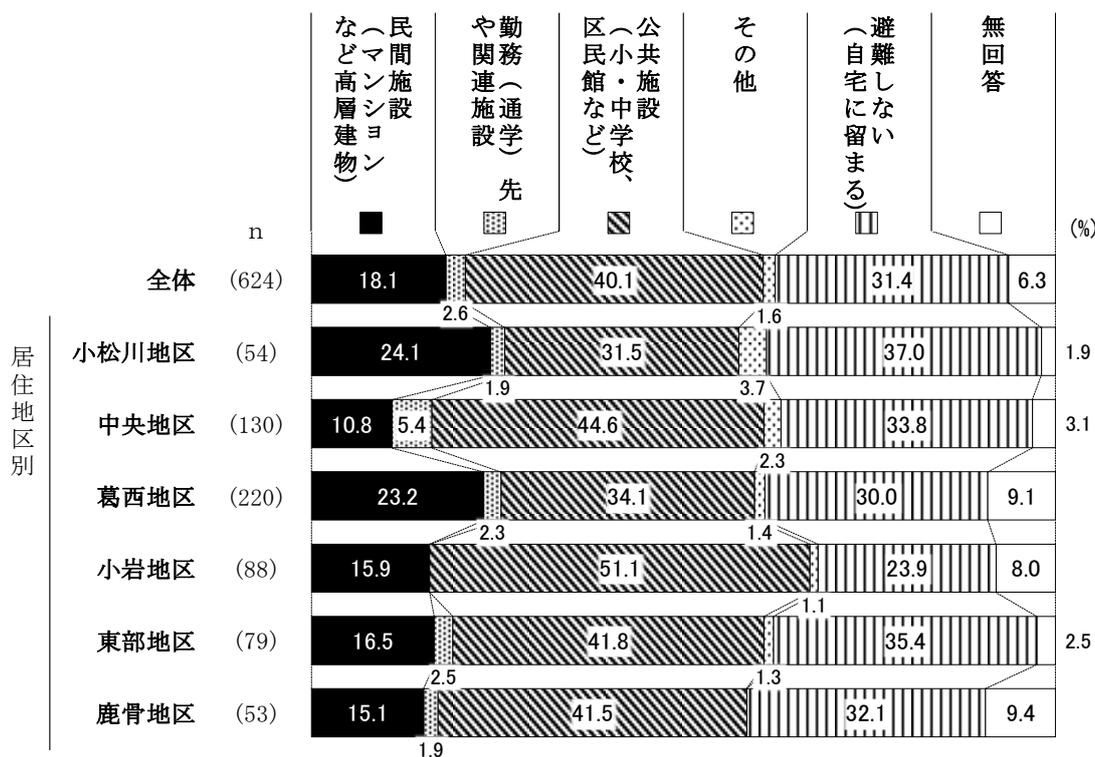


※男性及び女性の“18・19歳”、“70～74歳”、男性の“20～29歳”、女性の“60～64歳”、“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「民間施設（マンションなど高層建物）」は“小松川地区”（24.1%）と“葛西地区”（23.2%）で2割を超えて高く、「公共施設（小・中学校、区民館など）」は“小岩地区”（51.1%）で5割強と最も高くなっている。一方、「避難しない（自宅に留まる）」は、“小松川地区”（37.0%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表11-14）

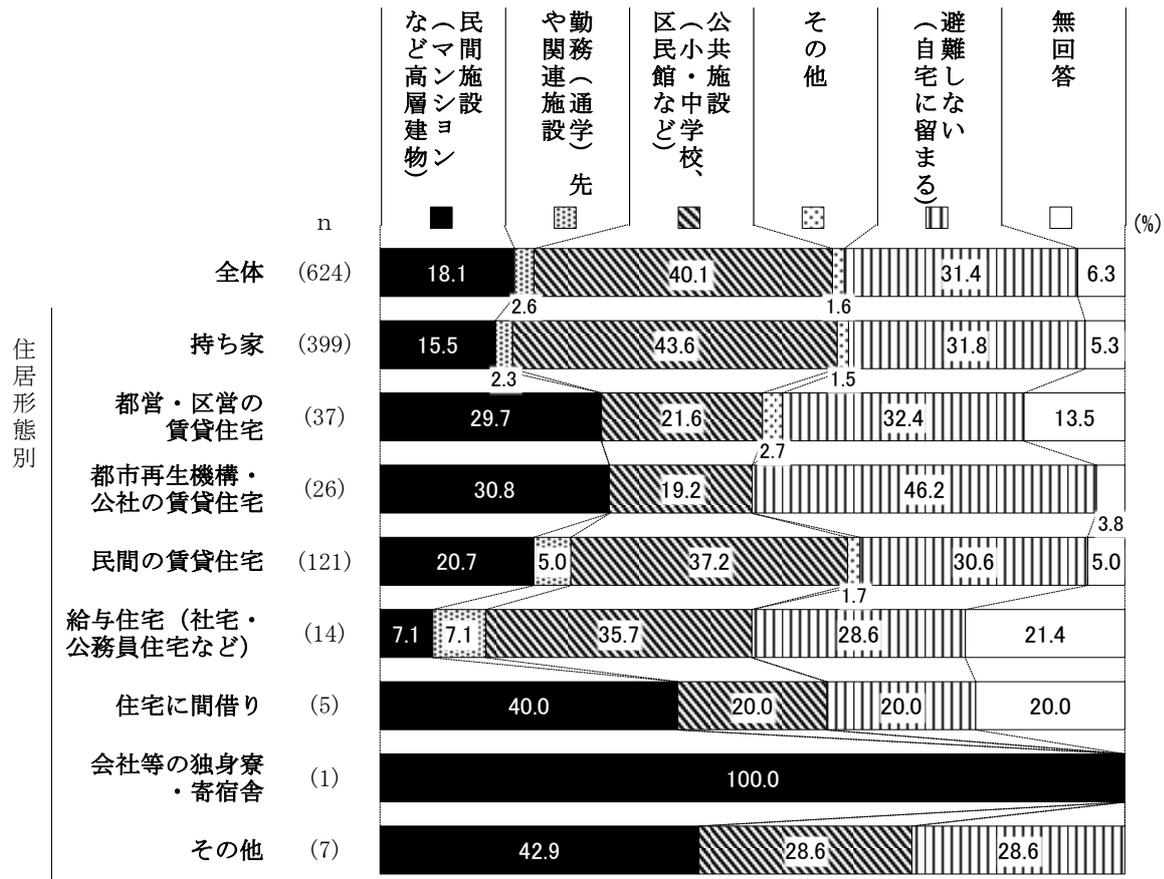
＜図表11-14＞ 江戸川区内の避難先／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、「民間施設（マンションなど高層建物）」は、「都営・区営の賃貸住宅」（29.7%）で約3割と最も高く、「公共施設（小・中学校、区民館など）」は、「持ち家」（43.6%）で4割強と高くなっている。（図表11-15）

＜図表11-15＞ 江戸川区内の避難先／住居形態別



※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

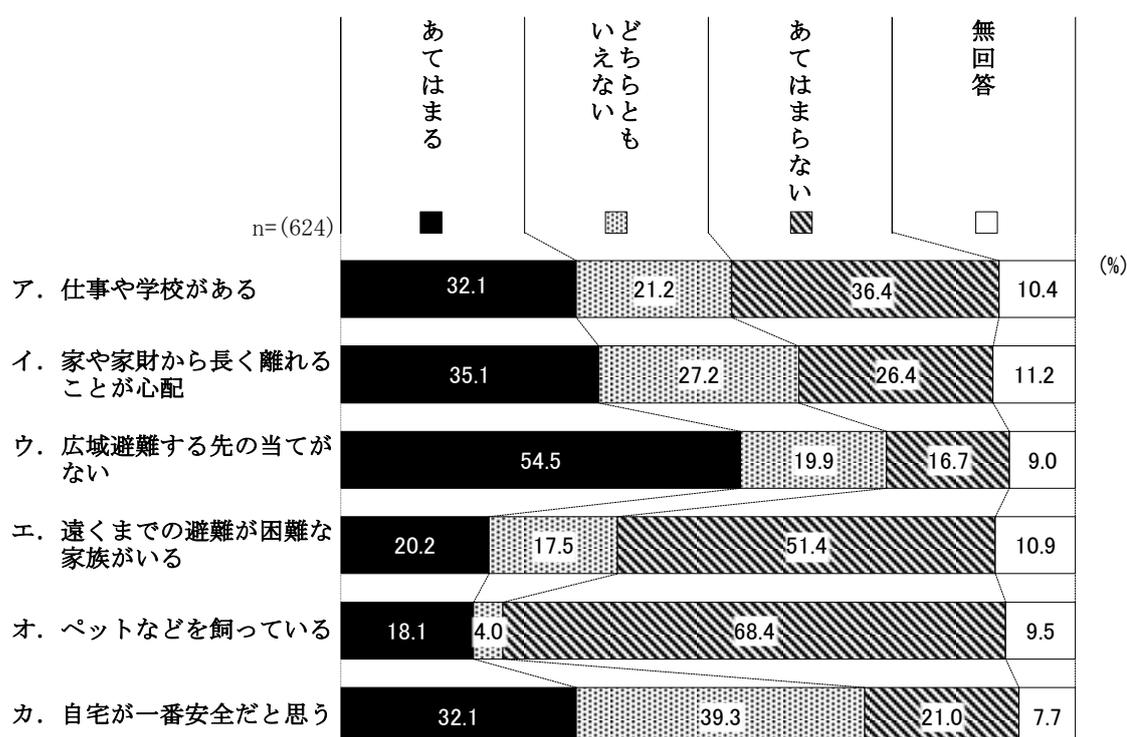
(1-4) 広域避難しない理由

◇ 【広域避難する先の当てがない】が5割台半ば

問21-4 <問21で「2 広域避難しない」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。
(それぞれ〇は1つつ)

<図表11-16> 広域避難しない理由



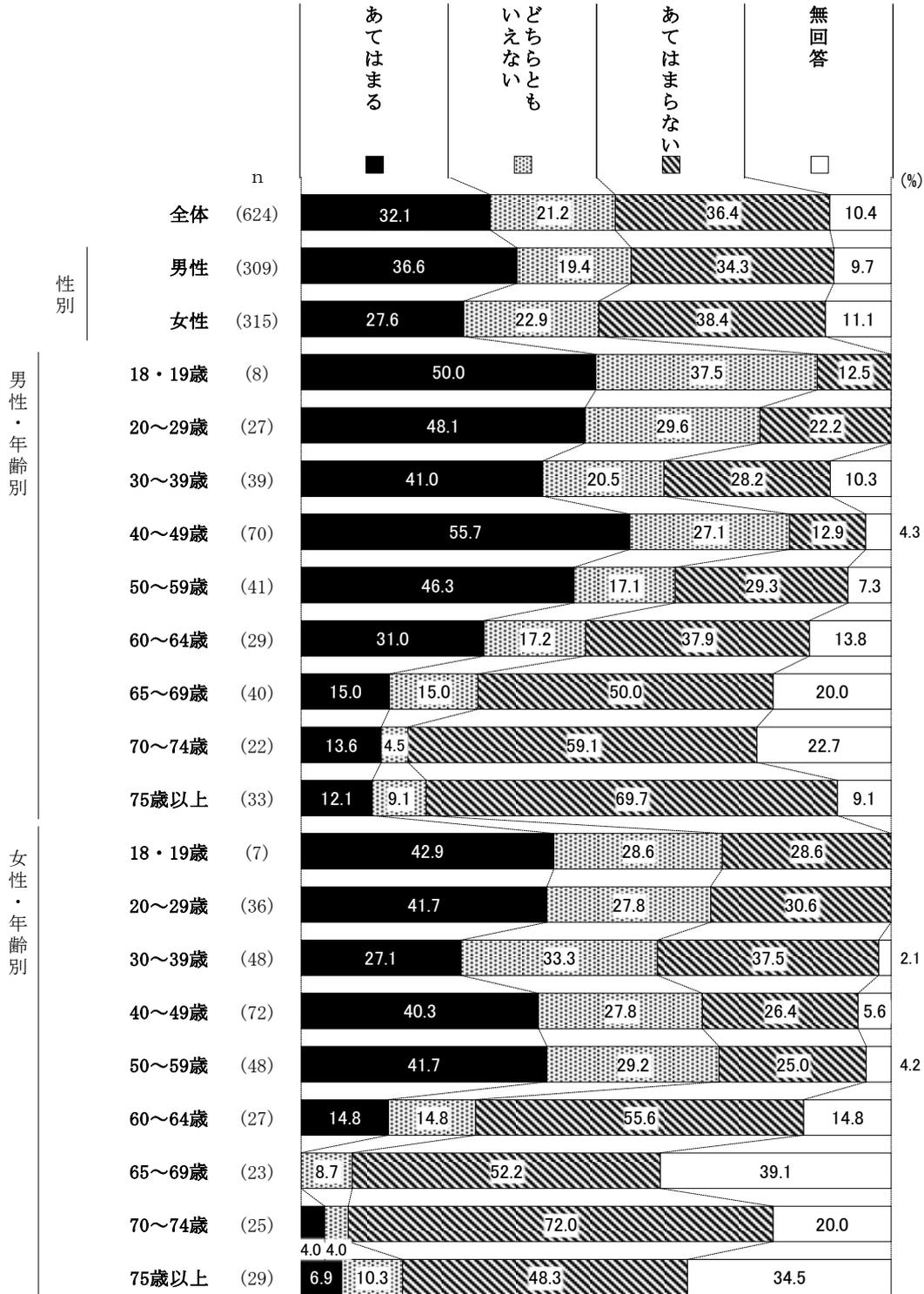
広域避難しない理由を尋ねたところ、「あてはまる」は【広域避難する先の当てがない】(54.5%)が5割台半ばで最も高く、続いて「家や家財から長く離れることが心配」(35.1%)が3割台半ばとなっている。「どちらともいえない」は【自宅が一番安全だと思う】(39.3%)が約4割、「あてはまらない」は【ペットなどを飼っている】(68.4%)、【遠くまでの避難が困難な家族がいる】(51.4%)となっている。(図表11-16)

【ア. 仕事や学校がある／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（36.6%）が女性（27.6%）より9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は男性40～49歳（55.7%）で5割台半ばと最も高くなっている。（図表11-17）

＜図表11-17＞ ア. 仕事や学校がある／性・年齢別

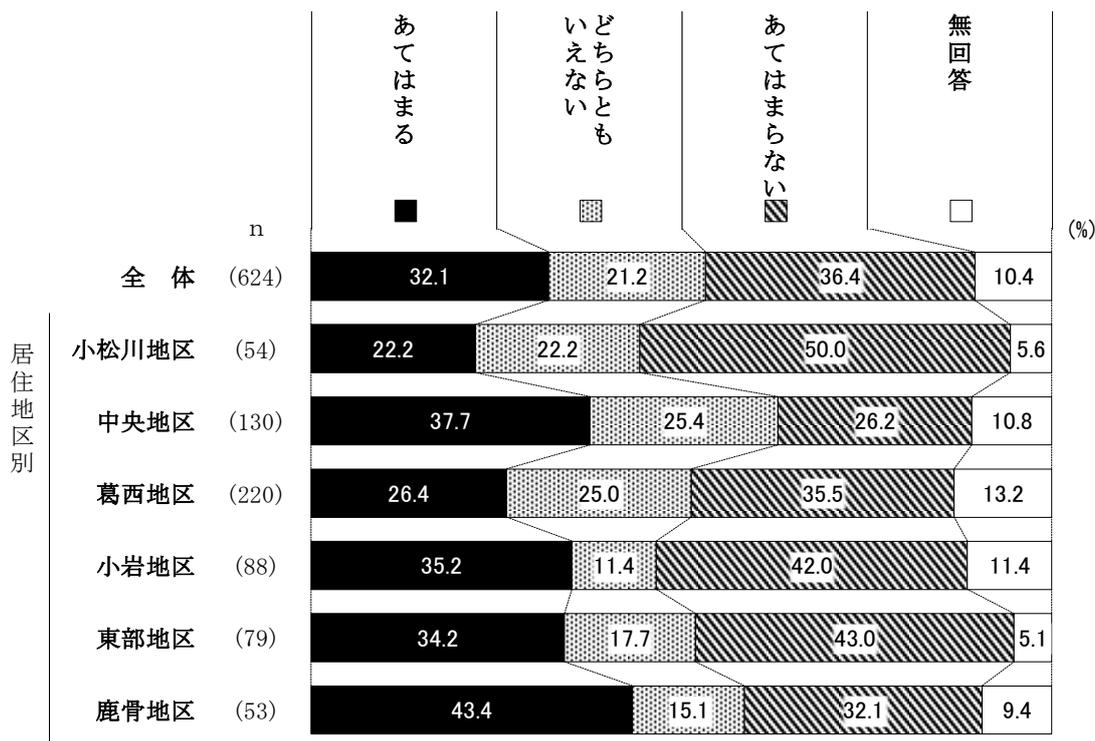


※男性及び女性の“18・19歳”、“70～74歳”、男性の“20～29歳”、女性の“60～64歳”、“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまる」は“鹿骨地区”（43.4%）で4割強と高くなっている。「あてはまらない」は、“小松川地区”（50.0%）で5割と高くなっている。（図表11-18）

＜図表11-18＞ ア. 仕事や学校がある／居住地区別

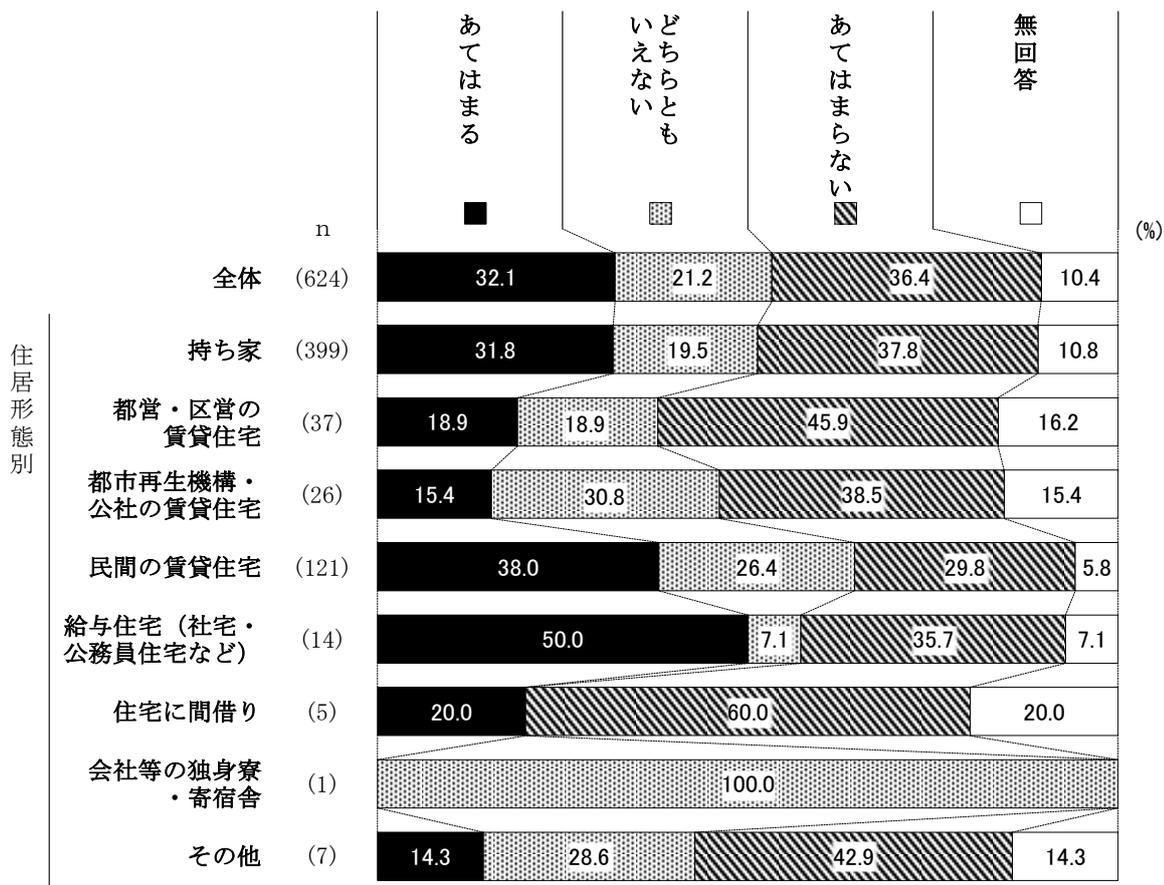


【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまる」は、“民間の賃貸住宅”（38.0%）で4割弱と高くなっている。「あてはまらない」は、“都営・区営の賃貸住宅”（45.9%）で4割台半ばと高くなっている。

（図表11-19）

＜図表11-19＞ ア. 仕事や学校がある／住居形態別



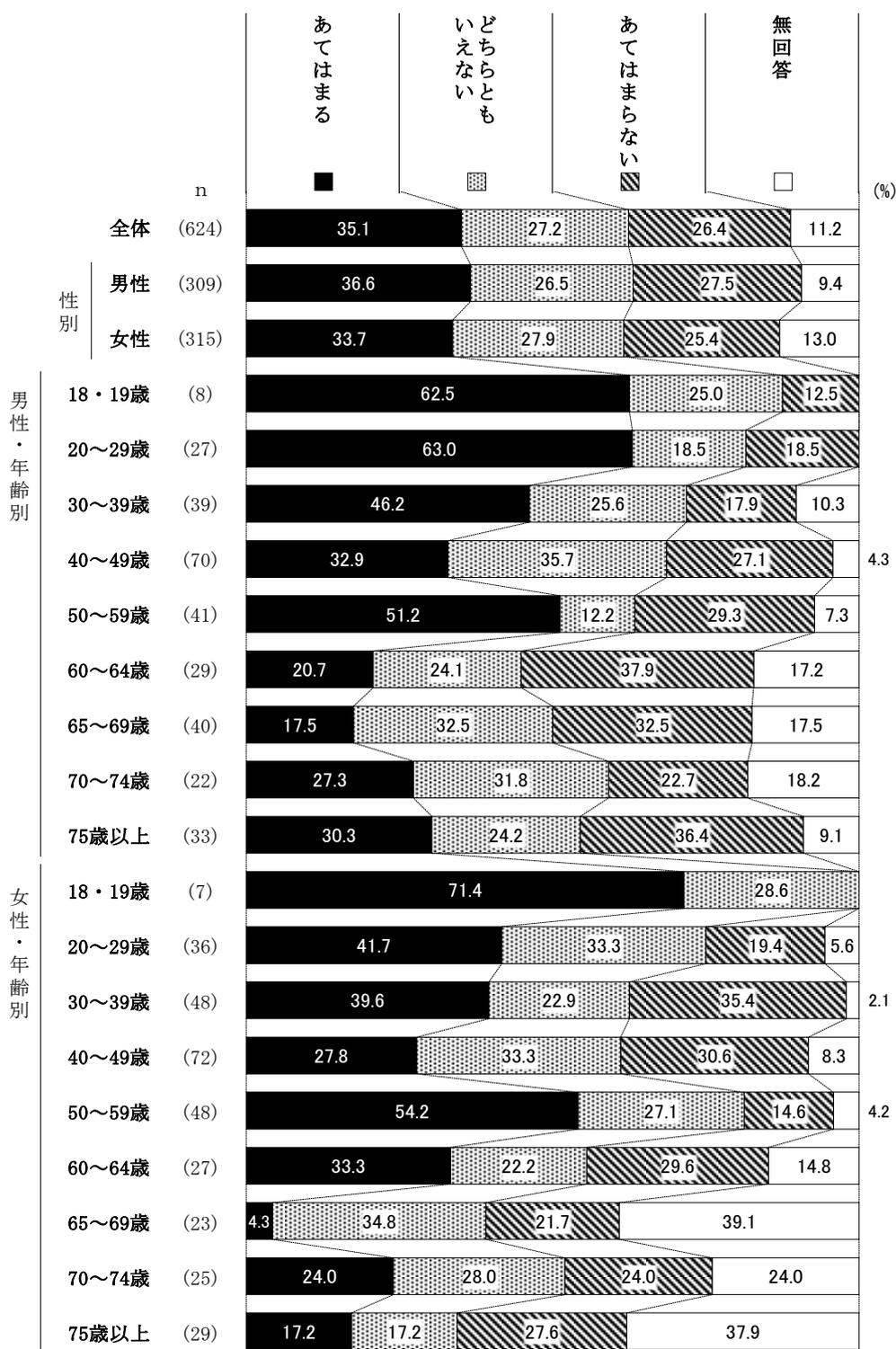
※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【イ. 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（36.6%）が女性（33.7%）よりも2.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は女性 50～59 歳（54.2%）で5割台半ばと高くなっている。「あてはまらない」は、男性 60～64 歳（37.9%）で4割弱と高くなっている。（図表11-20）

<図表11-20> イ. 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別



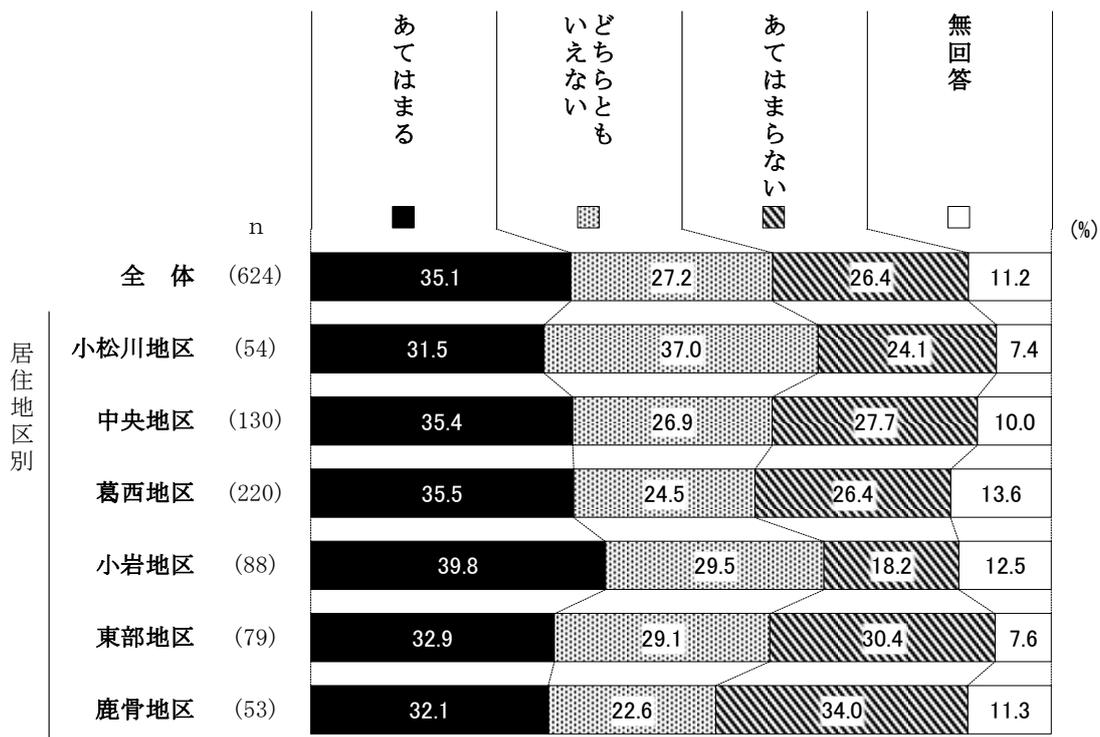
※男性及び女性の“18・19歳”、“70～74歳”、男性の“20～29歳”、女性の“60～64歳”、“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまる」は“小岩地区”（39.8%）で約4割と高くなっている。

（図表11-21）

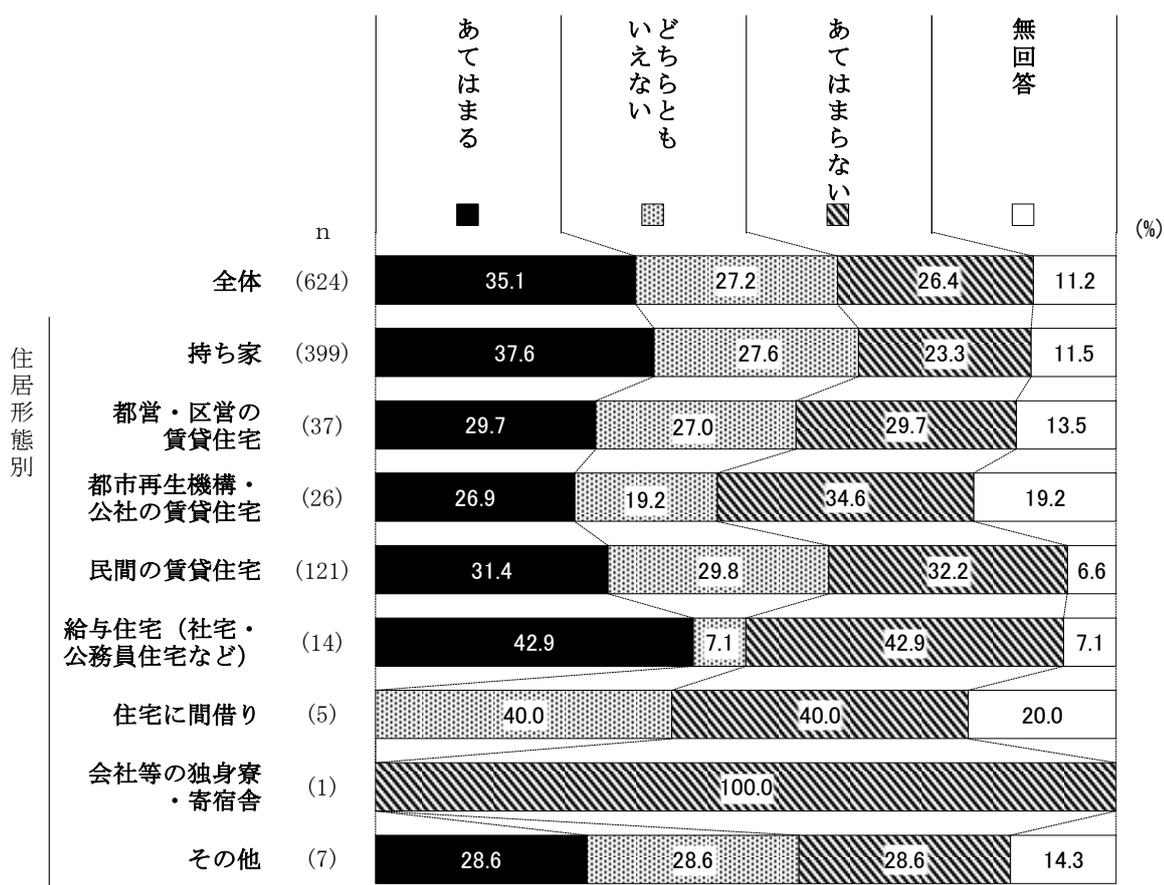
＜図表11-21＞ イ. 家や家財から長く離れることが心配／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまる」は、“持ち家”（37.6%）で4割弱と高くなっている。「あてはまらない」は、“民間の賃貸住宅”（32.2%）で3割強と高くなっている。（図表11-22）

＜図表11-22＞ イ. 家や家財から長く離れることが心配／住居形態別



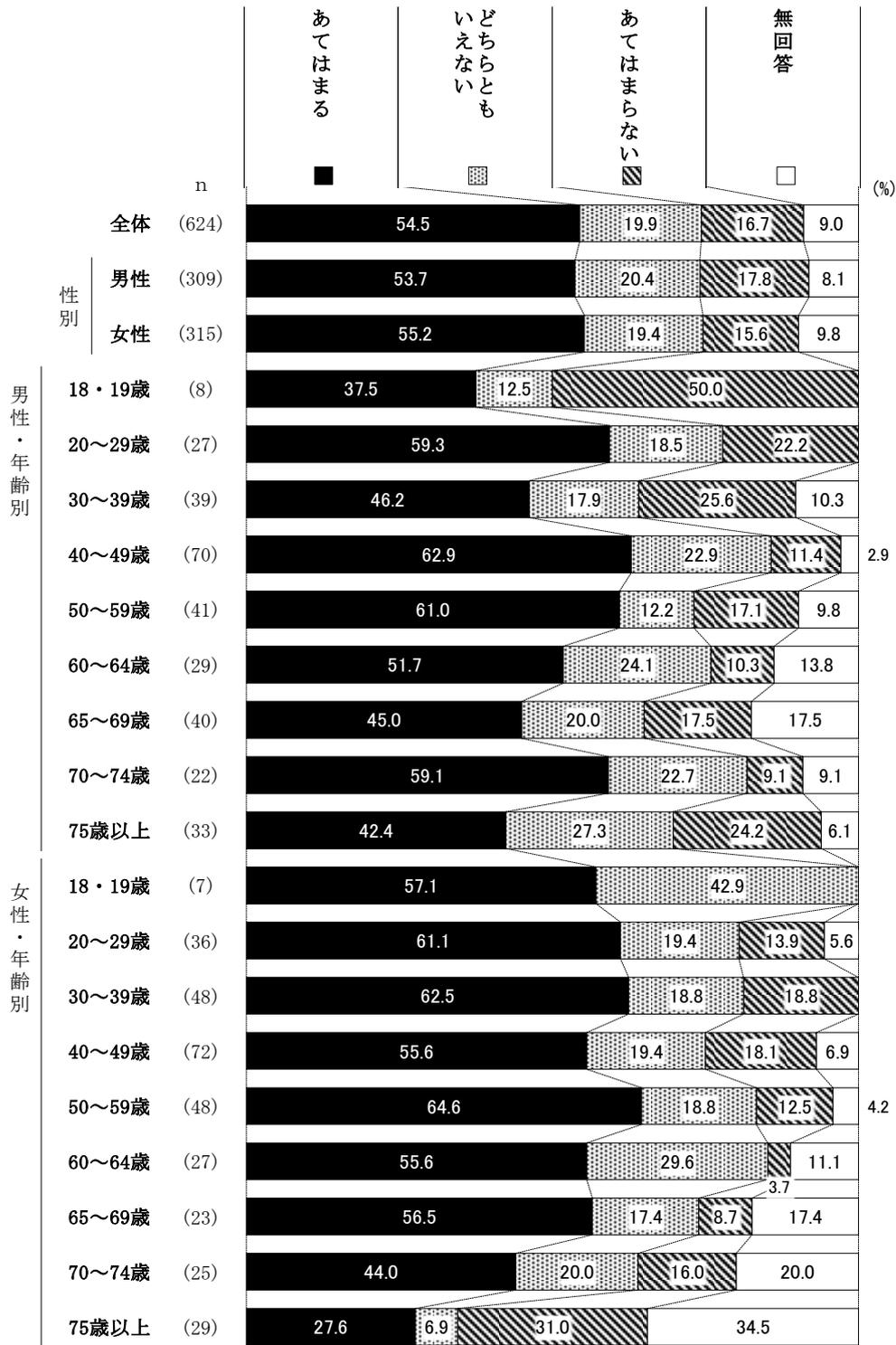
※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【ウ. 広域避難する先の当てがない／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は女性 50～59 歳（64.6%）で6割台半ばと最も高くなっている。（図表11-23）

＜図表11-23＞ ウ. 広域避難する先の当てがない／性・年齢別



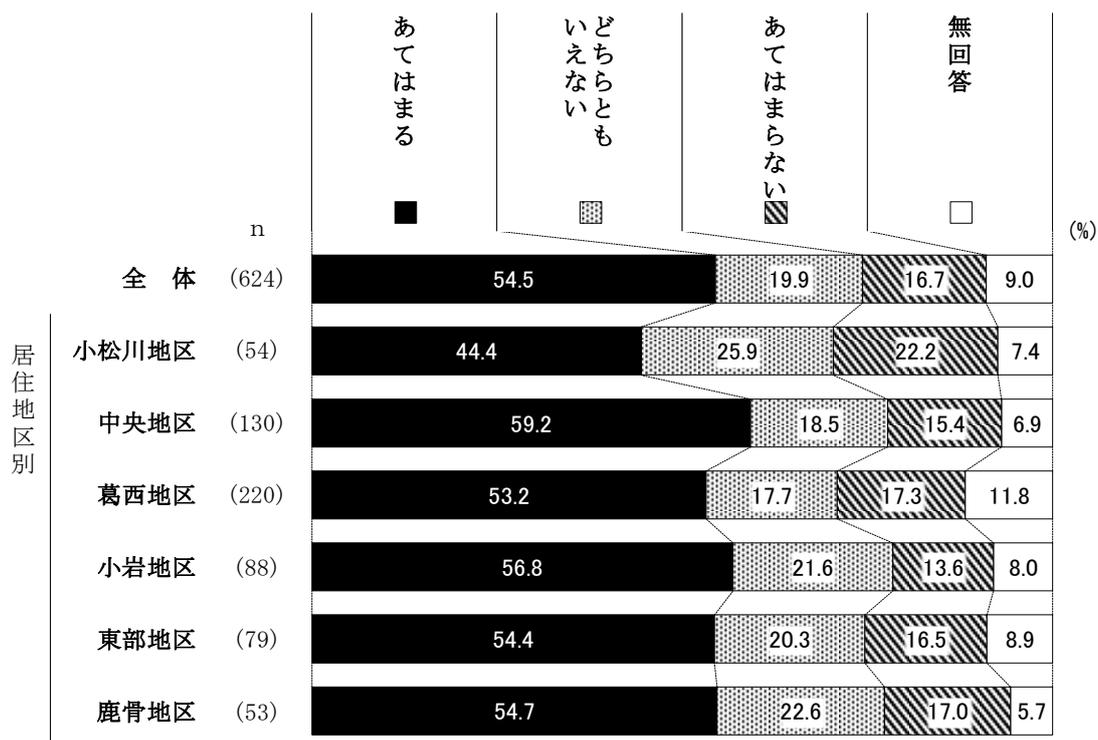
※男性及び女性の“18・19歳”、“70～74歳”、男性の“20～29歳”、女性の“60～64歳”、“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまる」は“中央地区”（59.2%）で約6割と高くなっている。

（図表11-24）

＜図表11-24＞ ウ. 広域避難する先の当てがない／居住地区別

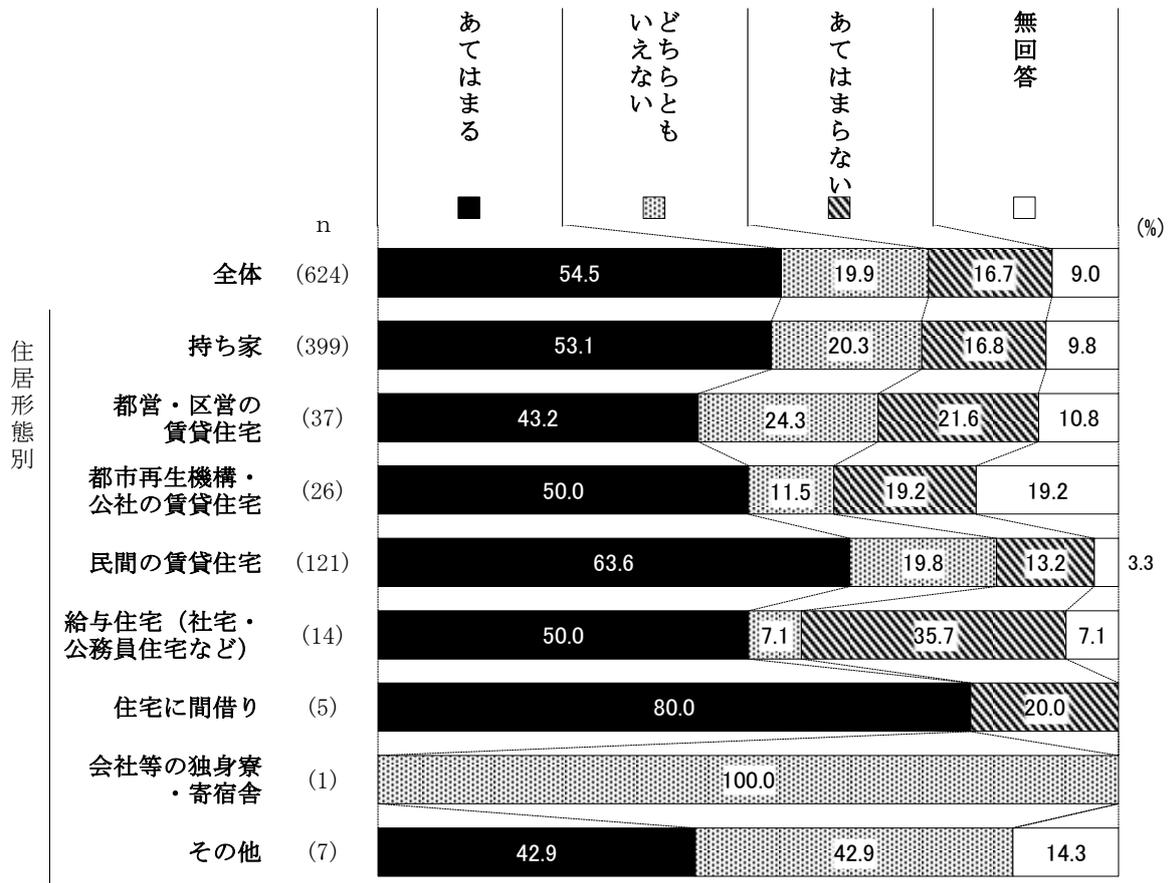


【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまる」は、“民間の賃貸住宅”（63.6%）で6割強と高くなっている。

（図表11-25）

＜図表11-25＞ ウ. 広域避難する先の当てがない／住居形態別



※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

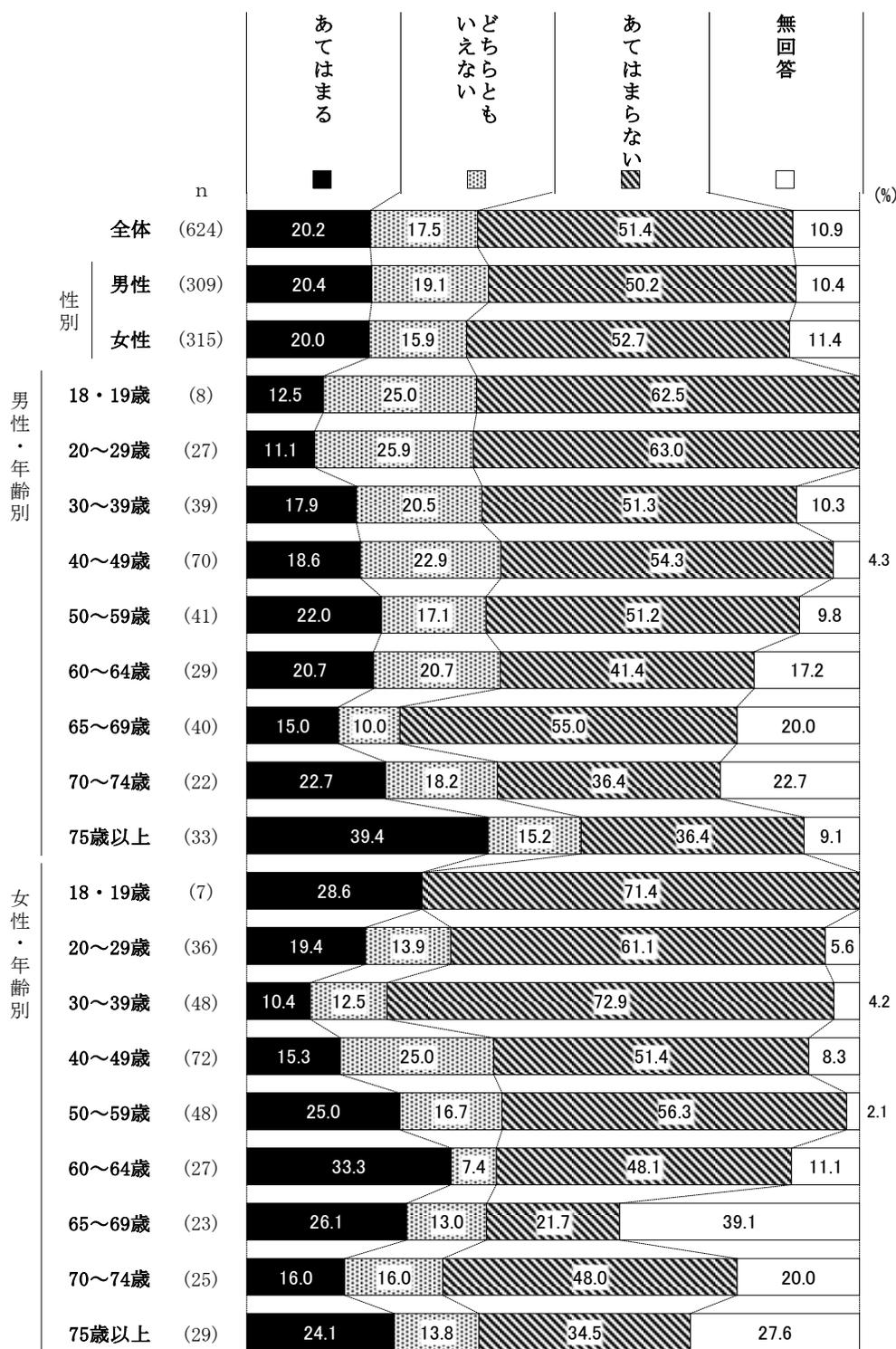
【エ. 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は男性 75 歳以上 (39.4%) で約 4 割と最も高くなっている。

(図表11-26)

<図表11-26> エ. 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別



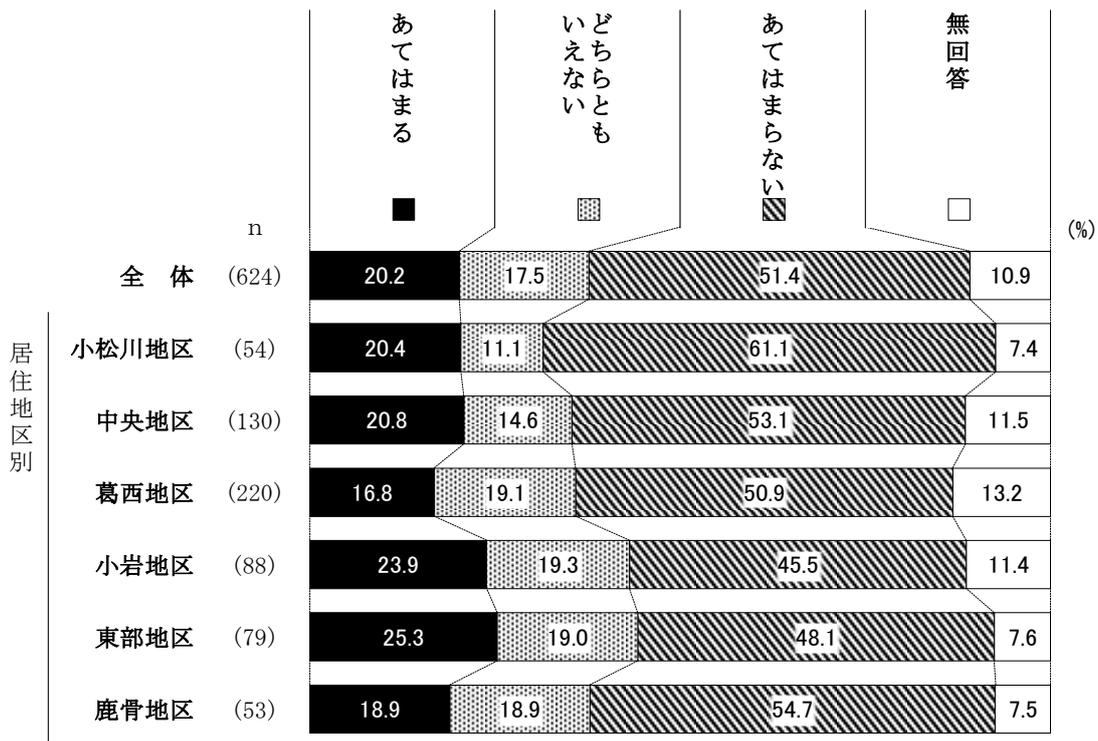
※男性及び女性の「18・19歳」、「70～74歳」、男性の「20～29歳」、女性の「60～64歳」、「65～69歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまらない」は“小松川地区”（61.1%）で6割強と高くなっている。

（図表11-27）

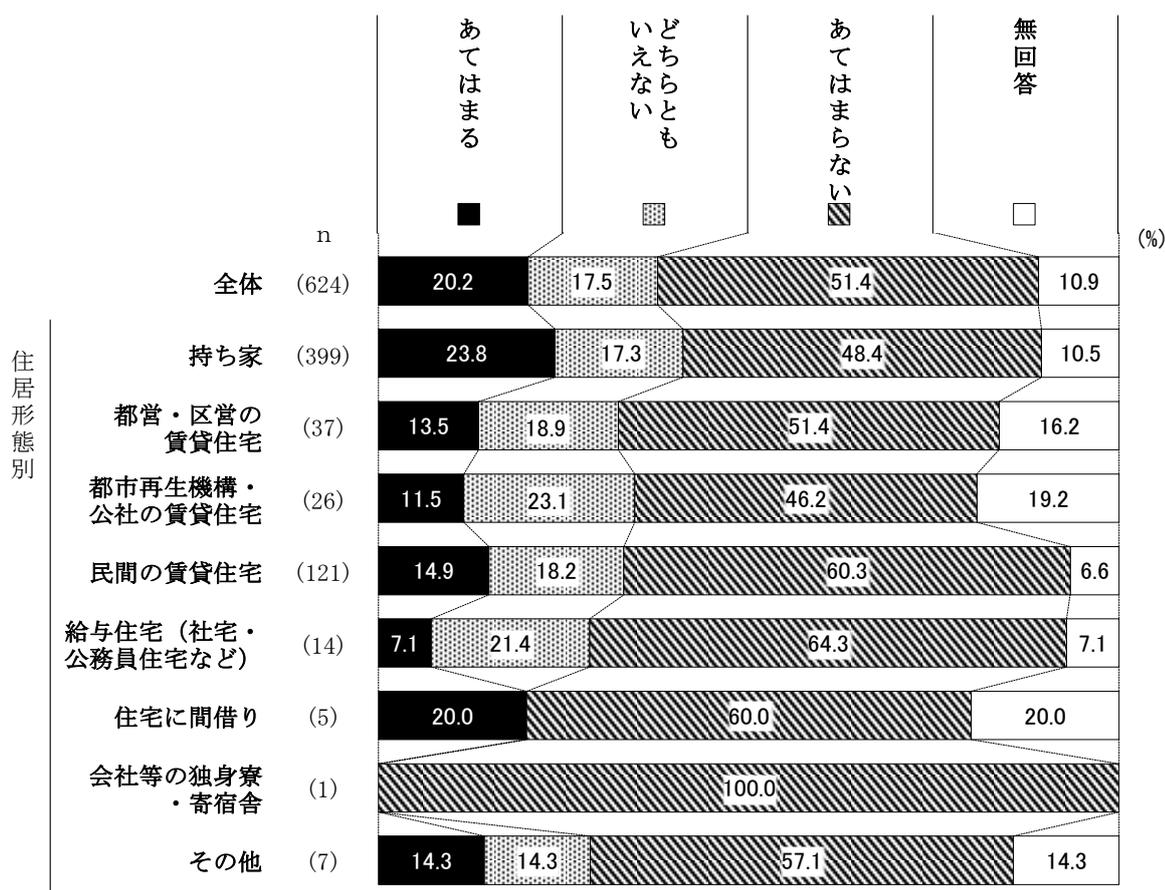
＜図表11-27＞ エ. 遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまらない」は、“民間の賃貸住宅”（60.3%）で約6割と高くなっている。（図表11-28）

＜図表11-28＞ エ. 遠くまでの避難が困難な家族がいる／住居形態別



※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

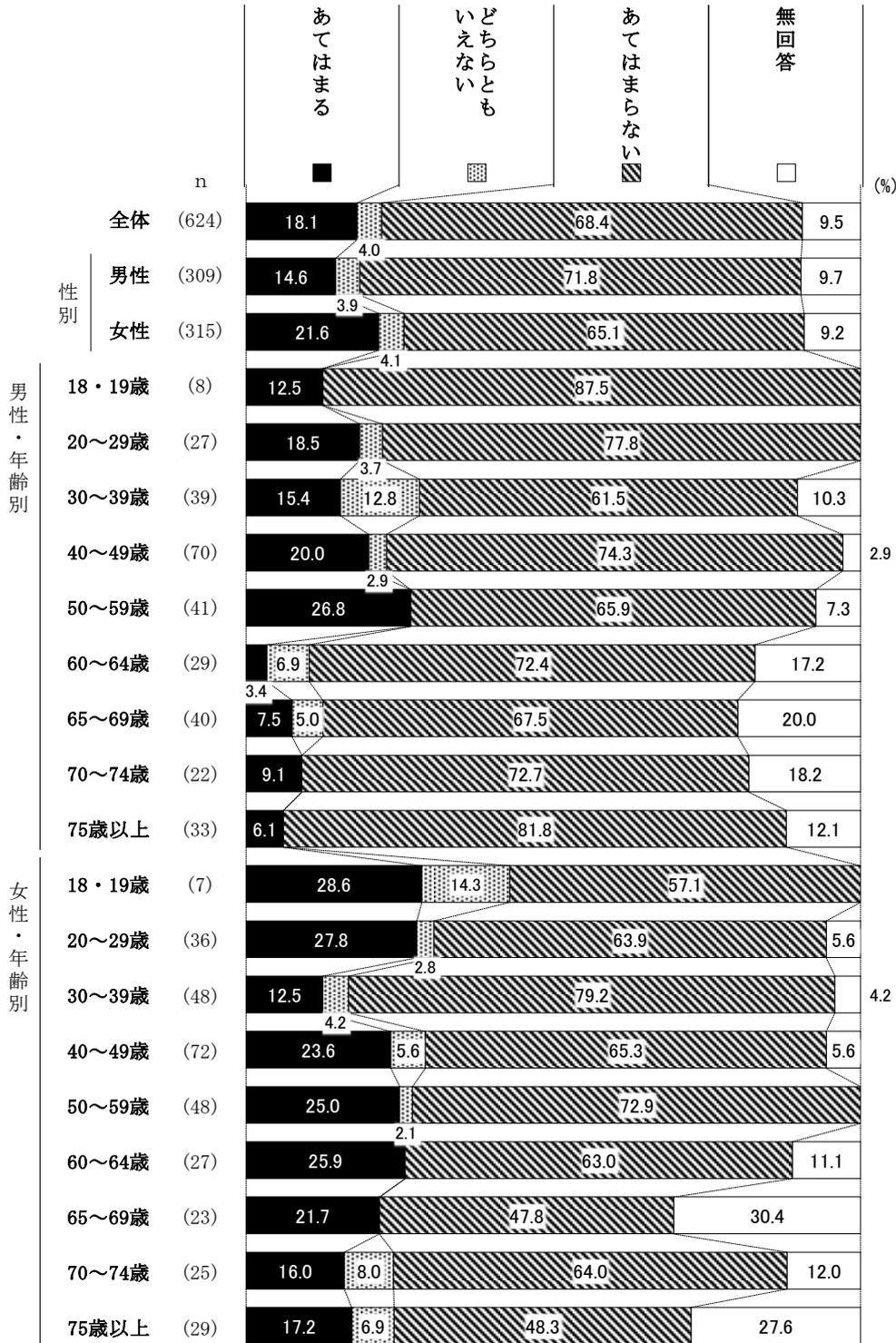
【オ. ペットなどを飼っている／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は女性（21.6%）が男性（14.6%）よりも7.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は女性20～29歳（27.8%）で3割弱と高くなっている。

（図表11-29）

＜図表11-29＞ オ. ペットなどを飼っている／性・年齢別

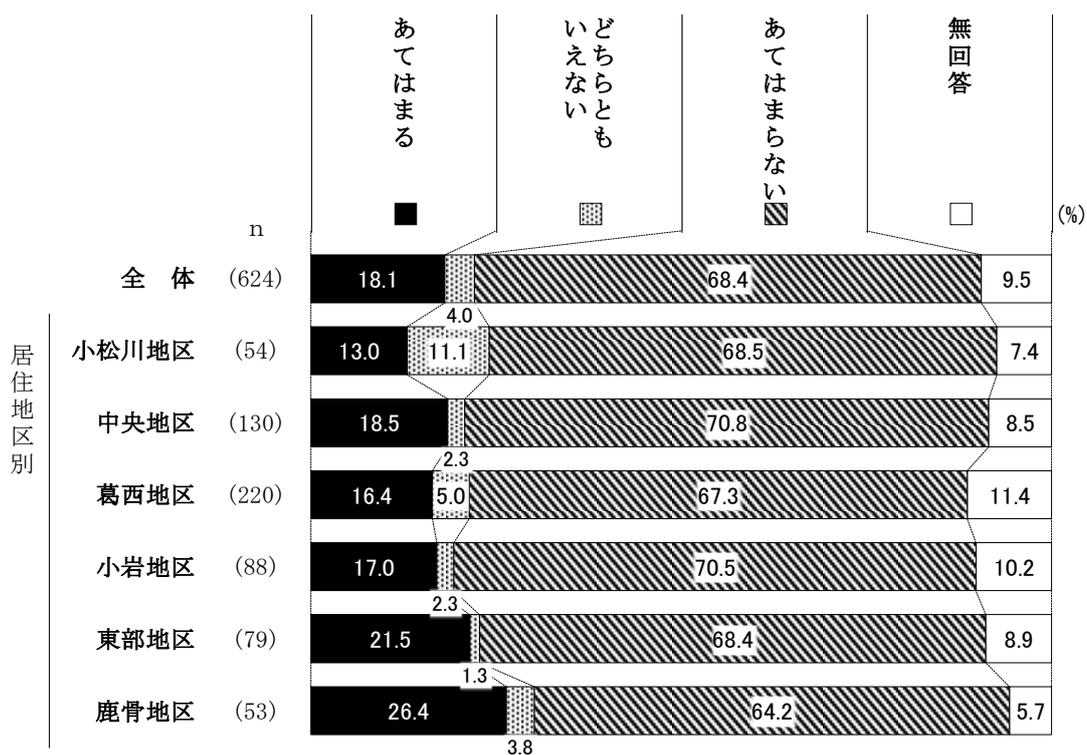


※男性及び女性の“18・19歳”、“70～74歳”、男性の“20～29歳”、女性の“60～64歳”、“65～69歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまる」は“鹿骨地区”（26.4%）で2割台半ばと高くなっている。
 （図表11-30）

＜図表11-30＞ オ. ペットなどを飼っている／居住地区別

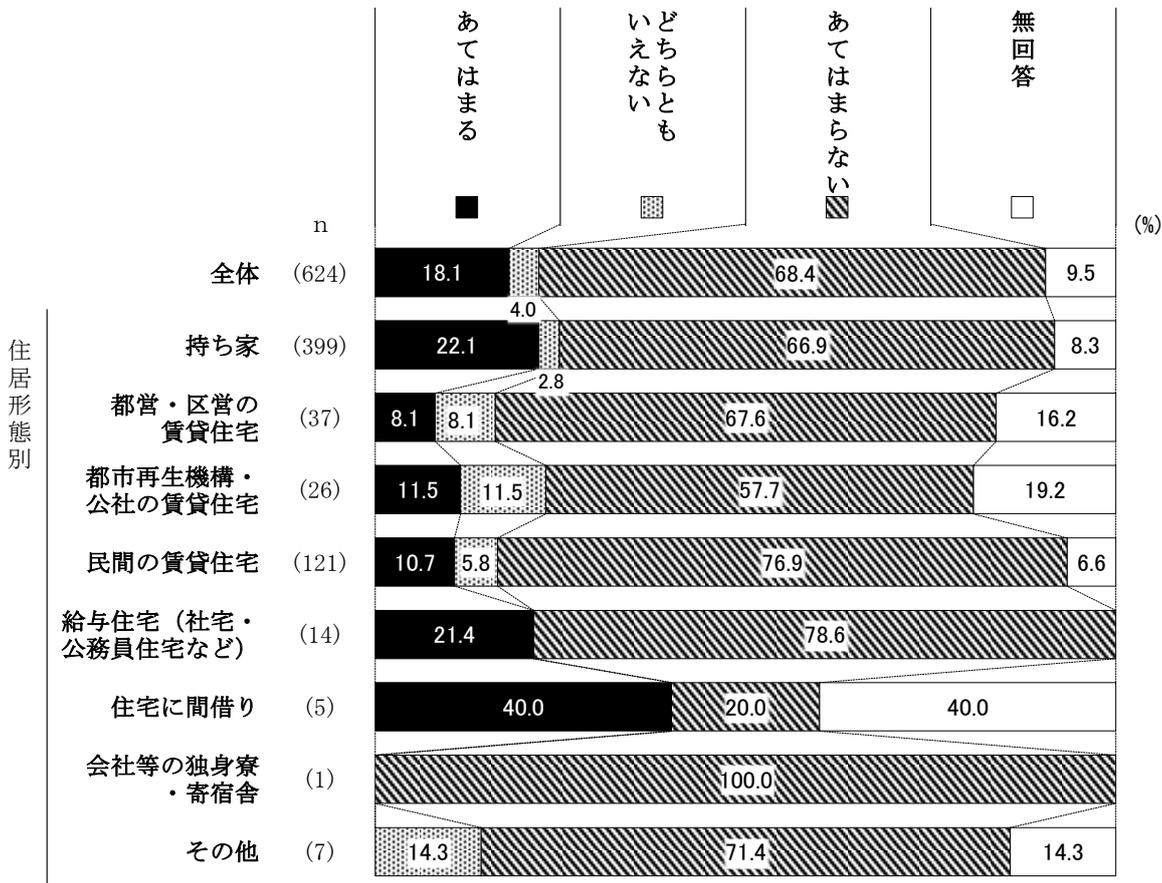


【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまる」は、“持ち家”（22.1%）で2割強と高くなっている。

（図表11-31）

＜図表11-31＞ オ. ペットなどを飼っている／住居形態別



※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

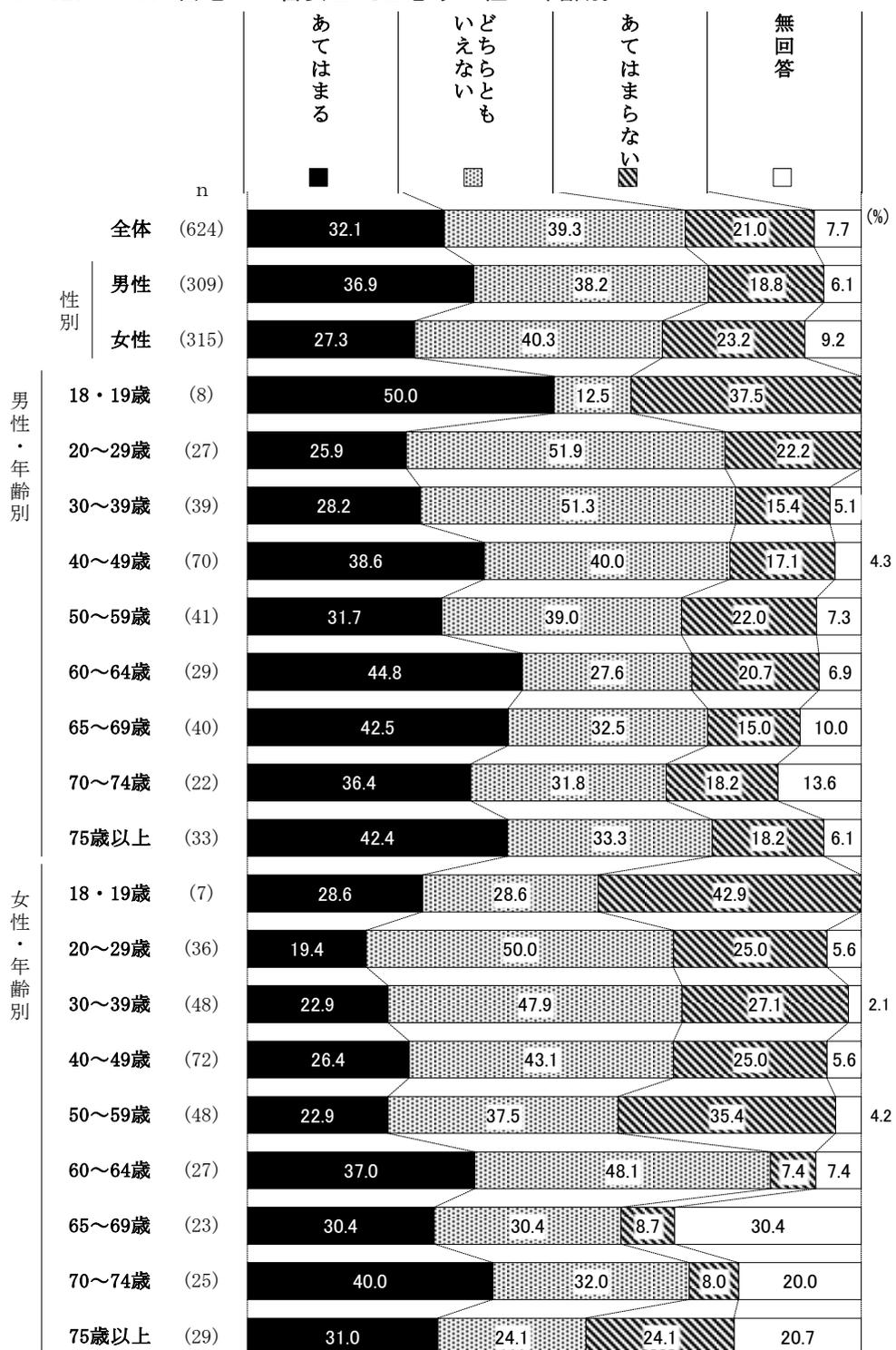
【カ. 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

性別では、「あてはまる」は男性（36.9%）が女性（27.3%）よりも9.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「あてはまる」は男性60～64歳（44.8%）で4割台半ばと高くなっている。

（図表11-32）

＜図表11-32＞ カ. 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別



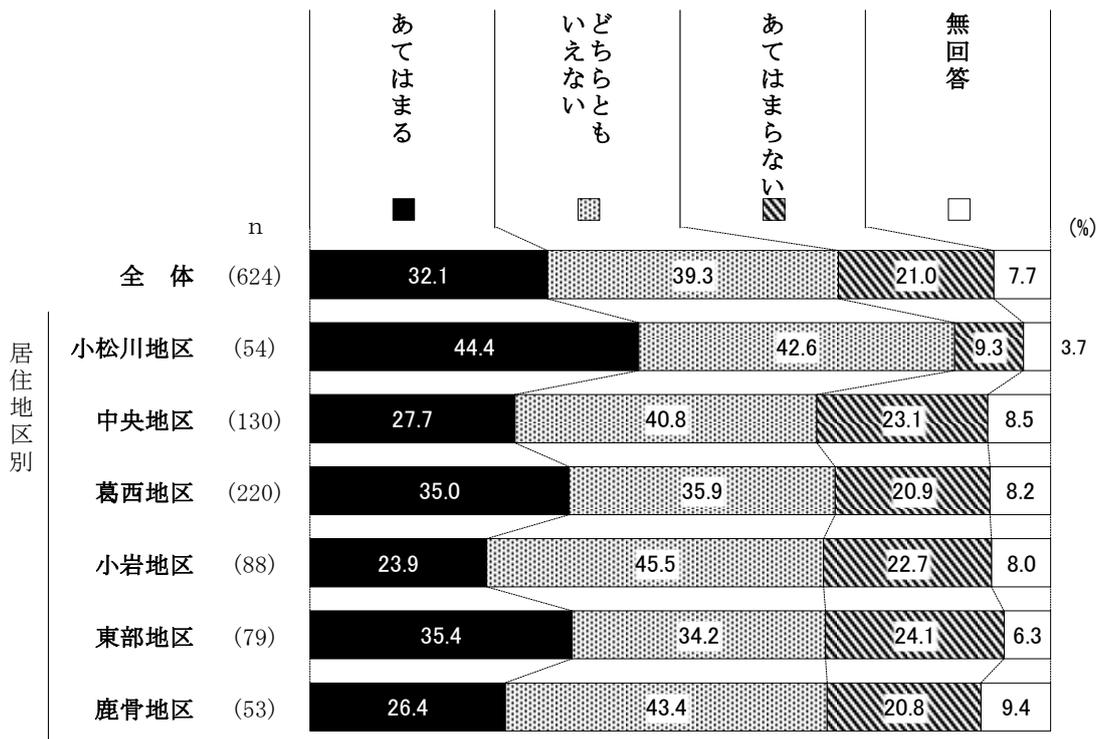
※男性及び女性の「18・19歳」、「70～74歳」、男性の「20～29歳」、女性の「60～64歳」、「65～69歳」については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【居住地区別】

居住地区別でみると、「あてはまる」は“小松川地区”（44.4%）で4割台半ばと高くなっている。

（図表11-33）

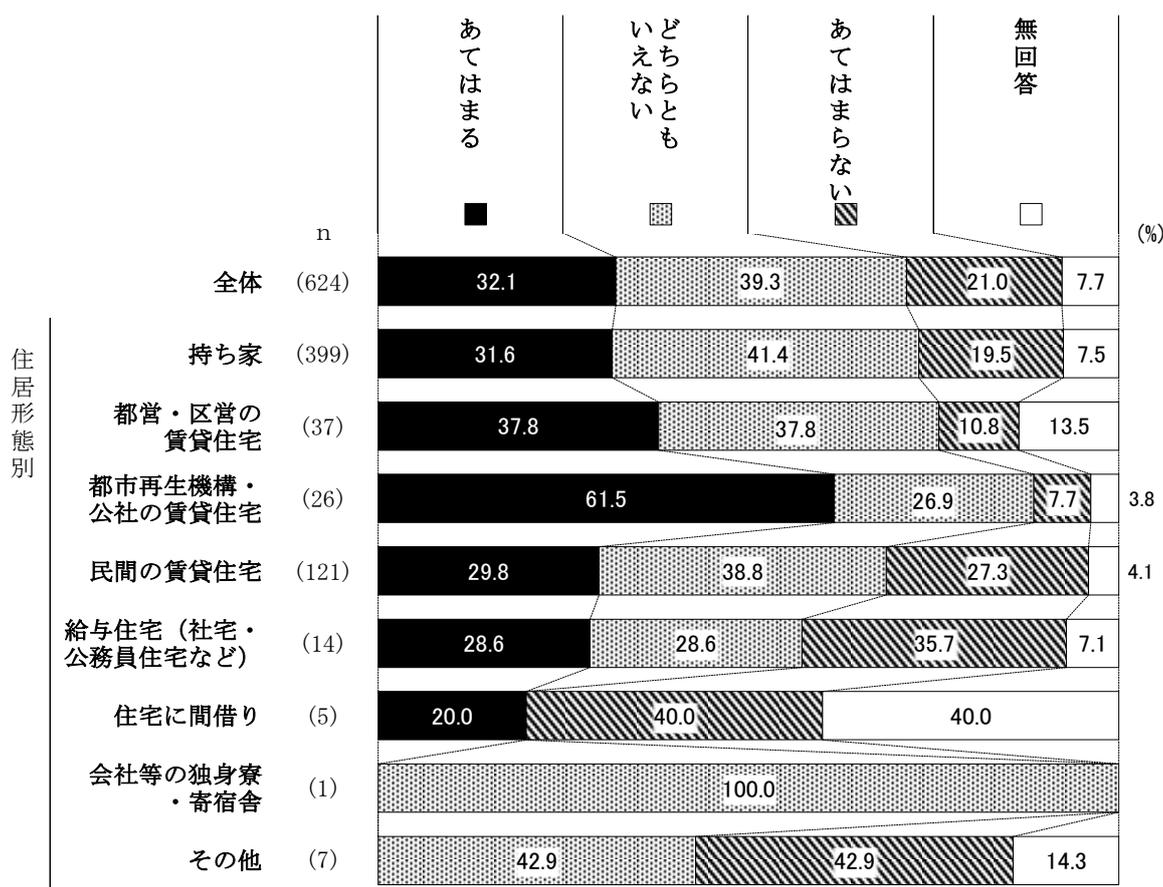
＜図表11-33＞ カ. 自宅が一番安全だと思う／居住地区別



【住居形態別】

住居形態別でみると、「あてはまる」は、“都営・区営の賃貸住宅”（37.8%）で4割弱と高くなっている。（図表11-34）

＜図表11-34＞ カ. 自宅が一番安全だと思う／住居形態別



※ “都市再生機構・公社の賃貸住宅”、“給与住宅（社宅・公務員住宅など）”、“住宅に間借り”、“会社等の独身寮・寄宿舎”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

12. 発達障害について

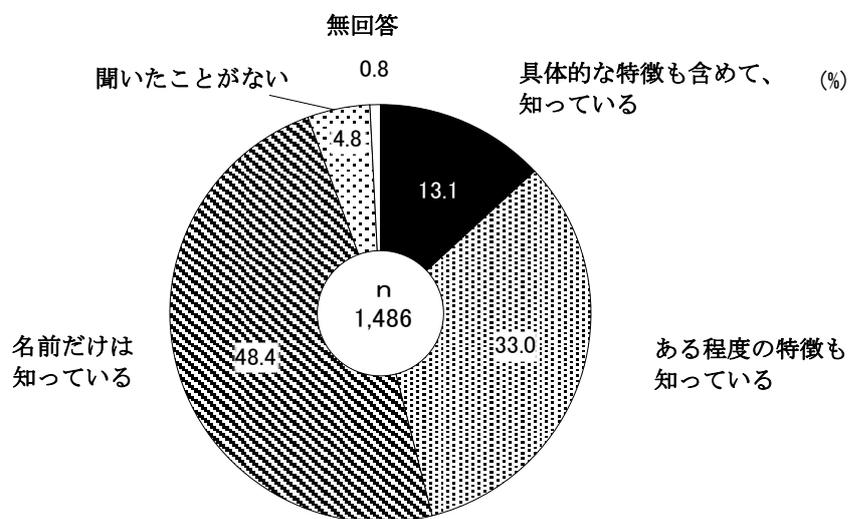
(1) 「発達障害」という言葉の認知度

◇「名前だけは知っている」が5割弱

江戸川区では、発達障害相談センターで専門の相談員が発達障害に関する相談に応じています。発達障害には、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などがあります。

問22 あなたは、「発達障害」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

<図表12-1> 「発達障害」という言葉の認知度



(注) <知っている (計)> = 「具体的な特徴も含めて知っている」 + 「ある程度の特徴も知っている」 + 「名前だけは知っている」・・・94.5%

「発達障害」という言葉を知っているか尋ねたところ、「名前だけは知っている」(48.4%)が5割弱と最も高くなっている。「ある程度の特徴も知っている」(33.0%)と「具体的な特徴も含めて、知っている」(13.1%)を合わせた<知っている (計)>(94.5%)となっている。一方、「聞いたことがない」(4.8%)は1割未満となっている。(図表12-1)

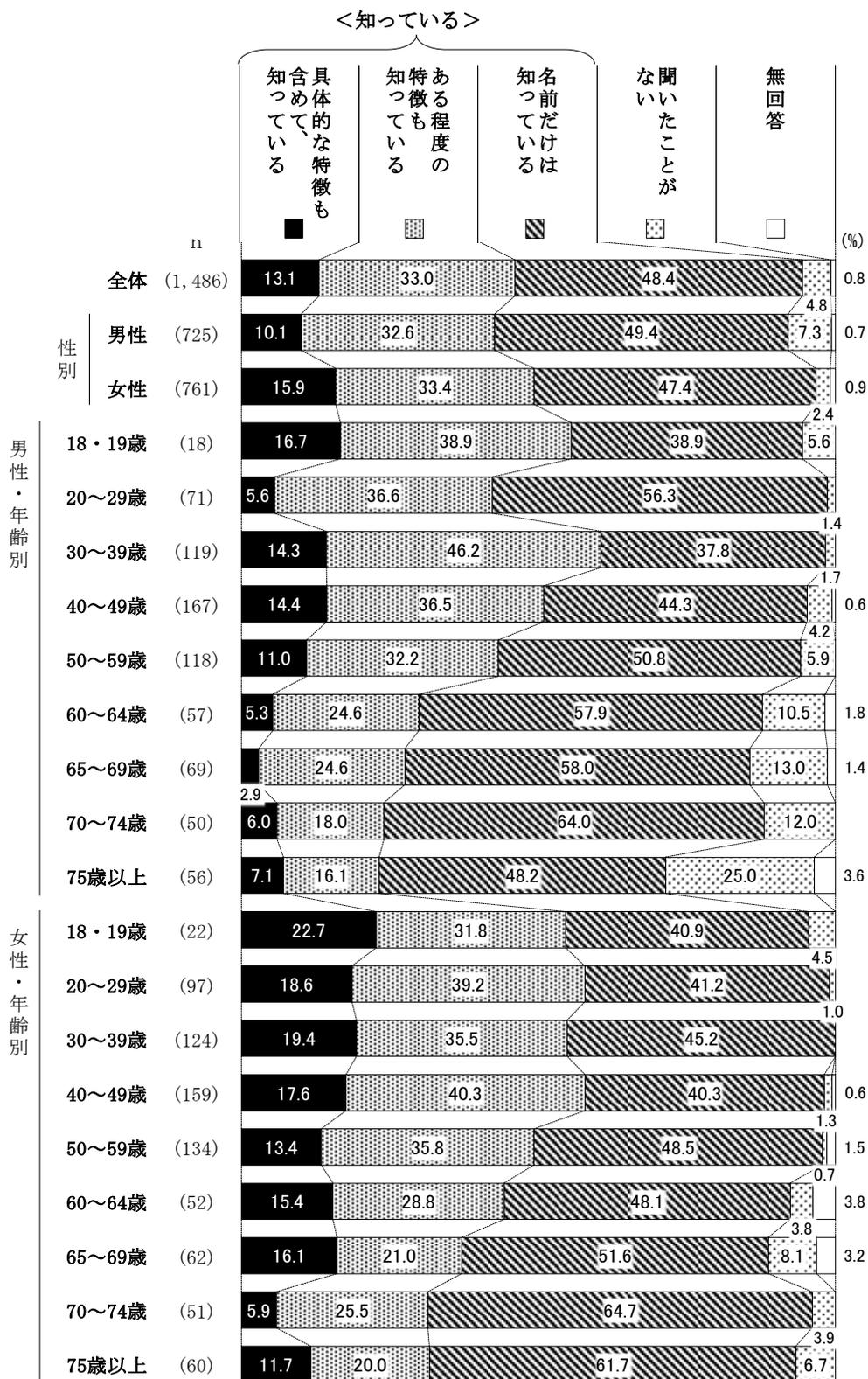
【性・年齢別】

性別では、＜知っている＞は女性（96.7%）が男性（92.1%）より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、＜知っている＞は女性30～39歳（100.%）で最も高くなっている。

（図表12-2）

＜図表12-2＞ 「発達障害」という言葉の認知度／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

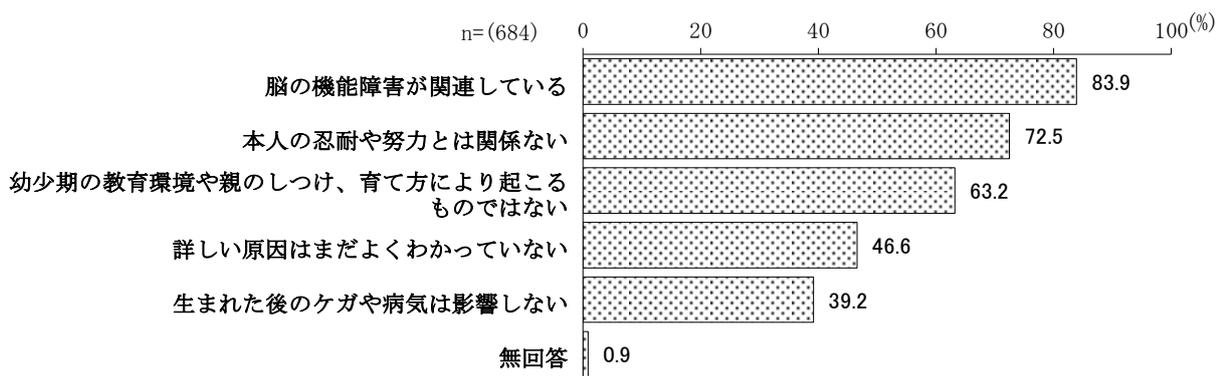
(1-1) 「発達障害」について知っていること

◇ 「脳の機能障害が関連している」が8割強

問22-1 <問22で「1 具体的な特徴も含めて、知っている」または「2 ある程度の特徴も知っている」とお答えの方に>

「発達障害」について知っていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表12-3> 「発達障害」について知っていること (複数回答)



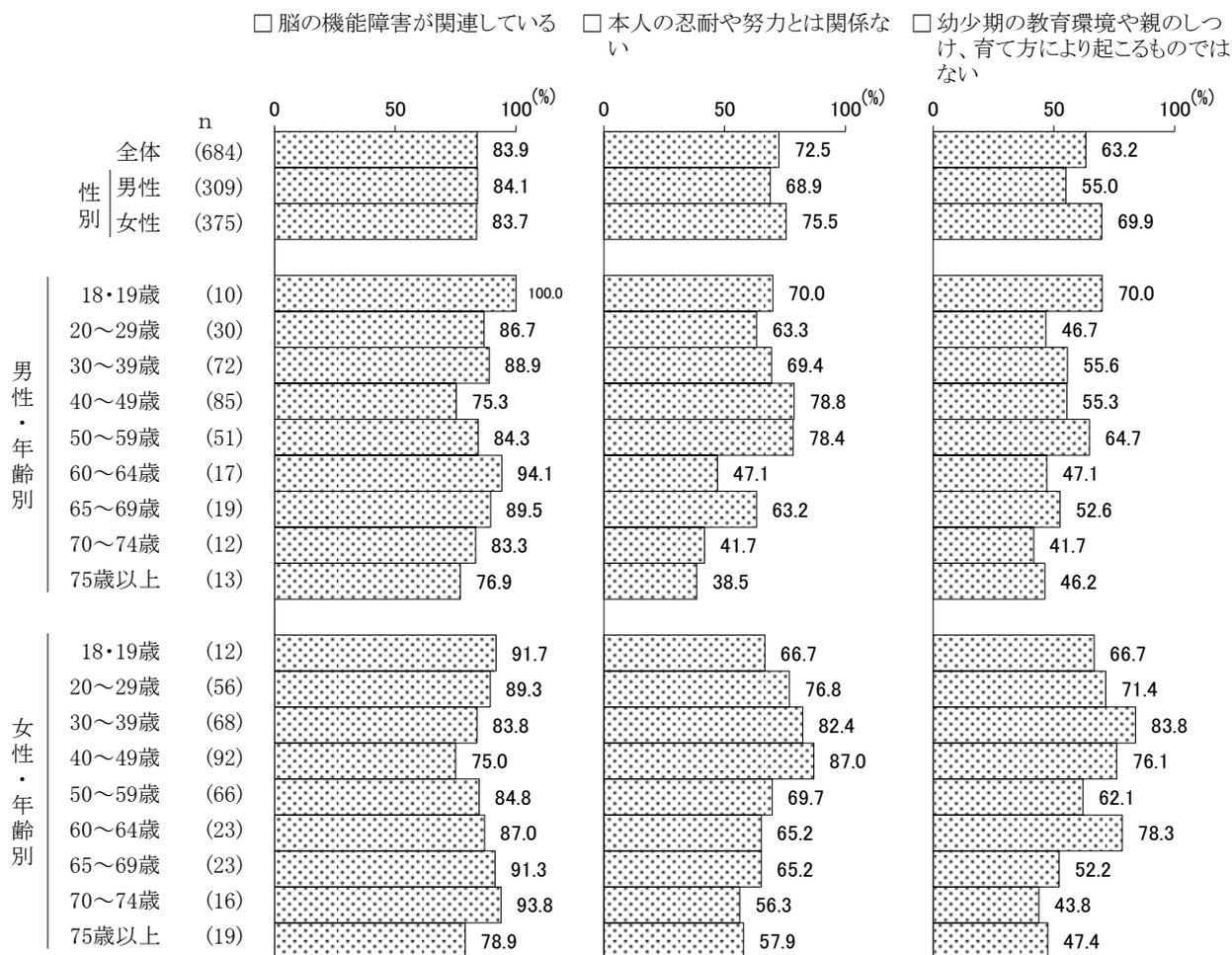
「具体的な特徴も含めて、知っている」または「ある程度の特徴も知っている」とお答えの方に「発達障害」について知っていることを尋ねたところ、「脳の機能障害が関連している」(83.9%)が8割強で最も高く、続いて「本人の忍耐や努力とは関係ない」(72.5%)、「幼少期の教育環境や親のしつけ、育て方により起こるものではない」(63.2%)などとなっている。(図表12-3)

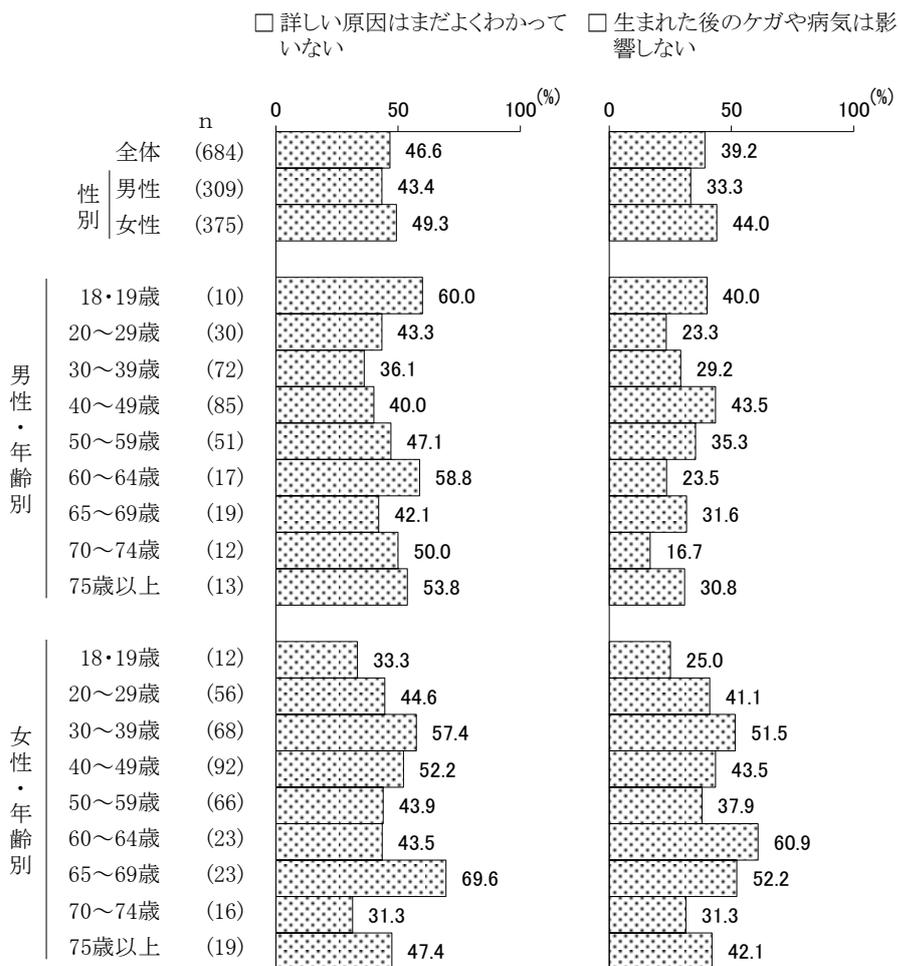
【性・年齢別】

性別では、「幼少期の教育環境や親のしつけ、育て方により起こるものではない」は女性（69.9%）が男性（55.0%）よりも14.9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「脳の機能障害が関連している」は女性20～29歳（89.3%）で約9割と最も高く、男女の40～49歳を除いた年齢で8割台と高くなっている。「本人の忍耐や努力とは関係ない」は女性40～49歳（87.0%）で9割弱と最も高くなっている。「幼少期の教育環境や親のしつけ、育て方により起こるものではない」は女性30～39歳（83.8%）で8割強と最も高くなっている。（図表12-4）

<図表12-4> 発達障害」について知っていること／性・年齢別





※男性及び女性の“18・19歳”、“60～69歳”、“70～74歳”、“75歳以上”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

13. 人権について

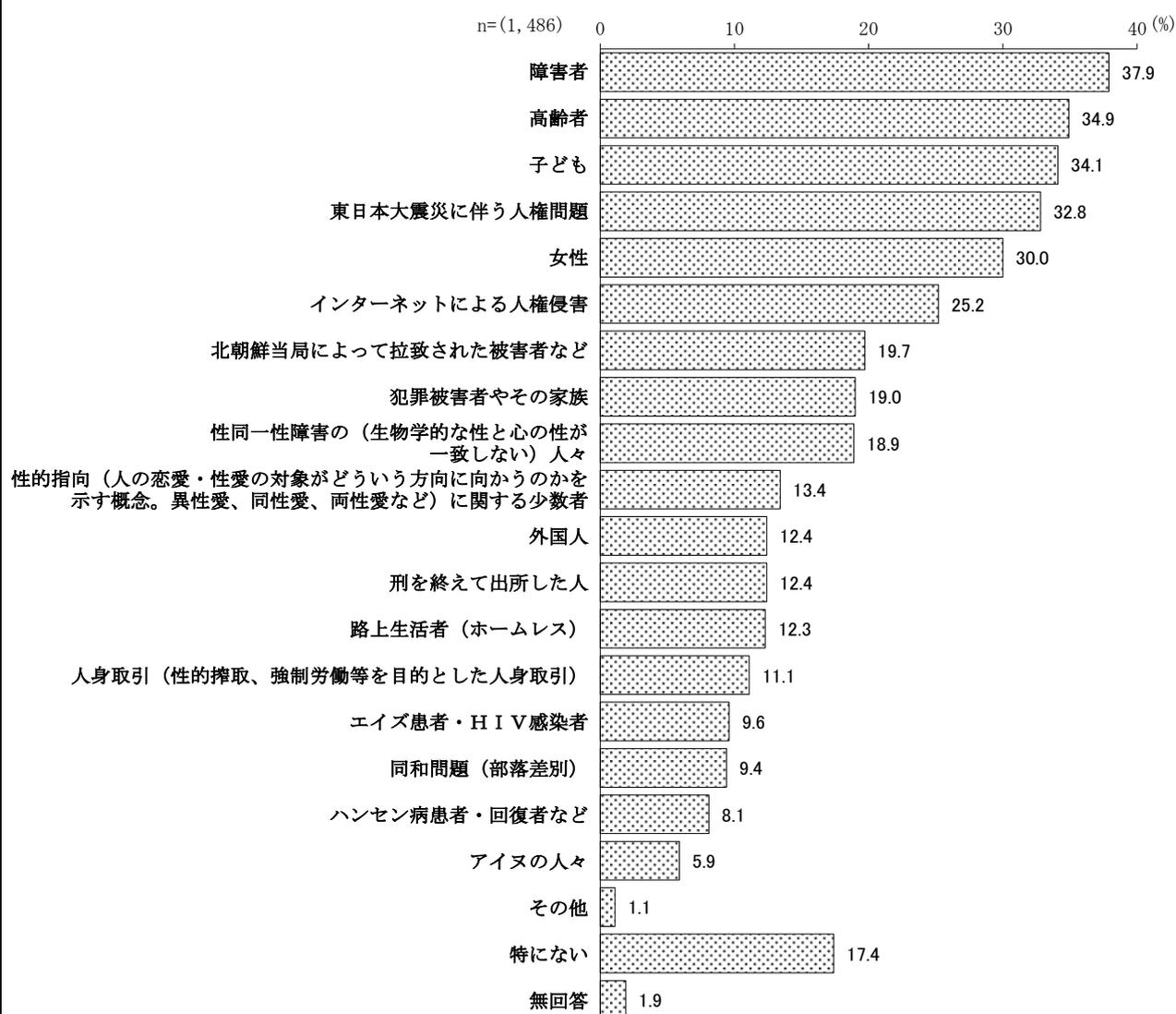
(1) 関心のある人権課題

◇「障害者」が4割弱

問23 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

<図表13-1> 関心のある人権課題 (複数回答)



日本における人権課題について関心のあるものを尋ねたところ、「障害者」(37.9%)が4割弱で最も高く、続いて「高齢者」(34.9%)、「子ども」(34.1%)、「東日本大震災に伴う人権問題」(32.8%)などとなっている。一方、「特にない」(17.4%)となっている。(図表13-1)

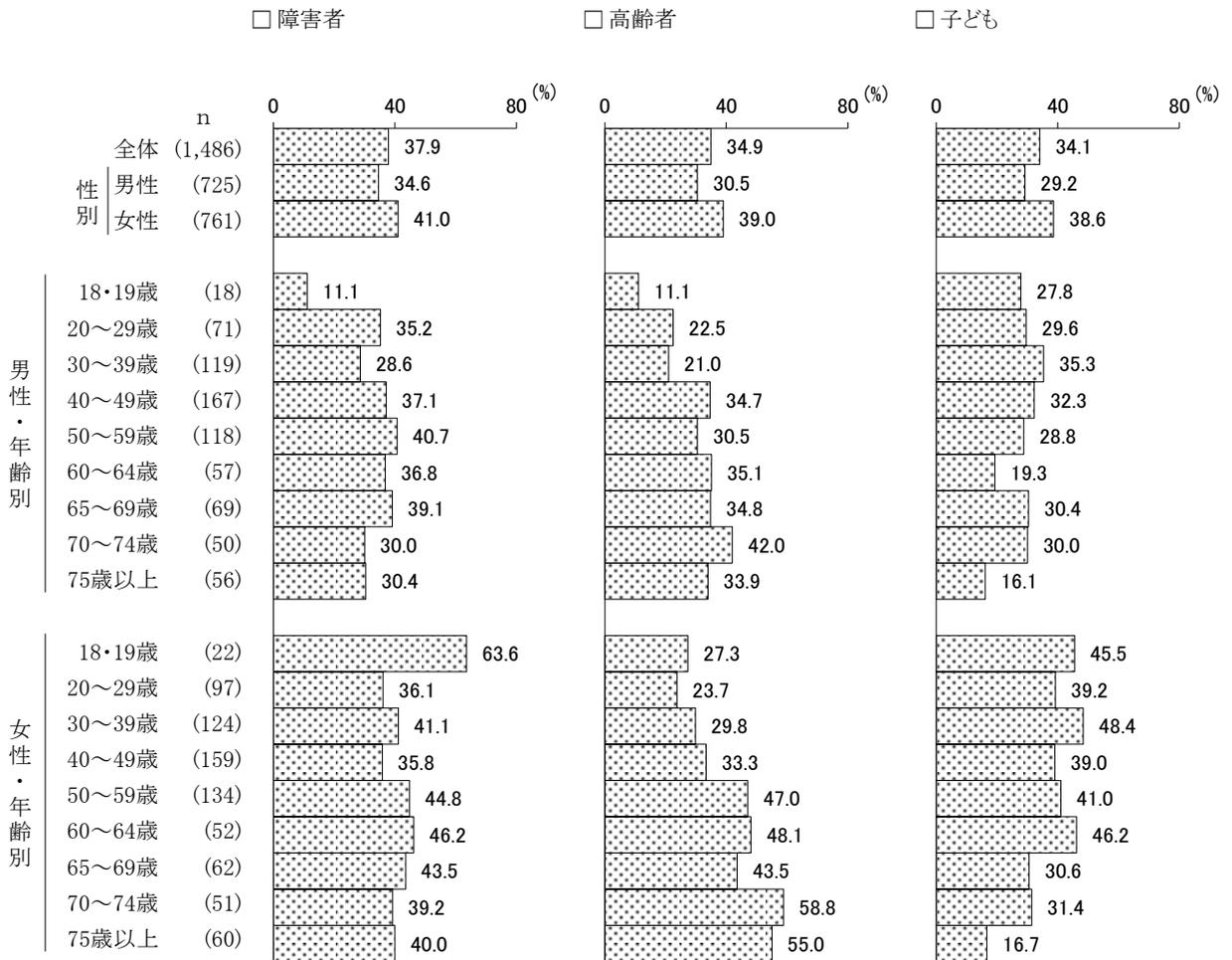
【性・年齢別】

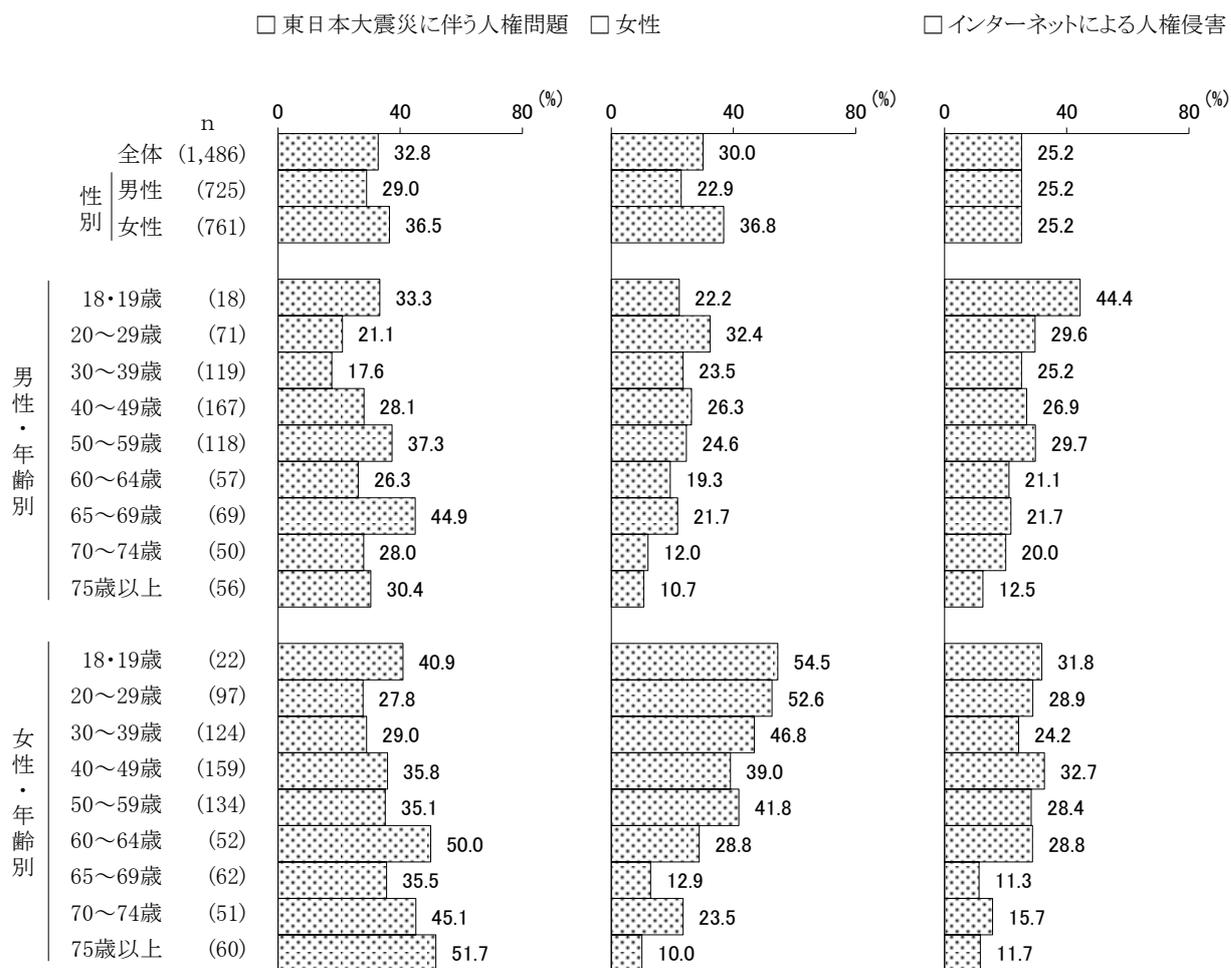
性別では、「女性」は女性（36.8%）が男性（22.9%）よりも13.9ポイント高く、「子ども」は女性（38.6%）が男性（29.2%）よりも9.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「障害者」は女性60～64歳（46.2%）で4割台半ばと高く、「高齢者」は女性70～74歳（58.8%）で6割弱と高く、「子ども」は女性30～39歳（48.4%）で5割弱と高くなっている。

（図表13-2）

<図表13-2> 関心のある人権課題／性・年齢別（上位6項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

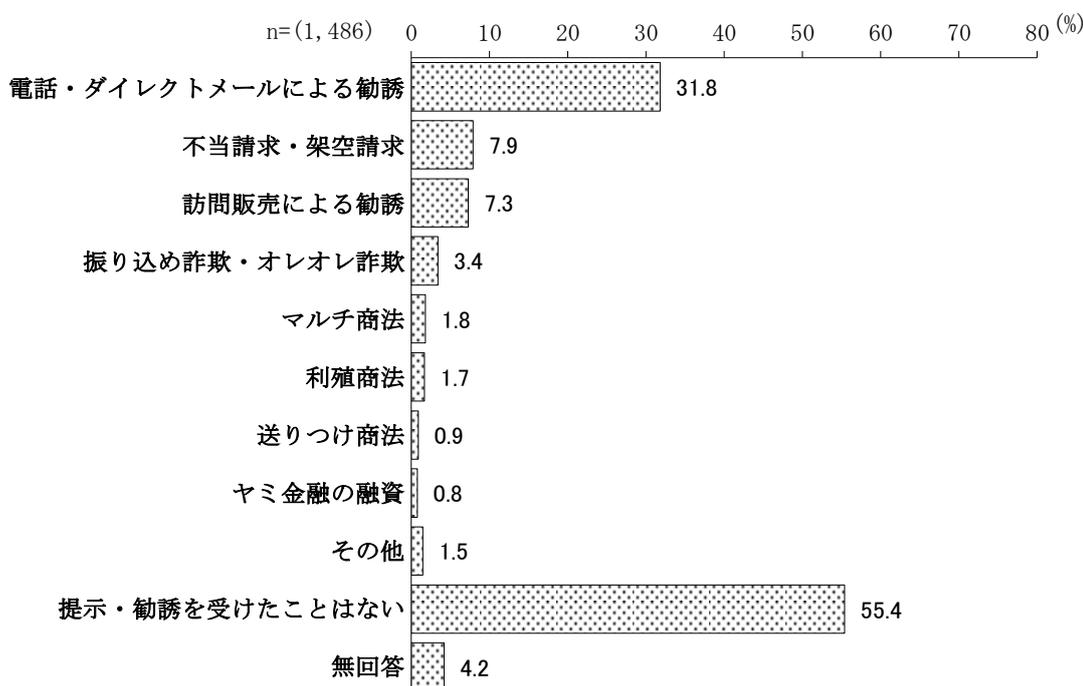
14. 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘

(1) 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験

◇「電話、ダイレクトメールによる勧誘」が3割強

問24 あなたは、この一年間に問題のある商法の提示や悪質業者から勧誘を受けた経験はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

<図表14-1> 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験（複数回答）



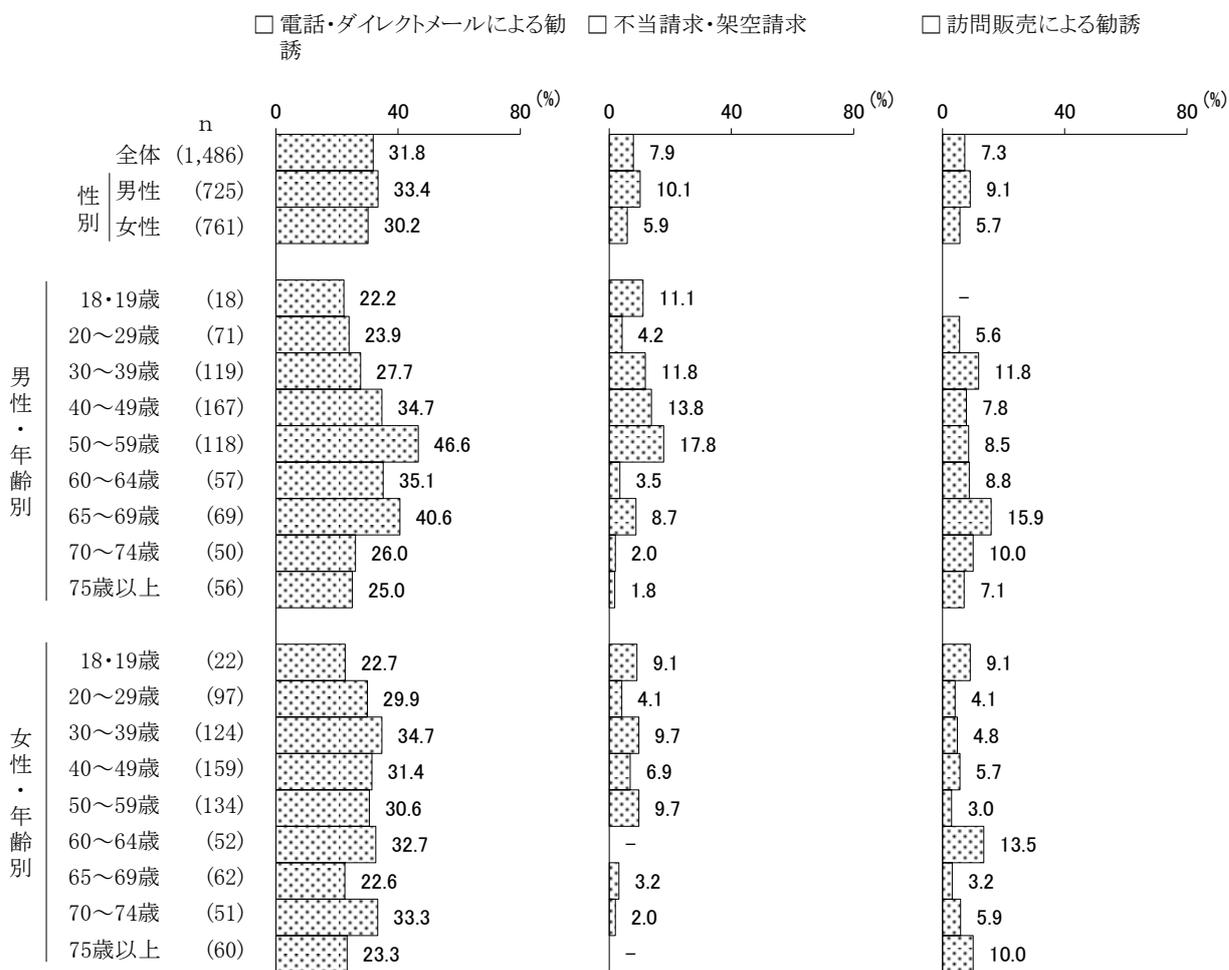
問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験について尋ねたところ、「電話・ダイレクトメールによる勧誘」(31.8%)が3割強と最も高くなっている。一方、「提示・勧誘を受けたことはない」(55.4%)は5割台半ばとなっている。(図表14-1)

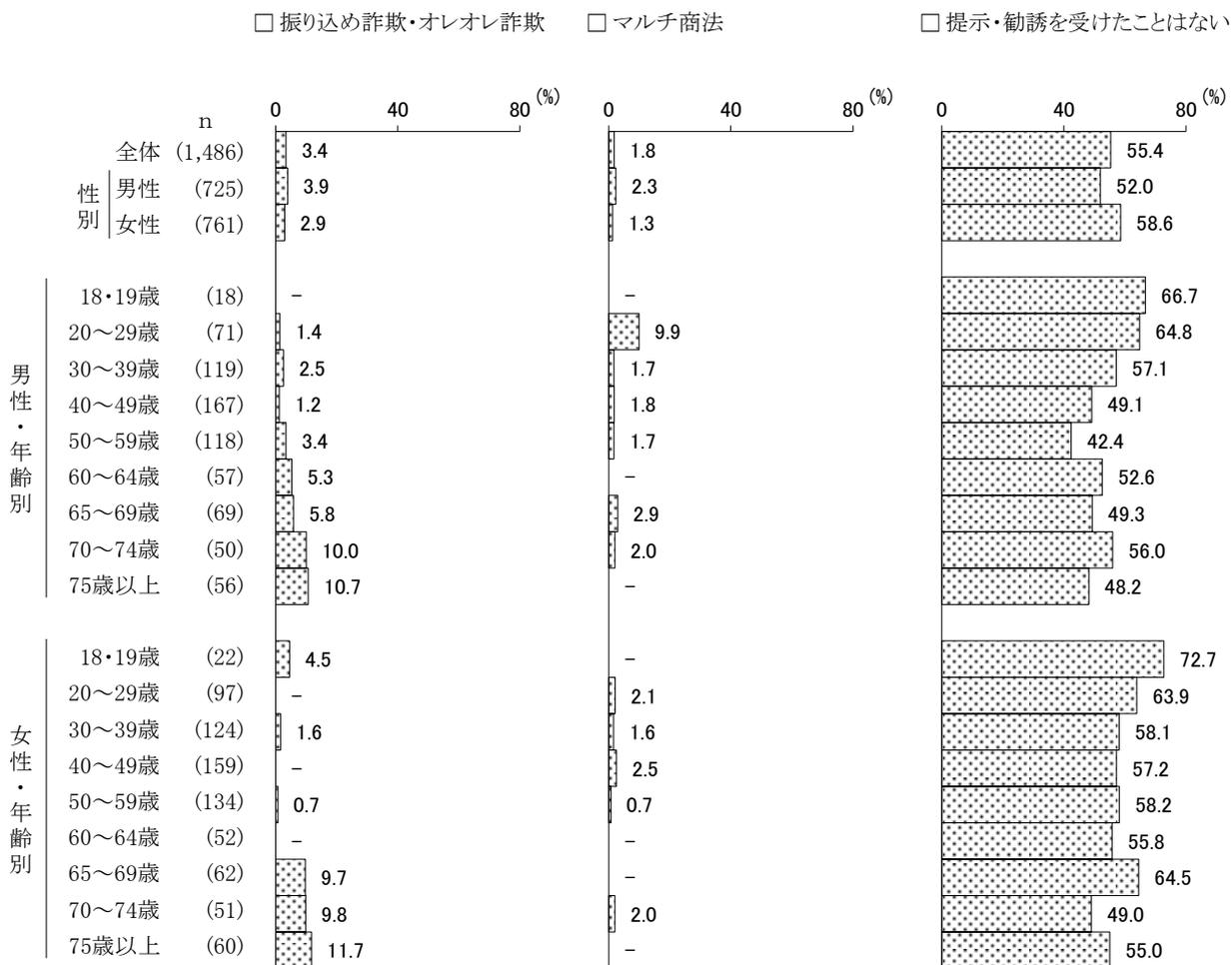
【性・年齢別】

性別では、「提示・勧誘を受けたことはない」は女性（58.6%）が男性（52.0%）よりも6.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「電話・ダイレクトメールによる勧誘」は男性50～59歳（46.6%）で4割台半ばと最も高くなっている。「提示・勧誘を受けたことはない」は、男性20～29歳（64.8%）と女性65～69歳（64.5%）で6割台半ばと高くなっている。（図表14-2）

<図表14-2> 問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘などの経験／性・年齢別（上位6項目）





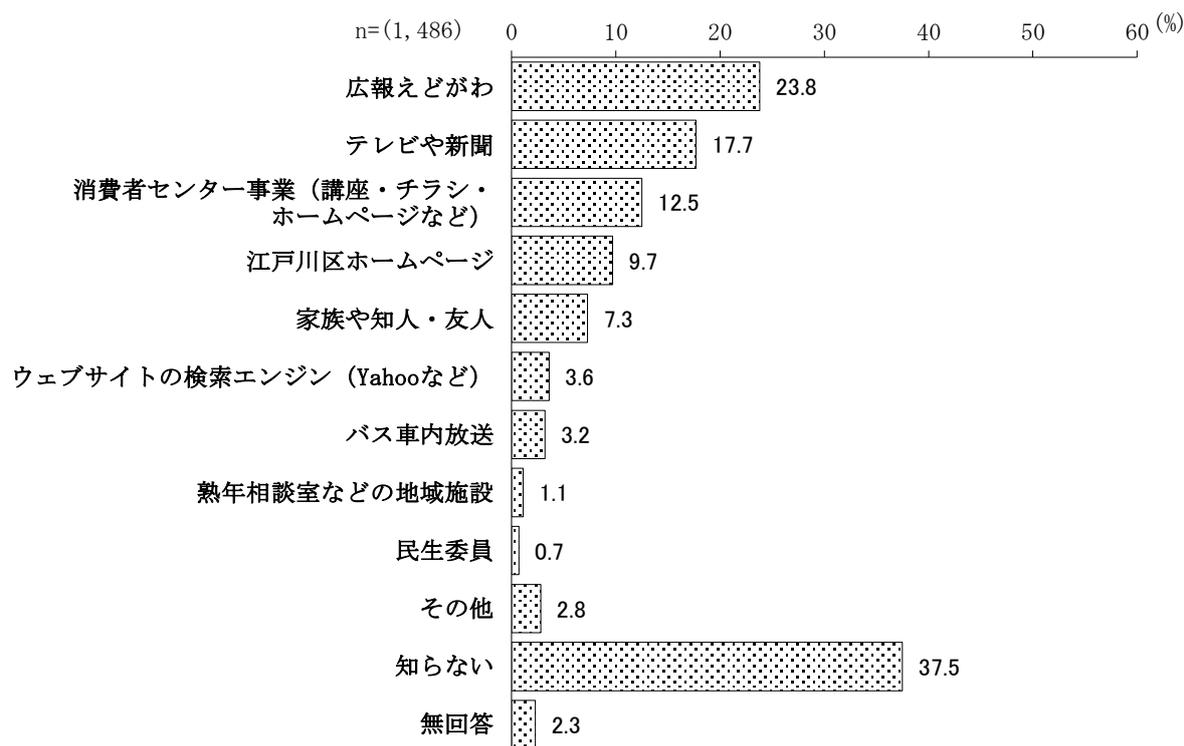
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) 江戸川区消費者センターを知ったきっかけ

◇ 「広報えどがわ」が2割強

問25 江戸川区消費者センターは区民の皆さんが安心して消費生活を送れるように相談や啓発を行っています。あなたが消費者センターを知ったきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

<図表14-3> 江戸川区消費者センターを知ったきっかけ (複数回答)



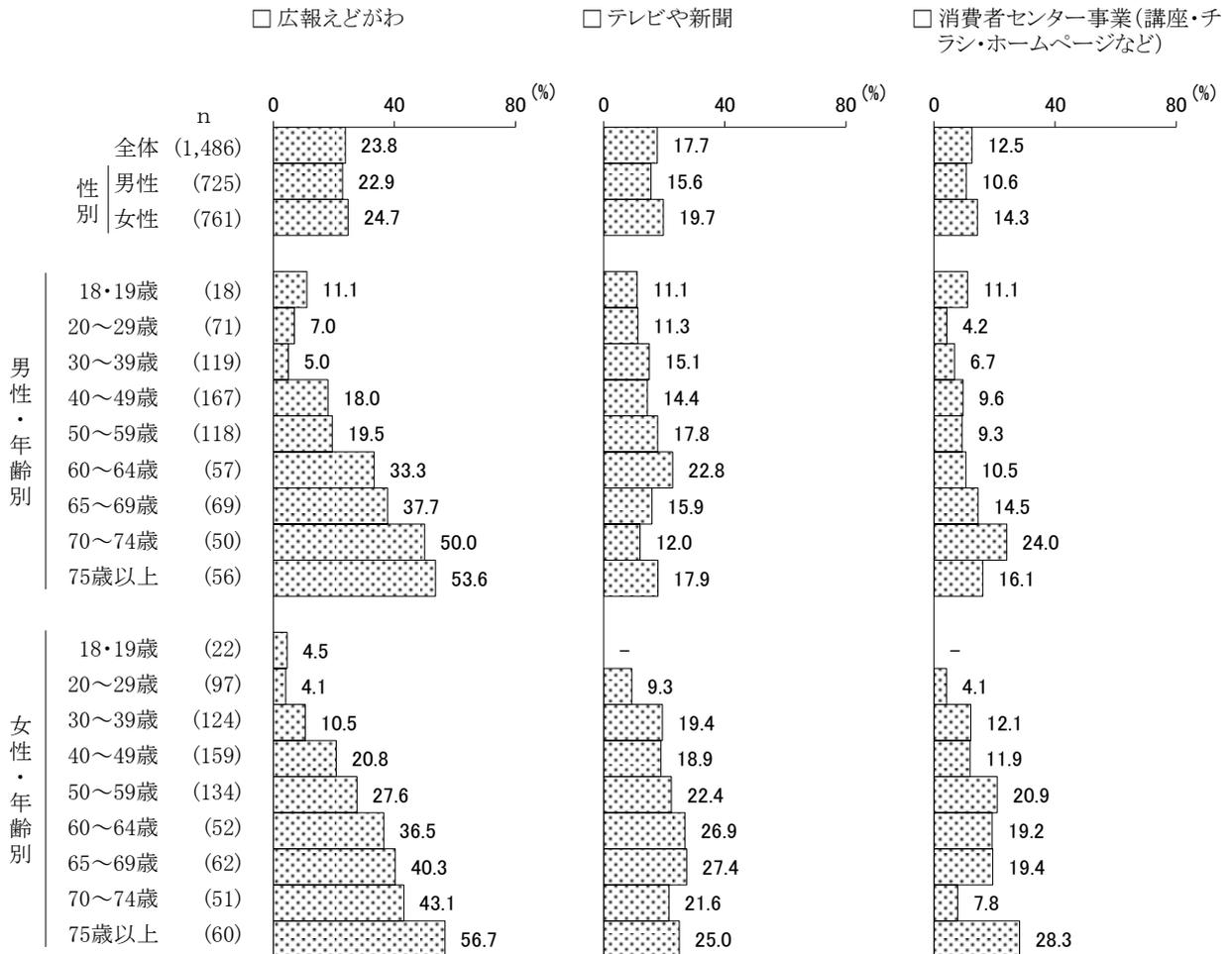
江戸川区消費者センターを知ったきっかけを尋ねたところ、「広報えどがわ」(23.8%)が2割強で最も高く、続いて「テレビや新聞」(17.7%)、「消費者センター事業(講座・チラシ・ホームページなど)」(12.5%)などとなっている。一方、「知らない」(37.5%)は4割弱となっている。(図表14-3)

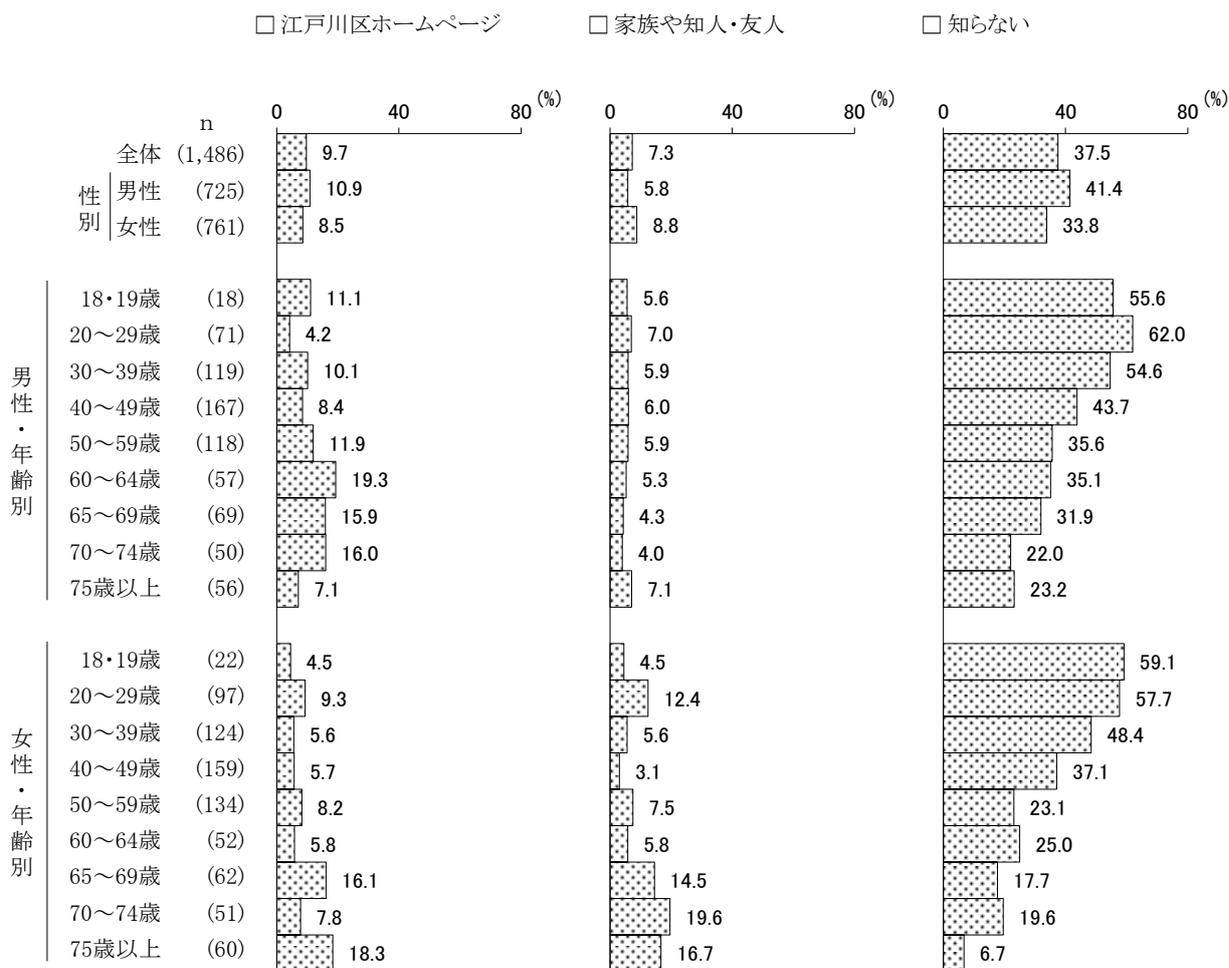
【性・年齢別】

性別では、上位3項目で女性が男性よりも高くなっている。一方、「知らない」は男性（41.4%）が女性（33.8%）より7.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「広報えどがわ」は男女とも年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にある。一方、「知らない」は年齢が低いほど割合が高くなる傾向にある。（図表14-4）

＜図表14-4＞ 江戸川区消費者センターを知ったきっかけ／性・年齢別（上位5項目＋「知らない」）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

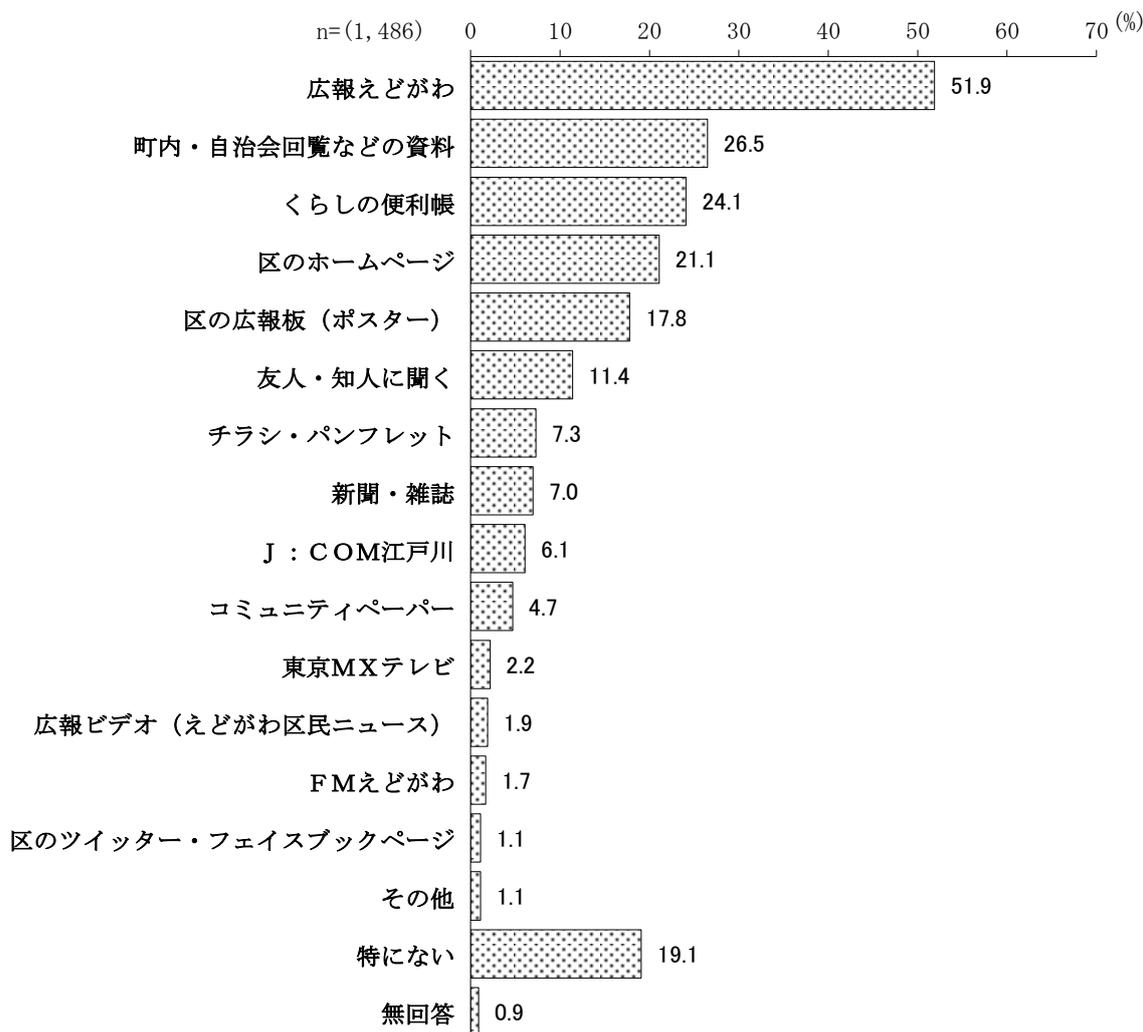
15. 広報と情報化について

(1) 区の情報の入手手段

◇「広報えどがわ」が5割強

問26 あなたは、現在、江戸川区からの情報をどのような手段（媒体）で入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

<図表15-1> 区の情報の入手手段（複数回答）



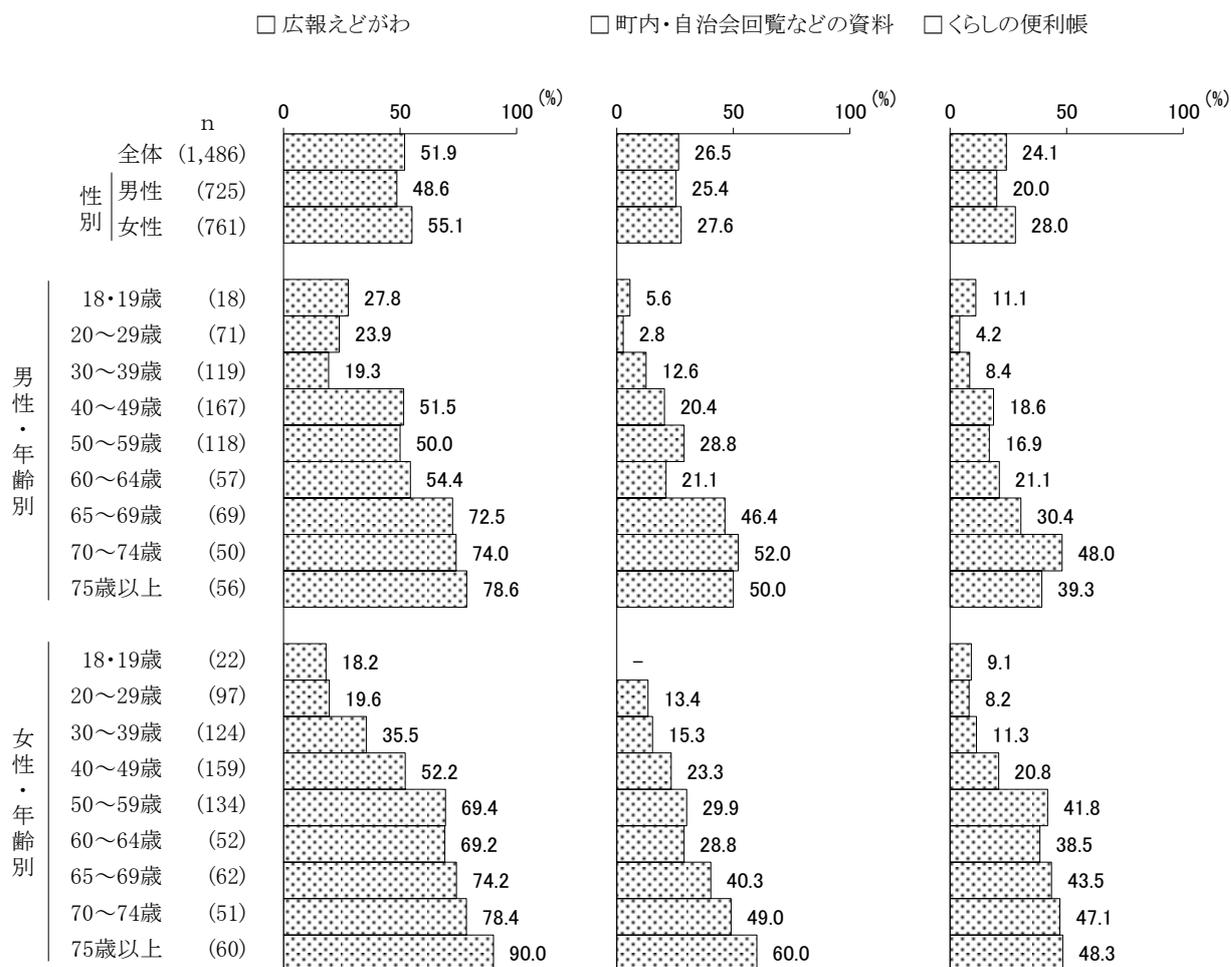
区の情報の入手手段を聞いたところ、「広報えどがわ」（51.9%）が5割強と最も高く、続いて「町内・自治会回覧などの資料」（26.5%）、「くらしの便利帳」（24.1%）などとなっている。（図表15-1）

【性・年齢別】

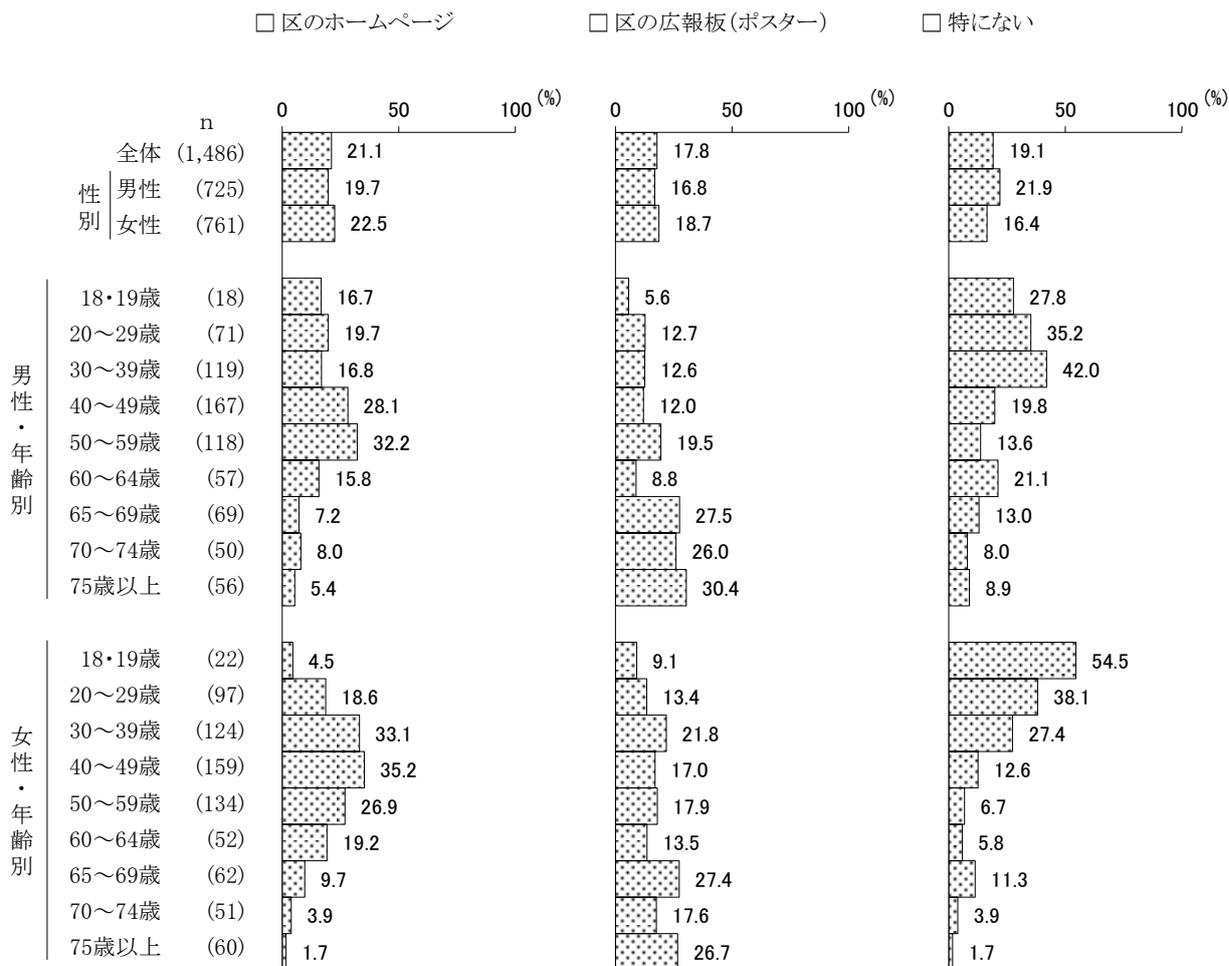
性別では、上位5項目はいずれも女性が男性よりも高く、特に「くらしの便利帳」は女性（28.0%）が男性（20.0%）より8.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「広報えどがわ」、「町内・自治会回覧などの資料」は男女ともに年齢が高いほど割合が高くなる傾向にある。（図表15-2）

＜図表15-2＞ 区の情報の入手手段／性・年齢別（上位5項目＋「特にない」）



Ⅲ 結果と分析 15. 広報と情報化について



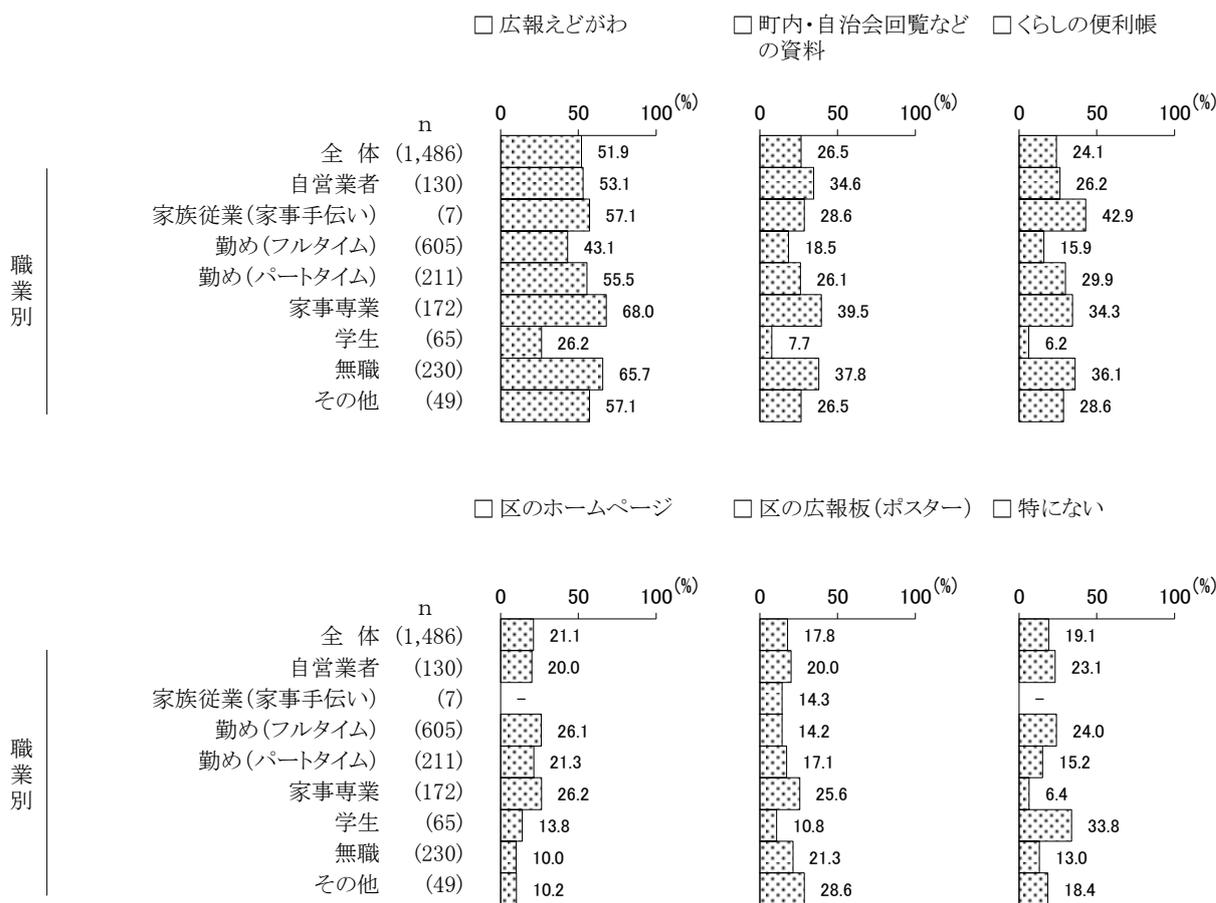
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「広報えどがわ」は“家事専業”（68.0%）で7割弱と最も高くなっている。

（図表15-3）

＜図表15-3＞ 区の情報の入手手段／職業別（上位5項目＋「特にない」）



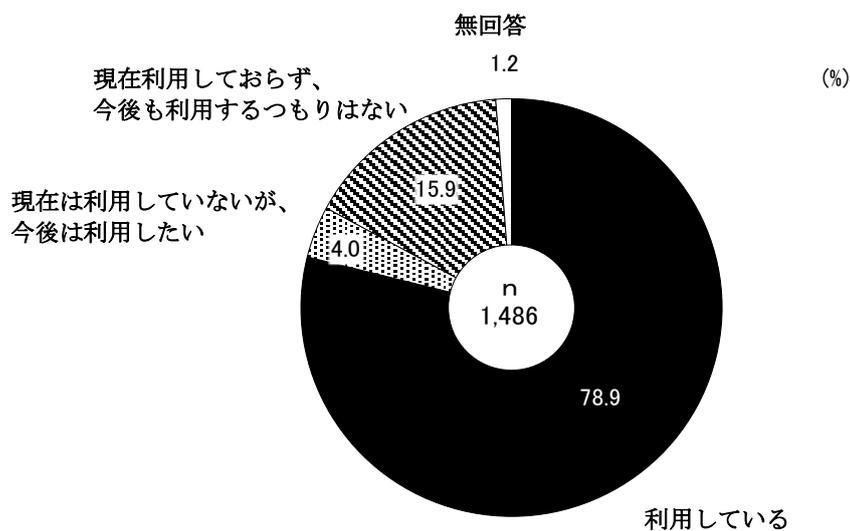
※ “家族従業（家事手伝い）” については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

(2) インターネットの利用状況

◇「利用している」が8割弱

問27 あなたは現在、ご自宅でインターネット（携帯電話・スマートフォン・PHSによるEメールを含む）を利用していますか。（○は1つだけ）

<図表15-4> インターネットの利用状況

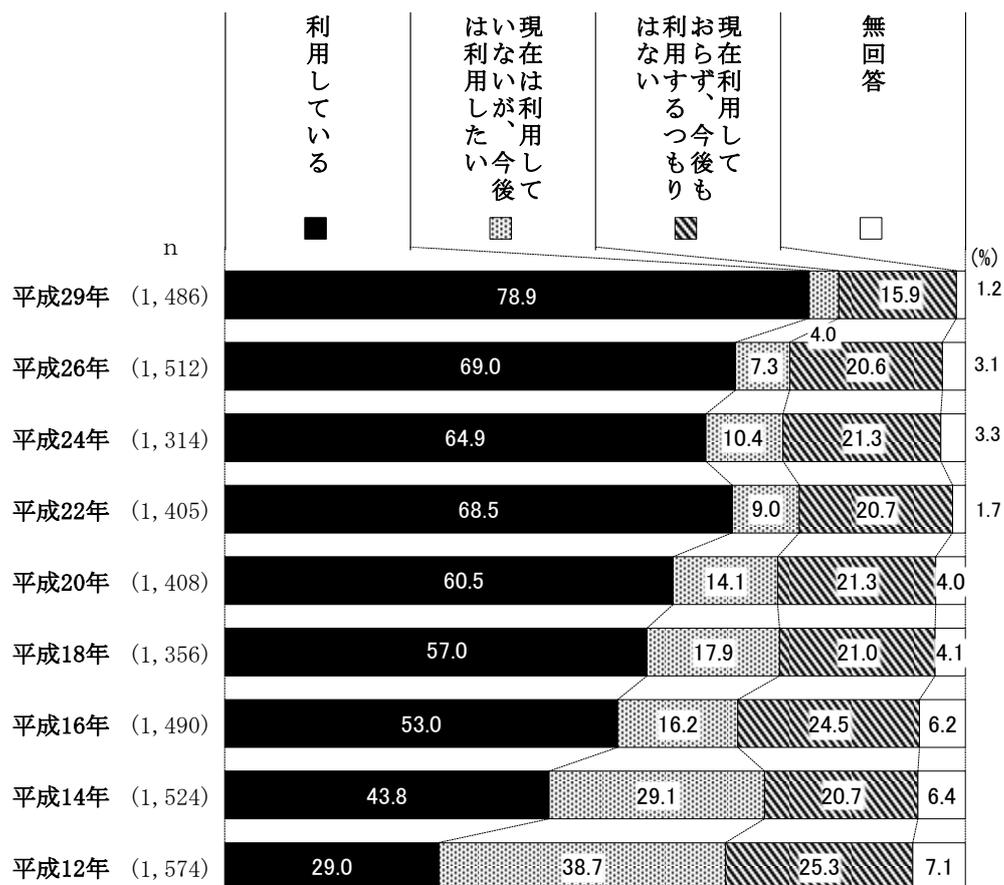


インターネットの利用状況は、「利用している」(78.9%)が8割弱を占め、「現在は利用していないが、今後は利用したい」(4.0%)となっている。一方、「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」(15.9%)は1割台半ばとなっている。(図表15-4)

【時系列比較】

平成22年からの調査結果を時系列で見ると、「利用している」は平成24年（64.9%）で一度落ち込んでいるが、以降増加に転じ、平成26年（69.0%）に4.1ポイント増加し、今回調査（78.9%）では9.9ポイント増加している。（図表15-5）

＜図表15-5＞ インターネットの利用状況／時系列比較



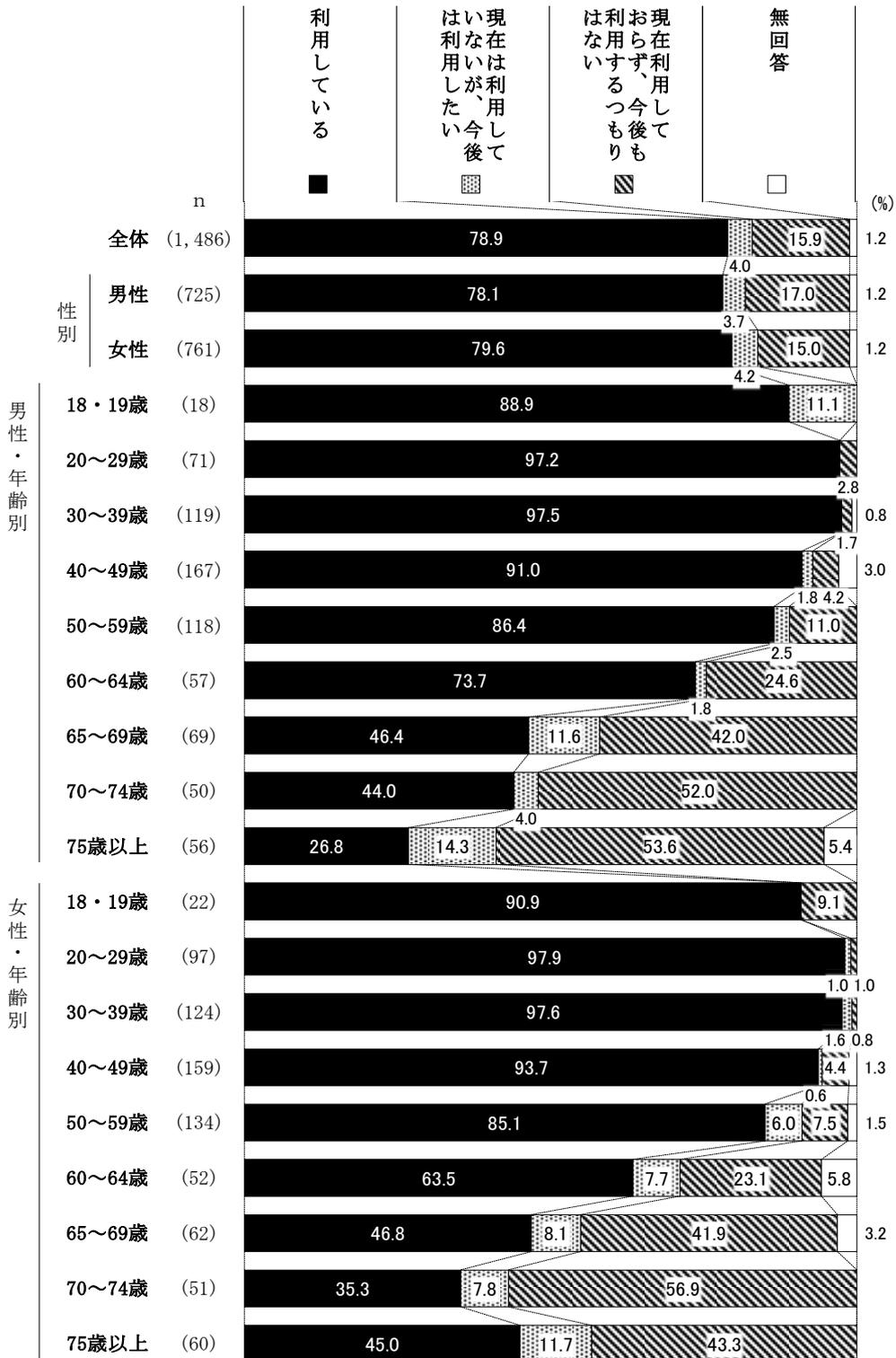
【性・年齢別】

性別では、「利用している」は男女間で大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、「利用している」は男女ともに年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられる。

(図表15-6)

＜図表15-6＞ インターネットの利用状況／性・年齢別



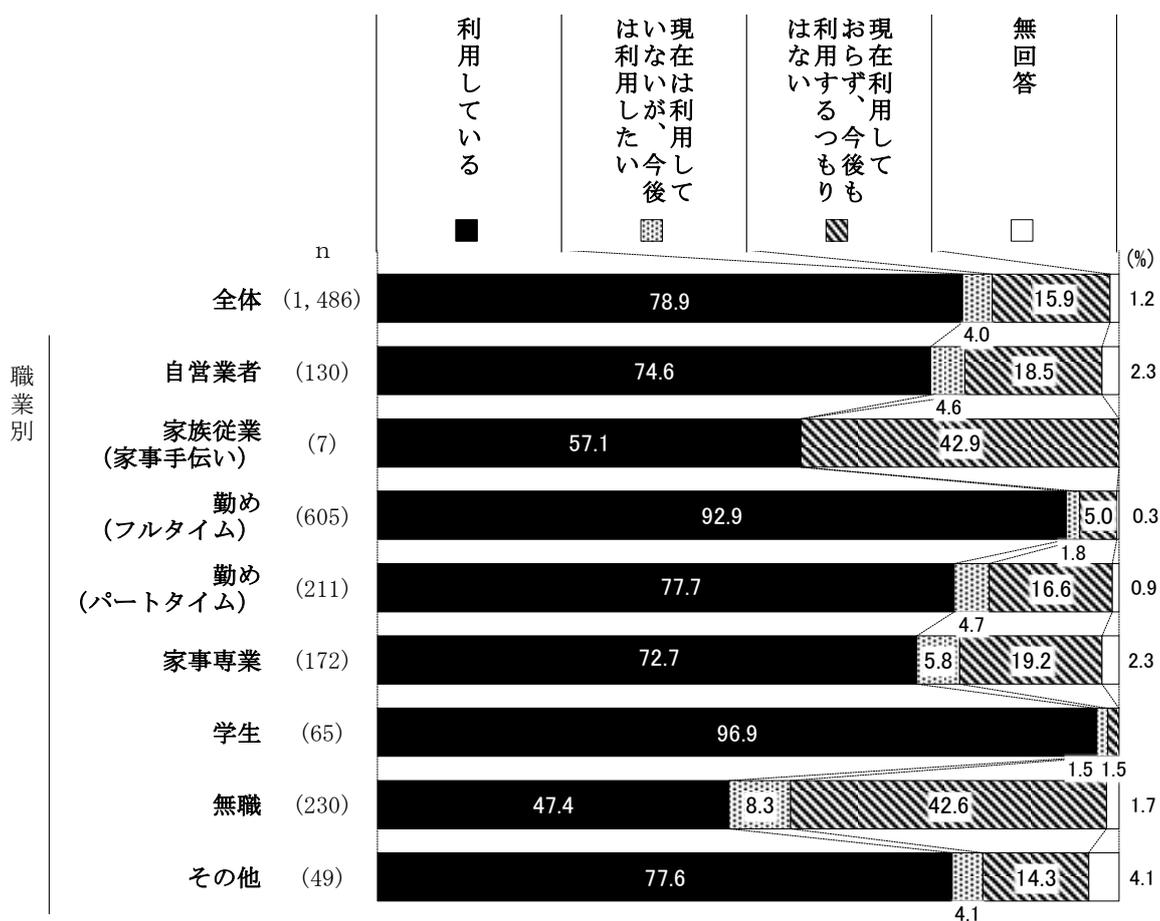
※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

【職業別】

職業別でみると、「利用している」は“学生”（96.9%）で9割強と高くなっている。一方、「現在利用しておらず、今後利用するつもりはない」は“無職”（42.6%）で4割強と高くなっている。

（図表15-7）

＜図表15-7＞ インターネットの利用状況／職業別



※“家族従業（家事手伝い）”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

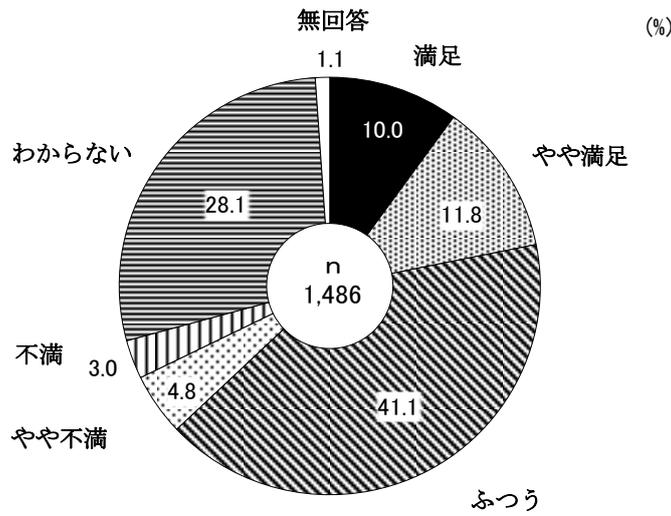
16. 江戸川区職員の接遇について

(1) 江戸川区職員の接遇に対する満足度

◇ <満足(計)>は2割を超える

問28 江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

<図表16-1> 江戸川区職員の接遇に対する満足度



(注) <満足(計)> = 「満足」 + 「やや満足」・・・21.8%

<不満(計)> = 「不満」 + 「やや不満」・・・7.8%

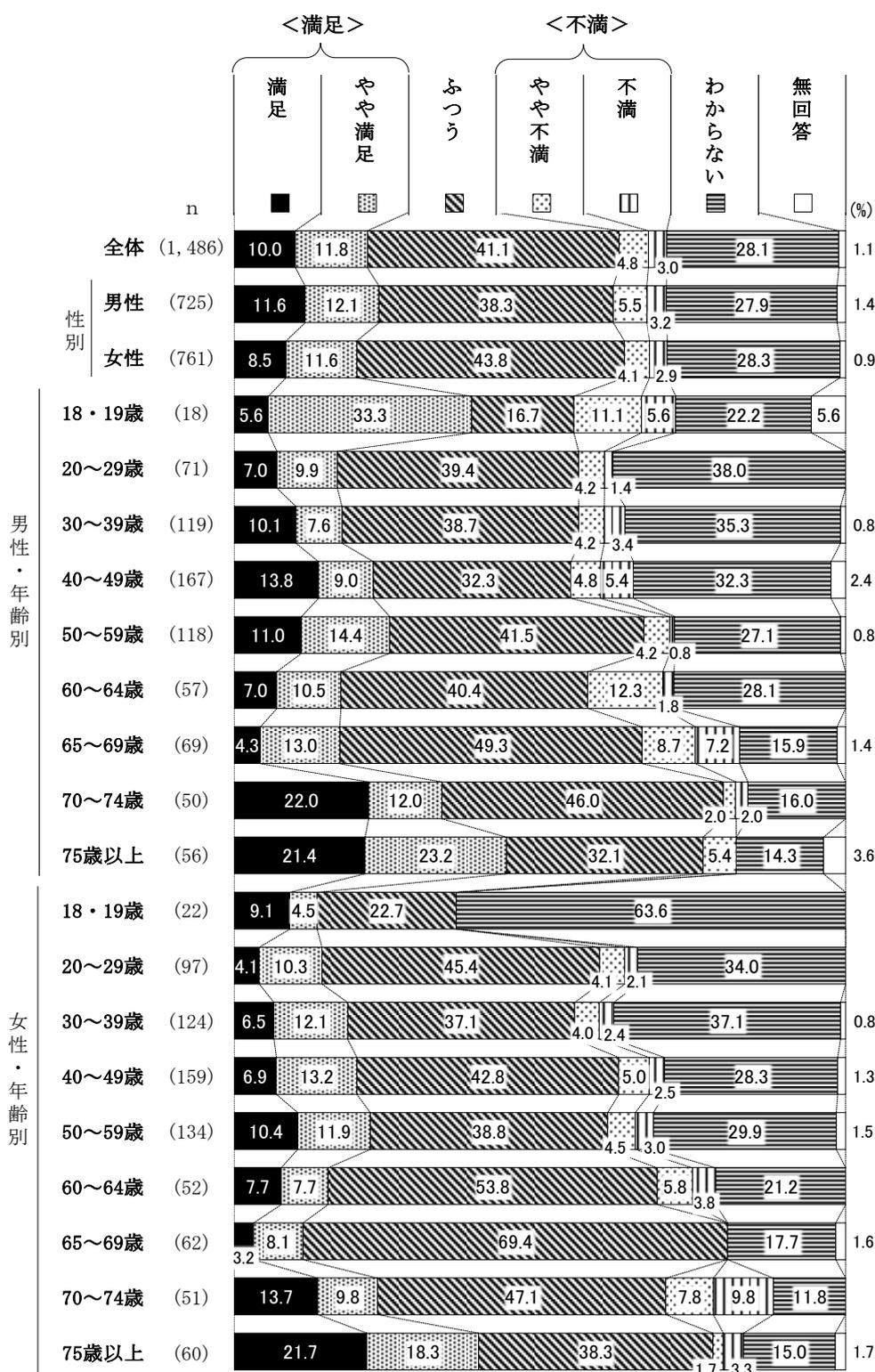
江戸川区職員の接遇に対する満足度は、「満足」(10.0%)と「やや満足」(11.8%)を合わせた<満足(計)>(21.8%)は2割強となっている。一方、「不満」(3.0%)と「やや不満」(4.8%)を合わせた<不満(計)>(7.8%)は1割未満となっている。(図表16-1)

【性・年齢別】

性別では、<満足(計)>は男性(23.7%)が女性(20.1%)より3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、<満足(計)>は男性75歳以上(44.6%)と女性75歳以上(40.0%)で4割台と高く、女性65～69歳(11.3%)で1割強と低くなっている。(図表16-2)

<図表16-2> 江戸川区職員の接遇に対する満足度／性・年齢別



※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

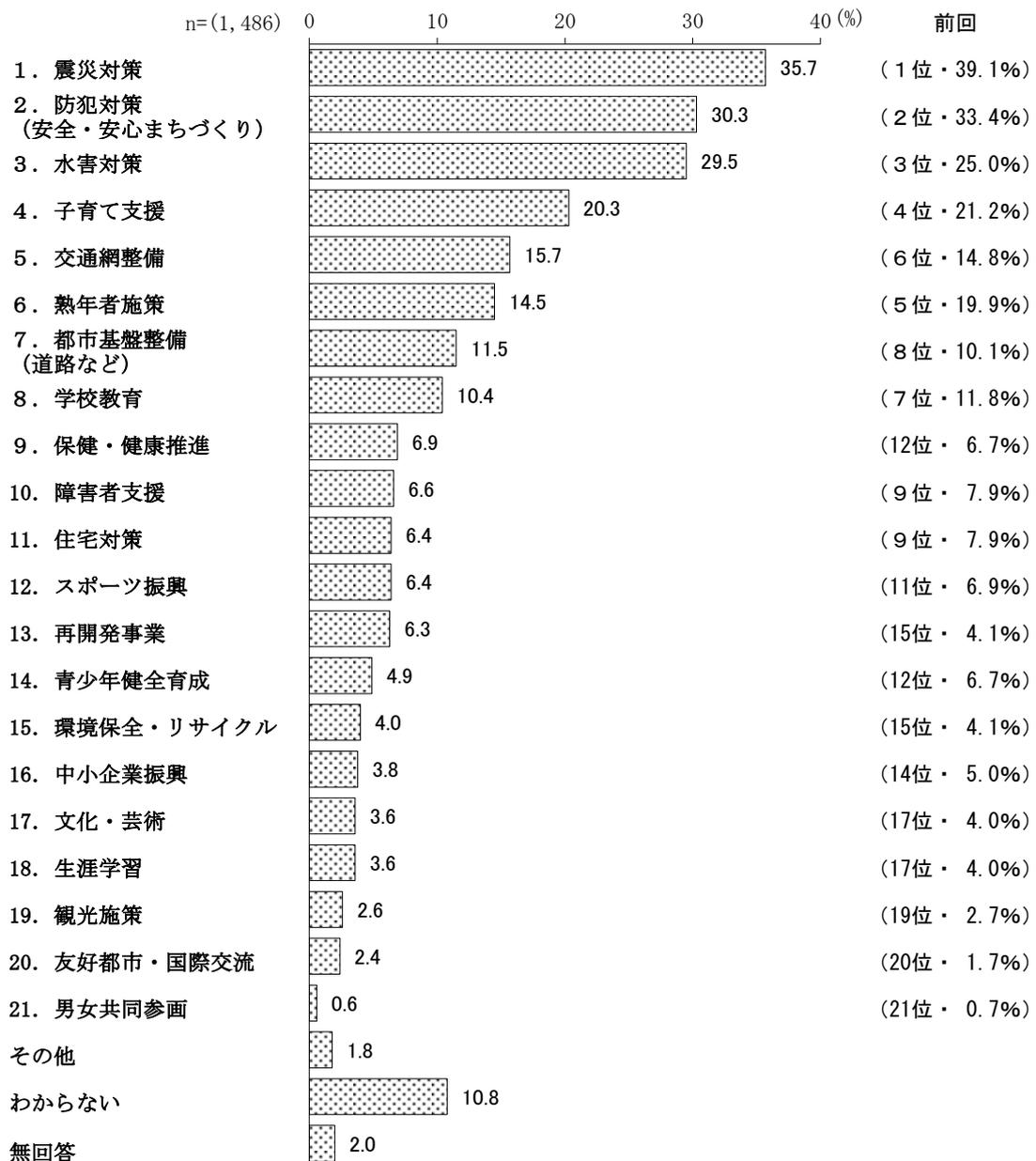
17. 区政への要望について

(1) 今後推進してほしい施策

◇「震災対策」が3割台半ば

問29 江戸川区は、今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。(○は3つまで)

<図表17-1> 今後推進してほしい施策（複数回答）

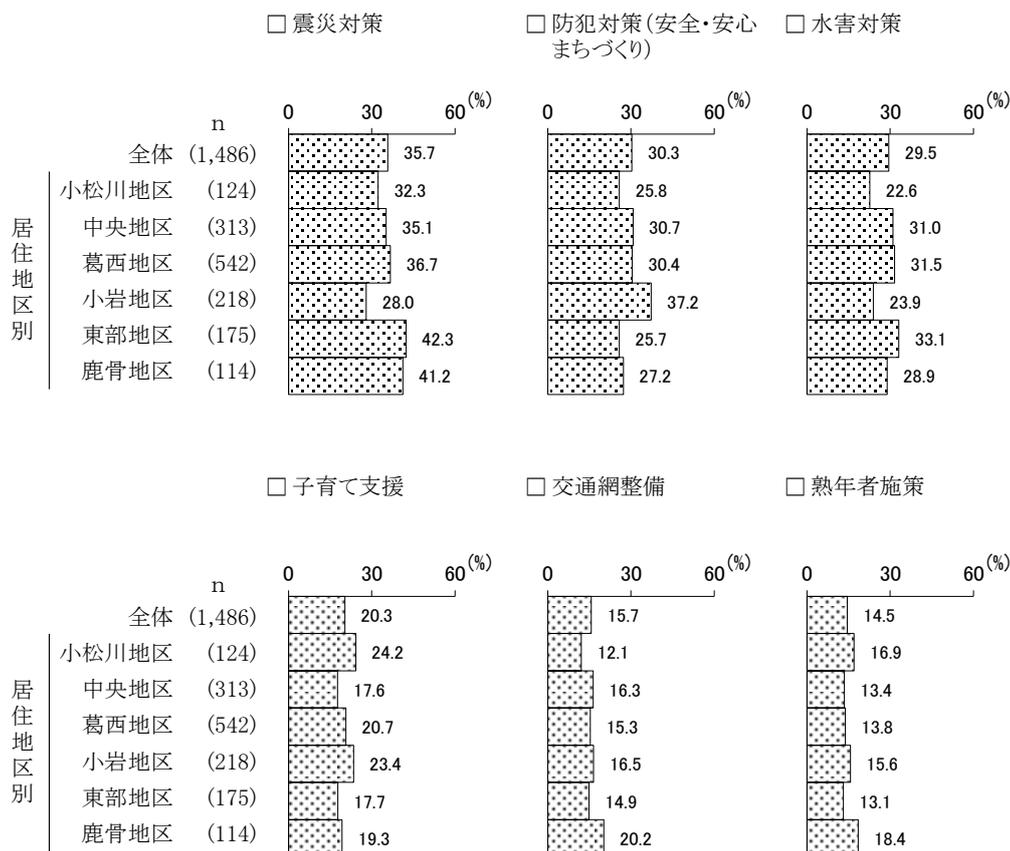


今後推進してほしい施策については、「震災対策」(35.7%)が3割台半ばで最も高く、続いて「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(30.3%)、「水害対策」(29.5%)、「子育て支援」(20.3%)、「交通網整備」(15.7%)などとなっている。(図表17-1)

【居住地区別】

居住地区別で見ると、「震災対策」は“東部地区”（42.3%）、「鹿骨地区”（41.2%）で4割台と高くなっている。また、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」は“小岩地区”（37.2%）で、「水害対策」は“東部地区”（33.1%）で高くなっている。（図表17-2）

＜図表17-2＞ 今後推進してほしい施策／居住地区別（上位6項目）

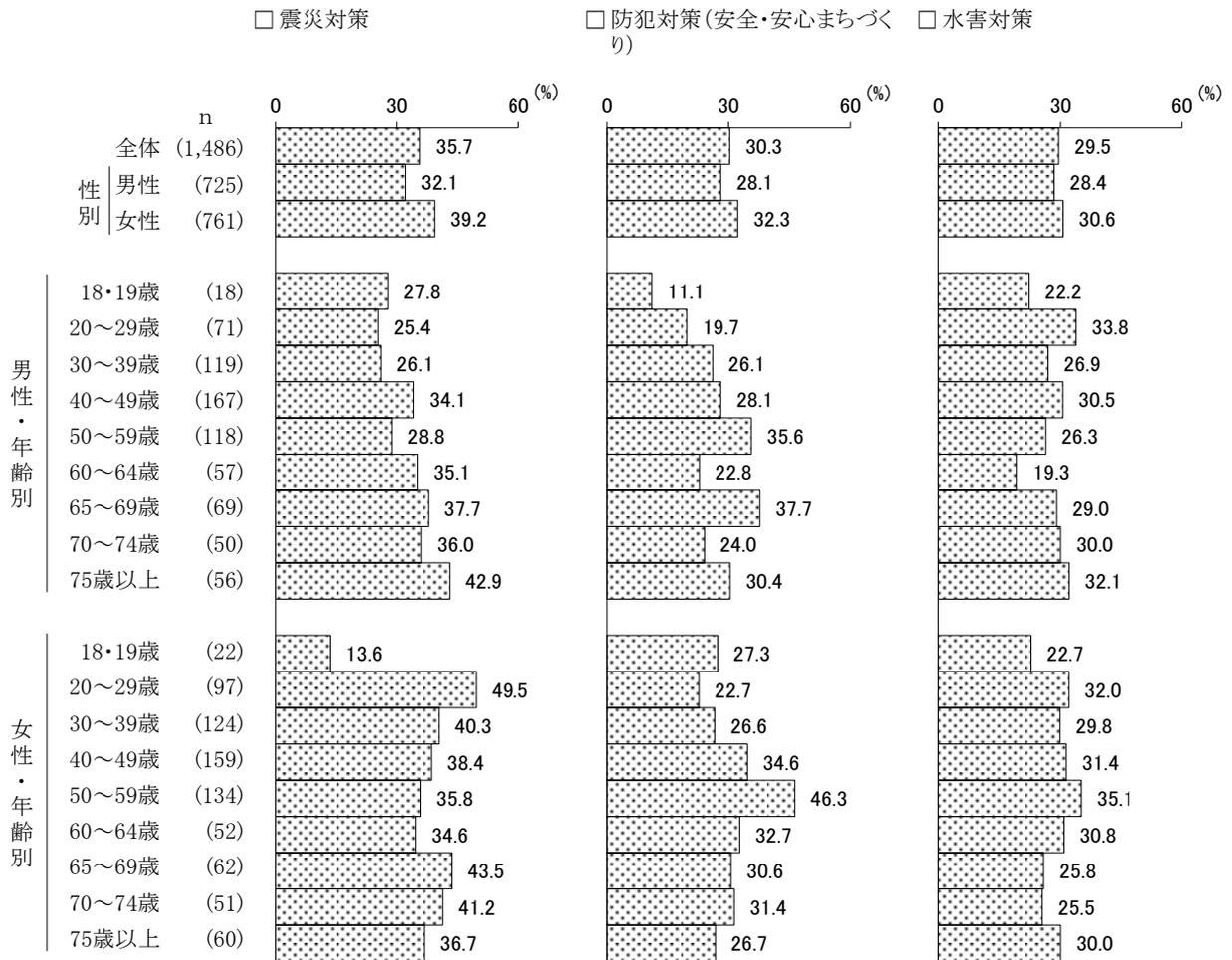


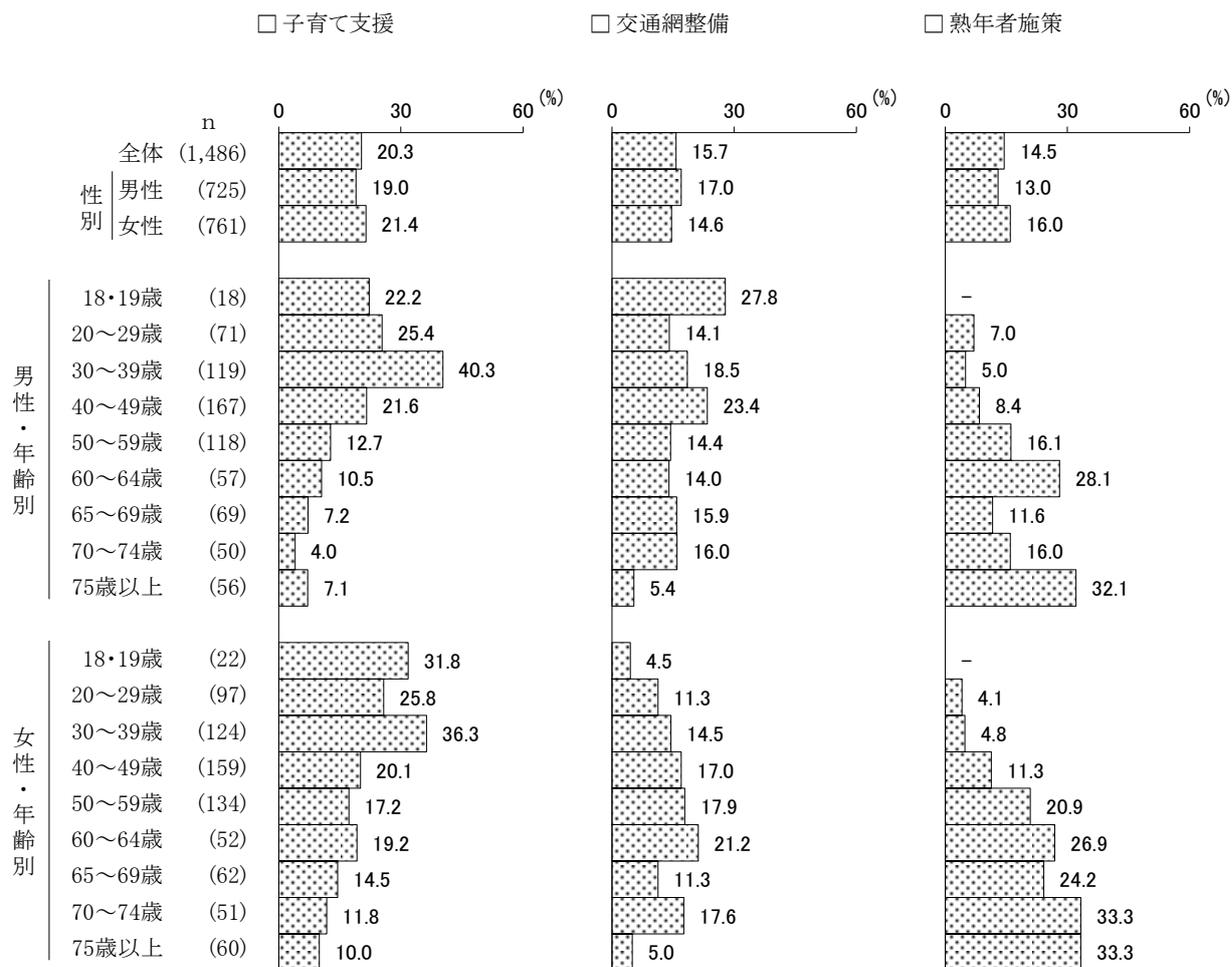
【性・年齢別】

性別では、「震災対策」は女性（39.2%）が男性（32.1%）より7.1ポイント高くなっている

性・年齢別でみると、「震災対策」は女性20～29歳（49.5%）で約5割と高く、「防犯対策（安全・安心まちづくり）」は女性50～59歳（46.3%）で4割台半ばと最も高く、「子育て支援」は男女とも30歳代で、「熟年者施策」は男性75歳以上、女性の70歳以上でそれぞれ最も高くなっている。（図表17-3）

<図表17-3> 今後推進してほしい施策／性・年齢別（上位6項目）





※男性及び女性の“18・19歳”については「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

今回を含めた過去7回の上位5項目をみると、平成16年～平成22年は「防犯対策（安全・安心まちづくり）」が第1位となっていたが、平成24年以降は「震災対策」が第1位となっている。上位4項目は前回調査と同一であるが、5位は「交通網整備」となっている。（図表17-4）

＜図表17-4＞過去7回の上位5項目の推移

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%
平成16年	防犯などの安全・安心まちづくり 51.3%	高齢者対策 31.9%	学校教育の充実 15.0%	子育て対策 14.4%	保健・健康づくり 13.8%

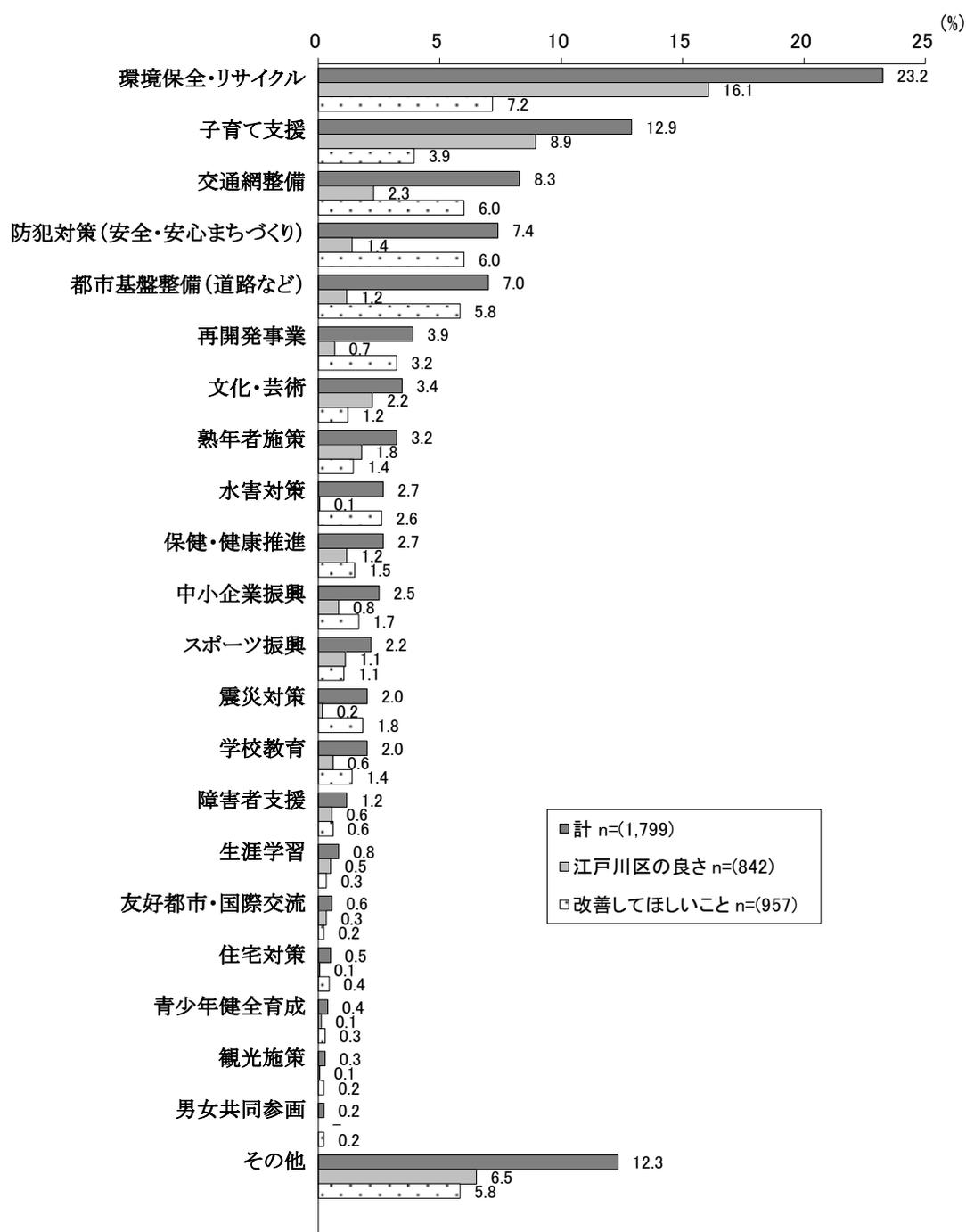
※平成18年「防災対策」（3位）→平成20年「災害対策」（2位）→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。

18. 自由記述

(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと

問30 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表18-1> 江戸川区の良さ、改善してほしいこと



※構成比は総件数に対する比率。

江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じることに、自由回答形式で求めた。

回答内容を「問 29 今後推進してほしい施策」の選択肢で分類したところ、江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「環境保全・リサイクル」(23.2%)が2割強と多く、続いて「子育て支援」(12.9%)が1割強となっている。

江戸川区の「良さ」では、「環境保全・リサイクル」(16.1%)が1割台半ばと多く、「子育て支援」(8.9%)が1割弱となっている。

「改善してほしいこと」では、「環境保全・リサイクル」(7.2%)が最も高く、「交通網整備」(6.0%)と「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(6.0%)、「都市基盤整備(道路など)」(5.8%)などと続いている。(図表18-1)

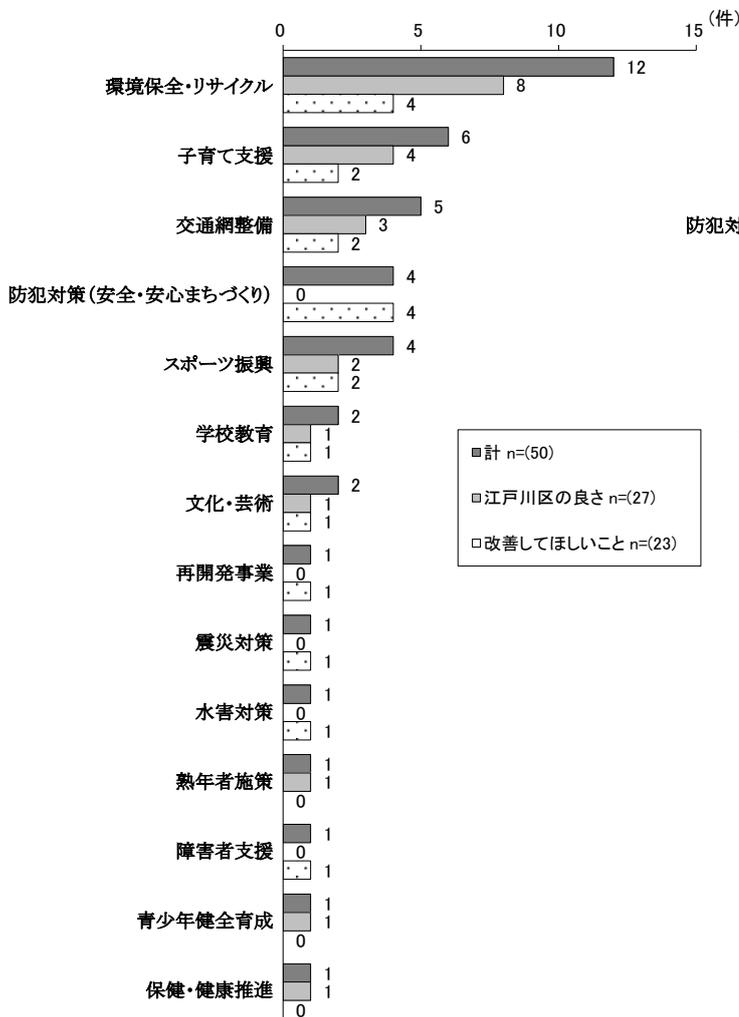
【年齢別】

年齢別でみると、「環境保全・リサイクル」はすべての年齢層で最も多く、「子育て支援」は18・19歳と20～50歳代で上位2位、「都市基盤整備(道路など)」は65～74歳で上位2位となっている。

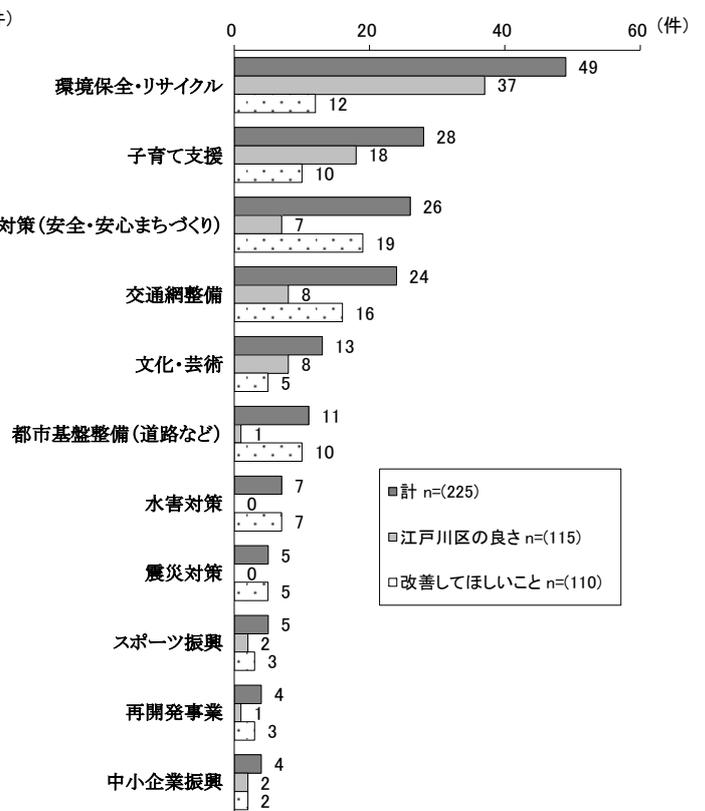
(図表18-2)

<図表18-2> 江戸川区の良さ、改善してほしいこと／年齢別(上位10項目)

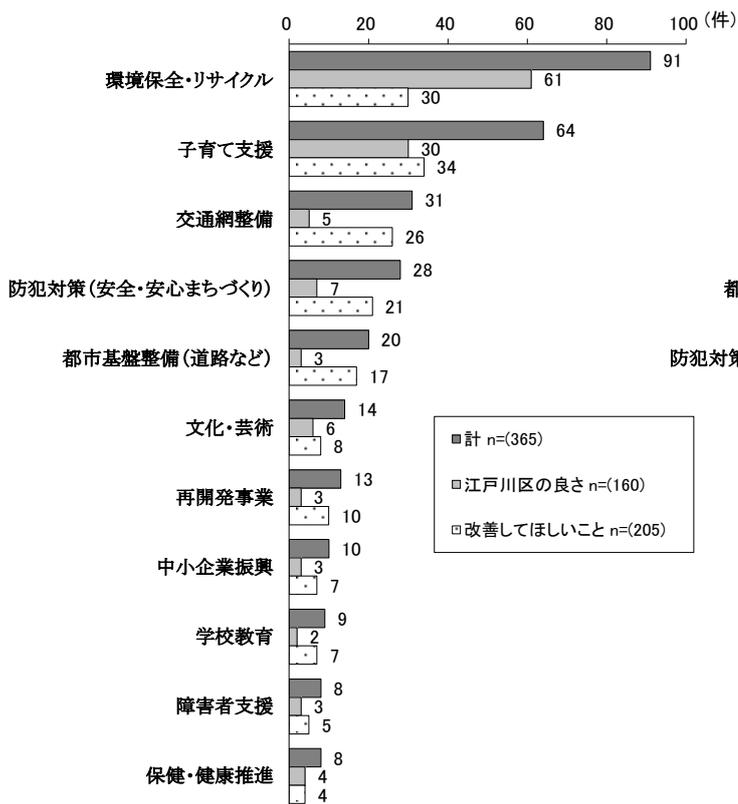
【18・19歳】



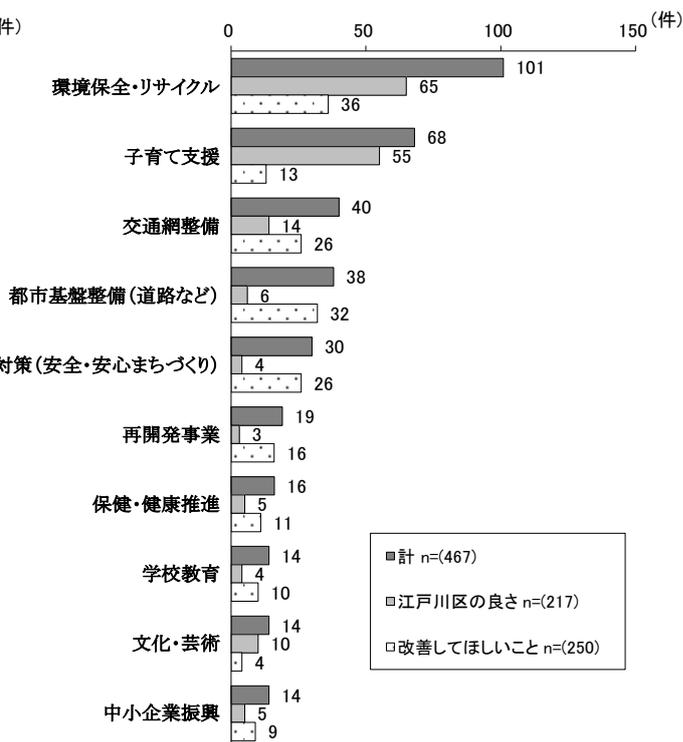
【20歳代】



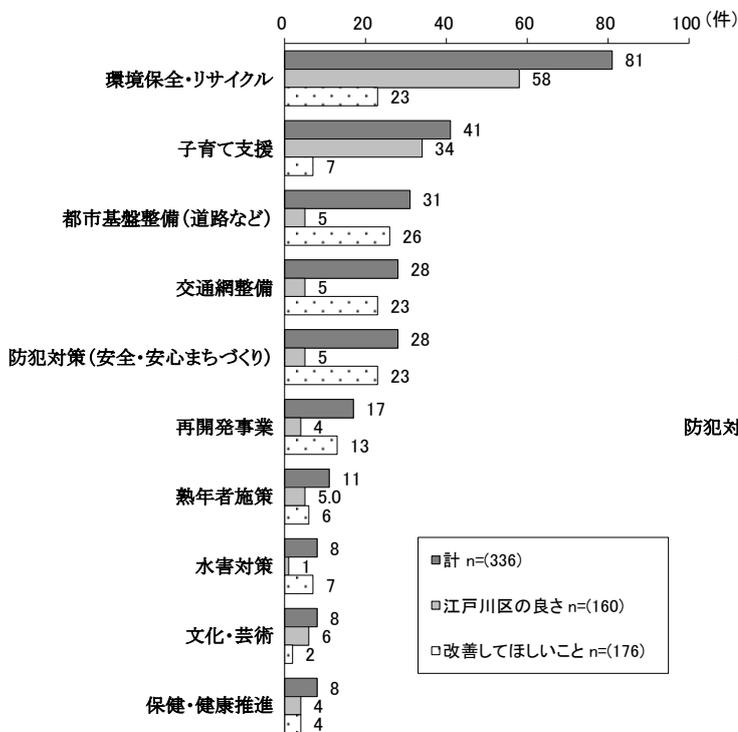
【30 歳代】



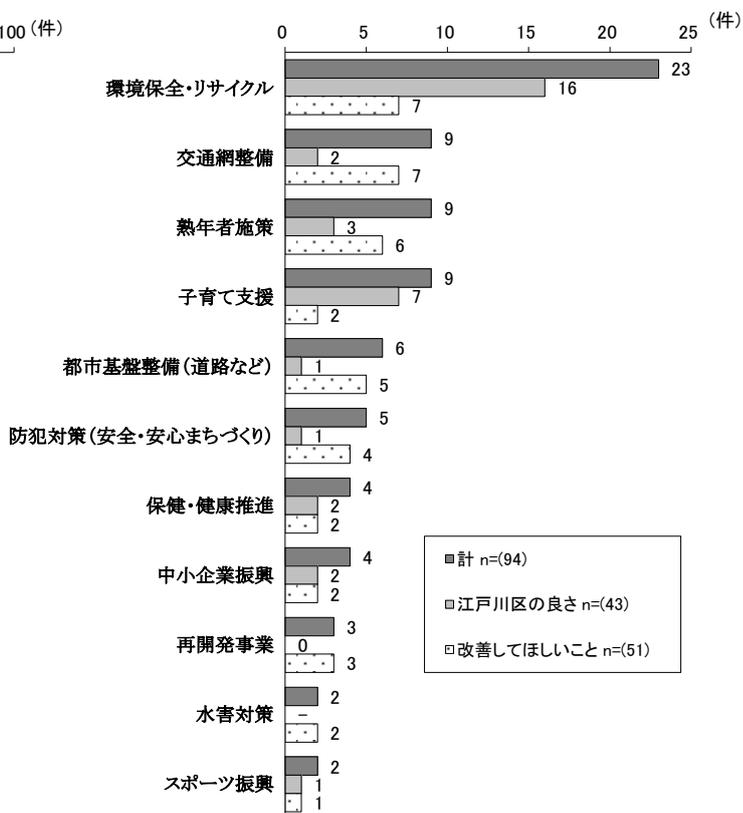
【40 歳代】



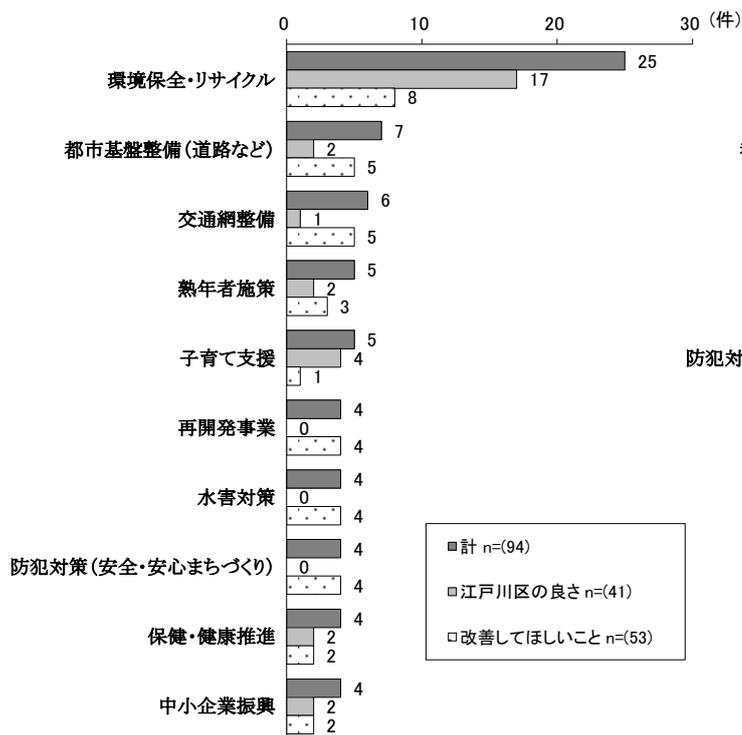
【50 歳代】



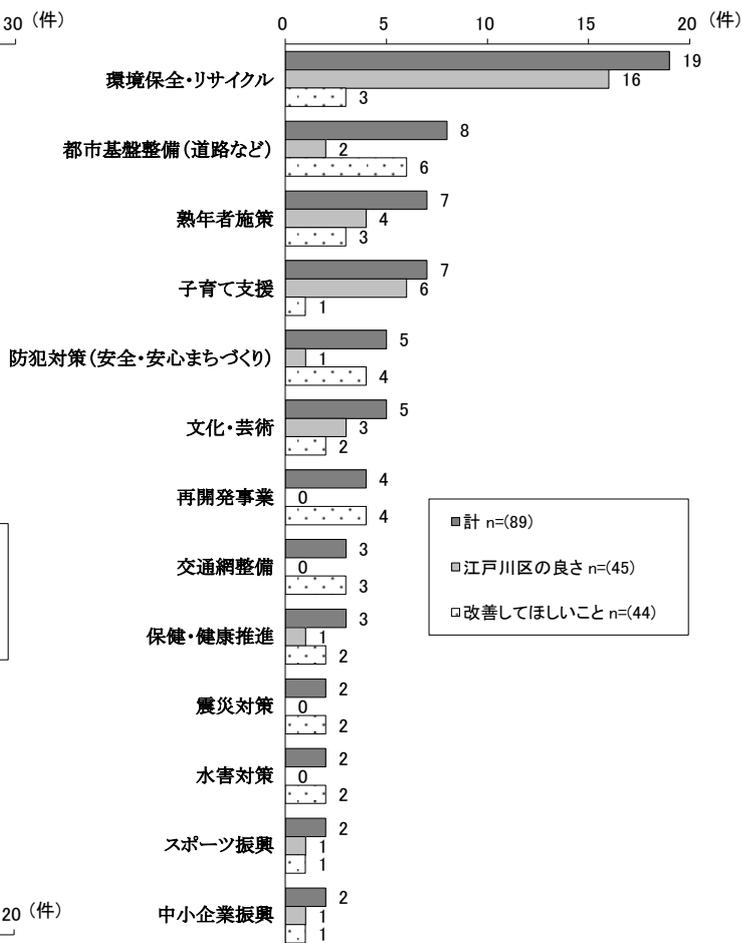
【60～64 歳】



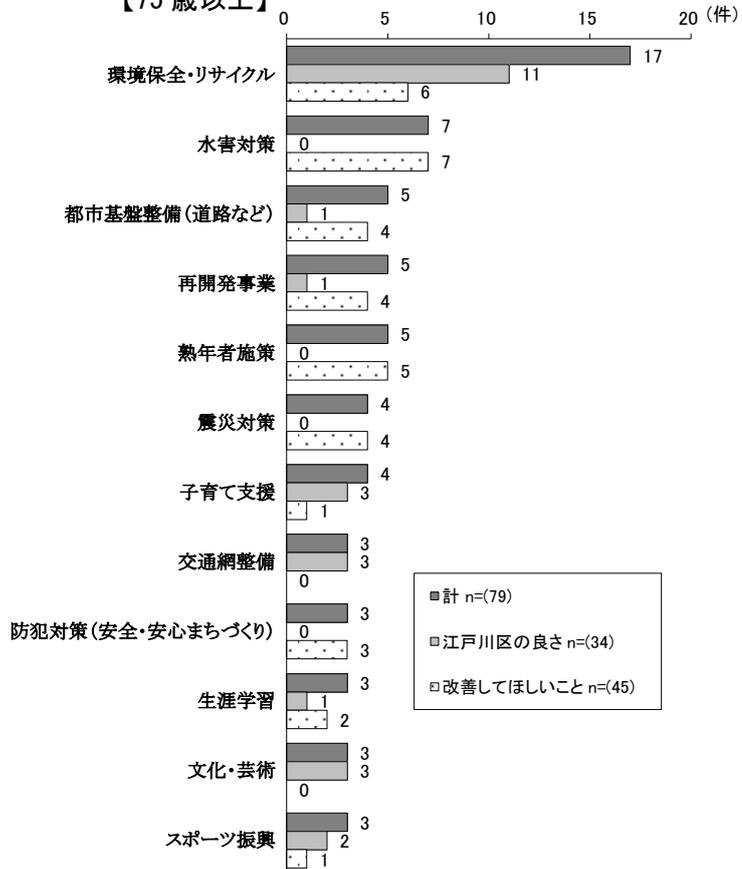
【65～69 歳】



【70～74 歳】



【75 歳以上】



具体的な意見について、各項目ごとに代表的なものを抜粋して掲載する。

環境保全・リサイクル

【江戸川区の良さ】

- ・公園のトイレが綺麗。公園が多い。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・公園や街路樹が多く、都心の中では自然豊かな点。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・緑の多さ、公園の多さ。花など通年美しい。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・ゴミの回収が良い。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・大人も子供も楽しめる公園が多くある。夜間に毎日車道の清掃車が清掃し、常にきれいな道路でうれしい。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・都心に近く在るも、緑化環境が良く川や海にも近いことから自然恩恵(生物など)が強く感じられる。行政も区民の福祉や健康維持、推進に力を注いでいる感じがある。(女性 65~69 歳、葛西地区)
- ・15 年位前、江戸川区が生ゴミ実践モニターを募集して 1 年間教育を受けました。その後人生が変わり、現在生ゴミ推肥が生きがいでボランティア活動もしております。このことは、大変感謝しております。(女性 65~69 歳、小岩地区)
- ・長年「みどり」を推進してきたとのことですが、確かにこの数年、街路樹や公園などいつも手入れされていると感じます。特に旧中川の土手はいつも芝が刈られ美しく、ウォーキングしていて気持ちがいいと感じています。もっと市民にアピールしていくと意識が高まりより一層美しい街づくりに繋がっていくと思います。(男性 70~74 歳、小松川地区)
- ・道路の幅が広い、ゴミがない(居住する近辺です)樹木が多い等、良い所が沢山あります。江戸川区の良さを多面にとらえ区外の皆さんに知ってもらいたいですね。(女性 75 歳以上、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・夜、公園などに行くと、昼間遊んでいたであろう玩具やお菓子のパッケージなどが大量に落ちている。歩きタバコやポイ捨て、ながらスマホなどが多く、前を向いていない不注意な人が多い。
(男性 18・19 歳、中央地区)
- ・道路にゴミが落ちている事が多い。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・歩きタバコがこんなに目につく町は他にないです。毎日、家の前に火をつけたまま捨てられたタバコが数本落ちています。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・生ゴミの収集を週 2 日から 3 日にして欲しい。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・西葛西駅前のムクドリに対応をなんとかしてほしい。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・新川が家の近くにあるのですが川も汚れているし、釣り客が糸などをそのままの状態にしているので、見ていて悲しくなる。どうにかきれいにすることができないでしょうか。
(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・歩道にある樹木が落葉の為、風が強い日は毎日が枯葉掃除で大変です。伐採して欲しいです。
(女性 65~69 歳、小岩地区)
- ・街路樹の根が下水管の方まではびこって詰まってしまう時があります。時々点検してほしい。
(男性 75 歳以上、葛西地区)

子育て支援

【江戸川区の良さ】

- ・子供が多く、子育て環境が整っている所。医療関係も支援が多く、子育てには良いと思う。
(男性 18・19 歳、中央地区)
- ・保育ママ制度はとても良い。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・他の区に比べれば、子育てしやすい環境（助成など）だと思う。比較して自然環境の保全に取り組んでいるところは押せるポイントだと思います。子育て出来る環境を整える重要な点です。
(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・乳児養育手当があるのはとても助かる。色々の場所に共育プラザなど子育て支援センターがあるのはいいと思いますし、よく利用しています。(女性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・地元を愛している人が多く、少子化が問題される中で江戸川区は子供がたくさんいて、子育てしやすい環境だと思うのでとても良いと思うし、医療費が中3までかからないのも大変ありがたいと思っています。他の区に住んでいる友人にも江戸川区の良さをいつも伝えている。
(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・乳児養育手当や子供の医療費無料など子育て世代にとって経済的な制度が整っていて安心して子供を育てられる。多くの育児支援施設や公園が整備されていることも満足している。
(女性 30 歳代、東部地区)
- ・「すくすくスクール」や「くすのきカルチャー教室」等、子供と高齢者向けの取り組みが充実しているので、働く世帯が安心して働ける事。(男性 30 歳代、中央地区)
- ・無料の動物園、ポニーランドなど子どもが遊べる施設が充実しているのが大変良い。私立幼稚園が区立幼稚園並みの月謝で通えるのがよい。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・子育て支援には大変満足しているので、今後も充実して欲しい。(男性 60～64 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・子どものいる家庭にお金だけを与えるだけでなく、子育てに対しての不安や悩みを話せるところを充実してほしい。平日の9時から17時の間だけではなく、土曜日の午前中だけでも対応してくれると働いている人にはありがたいと思う。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・もっと保育園をつくって待機児童をなくして欲しい。すんなり保育園に入れるようにして欲しい。是非お願いします。(女性 20 歳代、小松川地区)
- ・幼稚園への補助金は潤沢なのに、認証保育園児への補助は所得制限もあり、23区内では最低レベルである。認可保育園に入りたなら補助金を増やしてほしい。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・子育て支援に力を入れているというけれど、母子家庭等のフォローが重視で一般家庭にはあまりその支援が反映されていないと感じるので対策をして欲しい。学童についても6時半までお願いできたらもっと利用が増え助かる働く母がいると思う。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・待機児童問題。保育課の職員の対応。保育園入園についても「きびしい」の一言で終えてしまう。どうきびしいのかも説明してもらえたら良かった。保育ママを推進しているのに利用できないのは、おかしいと思う。(男性 30 歳代、中央地区)

- ・子供が多いが故に、子育て支援がまだまだ足りていないと感じる。保育園が足りない事も問題だが、中高生を持つ世代も働く事に必死で、子育てが行き届いていない。子育てサポートが防犯にもつながると思う。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・江戸川区は子育てのしやすさを売りにしているが共働きには優しくない。認可保育園→0歳児には私立のみで受入れ人数が少ない。保育ママをアピールしているが、預りが0歳児のみで、次年度の保育先の保証がなく根本的な解決にはならない。小学校の学童の預り時間も18時までと短い。区内の認可保育園の開所時間は18時30分までの園が多いので、学童もせめて18時30分まで預ってほしい。公立で対応できないなら民間学童の利用者に助成金を出す等バックアップしてほしい。認証保育所の補助金制度もできましたが、対象の条件が限られているので緩和してほしい。一人でも多くの子供が笑顔で過ごせる地域づくりを是非お願いします。(男性 30 歳代、鹿骨地区)

交通網整備

【江戸川区の良さ】

- ・交通の便が良い。(女性 20 歳代、小岩地区)
- ・南北の交通が少し不便と思っていたが、レンタルサイクルで他の駅でも返却できるシステムにしてくれて、便利になった。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・バスが沢山走っている。バスで大体はどこでも行ける。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・都心方面のアクセス(電車)の良さ。首都高へのアクセスの良さ。(男性 30 歳代、中央地区)
- ・高速等での移動が楽。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・昔と比べて区内の公共交通機関が充実した。緑地が多い。(男性 60~64 歳、中央地区)
- ・都営線も他の JR や地下鉄(東西線)よりはそれ程混んでいないのが良いと思います。
(男性 50 歳代、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・鉄道アクセスが悪い。JR と都営線のアクセスが悪いので改善すればより便利になると思う。
(男性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・都営線の交通費が高い。(女性 20 歳代、東部地区)
- ・江戸川区内の縦の交通の便を改善して欲しい。バスは慣れていないと電車よりわかりづらい。
(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・区内での南北の移動手段がバスか自転車しかないため、非常に不便。ぜひ南北方向にも電車の線を引いて欲しい。(男性 18・19 歳、葛西地区)
- ・交通が不便。特に西葛西・葛西からの小岩の方へ行くのにバスしかない。電車が作れないのなら浦安市のような「おさんぽバス(100円位)」みたいなのが、あると良いと思う。
(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・昼間のバスが無くなり、交通の便が悪く感じる。(男性 50 歳代、中央地区)
- ・日々の生活の中、まずバスを使わなければ出かけられないという不便さ。
(女性 60~64 歳、中央地区)

- ・江戸川区の南北を繋ぐ交通手段がバスだけなので、メトロセブン構想の1日も早い実現を願います。
(女性 60～64 歳、中央地区)

防犯対策（安全・安心まちづくり）

【江戸川区の良さ】

- ・治安が良いので夜道も比較的安心できる。(女性 20 歳代、中央地区)
- ・子供の下校時間に合わせて、パトロール車がまわってくれている。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・夜間の通行が明るく防犯上助かります。(男性 50 歳代、中央地区)
- ・犯罪が比較的少ない。(男性 70～74 歳、中央地区)
- ・夜間、警察のパトロールが回っているのは安心です。(女性 60～64 歳、東部地区)
- ・街灯が多めで夜間も人が安心出来る。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・町内会等がしっかりしていて、地域が安心、安全です。(男性 50 歳代、小岩地区)
- ・目立った事件がここ 10 年ない所。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・駅からの帰り道、暗くなっても安心して帰れる治安の良さ。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・あまり事件がなく穏やかな暮らしが出来るところ。(男性 60～64 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・著しく治安が悪い箇所があると思う(東葛西、新小岩、小岩など駅周辺)まれに交通ルールがわからない(わかりづらい箇所)がある。人々のマナーもあまり良くない(特に自転車)
(男性 20 歳代、中央地区)
- ・夜は街灯が少なく、たまに変な人が居る時があるので、もうちょっと何かしらの対策をして頂きたいです。(女性 20 歳代、東部地区)
- ・平井は良いのですが、江戸川区＝治安が悪いというイメージを改善してほしい。
(女性 30 歳代、小松川地区)
- ・駅の周辺(西葛西)について治安が特に悪いと思います。子供を習い事に行かせる際には、明るい時間帯でも必ず保護者が付き添うようにしています。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・公園の多さにとまって、夜間の公園で騒いでいる人が多く、不安である。騒音を伴うバイクや車も夜間に多く、取り締まって欲しい。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・江戸川区というとまだまだ治安が悪く、怖いところというイメージがあるのも実感しています。防犯対策を今もかなり実施されていると思いますが、もっと市民の方の参加を広げ、皆で意識を高めていくことが安心安全な街づくりにつながっていくと思います。(男性 70～74 歳、小松川地区)
- ・夜になると、パブなどの黒服の人たちが目立ち、怖い印象を受ける。また、駅近くにお店が集中しているので、駅周り以外は夜になると、人が少なく変質者に出会うことも多々あった。パトロールなどの見回りがもっと増えると良いと思う。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・自宅に1度、近所に2度空き巣被害がありました。もっと安心して暮らせるように改善してほしいです。(男性 30 歳代、小松川地区)
- ・駅前とか深夜は犯罪が多いと感じるため、駅周辺の見回りなど防犯ビデオの設置とか含めて検討してほしい。(男性 40 歳代、葛西地区)

- ・清新町は街灯が少なく、夜怖い。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・軽犯罪が多いので、何とかならないかなと思います。また、街中のいろいろな所に違法看板や広告も目立ちます。見つけたらすぐ取り除くようにしてパトロールの強化をお願いしたいです。
(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・防犯対策(細い道の街灯、パトロール強化、防犯カメラ等)、振り込め詐欺グループ逮捕者の厳罰化。逮捕されても刑が軽すぎるからいっこうに変わらない。(男性 40 歳代、小松川地区)

都市基盤整備(道路など)

【江戸川区の良さ】

- ・駅までの道が広がった。緑が多い。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・道路に自転車専用レーンが設けられたのは、すごく良いと考えています。街がよりきれいになり、江戸川区の特色が出ていいと考えています。車の渋滞が少なく、環七通りなどの道路が産業復興、流通分野として利用されていると実感し、街を理解するきっかけになりました。
(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・歩道が広いところが多い。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・公園が多く区画整理が進められていて、街並がよい。道路が整備されていて、道幅が広く自転車で走りやすい。(男性 50 歳代、東部地区)
- ・道路などが整備されていて、街がきれいだと思う。(女性 60~64 歳、小岩地区)
- ・私達の地域は区画整理も終了し、以前に比べ町全体が見ちがえる程の景観になりました。道路も整備され、私が 10 代の頃の江戸川区からは想像もできない町になって嬉しいです。
(女性 65~69 歳、東部地区)

【改善してほしいこと】

- ・歩道が狭い。緑石の段差が大きく、ベビーカー等での通過に危険が伴う。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・駅前で自転車を止める場所がなく不便。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・道路の整備。カーブミラー等増設。バス通りの道幅を広くする。特に小岩。
(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・ウォーキングをする事が多い為、歩道が狭い所が気になる(特に鹿骨街道)。車道も狭いため、歩道を広げ普通自転車通行指定部分を設けていただけるとうれしいです。(女性 40 歳代、鹿骨地区)
- ・自転車専用レーンが路駐の車で通れない点。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・電柱の地下化。自転車の優先道路。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・歩道において、自転車の歩行者の事故が多くなっていると感じています。歩行者が安心して歩けるように早急に整備して欲しい(自転車専用エリア、整備など)。(女性 60~64 歳、葛西地区)

再開発事業

【江戸川区の良さ】

- ・区画整理も進み、きれいな街並みが多い。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・23 区内の中であまり高い建物が無いことがいいと思います。空が大きく見える。大規模開発はしないで欲しい。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・街の整備がされているので安心して歩ける。公園が多いので車で遠くに行かなくても近所でいい。子供の頃から住んでいて一時はなれて戻ってきたら、やはり江戸川区の環境の良さは他の区には作れないことだなと思った。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・公園・水辺の整備が整い緑化の推進により、街の景観が良い。(女性 50 歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・西葛西駅前の再開発。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・区画整理の工事が多い、長い。(男性 30 歳代、鹿骨地区)
- ・昔からの街並みの処は、道が狭くかつ緑も少ない。都市計画を立て少しずつ改善させていき、多くの方に住んでみたい街と言われるようにしてほしい。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・地域を代表する産業、名所が少なく「これが江戸川だ」という定義が難しいため、今後、東京五輪までに東京が変わっていく時に単なる高層タワーの乱立に街が変化するだけでは、もったいないので、街の魅力や特色を作りあげることが必要だと思います。(男性 40 歳代、小岩地区)
- ・街の景観に統一感がない。異なるタイプのマンションが乱立して不統一である。
(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・再開発事業として、マンションばかり立つので、大型商業施設等がもっとできれば良いと思います。
(女性 65～69 歳、葛西地区)
- ・住宅密集地の再開発 (男性 65～69 歳、鹿骨地区)

文化・芸術

【江戸川区の良さ】

- ・区民祭りや区民館祭りなどがあり、区民が楽しめる行事があること。もっと増えたらもっと楽しい。
(女性 18・19 歳、鹿骨地区)
- ・行事、イベントが多く活発である。区歌をよく歌う。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・図書館がとても良い。夜遅くまで開館していて良い。(女性 30 歳代、中央地区)
- ・地域の行事が多く参加しやすく良いと思う (もちつき、祭り、花火大会)。(男性 40 歳代、小岩地区)
- ・コミュニティーホールなど、他県の人から驚かれることが多い。区のイベントなどが長期にわたり継続しているので、地域に根づいている。(女性 40 歳代、鹿骨地区)
- ・8 月の第 1 土曜日に実施される花火大会。(男性 50 歳代、小岩地区)
- ・子育て世代、熟年世代が参加できるイベントや講座などが充実している事。
(女性 50 歳代、葛西地区)

- ・総合文化センターでの催し物を格安の料金で楽しめるのは大変うれしいことです。
(女性 70～74 歳、小岩地区)
- ・江戸川区総合人生大学やくすのきカルチャー教室でいろんな事が学べるので素晴らしいことです。
(男性 75 歳以上、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・江戸川区の図書館の本をもっと専門書を増やしてほしい。(女性 18・19 歳、中央地区)
- ・文化センターのイベント等を幅広いジャンルで増やして欲しい。(男性 20 歳代、中央地区)
- ・文化施設（音楽等）を充実させて欲しい。楽器ができる場所をもう少し増やして欲しい。使いたい人に対して施設が足りてないように感じる。(女性 20 歳代、東部地区)
- ・文化センターでも様々なイベントが開催されるようになりましたが、特に音楽イベントを充実させて欲しいです。区の施設に著名なアーティストを誘致させる、難しいでしょうか。作曲家である自身も含めて精進していきます。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・色々な人が分類されずに集まれる場があっても良いかと考えます。工作の宿題から新製品の試作まで、ものづくりをする人が集まる場として、メイカースペースがあるとうれしいです。工具や機械の提供等、協力したいです。(男性 30 歳代、鹿骨地区)
- ・高齢者のコミュニケーションがとれる場所が少ない。(女性 50 歳代、中央地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- ・色々な場所に老人ホームがあるので、便利ではないかと思う。(女性 18・19 歳、葛西地区)
- ・熟年者世代への手厚い支援が良いと感じる。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・熟年者に対しての取り組みがされていると思う。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- ・福利厚生（60 歳になり施設が無料で利用できること）(女性 60～64 歳、中央地区)
- ・熟年者のカルチャー活動及び人材の活用。(男性 70～74 歳、中央地区)
- ・高齢者の医療に区長さんが力を入れてくれているので大変うれしい。(男性 70～74 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・介護の仕事をしているので、高齢者が住みやすく、在宅生活が継続できるように支援してほしいです。その為にも介護従事者の確保や保障を位置づけてほしいと思います。高い賃金で優良な人材の確保のできる区を目指して欲しいです。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・医療施設や老健施設などの更なる充実を期待する。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・特養老人ホームを増やしてほしい。(男性 50 歳代、小岩地区)
- ・これから益々増える熟年者の仕事の場を増やして欲しいと思います。(女性 65～69 歳、東部地区)
- ・子供と年寄りに優しい町を売りにしていたが、最近、今一つそういうものを感じなくなった。区の情報が見えてこない（予算や施策等）。(男性 60～64 歳、中央地区)

- ・老人が増えて行きます。健康で生きていくために老人の集いの場があれば生きがい等が生まれると思います。自分の居場所がない人が多いと思います。一人で生きて行く事の大変さがこの年令で分かりました。(女性 75 歳以上、葛西地区)

水害対策

【江戸川区の良さ】

- ・災害時は松江 5 中が建て替えが終り、備蓄も完備されているようですのでありがたいです。
(女性 50 歳代、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・水害対策に不安がある。(女性 20 歳代、小松川地区)
- ・火災対策、特に洪水や津波など水害対策について力を入れた方が良いと思います。
(男性 20 歳代、中央地区)
- ・東日本大震災より、津波及び水害対策に対して不安・恐怖をより、感じるようになり、江戸川区の具体的な対策状況や、現状のアナウンスが極めて不十分だと感じている。まずは救命優先。その意識を区民にもっとアピールするべきである。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・江戸川区は低地帯なので、やはり水害対策にもっと力を入れて欲しい。震災対策も同じ。より安心して住める環境を整えて欲しい。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・水害が発生したらどこに行けば良いのですか。自宅はマンションなのですが、他の家の方を受け入れてあげたり(高い所への誘導)すると考えていた方が良いのですか。そのようなハザードマップは無いのですか。(女性 40 歳代、東部地区)
- ・水害についての詳しい情報が欲しい。(女性 50 歳代、中央地区)
- ・水害対策は進んでいない。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・大規模水害時についての問いですが、江戸川、江東とも 0m 地区に住んでいて洪水が来た場合、どのように避難するのですか。私も区の水害の説明会にも参加しましたが、今一つ解りません。もっと具体的に避難場所を教えてください。(男性 75 歳以上、葛西地区)

保健・健康推進

【江戸川区の良さ】

- ・区が無料でガン検診を実施してくれることはとても有難く、私たち区民の健康を考えてくれて嬉しく思う。(女性 20 歳代、小松川地区)
- ・がん検診が手厚くて嬉しい。乳がん検診はもっといろんな病院で受けられたら嬉しい。
(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・総合病院も生活圏内にあり安心。(男性 60~64 歳、葛西地区)
- ・健康に力をいれてくれている事、すごく嬉しく思います。(女性 65~69 歳、葛西地区)
- ・区民健診などの健康に関する取り組みがいいと思います。(女性 70~74 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・北部に拠点となる病院の設置。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・夜間医療の充実。これだけの人口で夜間診療が数カ所はとても不安です。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・江戸川区には救急ホームページがないのでしょうか。夜間や朝方の入院をとってくれる病院はありません。(男性 40 歳代、中央地区)
- ・この 2,3 年の間に、高齢の両親と自分自身が救急車にお世話になりましたが、受け入れ先の病院がなかなかみつからず、とても時間がかかってとても不安でした。救急車の方にはよくしていただきましたが、これから高齢者が増えるなかとても心配です。(女性 50 歳代、葛西地区)
- ・総合病院の誘致を是非ともお願いします。(女性 65～69 歳、小松川地区)

中小企業振興**【江戸川区の良さ】**

- ・商業施設が良い。(男性 65～69 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・商店街を近隣に作って欲しい(葛西駅付近)。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・日々買い物の不便さ、近くにスーパー(サミットストア)がありましたが、数年前に閉店しました。幸い無料パスがありますので、駅迄行っておりますが、重さを気にしながらの買い物ですので不便さを痛感しております。(男性 50 歳代、小岩地区)
- ・大型スーパーの誘致。大型書店の誘致。(女性 50 歳代、東部地区)
- ・一之江駅周辺は商業施設が何もありません。例えば ジャスコやイトーヨーカドーなどがあると便利だと思います。(女性 50 歳代、中央地区)
- ・商店街の活性化。他の区に比べて活気がないと思う。(男性 40 歳代、中央地区)

スポーツ振興**【江戸川区の良さ】**

- ・スポーツに力が入っている。(男性 18・19 歳、葛西地区)
- ・テニスコートが安く借りられる。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・緑の多い所、河川敷のランニングコースや野球、サッカーができるようになっているのはとても良いと思います。(女性 30 歳代、小岩地区)
- ・スポーツ施設等の充実。(女性 40 歳代、葛西地区)
- ・稀勢の里、高安を筆頭とする田子ノ浦部屋出身の力士、及び水泳の池江瑠花子選手の活躍により、江戸川区全体が活気付いて、良い波動が生まれていると思います。これからもスポーツを通じた「街おこし」を江戸川区は強みに昇華して欲しいです。(男性 30 歳代、小岩地区)
- ・臨海地域にはスポーツ施設や公園も充実していて健康的に生活できるところも魅力的だ。
(女性 50 歳代、中央地区)

- ・ 体育館を利用させてもらい他の地区（特に地方の方）より随分恵まれていると感じます。
(男性 75 歳以上、中央地区)

【改善してほしいこと】

- ・ 公園でサッカー・ボールの禁止はどうかと思う。ボールで遊べるようにしてほしい。弟たちがよく注意されていると聞くのでかわいそう。小学生達は外で元気に遊ばなくさせているのは大人たちの勝手なルールだと思う。(男性 18・19 歳、中央地区)
- ・ スポーツ施設を増やして欲しい。(男性 20 歳代、葛西地区)
- ・ スポーツセンター（西葛西）古さが目立つ。プールガーデンがなくなったので屋外プールができるところがほしい。(女性 30 歳代、葛西地区)
- ・ 子ども達がボールなどで遊べる場所がなさすぎる。路上も公園も学校も禁止では、スポーツ、オリンピック振興などと言ってられない。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・ スポーツの出来る環境をもっと作ってほしい。葛西地区はやりたくても思うように出来ない。特にサッカー、フットサル。(男性 40 歳代、葛西地区)
- ・ 公園にスポーツ遊具（大人が体を鍛える、運動不足を解消する）を備えて欲しい。
(女性 70～74 歳、葛西地区)

震災対策

【江戸川区の良さ】

- ・ 若い家庭や子どもが多く、活気のある町で緑、学校、公園も多く、災害が起こった時、避難出来る場も多い。(女性 50 歳代、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・ 古い家屋が密集している地区が多いので、震災対策がまだできていないと感じる。
(女性 20 歳代、鹿骨地区)
- ・ 震災対策。水害対策など。避難できる場所や対策を強化して欲しい。交通の便をよくしてほしい。
(女性 65～69 歳、小岩地区)
- ・ 災害対策などは、具体的な提案が欲しいです。交通では、東西線は常に混んでいるので、どうにかしてほしい。(女性 50 歳代、小岩地区)
- ・ 災害時にはどこが逃げ場か明確にしてほしい。(男性 75 歳以上、中央地区)
- ・ 災害時の避難場所がわからない。町会等から具体的な避難場所（学校名・公共施設名等）避難経路等知らされたことがない。高齢者は不安である。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- ・ 江戸川区は 0 m 地帯なので津波等に対しての備えがまだ不十分だと思いますので、災害対策を充実してほしい。(男性 70～74 歳、葛西地区)

学校教育

【江戸川区の良さ】

- ・小学生に於いてボランティアの人も含め、朝の読み聞かせが浸透していること（地味な活動ですが子供達に届くと思います）。（女性 70～74 歳、小岩地区）
- ・学校が多いので子供に色々、優しい所とか環境の事は良く考えていると思います。
（女性 18・19 歳、小岩地区）
- ・子供に優しい。幼稚園の補助金、小学校のすくすくスクールなど、まだまだ他にはないサービスが充実しているのでとても助かっています。公園も多いですし、子育て世帯に優しいと思います。
（女性 40 歳代、葛西地区）
- ・環境が良く、子育てが安心してできる。小・中学校の質が良い。（男性 50 歳代、葛西地区）
- ・参加が自由なすくすくスクールはとても良いと思う。（女性 30 歳代、鹿骨地区）

【改善してほしいこと】

- ・学区の調整をしっかりとの方が良いのでは。（男性 20 歳代、葛西地区）
- ・教育水準の低さ。公立高校の偏差値。（男性 20 歳代、葛西地区）
- ・近所の中学校の評判が悪く、これから我が子を進学させるのが不安です。学力を上げたり、安定した学校生活が過ごせるようにして欲しいです。（女性 40 歳代、葛西地区）
- ・学校教育、特に部活動。先生方は忙しい為、専門のコーチなどを配置して欲しい。どんどん部活が減っている為。（男性 40 歳代、葛西地区）
- ・学校職員を増やしてほしいです。現在、さまざまな子供たちが学校にいます。教員 1 人に対し、40 名は多すぎます。もっと教育の充実を図るために子供達 1 人 1 人をよく見ることができるよう、先生の負担を減らすために、人を増やしてほしいです。（女性 30 歳代、中央地区）
- ・公立小中学校のトイレ 作今、自宅が洋式トイレの家庭がほとんどにもかかわらず、未だに学校のトイレは和式が多いようです。ただ単に和式から洋式に変わるだけでなく、子供達がトイレを我慢しないですむように、明るくて入りやすいトイレにして欲しいです。（女性 50 歳代、葛西地区）
- ・子供の教育は他区に比べてレベルが低い。（女性 50 歳代、葛西地区）

障害者支援

【江戸川区の良さ】

- ・発達障害への対処、環境がすばらしい。（女性 30 歳代、中央地区）
- ・障害者支援や子育て支援はとても充実していると思います。（女性 40 歳代、葛西地区）
- ・福祉面では、例えば車いすを無料で貸し出ししている等、良いと思う。（女性 70～74 歳、小岩地区）

【改善してほしいこと】

- ・障害者、自閉症等の支援相談施設が少なすぎると感じます。（女性 30 歳代、葛西地区）

- ・育成室は作っても、支援学級は少なく、江戸川区は障がい児・者にはまだまだ不足。
(女性 40 歳代、中央地区)
- ・障害者(身体・知的)の短期入所をより利用しやすくしてほしい。(女性 65~69 歳、東部地区)
- ・発達障害のある幼児の早期療育に力を入れてほしい。1才児、3才児検診を強化し、早期発見、早期療育により就学前までに改善できることは多くある。しかしながら、江戸川区は健常児への幼稚園入園等の補助金は手厚い反面、障害児への手当ては“福祉の江戸川区”としては恥ずかしい。全く着手されていないに等しい現状である。幼・保は積極的に障害児を受け入れるべきであり、また区はそれを継続的にサポートし就学においても、区内全ての小学校に支援学校を設けるべきである。大阪府、吹田市の取組みを是非参考にして健常児への補助の10~20%を障害児にまわして、療育に取り組んでいただきたい。(女性 40 歳代、葛西地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- ・みらい館、自然動物園、臨海公園、図書館、コミュニティセンター、タワーホール、グリーンパレスなど、書ききれないくらい生活を豊かにしてくれる施設がある。ありがたいです。
(女性 40 歳代、中央地区)
- ・カルチャーセンターが充実している。図書館のサービスが良い。(男性 65~69 歳、葛西地区)
- ・区主催の行事や習い事に参加し、この地での生活を楽しんでいます。(女性 65~69 歳、鹿骨地区)

【改善してほしいこと】

- ・募集の際、募集人数が少ないため、すぐに定員になってしまい応募が出来ないのが残念です。
(女性 50 歳代、鹿骨地区)
- ・「くすのき」、カルチャーセンターの科目が増えるといいなと思います。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- ・他区では介護予防のための体操教室がいろいろな施設で募集し、定期的開催されているが、江戸川区は熟年者教室の単発なものだけで一回参加で何になるのか、他の区を参考にもっと力を入れて欲しい。(男性 50 歳代、小岩地区)

友好都市・国際交流

【江戸川区の良さ】

- ・海外から移住される人数も徐々に増えている印象があり、住みやすい街という印象が生まれているのではないのでしょうか。(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・様々な人種や国籍の方々が共存しつつ、治安などの心配がない点。また、地域の催し事が多い点。
(男性 30 歳代、葛西地区)
- ・庶民的で良い。活動的である。(外国人が多いからかもしれない)(男性 50 歳代、小岩地区)

【改善してほしいこと】

- ・外国人に住み易くしてほしい。(女性 50 歳代、東部地区)
- ・国際交流（未成年者）がもっとお金がかからずに出来るのであればうれしい。江戸川区は子どもが多いし、永住する人も多いので、今の世代の子どものために税金を使って欲しい。
(男性 40 歳代、小松川地区)
- ・オリンピックでいろいろな国の人たちが出入りしてくるのが不安です。(女性 75 歳以上、葛西地区)

住宅対策**【改善してほしいこと】**

- ・古い民家も多く、住宅が密集している地域もあるので住宅対策にもっと力をいれてもらいたいです。
(男性 40 歳代、中央地区)
- ・一人暮らしが多くなるゆえ、少しでも安く住める住宅等を区として取り組んでほしい。
(女性 65～69 歳、中央地区)
- ・都営住宅を入りやすくして欲しい。(女性 60～64 歳、東部地区)
- ・最近、空き家が目立つようになりました。空き家対策を検討して欲しいと思います。高齢者向けの住宅を増やして欲しい。(男性 70～74 歳、小岩地区)

青少年健全育成**【改善してほしいこと】**

- ・青少年の健全な生活にむけた支援（修学支援）青少年犯罪の防止対策。(女性 40 歳代、小松川地区)

観光施策**【改善してほしいこと】**

- ・スカイツリーが見えたり、桜がきれいに川沿いを色彩ったりする場所が多いので観光など充実されてはいいかかと思っています。(女性 30 歳代、小松川地区)
- ・昔ながらの商店街が少し残っている。なくならないよう観光地化やテレビなどのメディア誘致をしてもり上げたら、さらに良くなると思う。(銭湯も同様です) (男性 30 歳代、鹿骨地区)
- ・臨海公園などのように区内でもっと楽しめる場所を作って欲しい(観光スポット充実)
(女性 40 歳代、葛西地区)

男女共同参画

【改善してほしいこと】

- ・子育て支援に注力しているため、多くのファミリー層が江戸川区に集まってくる一方で、保育園のみならず、幼稚園難民も多く、ママの社会復帰ができず、育児と家計の負担が増える。
(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・働く女性が自身とキャリアを犠牲することなく妊娠・出産・育児を行えるよう、対策的配慮をお願いしたい。例) 保育園の整備。通勤状況の改善、育児各種支援の拡充等。(男性 30 歳代、葛西地区)

その他

【江戸川区ならではの良さ】

- ・ファミリーに優しい街、都心へのアクセスも良く、住みやすい。(女性 20 歳代、葛西地区)
- ・小岩は商店街ががんばっているところ。どこにでもあるような街ではないところ。車が無くても不便でないところ。私の周りの人は小岩に住み続けている人が多いので、住みやすい街なのではと思っている。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・街がきれいで穏やか、警察など対応が速やか。住民が誠実。(男性 40 歳代、小松川地区)
- ・転入時の区職員のご対応に満足。公園が多い。(男性 30 歳代、鹿骨地区)
- ・緑が多く、親水緑道などの整備が定期的に行われていること。町会活動が活発で「地域の力」を感じる。子供を連れて遊ぶ事が出来る場所が年々増えている。熟年者が活躍する場がある事。役所関係の窓口の方、電話対応などの担当者が相手の立場になって考えようと努力してくれている。
(女性 60～64 歳、小岩地区)
- ・区に住んで 30 年以上 区政に対して良し悪しの判断はない。住民個人個人の努力や熱意の結果こそが、地域そのものを構造していくものだと考える。そういう住民の声を区政は広く聞いてくれると思う。(男性 65～69 歳、東部地区)
- ・下町の雰囲気ありで良い。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- ・江戸川区はかつて川向うと呼ばれ悲しい思いをした。区民の心をひとつに努力した結果が現在の姿である。魅力ある区として発展を続ける必要がある。安心安全で文化的な住環境、そこに住む住民の高い意識が必要だ。目標または、スローガンを掲げて欲しい。「豊かな心、地に緑」
(男性 75 歳以上、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- ・改善して欲しい点を考えるにあたってそもそもあまり興味を持っていなかったが、改善して欲しい点をあげるなら、何をやっているのかを誰でも簡単に共有できるプラットフォーム作りである。
(男性 20 歳代、小松川地区)
- ・「広報えどがわ」を新聞の購読していない世帯にも配布してほしい。(女性 40 歳代、小岩地区)
- ・月 1 日でも良いので、各事務所を土日曜日開庁してほしい。また、週 1 日、受付時間を延長してほしい(仕事をしていると休まない住民票が取れないため)(女性 40 歳代、小松川地区)
- ・市民税が高い。(男性 40 歳代、鹿骨地区)

- ・全てにおいて、情報の開示が速やかではないと感じる。また、様々な支援策等は良いと思われるものも、区民に情報が行きわたっていない。ホームページ等を見ても、一般企業のホームページのようにはわかりやすすくない。その情報を知っている人が確認するためのレベルと思うので、知識をもっていない人にはわからないので、改善願いたい。(男性 40 歳代、東部地区)
- ・“民度”を高めるための取り組み。(男性 50 歳代、葛西地区)
- ・歩きタバコ・路上喫煙が多い。もっと厳しく取り締まって欲しい。防犯対策が目に見える形で行なわれていない。怖い。若い世代の負担が多い。(男性 70～74 歳、中央地区)

IV 調査票

第32回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

このたび、江戸川区では、「第32回 江戸川区民世論調査」を実施すること
といたしました。この調査は、区民の皆様が日頃から感じていることやご要望を
お聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施しているものです。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を無作為
に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託している株式会社サーベイリサーチセンター
が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くだ
さいますようお願い申し上げます。

平成29年5月

江戸川区長 多田正見

－ ご記入にあたってのお願い －

《ご記入にあたって》

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ございません。

《調査票の回収》

調査票の回収は、5月26日(金)から6月11日(日)の間に身分証を携帯した調査員がお宅にお伺いしますので、この調査票をお渡しく
ださい。

【調査主体】

江戸川区役所 経営企画部広報課区政案内係
〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
電話:5662-6168(直通)
URL:<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

【調査実施・お問合せ先】

調査実施 株式会社サーベイリサーチセンター
調査担当 全国ネットワーク部
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル6階
電話:0120-227-244(フリーコール)(受付時間 平日 10:00~17:00)
URL:<http://www.surece.co.jp/>

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(〇は1つだけ) <n = 1,486>

1	1年未満	3.9%	3	6年～10年	10.0	5	21年～30年	16.6
2	1年～5年	10.4	4	11年～20年	19.0	6	31年以上	39.7
							(無回答)	0.5

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ) <n = 1,486>

1	住み続けたい	48.5%	4	区外へ移るつもり	3.2
2	できれば住み続けたい	24.8	5	わからない	19.9
3	できれば区外へ移りたい	3.0		(無回答)	0.7

問3 あなたは、江戸川区に親近感や愛着を感じますか。(〇は1つだけ) <n = 1,486>

1	感じている	52.2%	3	あまり感じていない	10.4
2	やや感じている	34.3	4	感じていない	2.2
				(無回答)	0.9

【江戸川区の現況について】

問4 ア～ツの各項目の現況について、どの程度満足しているかお答えください。

(それぞれ〇は1つずつ)

<n = 1,486> (%)

項目	評価						
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	無回答
ア. 買い物の便	34.1	24.0	29.1	8.5	3.4	0.3	0.7
イ. 交通の便	27.4	26.1	26.1	13.1	6.7	0.2	0.5
ウ. 道路・歩道の整備	18.9	24.0	39.4	11.8	4.0	0.6	1.3
エ. 公園・水辺の整備	33.4	29.5	27.8	4.4	1.2	2.7	0.9
オ. 緑化の推進	30.3	27.9	33.6	3.2	0.9	3.2	0.9
カ. 街の景観	14.3	19.8	47.5	12.6	2.7	1.8	1.3
キ. 街のバリアフリー	7.0	13.5	45.5	18.6	5.9	8.1	1.4
ク. ごみの収集	23.2	21.3	45.6	6.0	2.1	1.1	0.6
ケ. リサイクルの推進	11.7	17.0	53.3	5.7	1.6	9.4	1.2
コ. 地域の治安・安全性	10.0	15.5	42.5	19.7	8.4	2.9	0.9
サ. 災害への備え	5.4	12.4	48.0	12.5	5.1	14.9	1.6
シ. 近所づきあい	9.3	11.1	62.2	6.3	3.0	7.4	0.7
ス. 文化施設の充実度	11.6	19.9	46.3	8.4	2.5	10.1	1.1
セ. スポーツ施設の充実度	11.7	20.2	42.8	10.2	3.1	11.0	0.9
ソ. 熟年者の生活環境	6.8	14.5	44.1	7.7	3.1	22.5	1.3
タ. 子育て環境	15.1	24.6	32.8	4.7	2.6	18.8	1.4
チ. 健康相談・健康診査	12.9	21.3	46.2	4.6	1.2	12.4	1.3
ツ. 病院・診療所の充実度	14.6	22.6	43.5	11.3	3.9	3.2	0.9

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 満足	16.0%	4 やや不満	9.5
2 やや満足	36.7	5 不満	1.2
3 ぶつう	35.9	(無回答)	0.7

【東京2020オリンピック・パラリンピックについて】

問6 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される際に、ボランティアとして大会に参加しようと思いませんか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 参加したい	15.5%	3 参加したくない	32.1
2 参加したいができない	23.9	4 わからない	28.1
		(無回答)	0.5

問7 あなたは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、江戸川区でカーヌー(スラローム)競技が開催されることを知っていますか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 知っている	53.6%	2 知らなかった	46.0
		(無回答)	0.4

問8 カーヌー(スラローム)競技は葛西臨海公園の隣接地に整備される施設で開催されます。どのように観戦したいですか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 会場で観戦したい	26.9%	4 無料の大型スクリーンで観戦したい	3.8
2 テレビで観戦したい	38.5	5 観戦方法がわからない	10.3
3 ネット配信で観戦したい	1.2	6 観戦したいとは思わない	18.7
		(無回答)	0.7

問9 レジャーカーヌーや競技カーヌーを行ってみたいと思いませんか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 すでにやっている	0.5%	3 やりたいができない	12.9
2 機会があればやってみたい	37.3	4 やりたくない	48.6
		(無回答)	0.7

【スポーツの実践について】

問10 あなたは、週1回以上のスポーツや運動を継続的に行っていきますか。(〇は1つだけ)

<n = 1,486>

1 1年以上継続している	7.8%	4 10年以上継続している	12.5
2 3年以上継続している	3.0	5 継続しているスポーツや運動はない	69.4
3 5年以上継続している	6.3	(無回答)	0.9

問11 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動がありますか。学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。(あてはまる番号すべてに○) <n = 1,486> (%)

【比較的軽いスポーツ・運動】身近で気軽に行えるスポーツ・運動

1	軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボールなど）	19.3
2	体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、縄跳びを含む）	33.0
3	ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）	54.4
4	ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、民謡踊りを含む）	4.8
5	ボウリング	12.2
6	ゲートボール、グラウンドゴルフなどゴルフ型スポーツ	2.1
7	ランニング（ジョギング）	14.7
8	軽い水泳（水中歩行・水中運動を含む）	10.4
9	室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシーン、バランスボールなど）を使ってする運動	13.7
10	その他の比較的軽いスポーツ・運動（具体的に：)	2.4

【比較的広範囲にわたる野外スポーツ・運動】自然に関わるようなスポーツ・運動

11	スキー、スノーボード	9.7
12	スケート、ローラースケート、スケートボード	3.0
13	サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ	8.6
14	ゴルフ	7.6
15	海水浴（遊泳）	9.1
16	ボート、ヨット、スキndaイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウインドサーフィン、ボディボード	4.1
17	釣り	6.7
18	登山（クライミング）	4.9
19	キャンプ、オートキャンプ	4.0
20	ハイキング、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング、ウォークラリー	6.7
21	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.3
22	その他の比較的広範囲にわたる野外スポーツ・運動（具体的に：)	0.5

【競技的スポーツ】勝敗や競争など優劣を競うスポーツ・運動

23	陸上競技	0.9
24	水泳競技	1.2
25	柔道、剣道、空手、相撲、合気道など武道	1.4
26	ボクシング、レスリングなど格闘技	0.3
27	弓道、アーチェリー	0.2
28	野球	2.6
29	サッカー、フットサル	3.6
30	ソフトボール	1.3
31	バレーボール	2.3
32	テニス、ソフトテニス	2.6
33	卓球	4.1
34	その他の球技スポーツ（ラグビー、バスケットボール、バドミントンなど）	2.2
35	その他の競技的スポーツ（具体的に：)	0.7
36	スポーツや運動は行っていない	15.5
	（無回答）	3.1

【健康について】

問12 健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）を延ばすために重要だと思うことは何ですか。

（〇は3つまで）＜n = 1,486＞

1 適度に運動する	70.3%	7 家族や友人との交流をとる	18.6
2 休養や睡眠を十分にとる	57.6	8 文章を読む・書くなど知的行動習慣をつける	5.9
3 バランスの良い食事をとる	59.8	9 仕事やボランティアなど社会で役割を得る	6.4
4 家族や友人と食事をとる	4.6	10 その他（ ）	1.1
5 健康診断などで自身の健康状態を把握する	33.3	11 特にない	2.4
6 身の回りのことを自分自身でする	13.4	（無回答）	0.8

【がん検診について】

江戸川区では、区民の皆さんの健康を守るため、がん検診（無料）を実施しています。

【区で実施しているがん検診と検診対象】

子宮頸がん	：20歳以上の女性
乳がん	：30歳以上の女性
胃がん	：30歳以上
大腸がん・肺がん・口腔がん	：40歳以上
前立腺がん	：年度中に60、65、70歳の誕生日を迎える男性

問13 あなたは、過去1年間にがん検診を受けましたか。（〇は1つだけ）

＜n = 1,486＞

1 受けた	39.2%	2 受けていない	58.7
		（無回答）	2.1

問13-1 <問13で「1 受けた」とお答えの方に>

どのような機会にがん検診を受けましたか。（あてはまる番号すべてに〇）＜n = 583＞

1 区で実施している無料のがん検診	45.5%
2 勤務している会社や職場での検診	36.5
3 人間ドックなどでの自費による検診	17.8
4 その他（ ）	9.3
（無回答）	0.5

問13-2 <問13で「2 受けていない」とお答えの方に>

がん検診を受診しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに〇）＜n = 872＞

1 健康状態に自信があるから	10.1%	7 結果が不安だから	6.7
2 何かあればいつでも医療機関で受診できるから	17.1	8 忙しいから	34.5
3 区で実施している無料の検診のことを知らなかったから	17.0	9 検診の場所が遠いから	3.6
4 検診の対象ではないから	11.0	10 病気のため治療中だから	5.5
5 費用がかかるから	7.7	11 その他（ ）	9.9
6 手続きが面倒だから	13.5	（無回答）	1.3

【喫煙について】

江戸川区は、『歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例』を平成24年1月に施行するとともに、がん予防推進計画を策定し、健康づくりを進めています。

問14 <20歳以上の方に>

あなたは、たばこを吸いますか。(〇は1つだけ) <n = 1,446>

1 吸っている	23.6%	3 やめた(1か月以上前)	25.3
2 やめた(1か月以内)	0.5	4 いままで吸ったことがない	50.1
		(無回答)	0.5

問15 あなたは、他人が吸うたばこを迷惑と感じますか。(それぞれ〇は1つずつ) <n = 1,486> (%)

迷惑と感じるたばこについて	はい	いいえ	無回答
ア. たばこを迷惑と感じる	71.3	26.2	2.5
イ. 加熱式たばこ(アイコスやプルームテックなど)を迷惑と感じる	29.9	52.6	17.6

▶▶ 問15-1 <問15で1つでも「1 はい」とお答えの方に>

あなたは、どのような場所で迷惑と感じますか。

(あてはまる番号すべてに〇) <n = 1,134>

1 レストランや飲食店などの中	69.0%
2 職場内	29.6
3 路上喫煙	75.7
4 公園	40.1
5 駅前広場やコンビニの店頭などにある屋外の喫煙スペース	34.8
6 その他()	7.8
(無回答)	5.7

【地域活動への参加について】

江戸川区では、「安全・安心パトロール」などの町会・自治会活動のほか、「保育ママ」「すくすくスクール」「熟年者等の見守り」活動などで、地域力が活かされています。

問16 あなたは、こうした活動をしたしたいと思いますか。(〇は1つだけ) <n = 1,486>

1 現在、参加している	3.1%	
2 ぜひ参加したい	1.1	
3 きっかけや条件が整えば参加してみたい	9.7▶ 問16-1へ
4 参加してみたいが、できない(仕事や健康上の理由など)	26.8	
5 関心がない(参加したくない)	22.1	
6 わからない(どちらとも言えない)	36.3	
(無回答)	0.9	

問16-1 <問16で「3 きっかけや条件が整えば参加してみたい」とお答えの方に>
 あなたが活動するためには、どのようなことが必要ですか。(〇は2つまで) <n=144>

1	活動についての情報	51.4%	6	区からの呼びかけ	10.4
2	活動についての体験の場	20.8	7	活動に必要な資材・機材の支援	12.5
3	町会・自治会など地域団体からの呼びかけ	15.3	8	その他()	14.6
4	活動についての学習の場	22.2	9	特にない	2.1
5	友人・知人からの呼びかけ	16.0		(無回答)	1.4

問17 あなたは、どのような活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに〇) <n=1,486>

1	環境・自然・みどりなどを守り育てる活動	16.6%
2	子どもの学びや遊びをサポートする活動	19.7
3	高齢者をサポートする活動	10.4
4	行事やイベント活動	14.0
5	文化・スポーツへの指導・協力活動	10.8
6	子育て世代を支援する活動	9.0
7	外国人との交流に関する活動	12.1
8	災害発生時の支援活動	7.9
9	道路・公園の清掃などの活動	7.2
10	障害者をサポートする活動	5.9
11	その他()	1.1
12	特にない	42.0
	(無回答)	4.9

【みどりについて】

江戸川区は、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりを進めてきました。また、平成25年4月には「江戸川区みどりの基本計画」を策定し、「みどりを守り、育て、創る」施策を区民の皆さんと共にすすめています。

問18 豊かなまちのみどりをより身近で親しみやすくしていくためには、どのようなことに取り組んでいったらよいと思いますか。(〇は3つまで) <n=1,486>

1	公園や街路樹の樹木に樹名板を設置するなど、みどりの知識を身近に学べるようにする	41.3%
2	親水公園や水辺などに生息している、鳥や昆虫、魚などの名前を表示するなど、自然について学べる環境を整える	39.3
3	ウォークラリーや自然観察会などの参加型イベントを実施し、自然と触れ合いながら学べる機会をつくる	21.0
4	緑道などに詩や俳句等を掲示し、散策しながら文学や芸術、歴史等に触れる機会をつくる	10.0
5	区内のみどりや生き物を、学校教育の教材として活用する	20.7
6	花苗づくりや農園体験など、土と触れ合える機会を増やす	27.3
7	実のなる木の果実を、収穫祭や料理教室などで活用する	14.6
8	みどりに関連したボランティア活動への参加機会を増やす	9.0
9	その他()	1.7
10	特にない	18.0
	(無回答)	1.5

問19 みどり豊かなまちづくりを進めていくために、あなたが協力したいと思うことは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○) <n=1,486>

1 家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る	37.5%
2 道路沿いを生垣や花壇などで緑化する	22.2
3 ご近所の人と協力して地域ぐるみの緑化を進める	10.0
4 公園や道路、河川敷でゴミ拾いや落ち葉清掃などを行う	20.2
5 公園などの花壇の植え付けや水やり、手入れなどを行う	11.4
6 生き物調査や水質調査などに参加する	8.3
7 自然の大切さや魅力を人に伝える活動に参加する	5.7
8 その他 ()	1.0
9 特にな (無回答)	31.6 2.0

【環境に配慮した行動について】

平成20年2月に「エコタウンえどがわ推進計画」を策定しました。この計画のもと、江戸川区とえどがわエコセンターが協力して省エネルギーの取り組みである「もったいない運動」を推進しています。この「もったいない運動」では、地球温暖化防止のため、省エネ・省資源を意識した行動やごみ減量・リサイクルなどを呼びかけています。

問20 あなたは、次のア～タの行動をしていますか。(それぞれ○は1つずつ) <n=1,486> (%)

省エネ・省資源を意識した行動	はい	いいえ	無回答
ア. 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている	84.1	14.7	1.3
イ. 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている	49.9	48.0	2.2
ウ. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている	70.7	27.3	2.0
エ. 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている	73.7	23.9	2.4
オ. 照明に一部でもLEDを取り入れている	72.1	26.1	1.8
カ. 自動車の利用を極力ひかえ、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている	66.6	31.1	2.3
キ. 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している	60.6	37.8	1.5
ク. 生ごみの水切りを行っている	81.1	17.4	1.5
ケ. 修理できるものは修理して使うようにしている	75.6	22.5	1.9
コ. 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている	26.9	71.3	1.9
サ. まだ食べられるのに捨てられている食品(食品ロス)を減らすように何らかの取り組みをしている	55.1	42.6	2.3
シ. リサイクルショップを利用している	28.6	68.9	2.5
ス. 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている	15.9	81.6	2.5
セ. 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている	63.2	34.9	2.0
ソ. どのような紙が「雑がみ」として分別してリサイクルできるか知っている	37.6	60.1	2.4
タ. 上記のほかに省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている(具体的に:)	13.7	80.8	5.6

【大規模水害対策について】

低地帯に位置する江戸川区は、洪水や高潮などにより堤防が決壊するような大規模水害が発生すると、広範囲にわたる浸水被害が生じる危険性があります。浸水域内に留まった場合、ライフラインが途絶した劣悪な環境に2週間以上取り残されるかもしれません。

問21 あなたは、大規模水害時に江戸川区外の地盤の高い地域等に広域避難すると思いますか。

(○は1つだけ) <n=1,486>

1 広域避難する	56.3%	2 広域避難しない	42.0
		(無回答)	1.7

問21-1 <問21で「1 広域避難する」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。

(○は1つだけ) <n=836>

1 別宅、親戚宅、友人・知人宅	27.4%	4 避難先として行政から指定された施設	45.5
2 民間施設(ホテル、旅館など)	2.4	5 その他()	2.5
3 勤務(通学)先や関連施設	4.7	(無回答)	17.6

問21-2 <問21で「1 広域避難する」とお答えの方に>

広域避難先へは、どのような手段で避難しますか。(○は2つまで) <n=836>

1 徒歩	61.2%	5 鉄道	23.7
2 自転車	27.2	6 バス	6.0
3 バイク	2.0	7 タクシー	2.6
4 自動車	21.5	8 その他()	1.6
		(無回答)	1.1

問21-3 <問21で「2 広域避難しない」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか。

(○は1つだけ) <n=624>

1 民間施設(マンションなど高層建物)	18.1%	4 その他()	1.6
2 勤務(通学)先や関連施設	2.6	5 避難しない(自宅に留まる)	31.4
3 公共施設(小・中学校、区民館など)	40.1	(無回答)	6.3

問21-4 <問21で「2 広域避難しない」とお答えの方に>

大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。

(それぞれ○は1つずつ) <n=624> (%)

広域避難しない理由	あてはまる	どちらとも いえない	あてはま らない	無回答
ア. 仕事や学校がある	32.1	21.2	36.4	10.4
イ. 家や家財から長く離れることが心配	35.1	27.2	26.4	11.2
ウ. 広域避難する先の当てがない	54.5	19.9	16.7	9.0
エ. 遠くまでの避難が困難な家族がいる	20.2	17.5	51.4	10.9
オ. ペットなどを飼っている	18.1	4.0	68.4	9.5
カ. 自宅が一番安全だと思う	32.1	39.3	21.0	7.7

【発達障害について】

江戸川区では、発達障害相談センターで専門の相談員が発達障害に関する相談に応じています。発達障害には、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などがあります。

問22 あなたは、「発達障害」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ) <n=1,486>

1	具体的な特徴も含めて、知っている	13.1%	3	名前だけは知っている	48.4
2	ある程度の特徴も知っている	33.0	4	聞いたことがない	4.8
				(無回答)	0.8

問22-1 <問22で「1 具体的な特徴も含めて、知っている」または「2 ある程度の特徴も知っている」とお答えの方に>

「発達障害」について知っていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○) <n=684>

1	脳の機能障害が関連している	83.9%	4	本人の忍耐や努力とは関係ない	72.5
2	生まれた後のケガや病気は影響しない	39.2	5	詳しい原因はまだよくわかっていない	46.6
3	幼少期の教育環境や親のしつけ、 育て方により起こるものではない	63.2		(無回答)	0.9

【人権について】

問23 日本における人権課題について、あなたの関心のあるものはどれですか。

(あてはまる番号すべてに○) <n=1,486>

1	女性	30.0%	12	性的指向(人の恋愛・性愛の対象が どういう方向に向かうのかを示す概念。 異性愛、同性愛、両性愛など)に關する 少数者	13.4
2	子ども	34.1	13	刑を終えて出所した人	12.4
3	高齢者	34.9	14	路上生活者(ホームレス)	12.3
4	障害者	37.9	15	インターネットによる人権侵害	25.2
5	同和問題(部落差別)	9.4	16	北朝鮮当局によって拉致された 被害者など	19.7
6	アイヌの人々	5.9	17	人身取引(性的搾取、強制労働等 を目的とした人身取引)	11.1
7	外国人	12.4	18	東日本大震災に伴う人権問題	32.8
8	エイズ患者・HIV感染者	9.6	19	その他()	1.1
9	ハンセン病患者・回復者など	8.1	20	特にない	17.4
10	犯罪被害者やその家族	19.0		(無回答)	1.9
11	性同一性障害の(生物学的な性と 心の性が一致しない)人々	18.9			

【問題のある商法の提示・悪質業者からの勧誘】

問24 あなたは、この一年間に問題のある商法の提示や悪質業者から勧誘を受けた経験はありますか。
(あてはまる番号すべてに○) <n=1,486>

1 電話・ダイレクトメールによる勧誘	31.8%	6 マルチ商法	1.8
2 訪問販売による勧誘	7.3	7 送りつけ商法	0.9
3 振り込め詐欺・オレオレ詐欺	3.4	8 ヤミ金融の融資	0.8
4 不当請求・架空請求	7.9	9 その他()	1.5
5 利殖商法	1.7	10 提示・勧誘を受けたことはない	55.4
		(無回答)	4.2

問25 江戸川区消費者センターは区民の皆さんが安心して消費生活を送れるように相談や啓発を行っています。あなたが消費者センターを知ったきっかけは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○) <n=1,486>

1 消費者センター事業 (講座・チラシ・ホームページなど)	12.5%	6 熟年相談室などの地域施設	1.1
2 江戸川区ホームページ	9.7	7 民生委員	0.7
3 広報えどがわ	23.8	8 家族や知人・友人	7.3
4 ウェブサイトの検索エンジン (Yahooなど)	3.6	9 テレビや新聞	17.7
5 バス車内放送	3.2	10 その他()	2.8
		11 知らない	37.5
		(無回答)	2.3

【広報と情報化について】

問26 あなたは、現在、江戸川区からの情報をどのような手段(媒体)で入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○) <n=1,486>

1 広報えどがわ	51.9%	9 区の広報板(ポスター)	17.8
2 暮らしの便利帳	24.1	10 町内・自治会回覧などの資料	26.5
3 区のホームページ	21.1	11 チラシ・パンフレット	7.3
4 区のツイッター・フェイスブック ページ	1.1	12 新聞・雑誌	7.0
5 広報ビデオ(えどがわ区民ニュース)	1.9	13 コミュニティペーパー	4.7
6 J:COM江戸川	6.1	14 友人・知人に聞く	11.4
7 東京MXテレビ	2.2	15 その他()	1.1
8 FMえどがわ	1.7	16 特にない	19.1
		(無回答)	0.9

問27 あなたは現在、ご自宅でインターネット(携帯電話・スマートフォン・PHSによるEメールを含む)を利用していますか。(○は1つだけ) <n=1,486>

1 利用している	78.9%	2 現在は利用していないが、今後は利用したい	4.0
		3 現在利用しておらず、今後も利用する つもりはない	15.9
		(無回答)	1.2

【江戸川区職員の接遇について】

問28 江戸川区職員の接遇について、どの程度満足していますか。(〇は1つだけ) <n=1,486>

1 満足	10.0%	4 やや不満	4.8
2 やや満足	11.8	5 不満	3.0
3 ふつう	41.1	6 わからない	28.1
		(無回答)	1.1

【区政への要望について】

問29 江戸川区は、今後どのような施策を推進していけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

<n=1,486>

1 都市基盤整備(道路など)	11.5%	13 青少年健全育成	4.9
2 再開発事業	6.3	14 生涯学習	3.6
3 交通網整備	15.7	15 文化・芸術	3.6
4 住宅対策	6.4	16 スポーツ振興	6.4
5 震災対策	35.7	17 保健・健康推進	6.9
6 水害対策	29.5	18 中小企業振興	3.8
7 防犯対策(安全・安心まちづくり)	30.3	19 観光施策	2.6
8 環境保全・リサイクル	4.0	20 友好都市・国際交流	2.4
9 熟年者施策	14.5	21 男女共同参画	0.6
10 障害者支援	6.6	22 その他()	1.8
11 子育て支援	20.3	23 わからない	10.8
12 学校教育	10.4	(無回答)	2.0

問30 あなたが、江戸川区で暮らしているなかで、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でもかまいません。できるだけ具体的にお書きください。

「良さ」

「改善してほしい点」

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。〈n=1,486〉

1	男性	48.8%	2	女性	51.2
---	----	-------	---	----	------

F 2 あなたの年齢をお知らせください。〈n=1,486〉

1	18・19歳	2.7%	4	40～49歳	21.9	7	65～69歳	8.8
2	20～29歳	11.3	5	50～59歳	17.0	8	70～74歳	6.8
3	30～39歳	16.4	6	60～64歳	7.3	9	75歳以上	7.8

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(〇は1つだけ) 〈n=1,486〉

1	自営業者	8.7%	4	勤め(パートタイム)	14.2	7	無職	15.5
2	家族従業(家事手伝い)	0.5	5	家事専業	11.6	8	その他()	3.3
3	勤め(フルタイム)	40.7	6	学生	4.4		(無回答)	1.1

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。〈n=1,486〉

1	1人	13.3%	3	3人	24.6	5	5人	7.7	7	7人以上	1.3
2	2人	26.0	4	4人	22.5	6	6人	3.7		(無回答)	0.9

F 5 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに〇) 〈n=1,486〉

1	小学校入学前のお子さん	11.6%	3	16～64歳の方	70.4
2	小・中学生	16.2	4	65歳以上の方	27.0
				(無回答)	13.7

F 6 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(〇は1つだけ) 〈n=1,486〉

1	持ち家	61.5%	5	給与住宅(社宅・公務員住宅など)	2.6
2	都営・区営の賃貸住宅	4.7	6	住宅に間借り	0.7
3	都市再生機構・公社の賃貸住宅	4.1	7	会社等の独身寮・寄宿舍	0.4
4	民間の賃貸住宅	23.1	8	その他()	1.1
				(無回答)	1.6

F 7 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町 名

		丁目	
(例	瑞江	2	丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成 29 年 9 月発行

第 32 回 江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区経営企画部広報課

東京都江戸川区中央 1 丁目 4 番 1 号

電話 03 (5662) 6168 [直通]

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号

電話 03 (3802) 6711 [代表]